

吹田市  
介護保険サービスにかかる事業所・従業者  
実態調査報告書

令和5年3月29日現在

吹田市

# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>3</b>
1. 調査目的 .....	3
2. 調査の対象 .....	3
3. 調査方法 .....	3
4. 調査時期 .....	3
5. 回収状況 .....	3
6. 報告書の留意点・見方 .....	4
<b>第2章 介護保険サービス事業所調査結果</b> .....	<b>5</b>
貴法人について .....	5
問1 指定介護サービス事業の種類 .....	6
問2 貴事業所の従業員について .....	7
問3 貴事業所の休日・有給休暇等の状況について .....	19
問4 ハラスメントの発生状況やメンタルヘルスケアの状況等について .....	22
問5 新型コロナウイルス感染症による影響について .....	28
問6 行政による支援等について .....	30
問7 介護予防の取組について .....	35
問8 施設の稼働率について .....	38
<b>第3章 介護保険サービス事業所従業員調査結果</b> .....	<b>39</b>
問1 あなた御自身について .....	39
問2 働き方やあなたのお考え等について .....	48
問3 新型コロナウイルス蔓延について .....	68
問4 今後の働き方について .....	70
問5 行政からの支援について .....	73
<b>第4章 居宅介護支援事業所調査結果</b> .....	<b>76</b>
貴法人について .....	76
問1 貴事業所の従業員について .....	77
問2 貴事業所の従業員の確保策について .....	83
問3 貴事業所のICTの導入に係る考えについて .....	85
問4 貴事業所における利用者・家族等からのハラスメントの状況等について .....	86
<b>第5章 ケアマネジャー実態調査結果</b> .....	<b>93</b>
問1 あなた御自身について .....	93

問2	ケアプランの作成状況について .....	97
問3	市内の高齢者サービスについて .....	105
問4	新型コロナウイルス蔓延について .....	108
問5	市立施設と民間施設の違いについて .....	114

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、市内介護保険サービス事業者における介護人材の確保等の現状と課題などを把握し、第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）策定の基礎資料とするため、実施したものです。

## 2. 調査の対象

- ①吹田市内で介護保険サービスを提供する事業所  
（拠点単位、拠点内で居宅介護支援事業所だけを実施している事業所は除く）
- ②吹田市内の介護保険サービス事業所で働く従業員
- ③吹田市内の居宅介護支援事業所
- ④吹田市内の居宅介護支援事業所で働くケアマネジャー

## 3. 調査方法

インターネットによる案内・回収

## 4. 調査時期

令和5年1月31日から令和5年2月24日まで

## 5. 回収状況

	案内数	回収数	回収率
①介護保険サービス事業所調査	329	204	62.0%
②介護保険サービス事業所従業員調査	-	420	-
③居宅介護支援事業所調査	97	75	77.3%
④ケアマネジャー実態調査	-	135	-

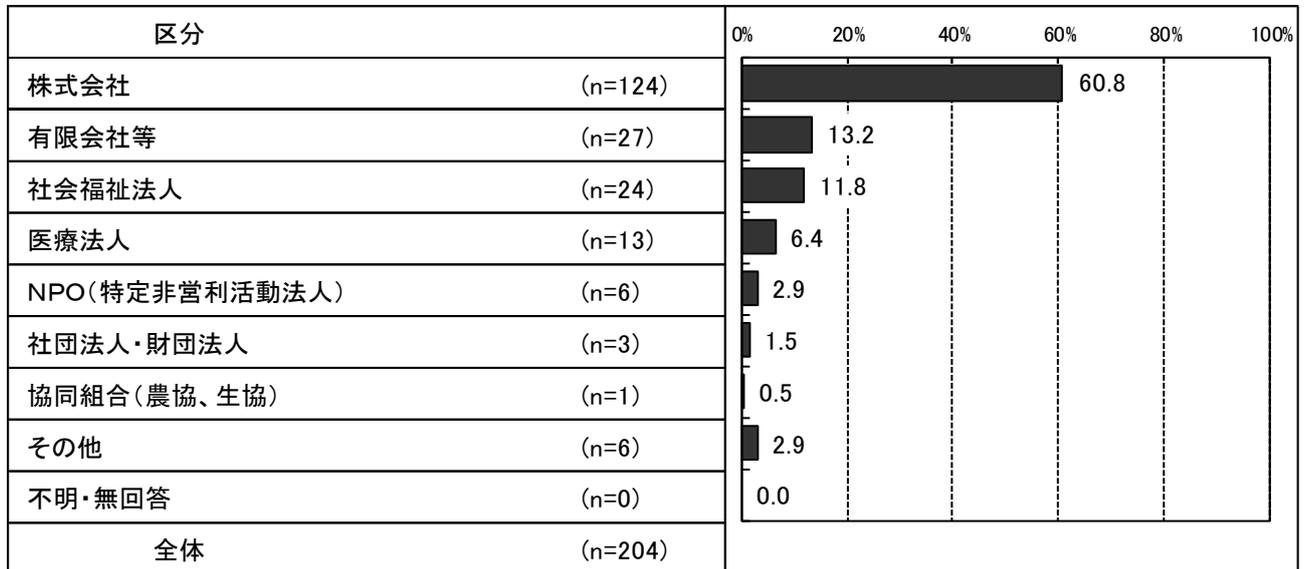
## 6. 報告書の留意点・見方

- 表・グラフに付加されている「n」は質問に対する回答者数を表しています。
- 結果数値(%)は、小数点第2位を四捨五入しており、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。
- 表・グラフ中の「不明・無回答」の表記について、無記入、回答の読み取りが著しく困難な場合、1つまでの回答を求めている設問に対し2つ以上回答していた場合は「不明・無回答」として処理しています。

## 第2章 介護保険サービス事業所調査結果

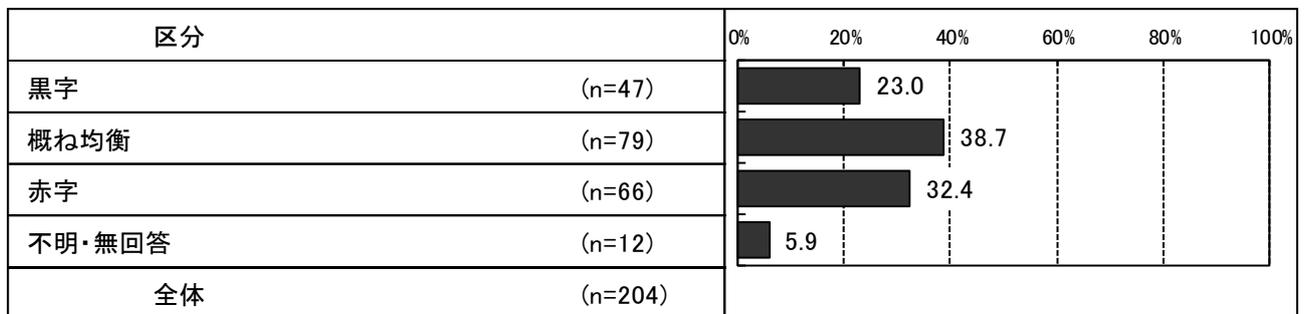
### 貴法人について

#### ①法人の種類



「株式会社」が 60.8%で最も多く、次いで「有限会社等」が 13.2%、「社会福祉法人」が 11.8%となっています。

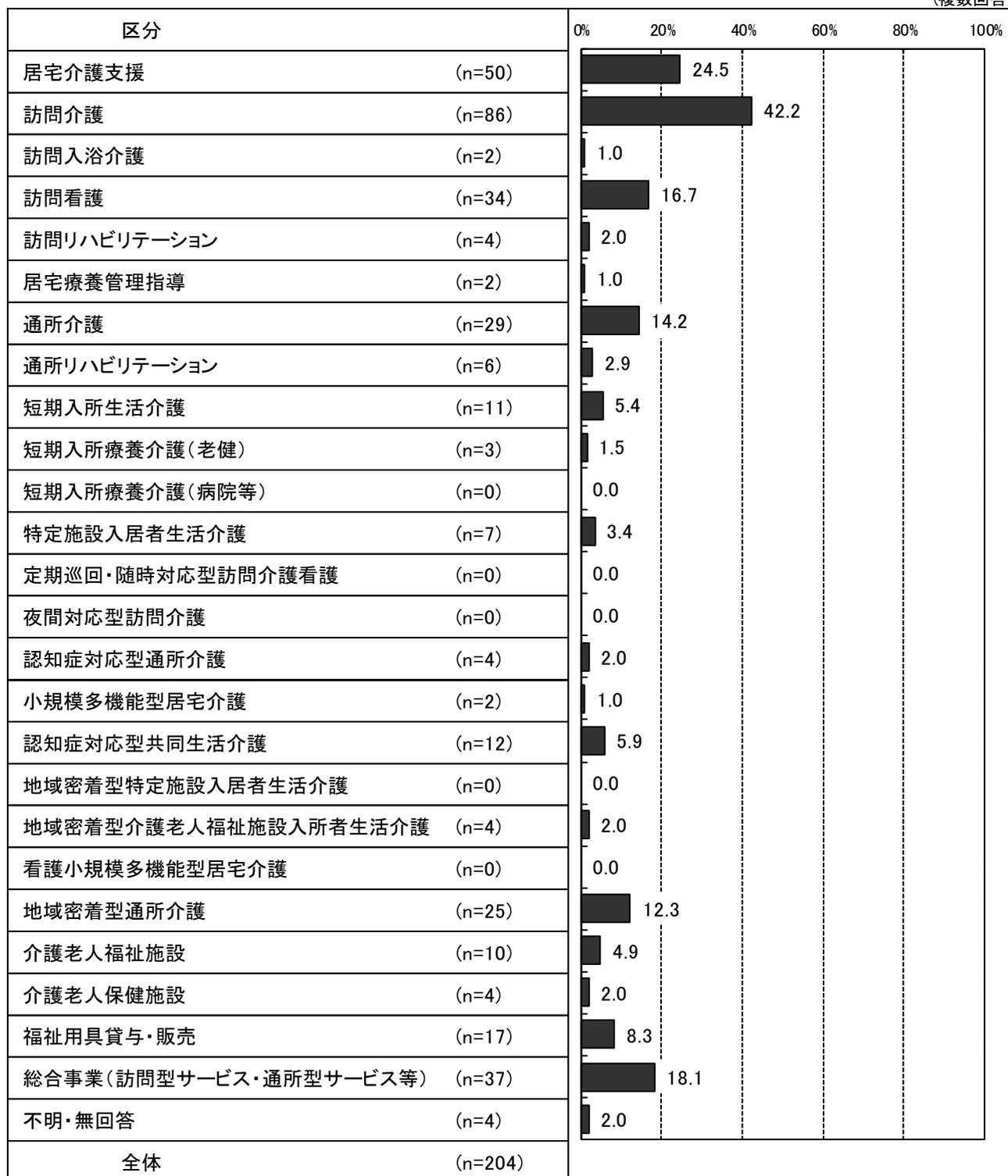
#### ②事業所の収支状況



「概ね均衡」が 38.7%で最も多く、次いで「赤字」が 32.4%、「黒字」が 23.0%となっています。

## 問1 指定介護サービス事業の種類

(複数回答)



「訪問介護」が42.2%で最も多く、次いで「居宅介護支援」が24.5%、「総合事業（訪問型サービス・通所型サービス等）」が18.1%となっています。

## 問2 貴事業所の従業員について

①在籍者の実人数及び常勤換算人数を記入してください。（令和5年1月現在）

合計人数

		実人数合計	実人数内訳		
			常勤専従	常勤兼務	非常勤
訪問介護員 (n=105)	人	1,337	245	258	834
	%	100.0	18.3	19.3	62.4
介護職員 (n=98)	人	1,788	923	191	674
	%	100.0	51.6	10.7	37.7
看護職員 (n=108)	人	633	279	89	265
	%	100.0	44.1	14.1	41.9
介護助手 (n=37)	人	74	12	8	54
	%	100.0	16.2	10.8	73.0
その他の従業員 (n=134)	人	971	505	178	288
	%	100.0	52.0	18.3	29.7
全従業員 (n=203)	人	4,803	1,964	724	2,115
	%	100.0	40.9	15.1	44.0

訪問介護員で回答のあった105事業所の訪問介護員の実人数合計は1,337人で、うち「非常勤」が834人（構成比62.4%）で最も多く、次いで「常勤勤務」が258人（構成比19.3%）、「常勤専従」が245人（構成比18.3%）となっています。

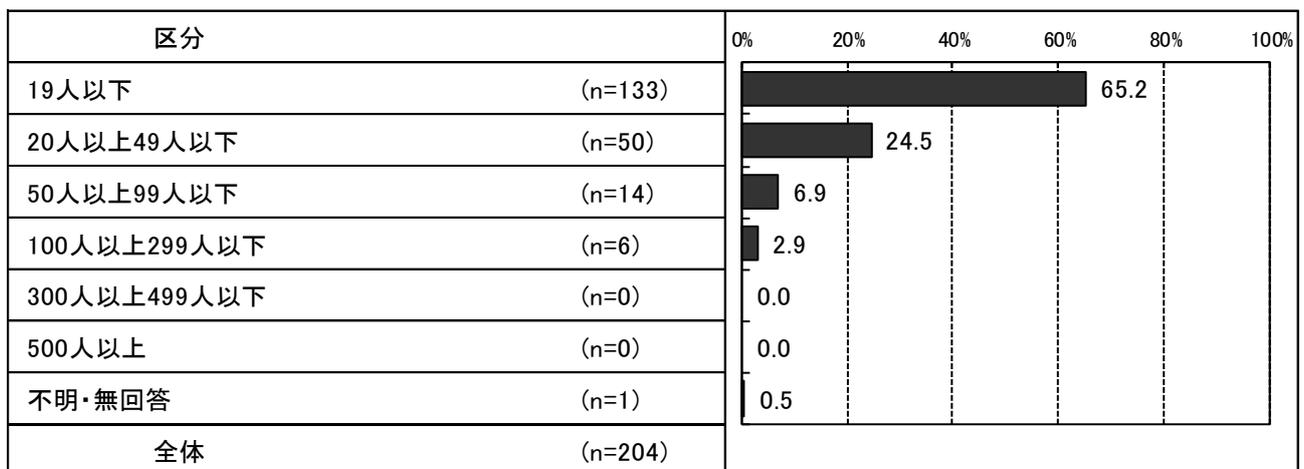
介護職員で回答のあった98事業所の介護職員の実人数合計は1,788人で、うち「常勤専従」が923人（構成比51.6%）で最も多く、次いで「非常勤」が674人（構成比37.7%）、「常勤兼務」が191人（構成比10.7%）となっています。

【参考】職種別平均人数

		実人数合計	内訳		
			常勤専従	常勤兼務	非常勤
訪問介護員	n	105	79	77	96
	実人数計	1,337	245	258	834
	平均人数	12.73	3.10	3.35	8.69
介護職員	n	98	88	59	89
	実人数計	1,788	923	191	674
	平均人数	18.24	10.49	3.24	7.57
看護職員	n	108	78	55	89
	実人数計	633	279	89	265
	平均人数	5.86	3.58	1.62	2.98
介護助手	n	37	28	27	32
	実人数計	74	12	8	54
	平均人数	2.00	0.43	0.30	1.69
上記以外の従業員	n	134	100	76	87
	実人数計	971	505	178	288
	平均人数	7.25	5.05	2.34	3.31
全従業員	n	203			
	実人数計	4,803	1,964	724	2,115
	平均人数	23.7	9.7	3.6	10.4

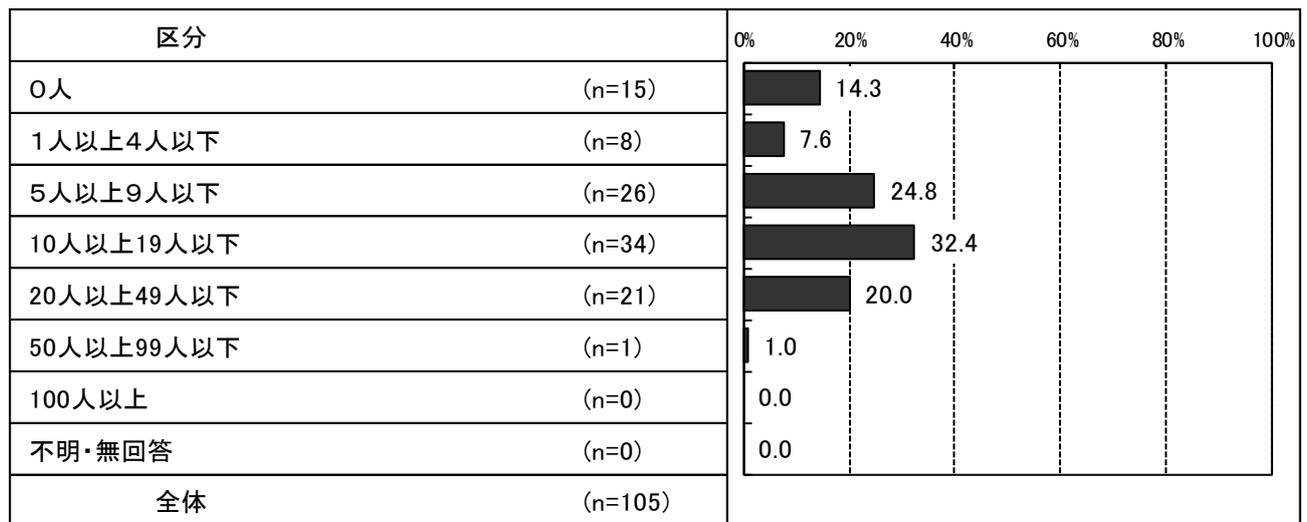
※常勤換算人数は回答のない事業所が多かったことから掲載しないこととしています。

全職員の人員構成



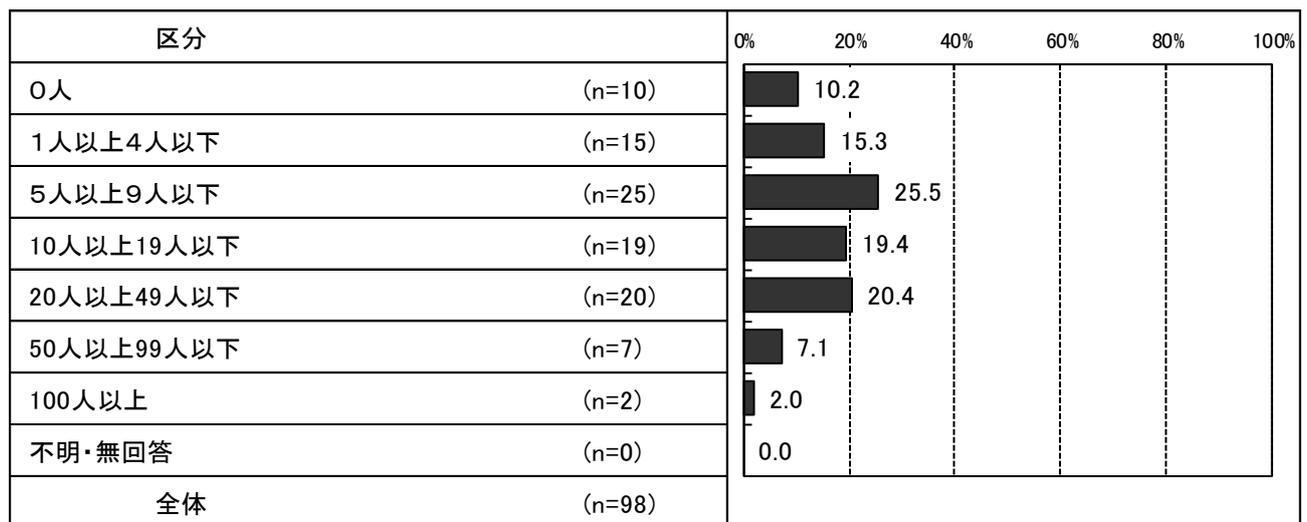
「19人以下」が65.2%で最も多く、次いで「20人以上49人以下」が24.5%、「50人以上99人以下」が6.9%となっています。

### 全訪問介護員の人員構成



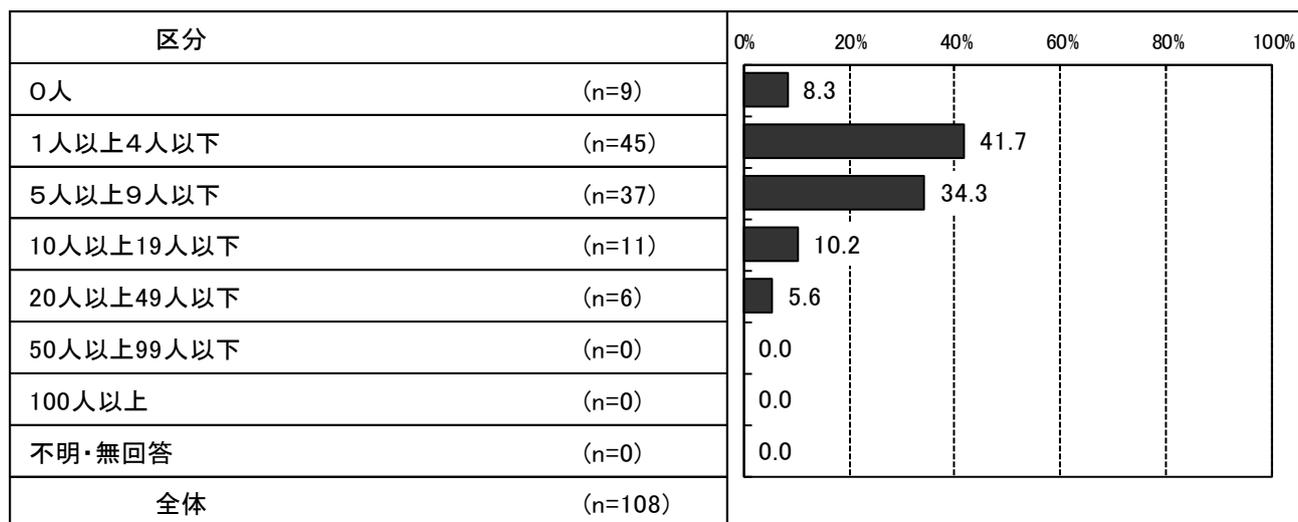
「10人以上19人以下」が32.4%で最も多く、次いで「5人以上9人以下」が24.8%となっています。

### 全介護職員の人員構成



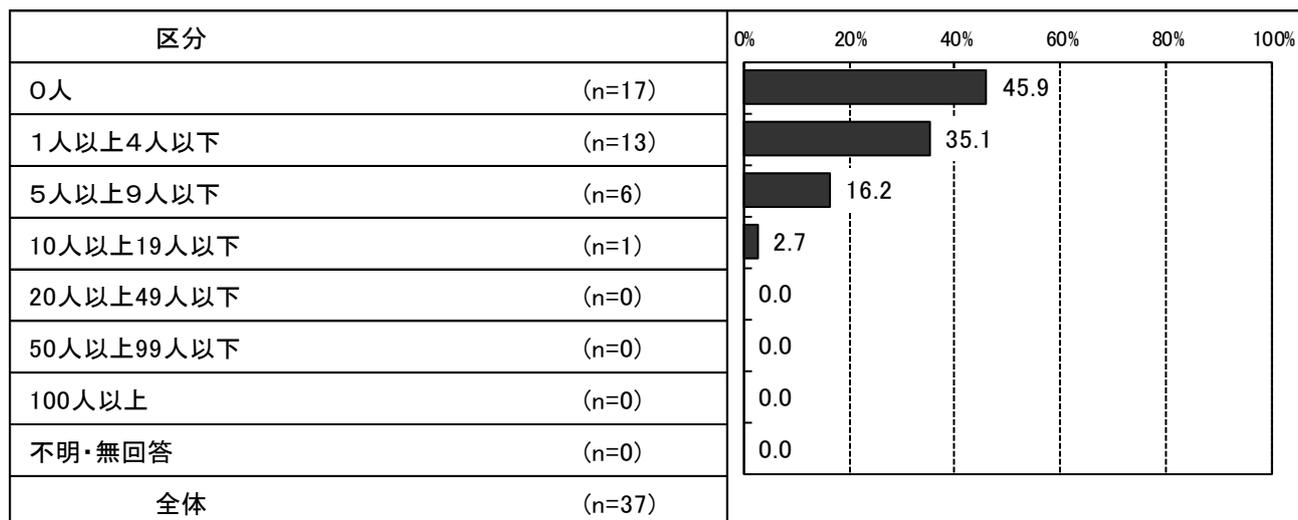
「5人以上9人以下」が25.5%で最も多く、次いで「20人以上49人以下」が20.4%となっています。

### 全看護職員の人員構成



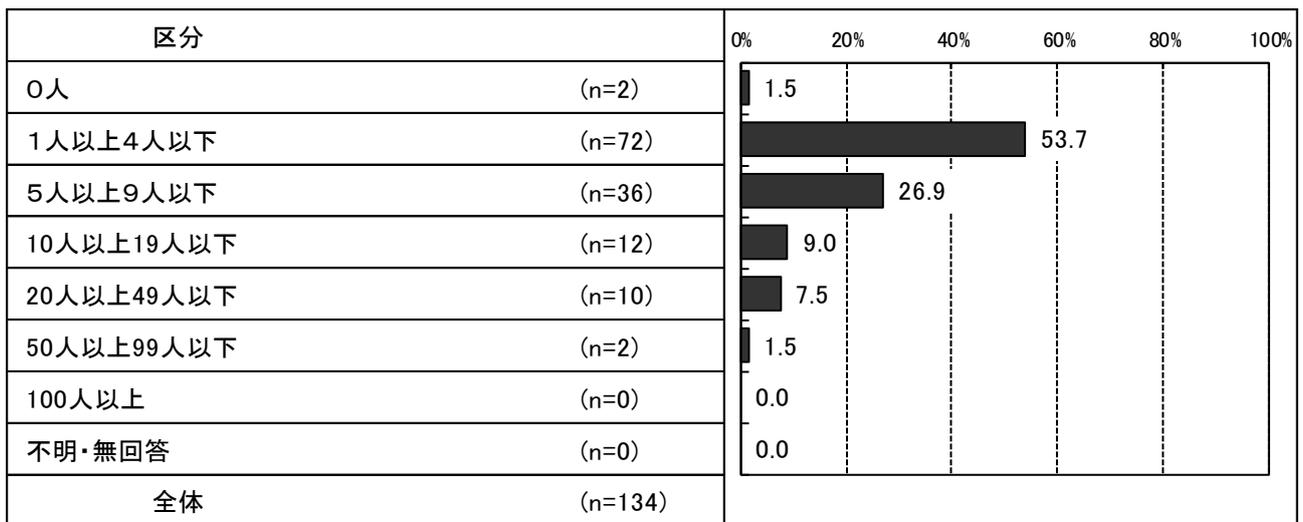
「1人以上4人以下」が41.7%で最も多く、次いで「5人以上9人以下」が34.3%となっています。

### 全介護助手の人員構成



「0人」が45.9%で最も多く、次いで「1人以上4人以下」が35.1%となっています。

その他全従業員の人員構成



「1人以上4人以下」が53.7%で最も多く、次いで「5人以上9人以下」が26.9%となっています。

②この1年間の採用者数と離職者数について、実人数を御記入ください。（令和4年1月1日～令和4年12月31日までの期間において）

また離職者のうち新型コロナウイルスの蔓延を理由（業務負担の増加や感染リスクへの懸念などが原因の人）に辞めた実人数と、介護離職をした方の実人数をお答えください。

	採用人数	離職者数	離職の状況			
			離職者のうち、			
			コロナを理由に辞めた人数		親族等の介護を理由に辞めた人数	
			人	%	人	%
訪問介護員	266	242	6	2.5	13	5.4
介護職員	297	252	5	2.0	15	6.0
上記以外の職員	211	152				
合計	774	646				

訪問介護員の採用人数は266人、離職者数は242人となっています。離職者のうち、コロナを理由に辞めた人は6人（2.5%）、親族等の介護を理由に辞めた人は13人（5.4%）となっています。

介護職員の採用人数は297人、離職者は252人となっています。離職者のうち、コロナを理由に辞めた人は5人（2.0%）、親族等の介護を理由に辞めた人は15人（6.0%）となっています。

【特別集計】採用率・離職率

	回答事業所数	a	b	c	d	e	f
		令和4年1月の在籍者数(人)	令和5年1月の在籍者数(人)	1年間の採用者(人)	1年間の離職者(人)	採用率(%)	離職率(%)
全職員	203	4,675	4,803	774	646	16.6	13.8
訪問介護員	105	1,313	1,337	266	242	20.3	18.4
介護職員	98	1,743	1,788	297	252	17.0	14.5

全職員の採用率は16.6%、離職率は13.8%となっています。

訪問介護員の採用率は20.3%で国の13.6%より高くなっています。離職率は18.4%で国の13.6%より高くなっています。

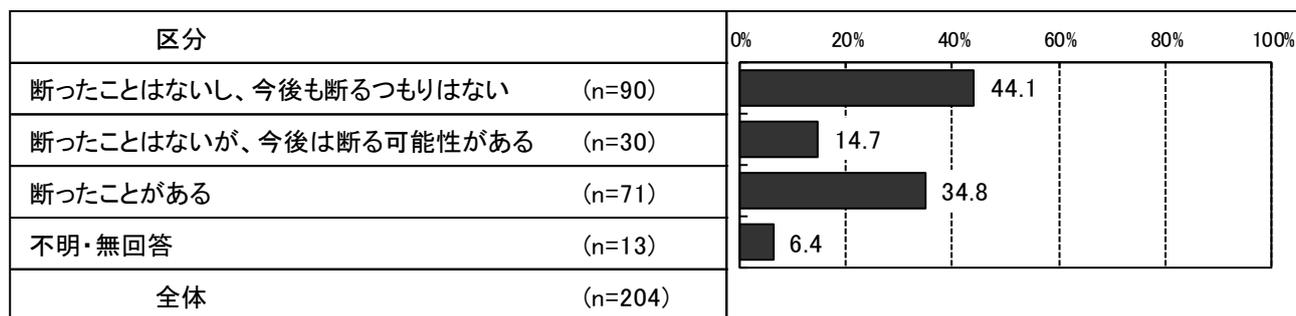
介護職員の採用率は17.0%で国の15.7%より高くなっています。離職率は14.5%で国の14.6%とほぼ同じ率となっています。

※上記の国の値は「令和3年度介護労働実態調査（公益財団法人 介護労働安定センター）」

※採用率・退職率は以下の定義で算出

- a 令和4年1月1日時点の在籍者数：令和5年1月1日時点の在籍者数（問2）－採用者数＋離職者数（b－c＋d）
- b 令和5年1月1日時点の在籍者数：問2で回答のあった事業所職種別従業員数
- e 採用率：1年間の採用者数÷令和4年1月1日時点の在籍者数×100（c÷a×100）
- f 離職率：1年間の離職者数÷令和4年1月1日時点の在籍者数×100（d÷a×100）

③従業員が不足していることを理由に、この1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日までの期間）にサービス提供を断ったことはありますか。（1つに○）

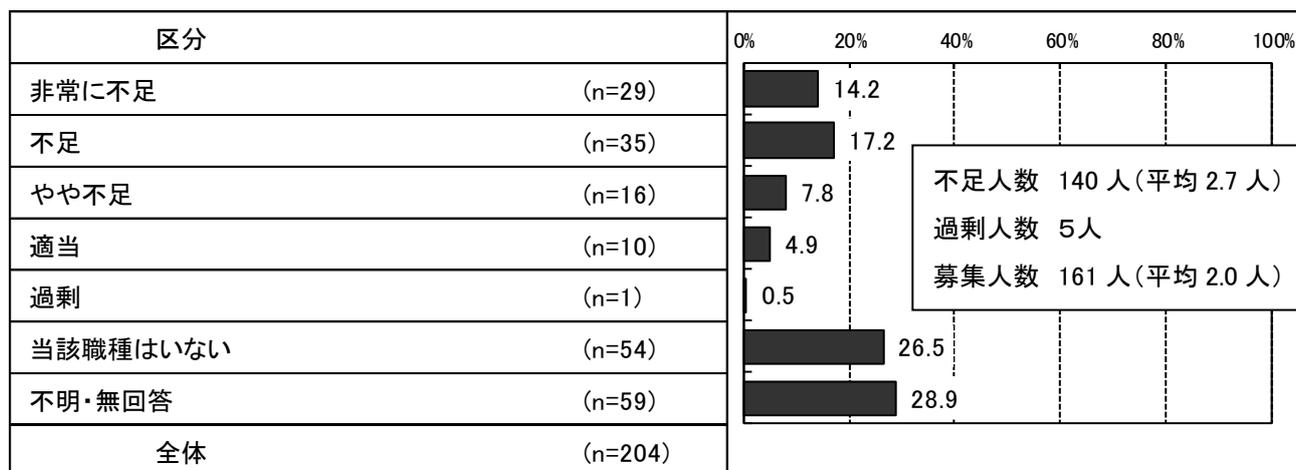


「断ったことはないし、今後も断るつもりはない」が 44.1%で最も多く、次いで「断ったことがある」が 34.8%、「断ったことはないが、今後は断る可能性がある」が 14.7%となっています。

④貴事業所の従業員の過不足状況について、該当するものに○をつけてください。雇用者が0人の場合も、「当該職種はいない」に○をつけてください。

また不足している人数もしくは過剰の人数を御記入ください。「不足」と答えられた方は、現在募集されている人数もお答えください（不足している人数と募集している人数は必ずしも一致しません）。

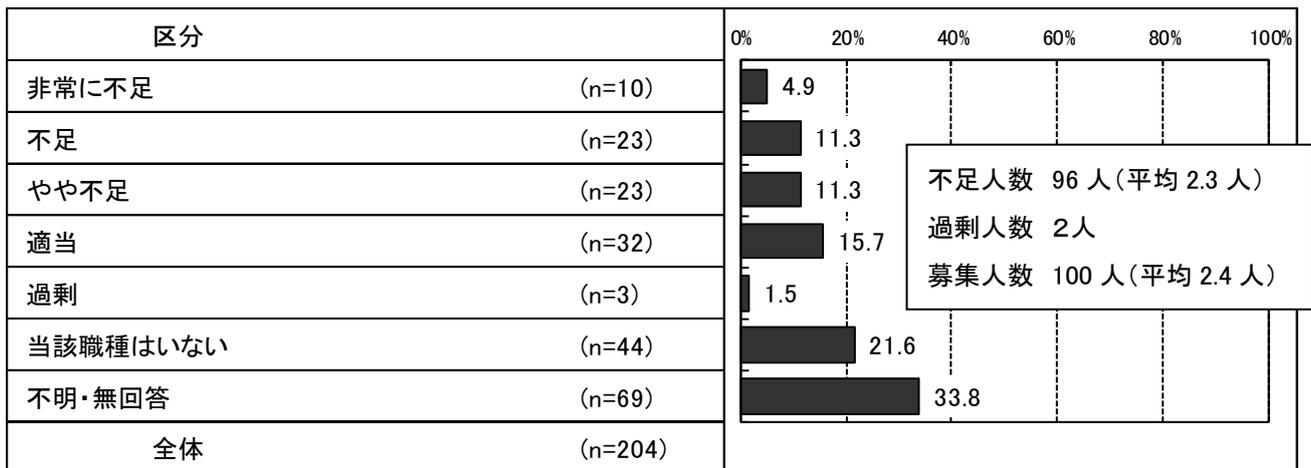
■訪問介護員の過不足状況、不足または過剰の人数、募集している人数



「当該職種はいない」が 26.5%で最も多く、次いで「不足」が 17.2%、「非常に不足」が 14.2%となっています。

不足している人数は合計 140人、募集人数は 161人となっています。

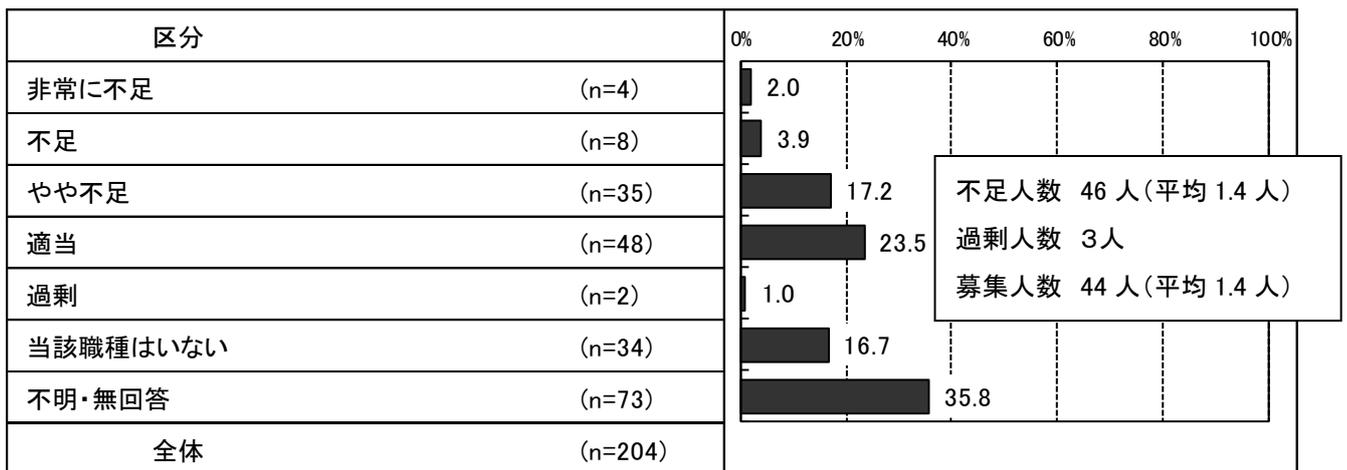
■介護職員の過不足状況、不足または過剰の人数、募集している人数



「当該職種はいない」が21.6%で最も多く、次いで「適当」が15.7%、「不足」と「やや不足」が、ともに11.3%となっています。

不足している人数は合計96人、募集人数は100人となっています。

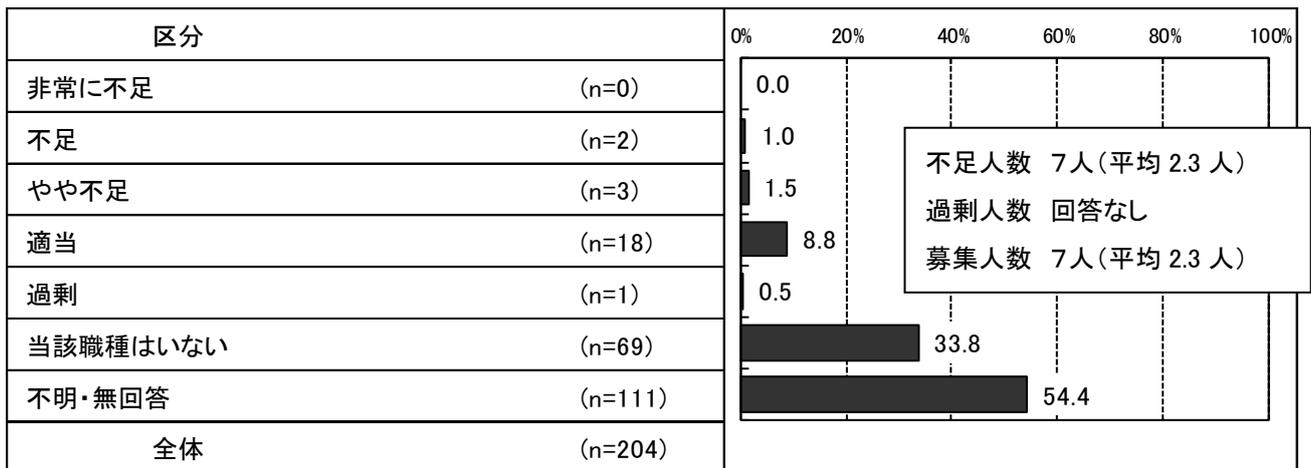
■看護職員の過不足状況、不足または過剰の人数、募集している人数



「適当」が23.5%で最も多く、次いで「やや不足」が17.2%、「当該職種はいない」が16.7%となっています。

不足している人数は合計46人、募集人数は44人となっています。

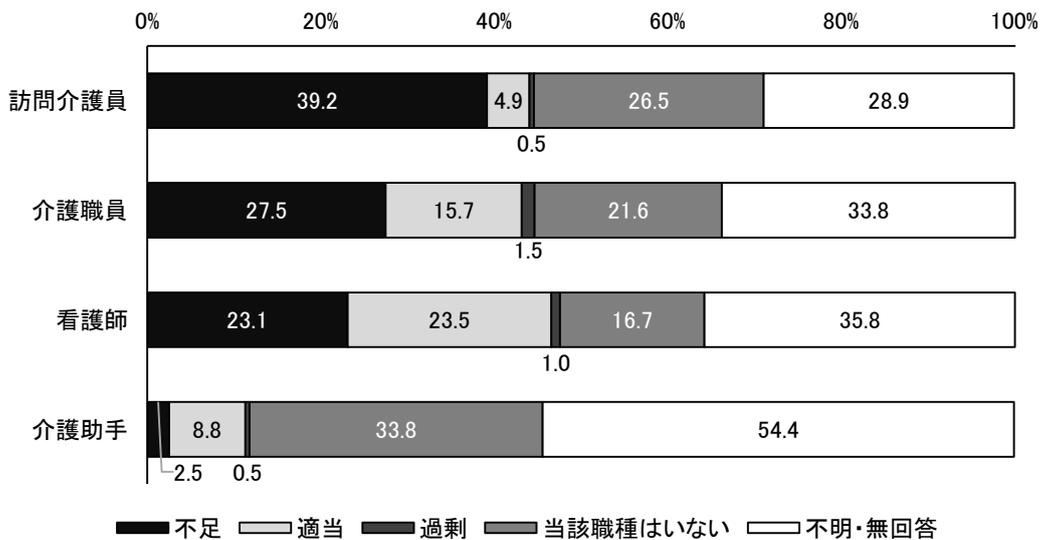
■介護助手の過不足状況、不足または過剰の人数、募集している人数



「当該職種はいない」が33.8%で最も多く、次いで「適当」が8.8%、「やや不足」が1.5%となっています。

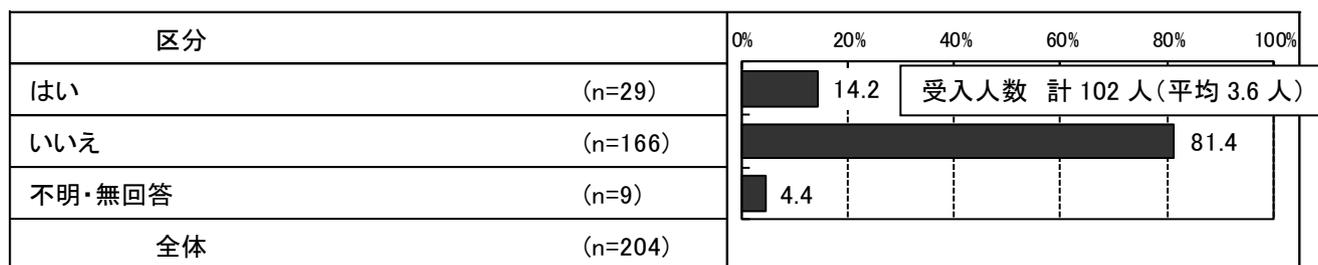
不足している人数・募集している人数ともに7人となっています。

【参考】過不足状況一覧



※上記「不足」は「非常に不足」と「不足」と「やや不足」の計

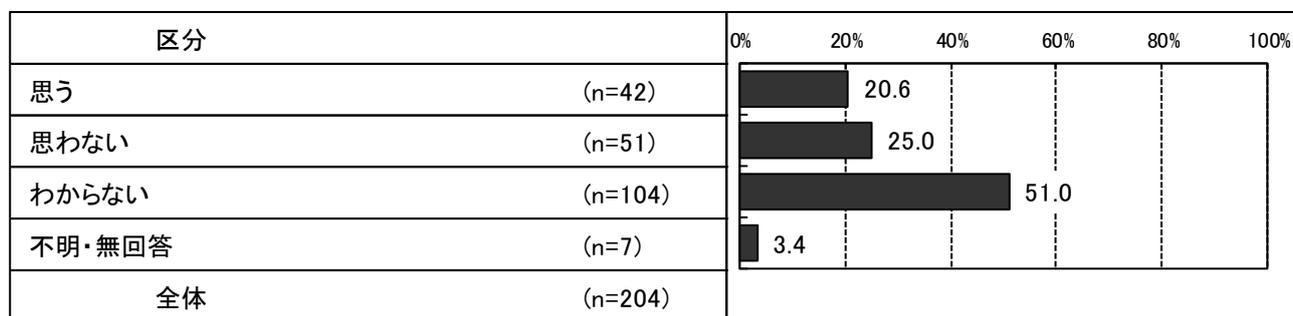
⑤貴事業所では、介護の仕事に関わる外国人の従業員を受け入れていますか。(1つに○)



「いいえ」が81.4%、「はい」が14.2%となっています。

受け入れている人数は、合計102人で、平均3.6人となっています。

⑥今後、外国人の従業員を受け入れたい(受け入れ続けたい)と思いますか(1つに○)

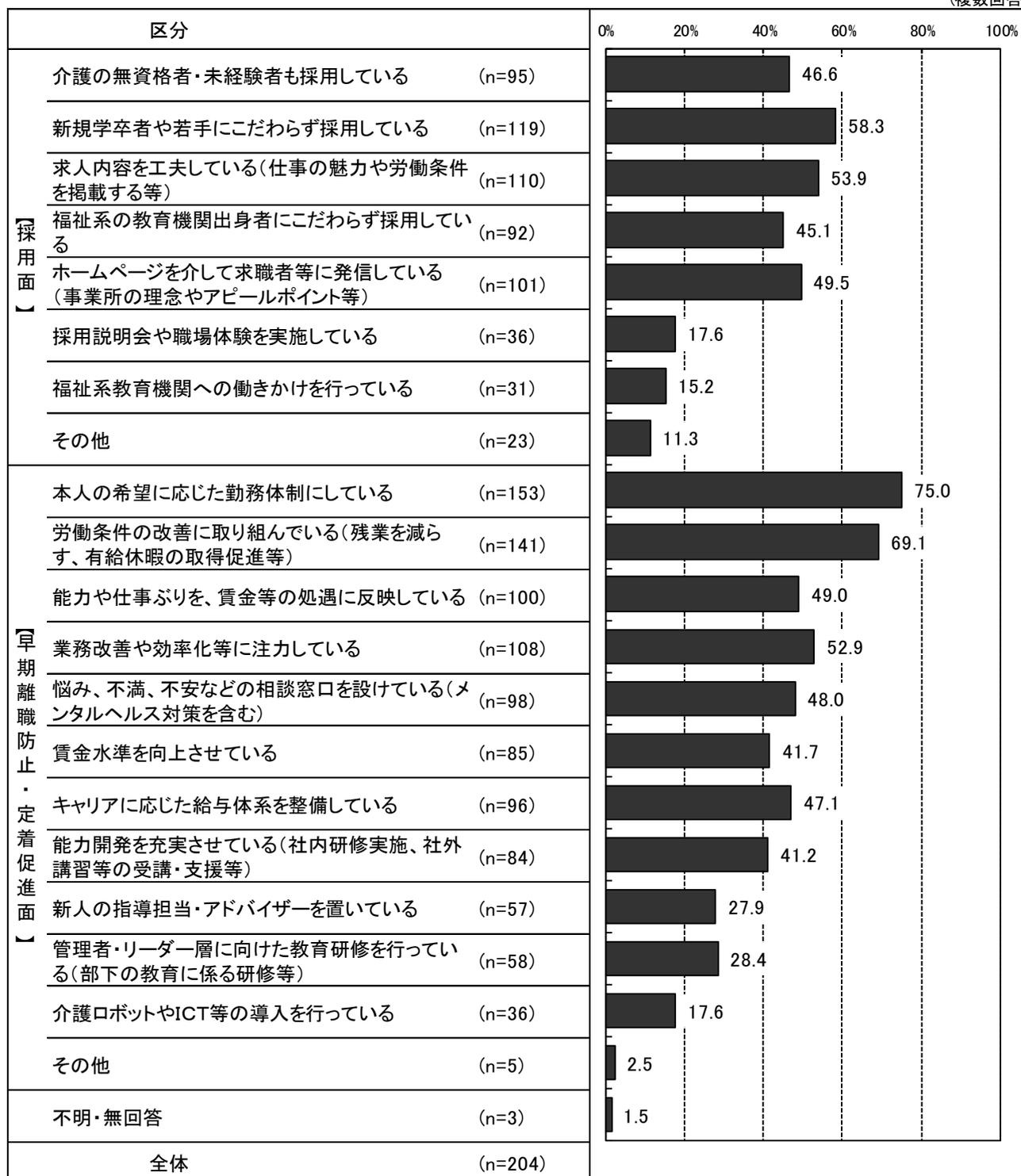


「わからない」が51.0%で最も多く、次いで「思わない」が25.0%、「思う」が20.6%となっています。

⑦貴事業所では従業員の確保にあたって、どのような工夫を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)

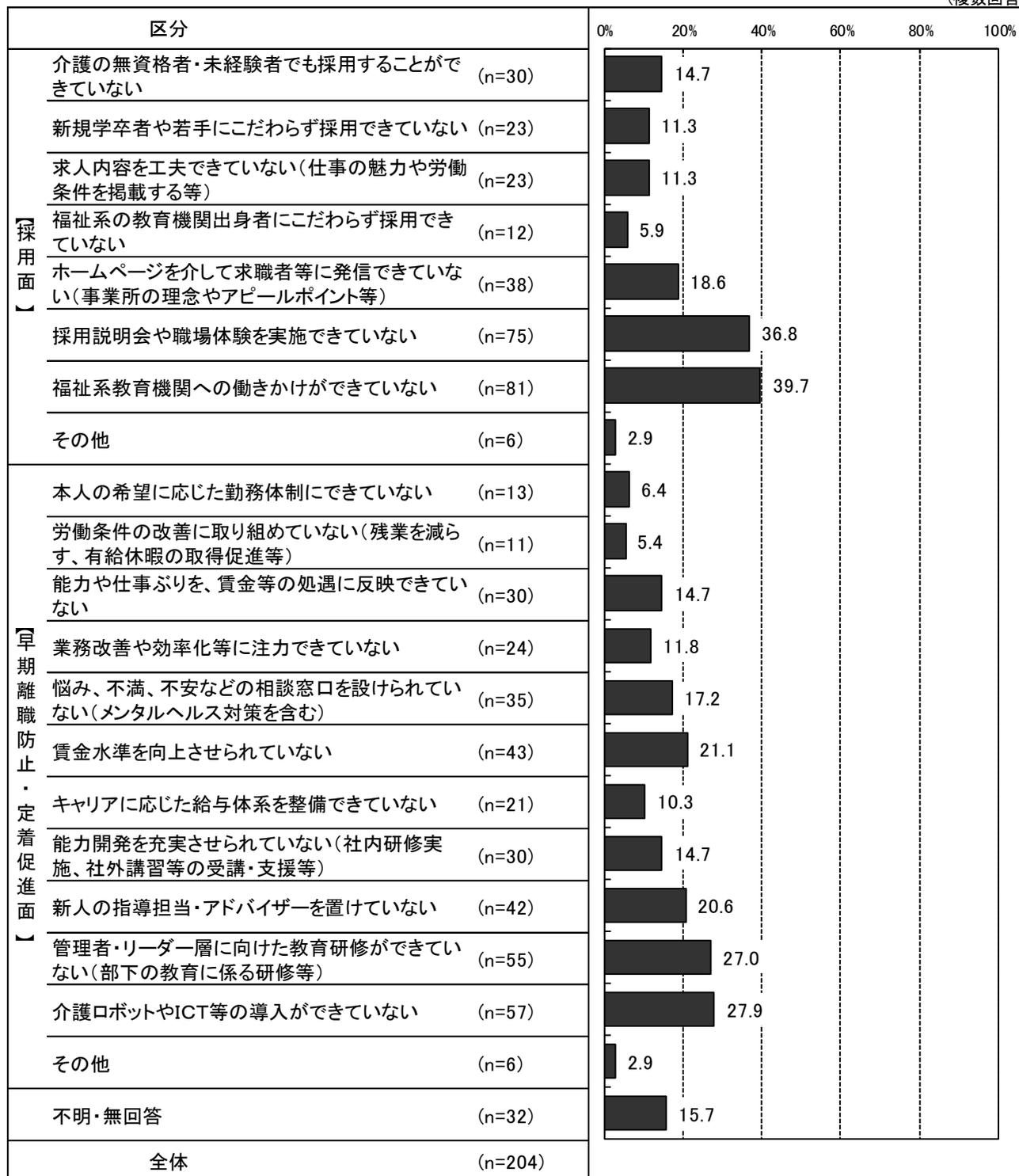


「本人の希望に応じた勤務体制にしている」が 75.0%で最も多く、次いで「労働条件の改善に取り組んでいる(残業を減らす、有給休暇の取得促進等)」が 69.1%、「新規学卒者や若手にこだわらず採用している」が 58.3%となっています。

⑧また、従業員の確保にあたって、実施したいができていないものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

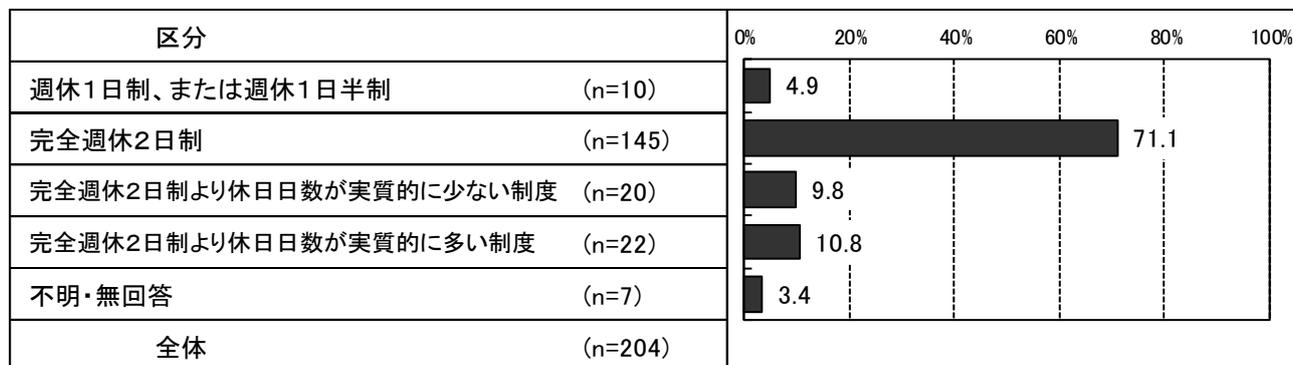
(複数回答)



「福祉系教育機関への働きかけができていない」が 39.7%で最も多く、次いで「採用説明会や職場体験を実施できていない」が 36.8%、「介護ロボットやICT等の導入ができていない」が 27.9%となっています。

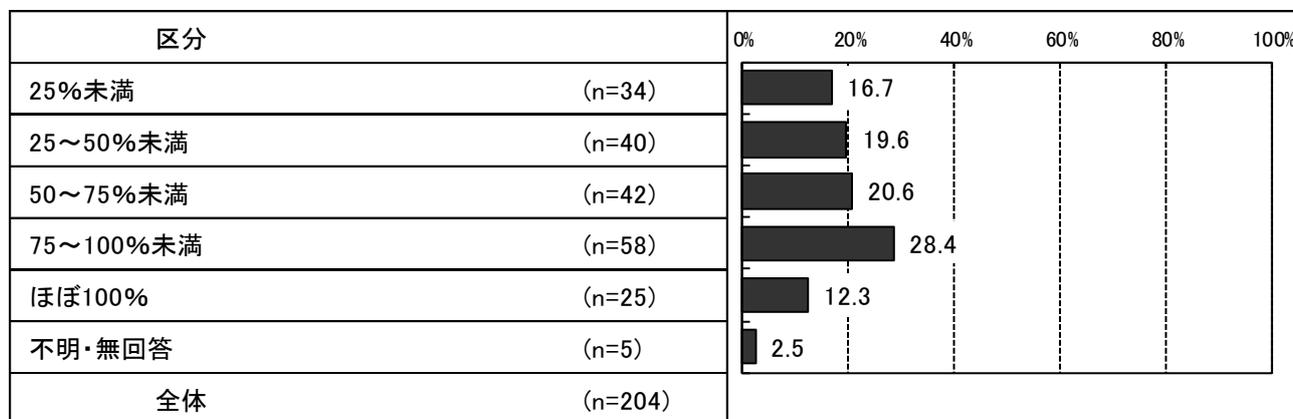
### 問3 貴事業所の休日・有給休暇等の状況について

①貴事業所では、どのような週休制度が適用されていますか。複数ある場合は、適用従業員数をもっとも多いもの1つについてお答えください。なお、以下でいう「完全週休2日制」とは、1週間で2日間確実に休日となることを言います。変形労働時間制などで不定期の場合、平均的な週の休日数でお答えください。（1つに○）



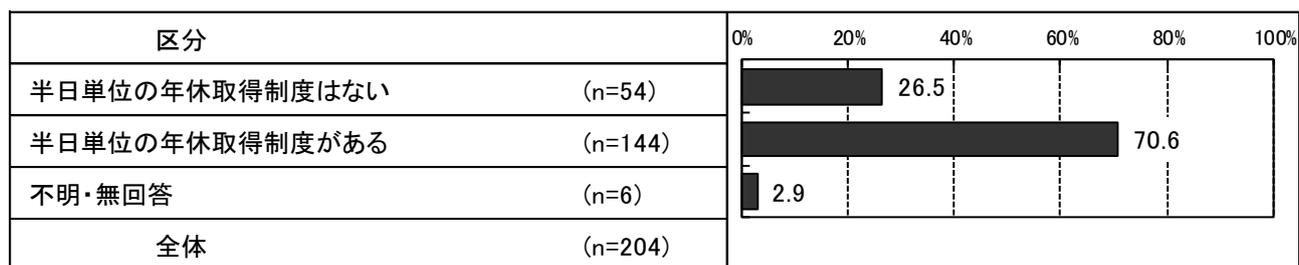
「完全週休2日制」が71.1%で最も多く、次いで「完全週休2日制より休日日数が実質的に多い制度」が10.8%、「完全週休2日制より休日日数が実質的に少ない制度」が9.8%となっています。

②令和4年(又は令和3会計年度)の従業員一人あたりの平均年次有給休暇取得率は、以下のどれに近いですか。（1つに○）



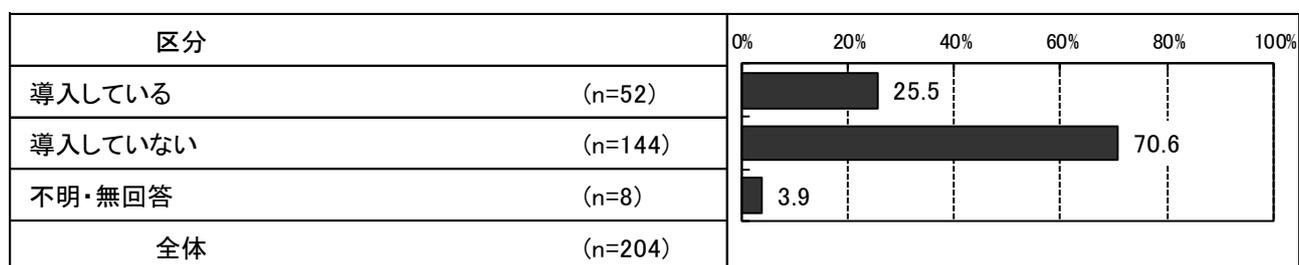
「75～100%未満」が28.4%で最も多く、次いで「50～75%未満」が20.6%、「25～50%未満」が19.6%となっています。

③貴事業所では、半日単位の年次有給休暇の取得制度（慣行を含む）がありますか。（1つに○）



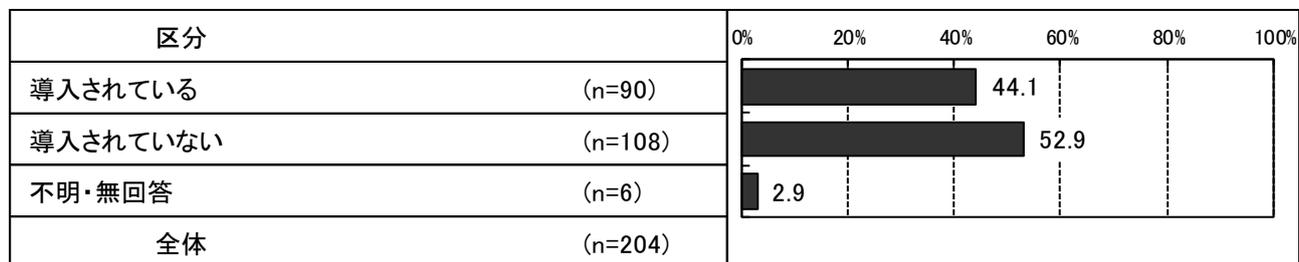
「半日単位の年休取得制度がある」が70.6%、「半日単位の年休取得制度はない」が26.5%となっています。

④貴事業所では、年次有給休暇の時間単位取得制度が導入されていますか。（1つに○）



「導入していない」が70.6%、「導入している」が25.5%となっています。

⑤貴事業所では、年次有給休暇の計画的付与制度が導入されていますか。（1つに○）

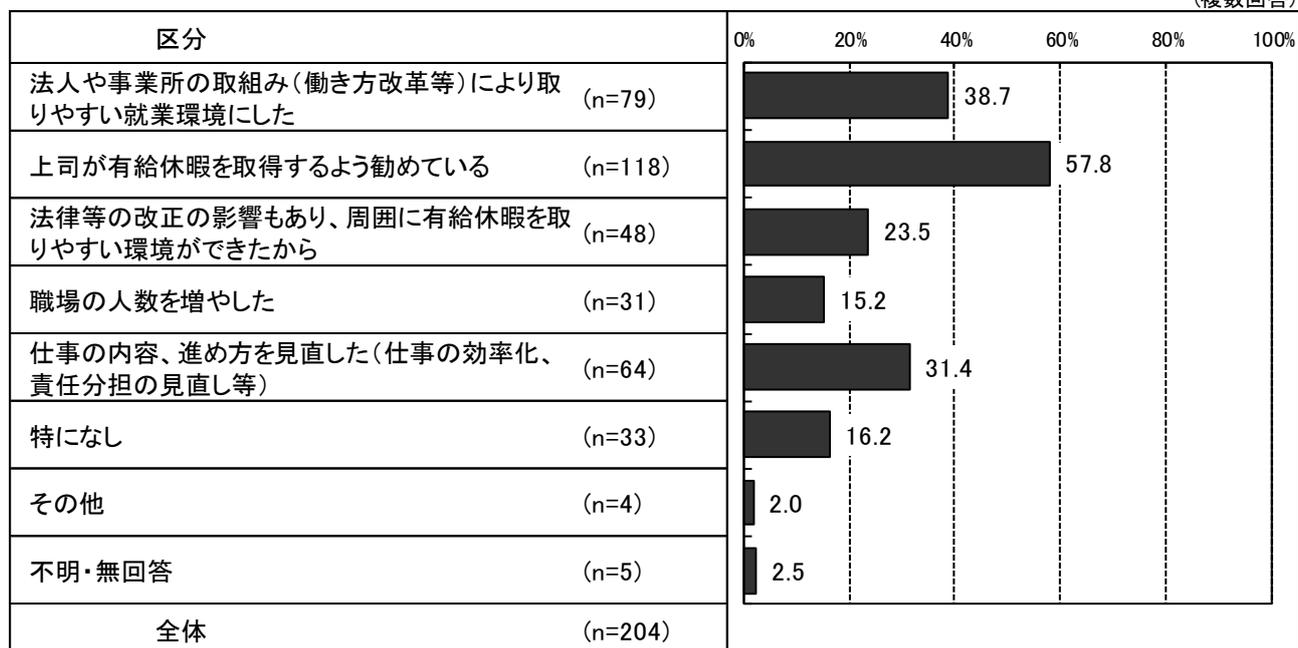


「導入されていない」が52.9%、「導入されている」が44.1%となっています。

⑥従業員が休暇を取りやすくするため、工夫していることはありますか。

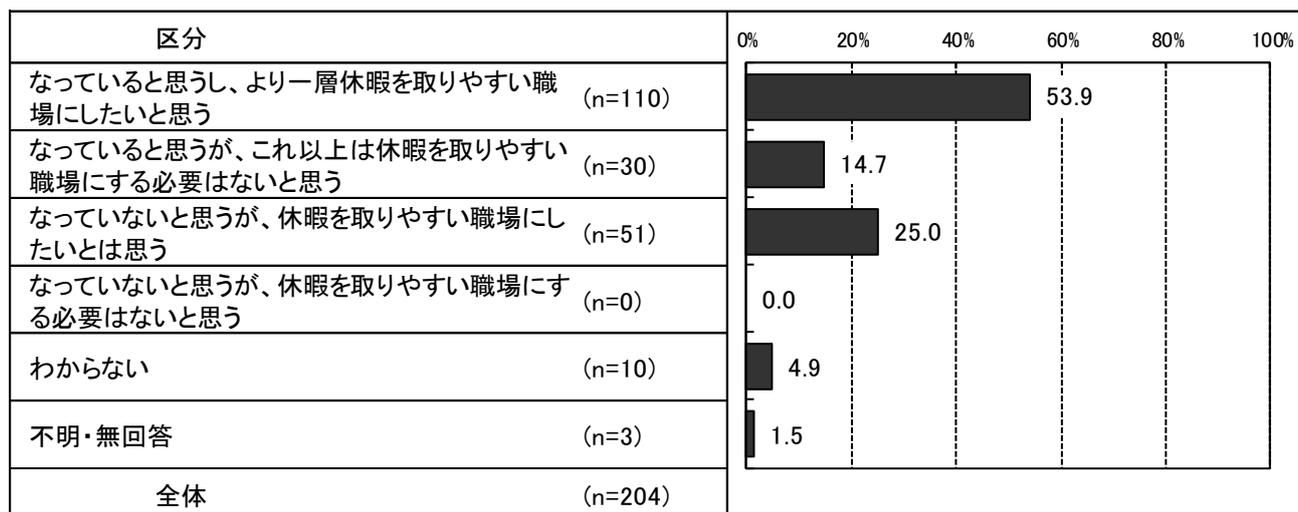
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「上司が有給休暇を取得するよう勧めている」が 57.8%で最も多く、次いで「法人や事業所の取組み(働き方改革等)により取りやすい就業環境にした」が 38.7%、「仕事の内容、進め方を見直した(仕事の効率化、責任分担の見直し等)」が 31.4%となっています。

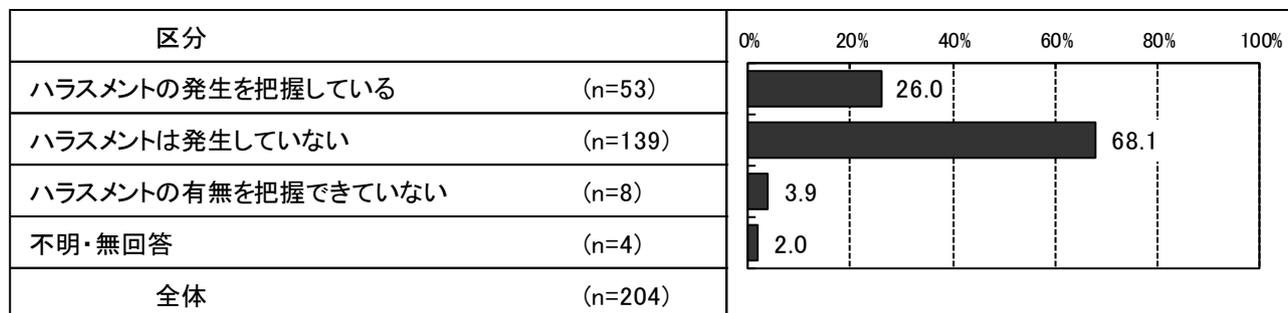
⑦貴事業所は、従業員が休暇を取りやすい職場になっていると思いますか。(1つに○)



「なっていると思うし、より一層休暇を取りやすい職場にしたいと思う」が 53.9%で最も多く、次いで「なっていないと思うが、休暇を取りやすい職場にしたいと思う」が 25.0%、「なっていると思うが、これ以上は休暇を取りやすい職場にする必要はないと思う」が 14.7%となっています。

## 問4 ハラスメントの発生状況やメンタルヘルスケアの状況等について

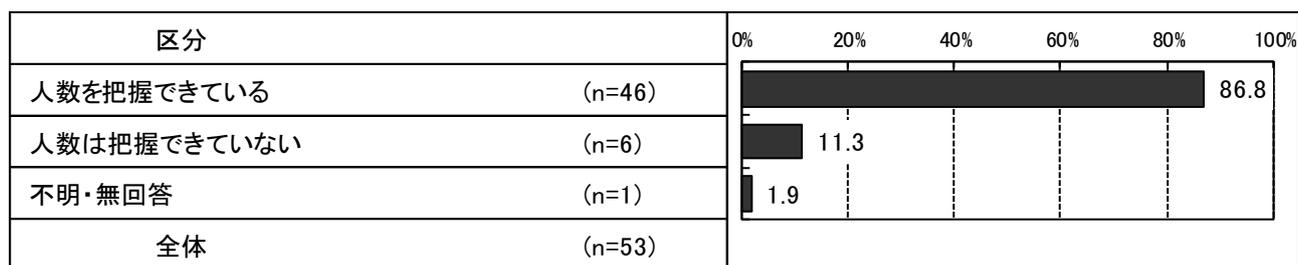
①この1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日までの期間）に貴事業所において利用者・家族等からのハラスメントの発生状況を把握していますか。（1つに○）



「ハラスメントは発生していない」が68.1%で最も多く、次いで「ハラスメントの発生を把握している」が26.0%、「ハラスメントの有無を把握できていない」が3.9%となっています。

①で「1. ハラスメントの発生を把握している」と答えた人におうかがいします。

①-1 把握している利用者・家族等からのハラスメント人数をお答えください。（1つに○）



「人数を把握できている」が86.8%、「人数は把握できていない」が11.3%となっています。

①-1で「1. 人数を把握できている」と答えた人におうかがいします。

①-1-1 把握している人数を利用者・家族に分けてお答えください。

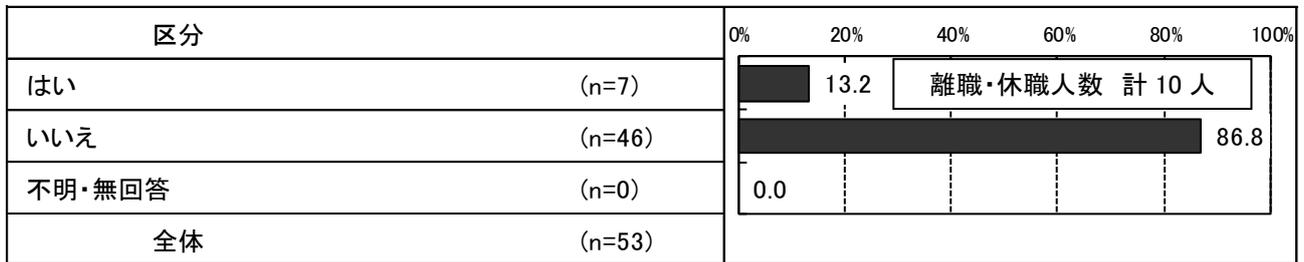
n = 46

	回答数 (n)	人数計	平均人数
利用者からのハラスメントの人数	40件	69人	1.7人
家族等からのハラスメントの人数	16件	23人	1.4人

利用者からのハラスメントの人数は69人（平均1.7人）、家族等からのハラスメントの人数は23人（平均1.4人）となっています。

①-1で「1. 人数を把握できている」と答えた人におうかがいします。

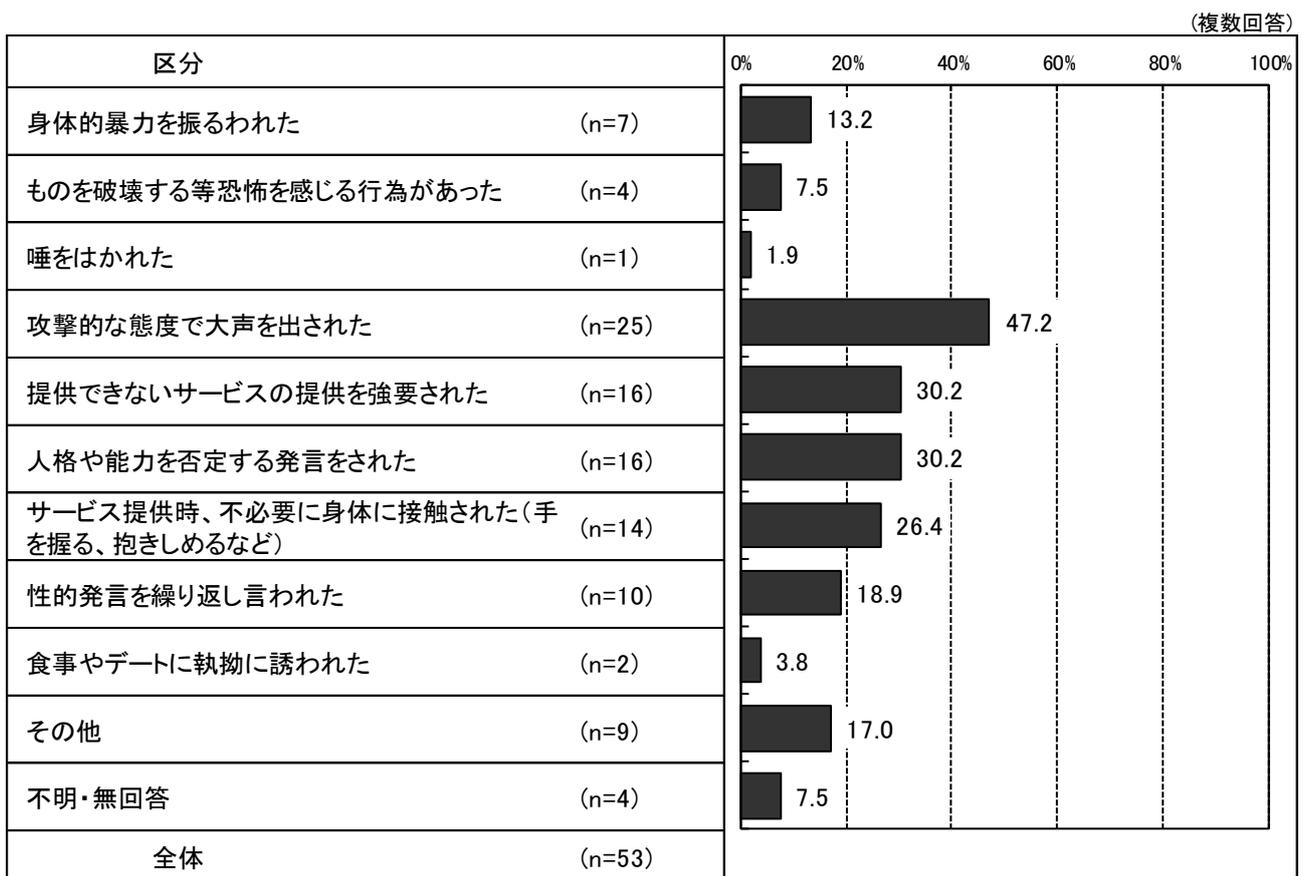
①-2 この1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日までの期間）にハラスメントが原因で離職・休職した人はいましたか。（1つに○）



「いいえ」が86.8%、「はい」が13.2%となっています。

また、ハラスメントが原因で離職・休職した人は計10人となっています。

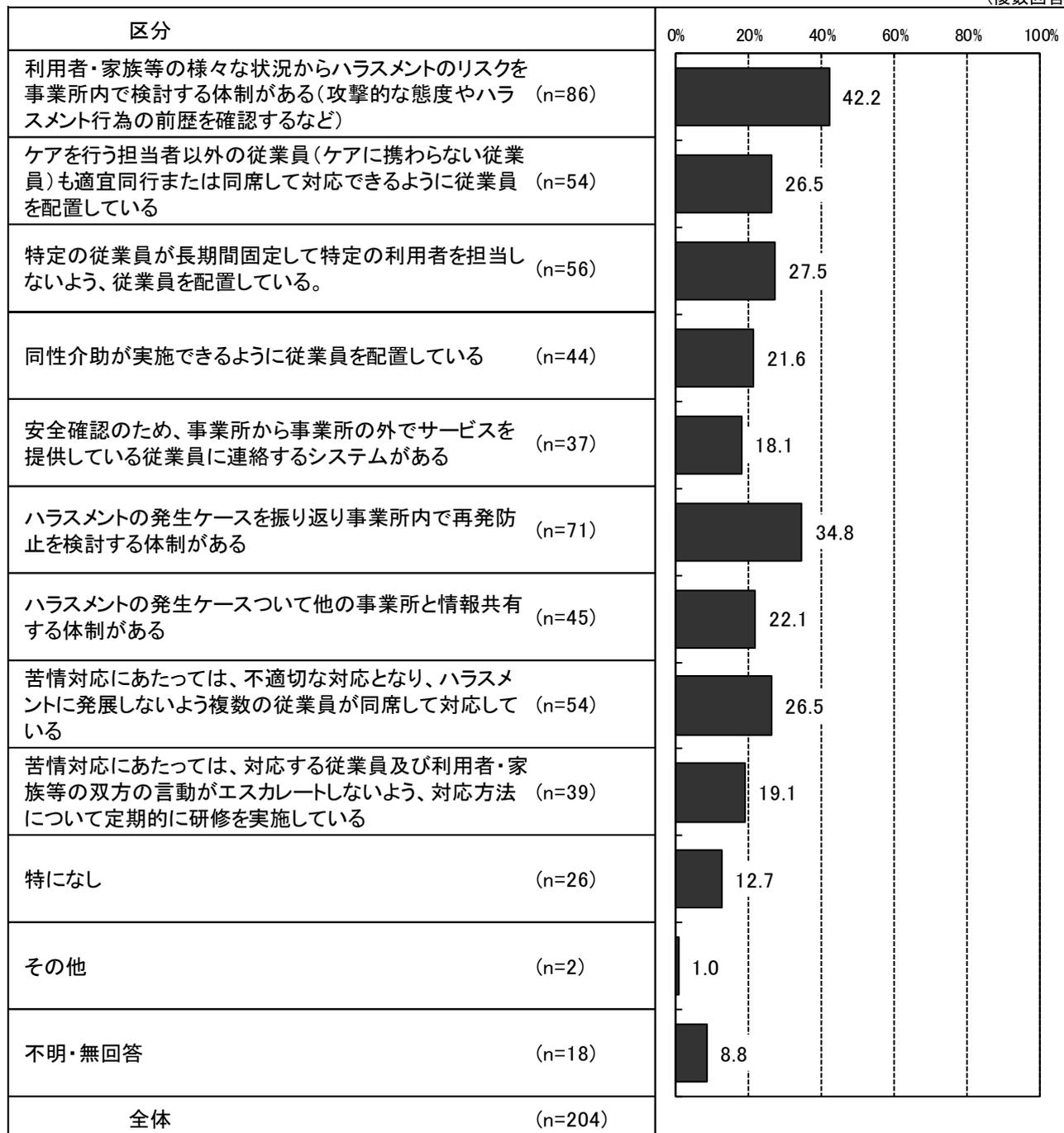
①-3 この1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日までの期間）に発生した利用者・家族等からのハラスメントの内容をお答えください。（あてはまるものすべてに○）



「攻撃的な態度で大声を出された」が47.2%で最も多く、次いで「提供できないサービスの提供を強要された」と「人格や能力を否定する発言をされた」がともに30.2%となっています。

②利用者・家族等からのハラスメントに対する貴事業所の防止対策の整備状況をお答えください。  
 (あてはまるものすべてに○)

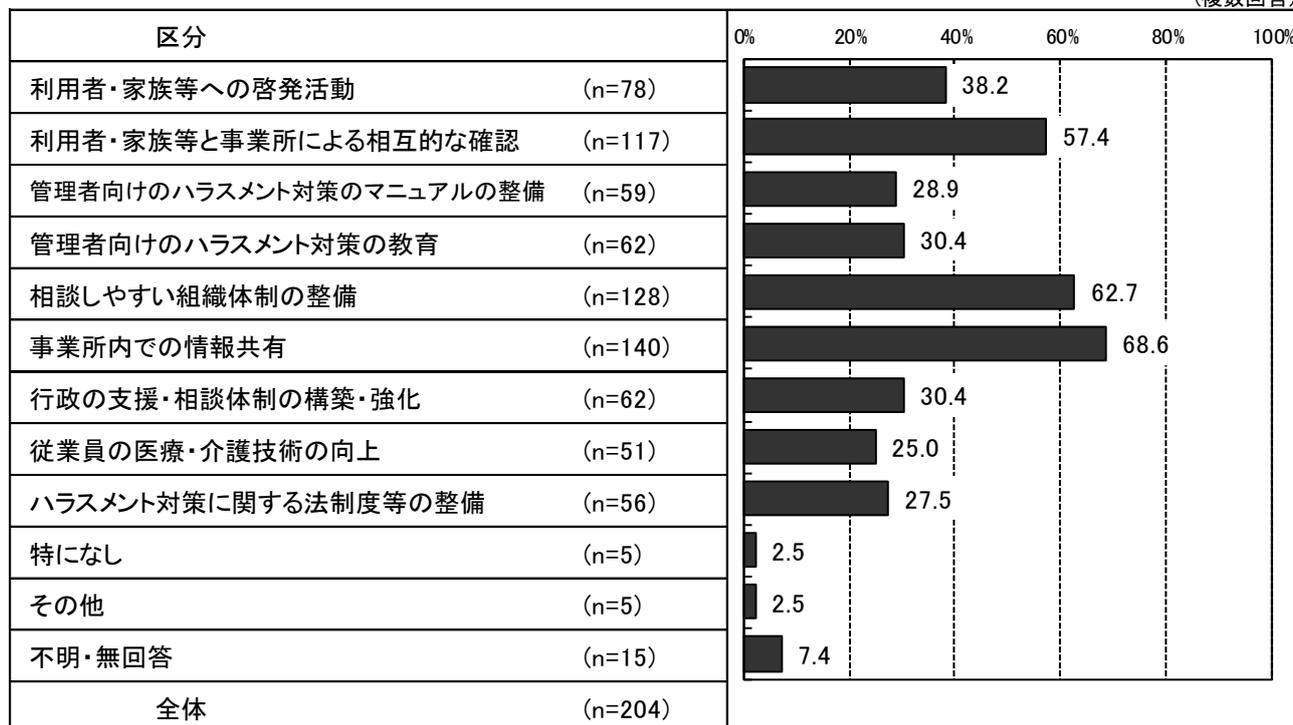
(複数回答)



「利用者・家族等の様々な状況からハラスメントのリスクを事業所内で検討する体制がある(攻撃的な態度やハラスメント行為の前歴を確認するなど)」が 42.2%で最も多く、次いで「ハラスメントの発生ケースを振り返り事業所内で再発防止を検討する体制がある」が 34.8%、「特定の従業員が長期間固定して特定の利用者を担当しないよう、従業員を配置している。」が 27.5%となっています。

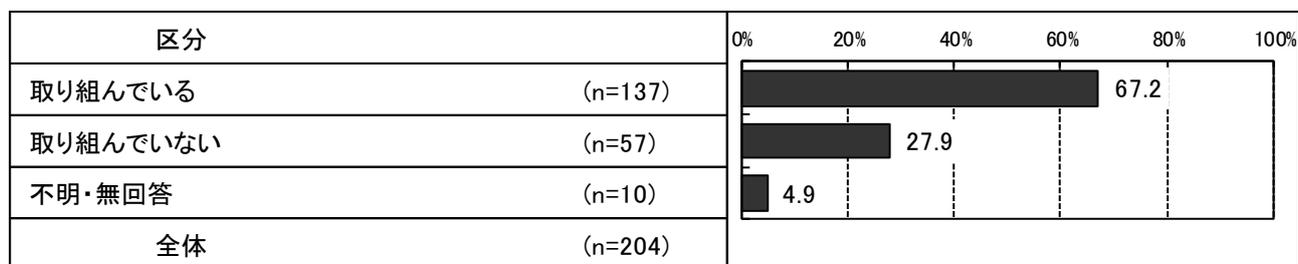
③利用者・家族等からのハラスメントの対応で、貴事業所として必要と考えるものは何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「事業所内での情報共有」が68.6%で最も多く、次いで「相談しやすい組織体制の整備」が62.7%、「利用者・家族等と事業所による相互的な確認」が57.4%となっています。

④貴事業所では、心の健康対策（メンタルヘルスケア）に取り組んでいますか。（1つに○）

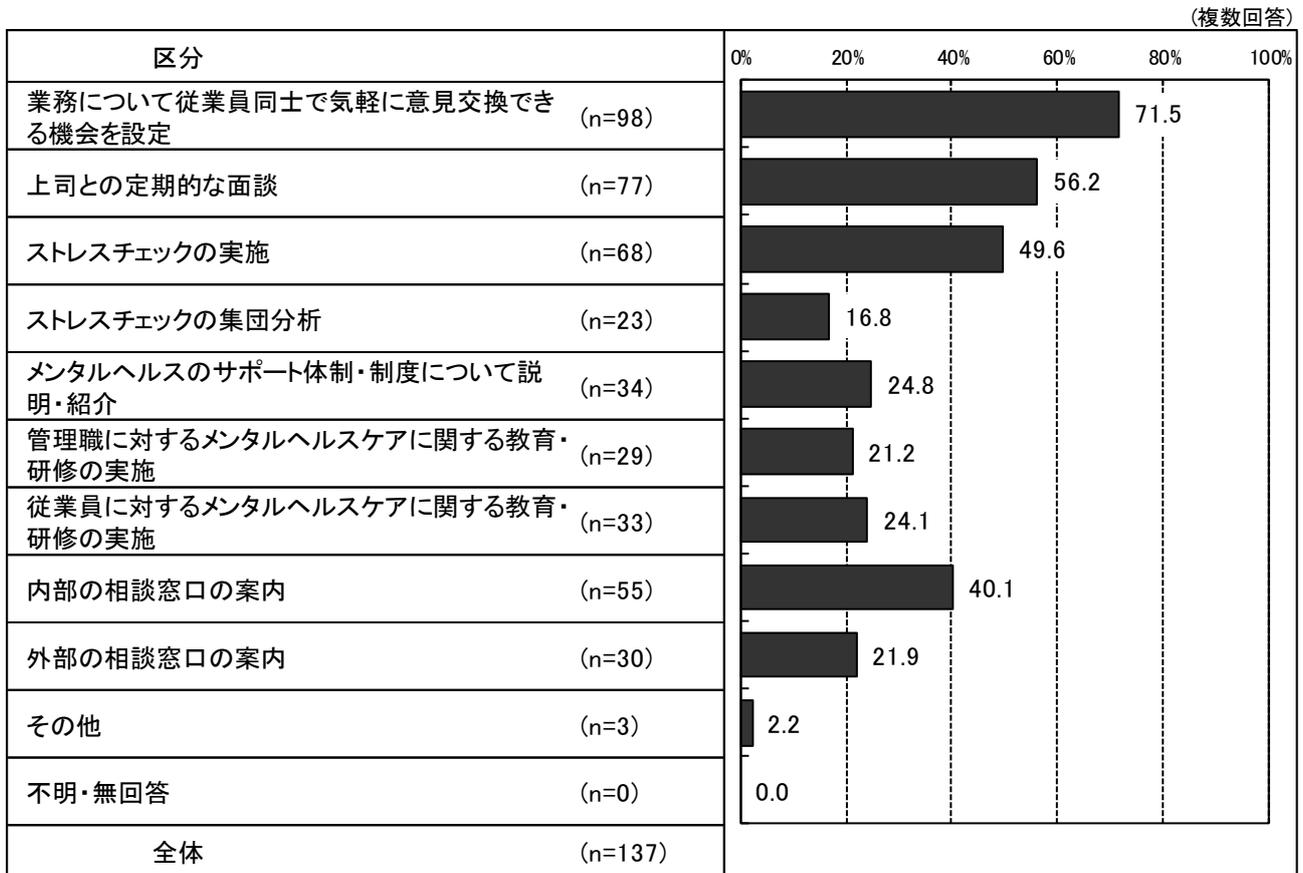


「取り組んでいる」が67.2%、「取り組んでいない」が27.9%となっています。

④で「1. 取り組んでいる」と答えた人におうかがいします。

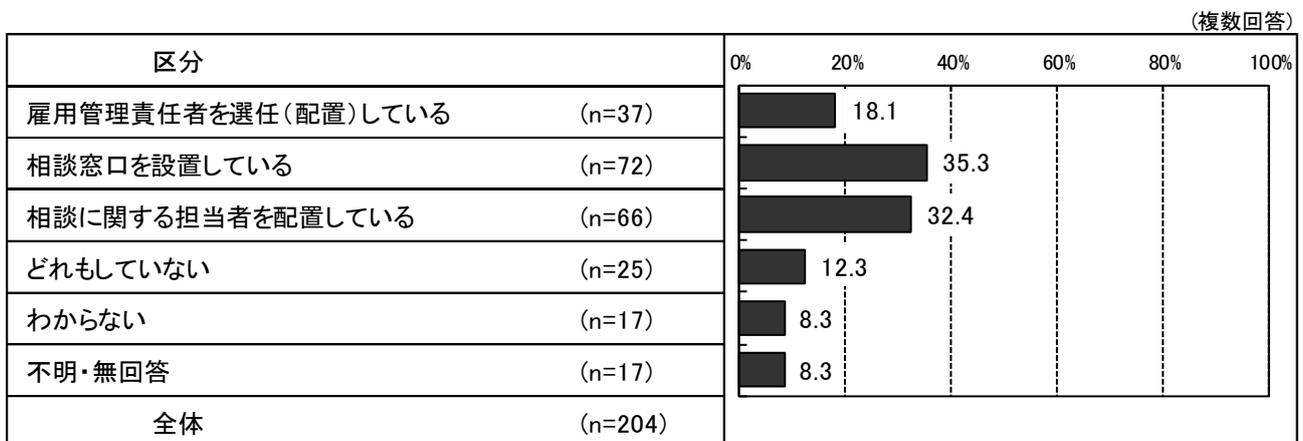
⑤貴事業所で取り組んでいる心の健康対策（メンタルヘルスケア）は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）



「業務について従業員同士で気軽に意見交換できる機会を設定」が 71.5%で最も多く、次いで「上司との定期的な面談」が 56.2%、「ストレスチェックの実施」が 49.6%となっています。

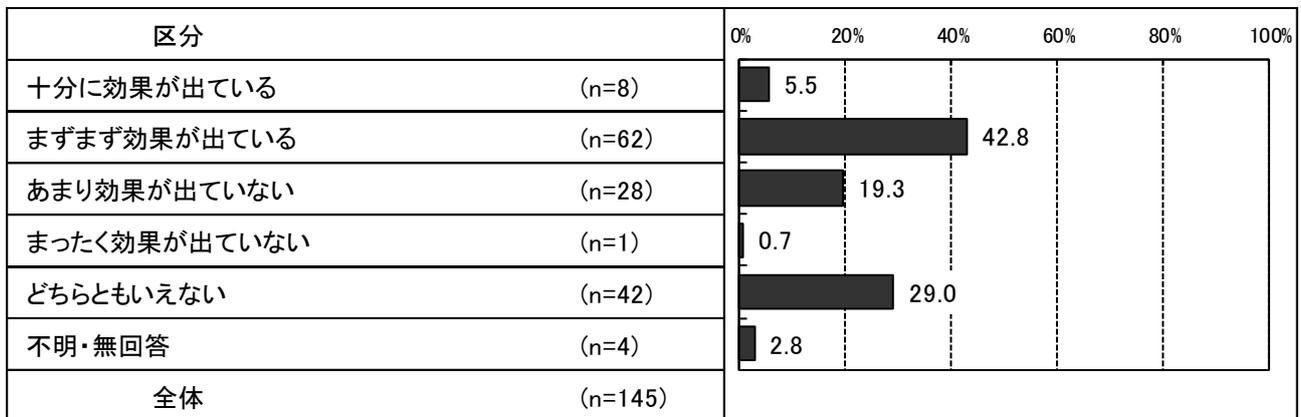
⑥貴事業所では、従業員に何か悩みがある場合、雇用管理責任者またはそれ以外で相談できる窓口や担当者がいますか。（あてはまるものすべてに○）



「相談窓口を設置している」が 35.3%で最も多く、次いで「相談に関する担当者を配置している」が 32.4%、「雇用管理責任者を選任（配置）している」が 18.1%となっています。

⑥で「1」～「3」を答えた人におうかがいします。

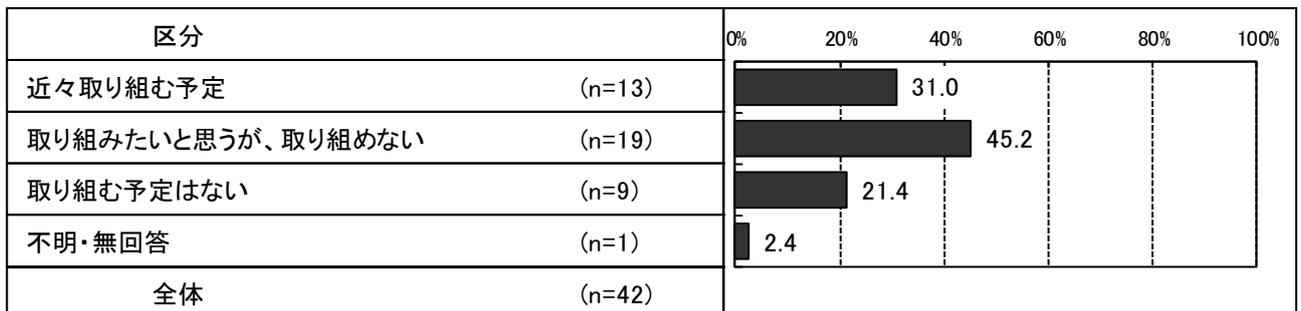
⑥-1 相談体制を整えたことで、従業員の確保（採用・離職防止・定着促進面）で効果は出ていますか。（1つに○）



「まずまず効果が出ている」が42.8%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が29.0%、「あまり効果が出ていない」が19.3%となっています。

⑥で「4. どれもしていない」もしくは「5. わからない」と答えた人におうかがいします。

⑥-2 今後、雇用管理責任者の専任や相談できる窓口・担当者を配置することに取り組みたいと思いますか。（1つに○）



「取り組みたいと思うが、取り組めない」が45.2%で最も多く、次いで「近々取り組む予定」が31.0%、「取り組む予定はない」が21.4%となっています。

## 問5 新型コロナウイルス感染症による影響について

①貴事業所は新型コロナウイルス蔓延（概ね令和2年2月ぐらい）以前から事業を運営していましたか。（1つに○）

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
運営していた	(n=176)						
運営していない	(n=23)						
不明・無回答	(n=5)						
全体	(n=204)						

「運営していた」が86.3%、「運営していない」が11.3%となっています。

①で「1. 運営していた」と答えた人におうかがいします。

②新型コロナウイルス蔓延に伴い、サービスの利用状況に影響（概ね令和2年2月以前と比べて）がありましたか。複数のサービスを併設している事業所においては、全体を通してお答えください。（1つに○）

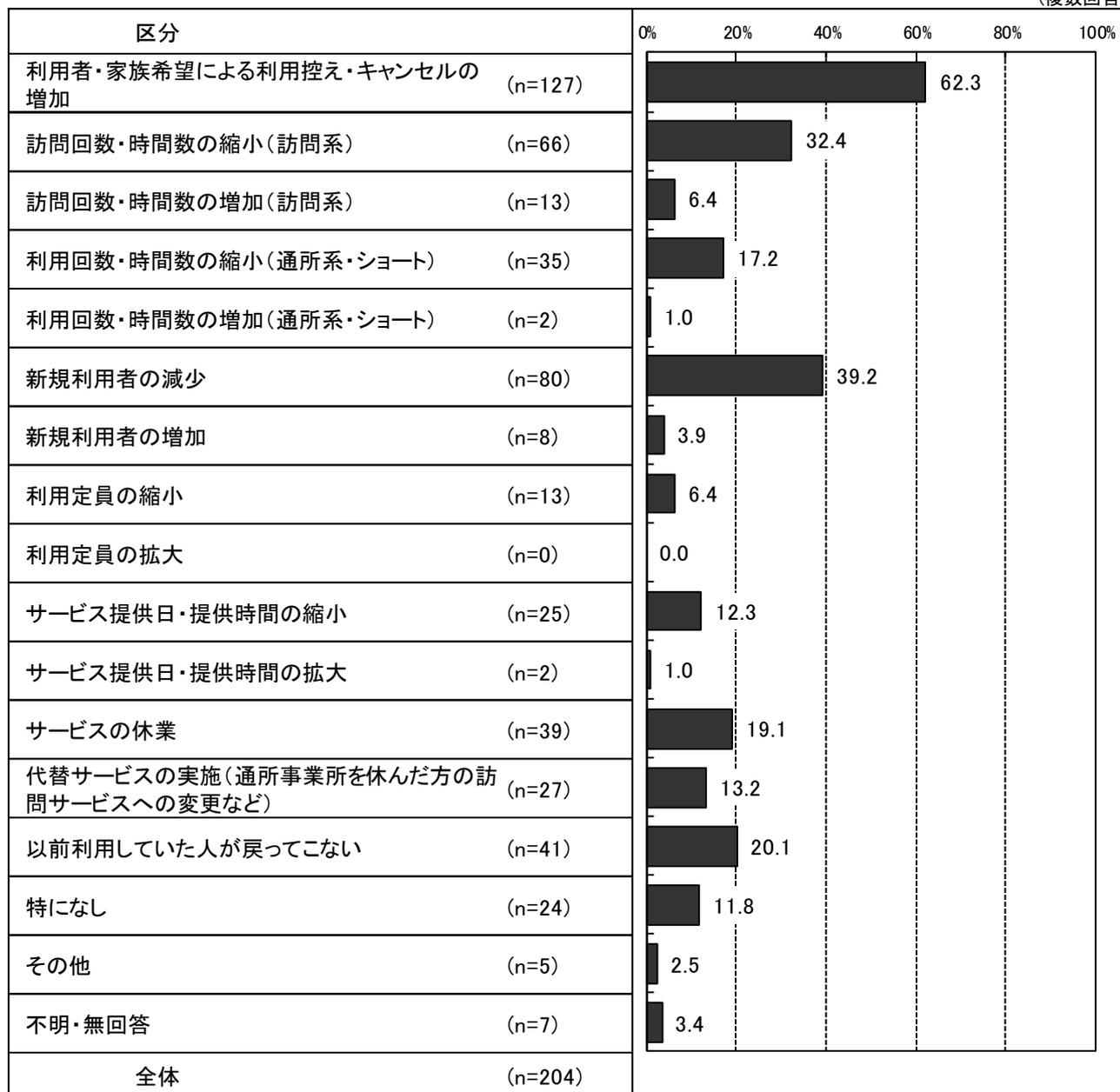
区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用が増加した	(n=13)						
変化なし	(n=69)						
利用が減少した	(n=91)						
不明・無回答	(n=3)						
全体	(n=176)						

「利用が減少した」が51.7%で最も多く、次いで「変化なし」が39.2%、「利用が増加した」が7.4%となっています。

③この1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日までの期間）のサービス提供にあたって、新型コロナウイルス蔓延が与えた影響について、あてはまるものに○をつけてください。複数のサービスを併設している事業所においては、全体を通してお答えください。

（あてはまるものすべてに○）

（複数回答）

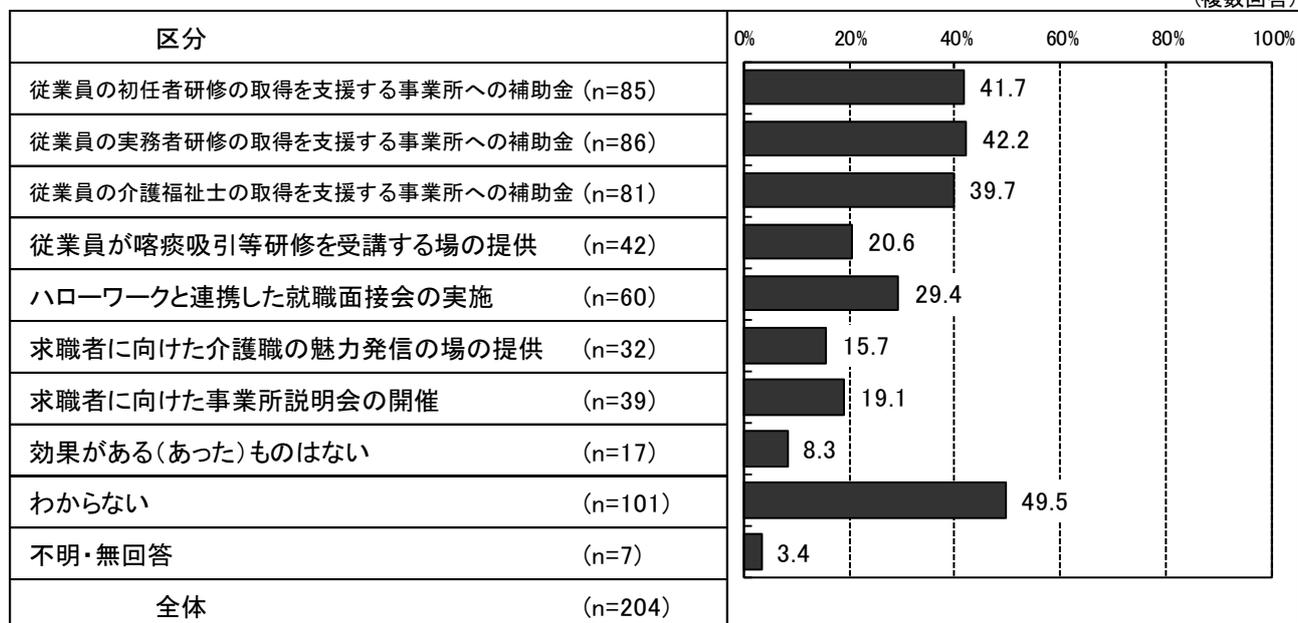


「利用者・家族希望による利用控え・キャンセルの増加」が 62.3%で最も多く、次いで「新規利用者の減少」が 39.2%、「訪問回数・時間数の縮小（訪問系）」が 32.4%となっています。

## 問6 行政による支援等について

①吹田市では、平成30年度から令和4年度までの間に介護人材の確保のための施策として、以下の施策を実施してきました。このうち、介護人材の確保に効果的だったと思うものは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)

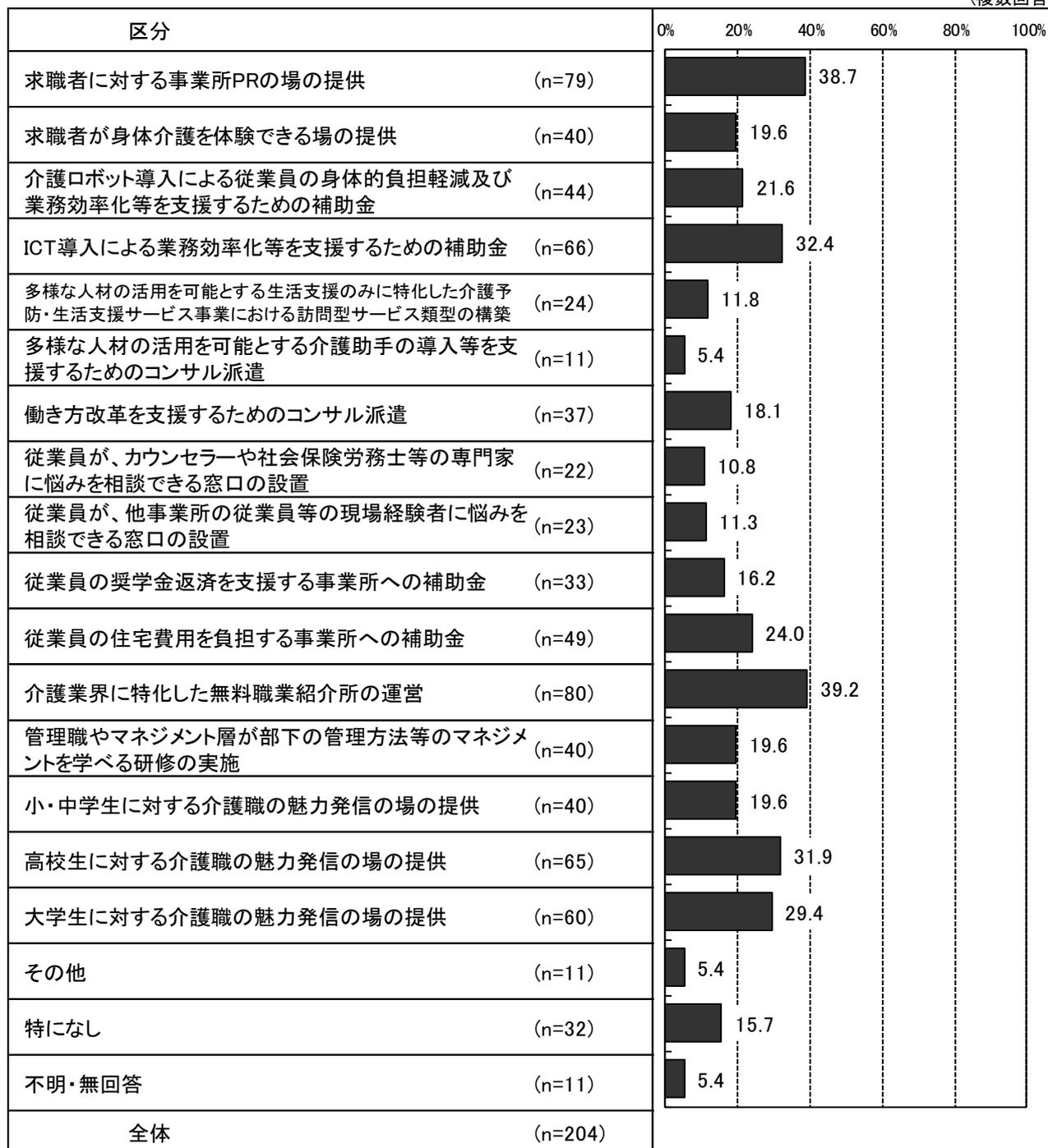


「わからない」が49.5%で最も多く、次いで「従業員の実務者研修の取得を支援する事業所への補助金」が42.2%、「従業員の初任者研修の取得を支援する事業所への補助金」が41.7%となっています。

②介護人材の確保のための施策として、以下のうち効果的だと思うものは何ですか。

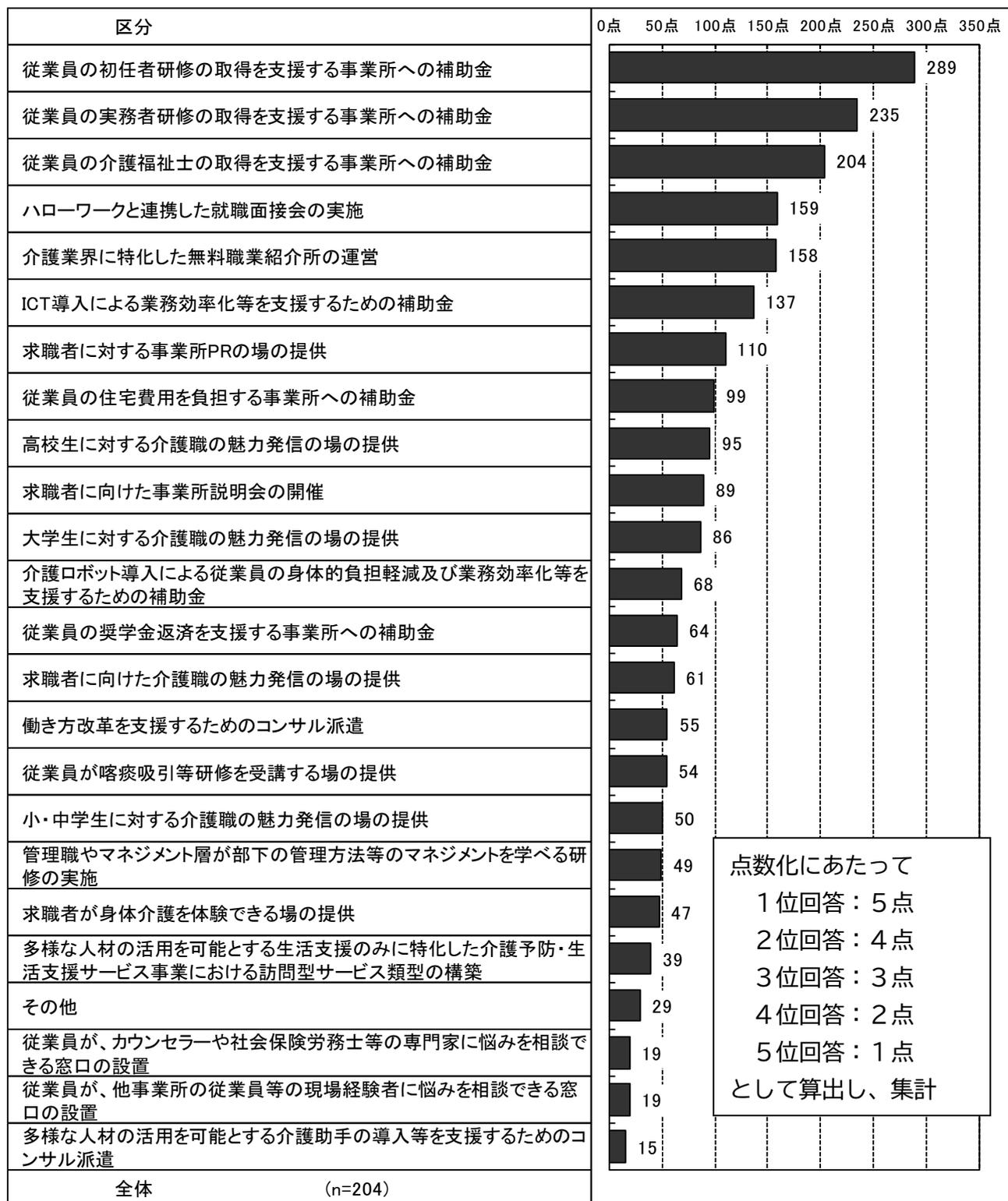
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「介護業界に特化した無料職業紹介所の運営」が 39.2%で最も多く、次いで「求職者に対する事業所 PR の場の提供」が 38.7%、「ICT 導入による業務効率化等を支援するための補助金」が 32.4%となっています。

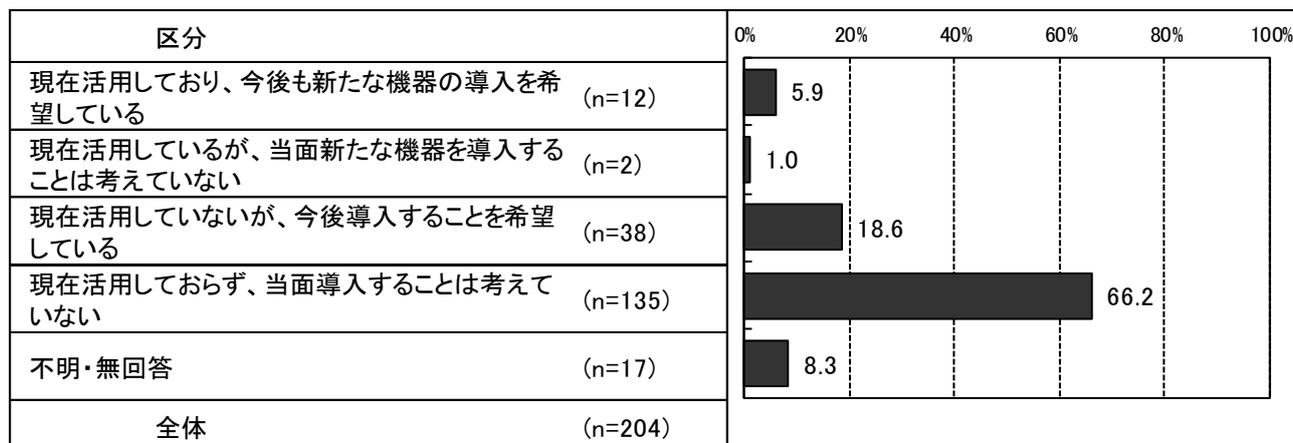
③①、②で記載した介護人材の確保のための施策のうち、最も効果的だと思うものを、効果が高いと思う順に5つまで選択してください。



「従業員の初任者研修の取得を支援する事業所への補助金」が 289 点で最も高く、次いで「従業員の実務者研修の取得を支援する事業所への補助金」が 235 点、「従業員の介護福祉士の取得を支援する事業所への補助金」が 204 点となっています。

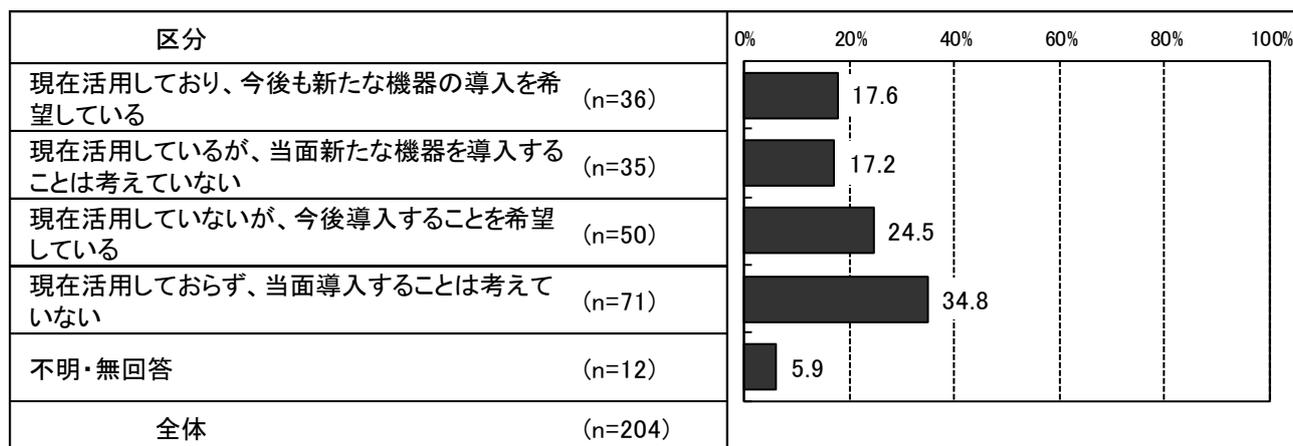
④介護ロボットやICTの導入について、意向はありますか。（1つに○）

④-1 介護ロボット



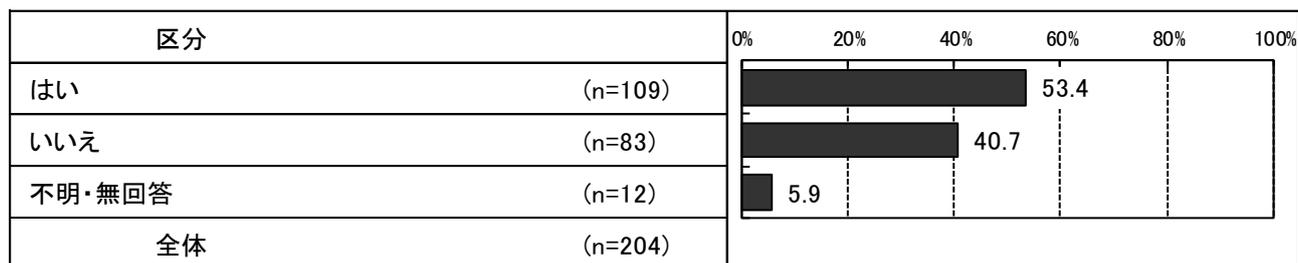
「現在活用しておらず、当面導入することは考えていない」が 66.2%で最も多く、次いで「現在活用していないが、今後導入することを希望している」が 18.6%、「現在活用しており、今後も新たな機器の導入を希望している」が 5.9%となっています。

④-2 ICT



「現在活用しておらず、当面導入することは考えていない」が 34.8%で最も多く、次いで「現在活用していないが、今後導入することを希望している」が 24.5%、「現在活用しており、今後も新たな機器の導入を希望している」が 17.6%となっています。

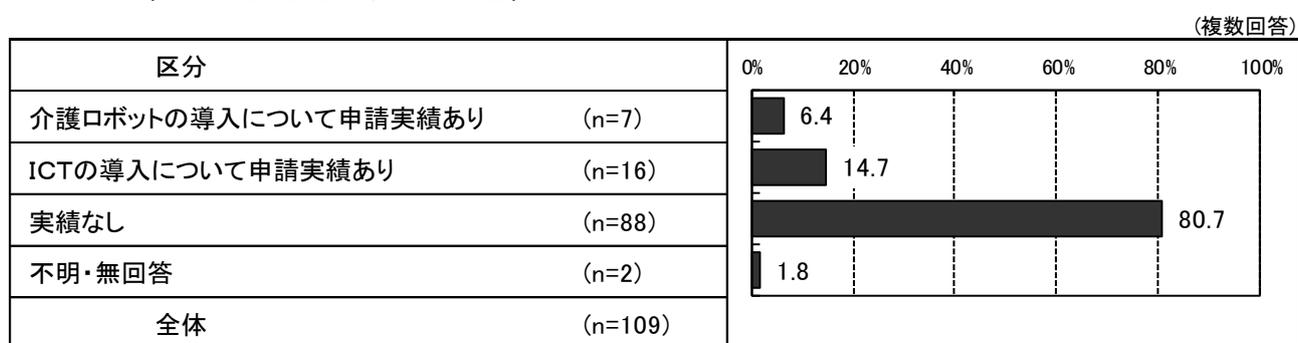
⑤介護ロボットやICTの導入に際して、大阪府が補助金を出していることを知っていますか。  
(1つに○)



「はい」が53.4%、「いいえ」が40.7%となっています。

⑤で「1. はい」と答えた方におうかがいします。

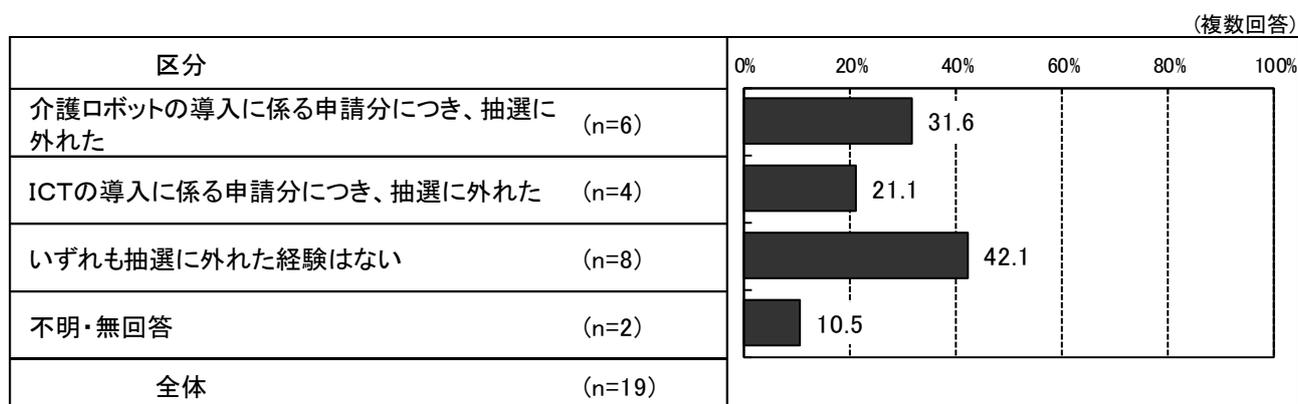
⑤-1 大阪府の補助金について、令和4年度に申請した実績はありますか。  
(あてはまるものすべてに○)



「実績なし」が80.7%で最も多く、次いで「ICTの導入について申請実績あり」が14.7%、「介護ロボットの導入について申請実績あり」が6.4%となっています。

⑤-1で「1」もしくは「2」と答えた人におうかがいします。

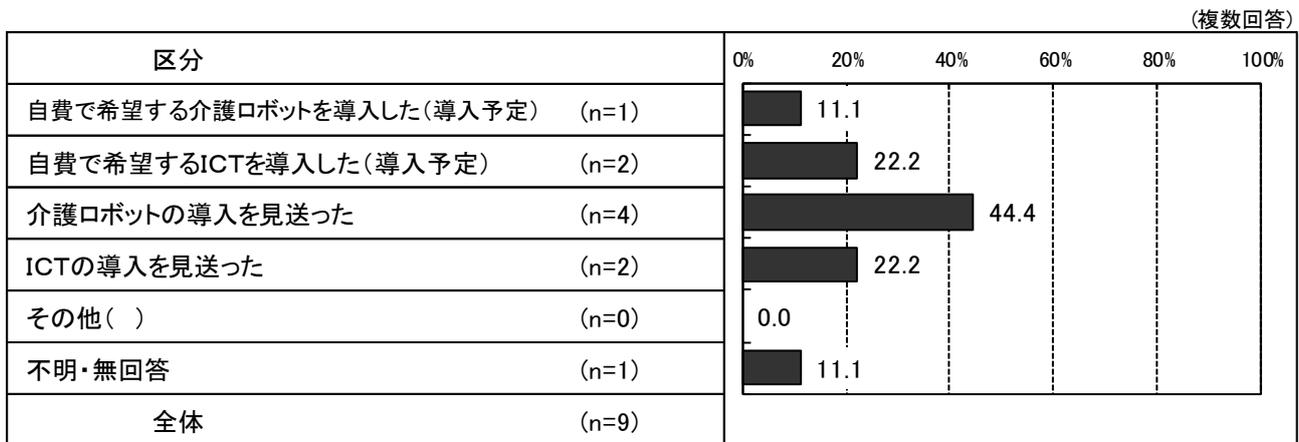
⑤-2 令和4年度に補助金を申請した際、抽選に外れた経験はありますか。  
(あてはまるものすべてに○)



「いずれも抽選に外れた経験はない」が42.1%で最も多く、次いで「介護ロボットの導入に係る申請分につき、抽選に外れた」が31.6%、「ICTの導入に係る申請分につき、抽選に外れた」が21.1%となっています。

⑤-2で「1」もしくは「2」と答えた人におうかがいします。

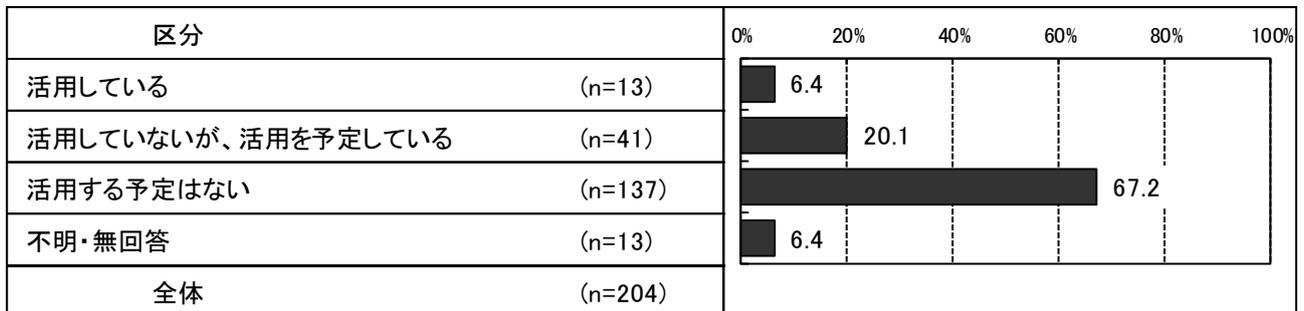
⑤-3 抽選に外れた後、どのような対応を取られましたか。(あてはまるものすべてに○)



「介護ロボットの導入を見送った」が44.4%で最も多く、次いで「自費で希望するICTを導入した(導入予定)」と「ICTの導入を見送った」がともに22.2%となっています。

## 問7 介護予防の取組について

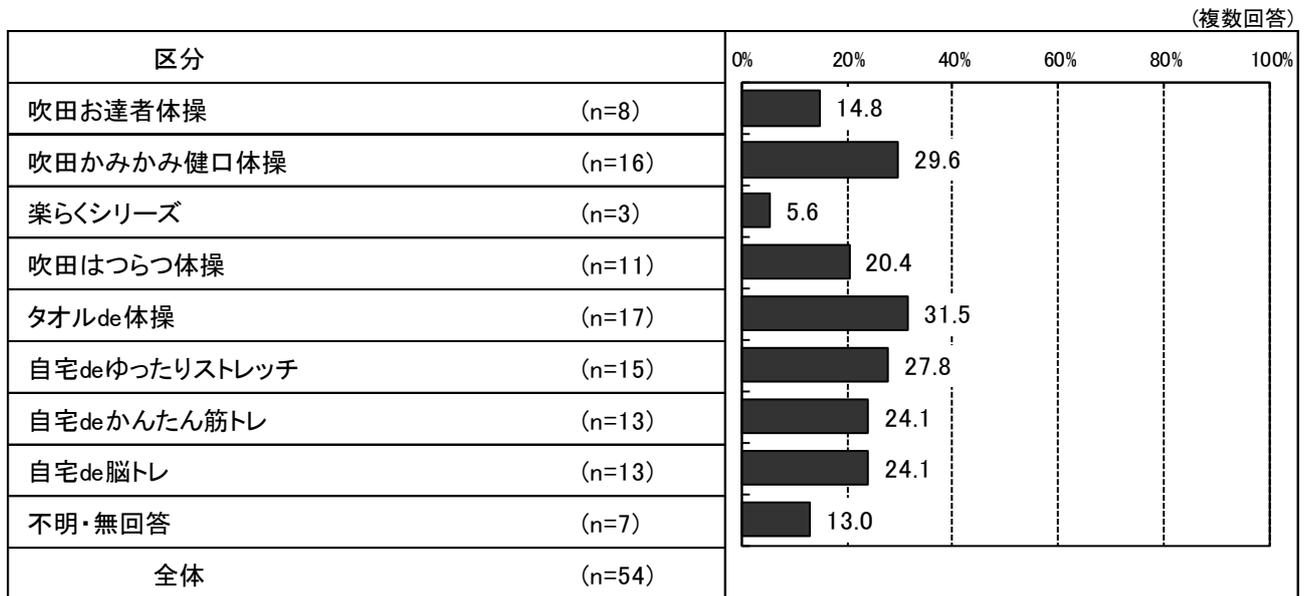
①吹田市各種オリジナル介護予防体操を活用されていますか。(1つに○)



「活用する予定はない」が67.2%で最も多く、次いで「活用していないが、活用を予定している」が20.1%、「活用している」が6.4%となっています。

①で「1」もしくは「2」と答えた方におうかがいします。

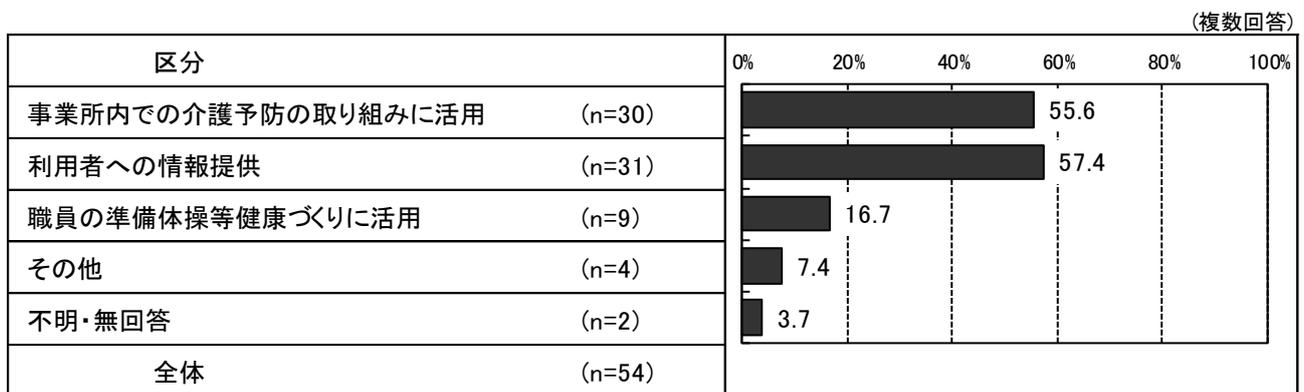
①-1 活用を希望するまたは既に活用している体操はどれですか。  
(あてはまるものすべてに○)



「タオル de 体操」が 31.5%で最も多く、次いで「吹田かみかみ健口体操」が 29.6%、「自宅 de ゆったりストレッチ」が 27.8%となっています。

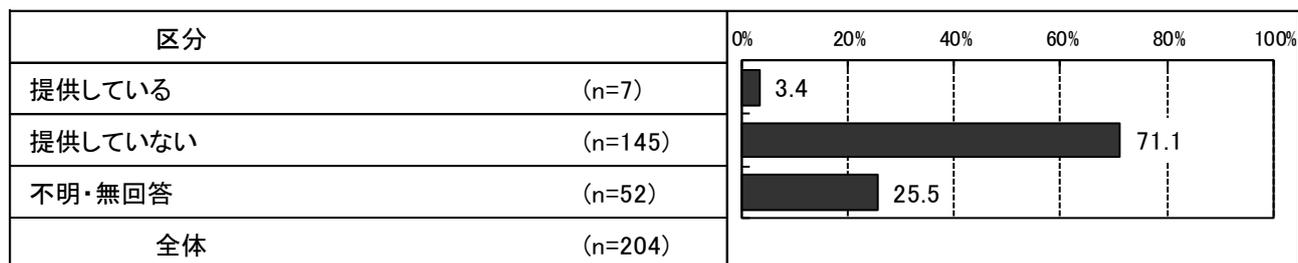
①で「1」もしくは「2」と答えた人におうかがいします。

①-2 各体操の活用方法について教えてください。(あてはまるものすべてに○)



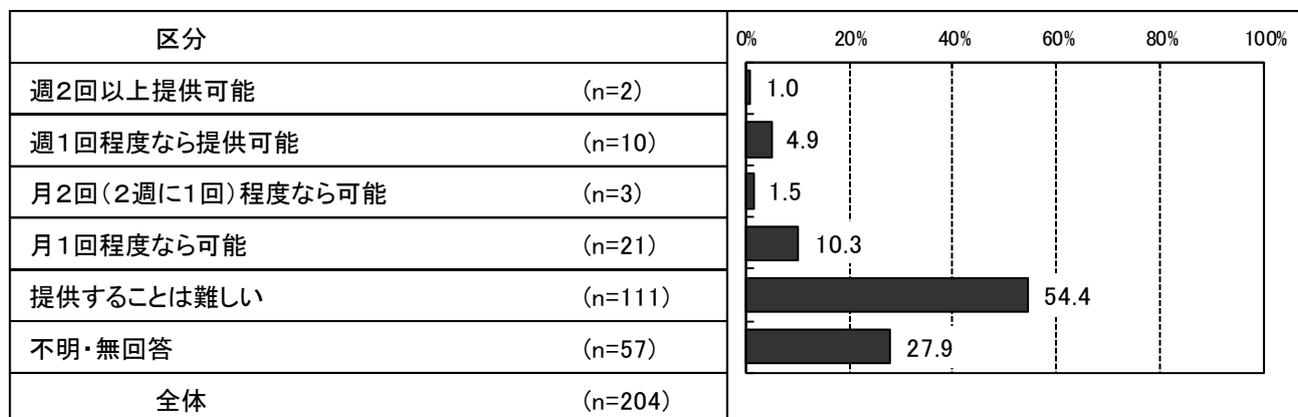
「利用者への情報提供」が 57.4%で最も多く、次いで「事業所内での介護予防の取り組みに活用」が 55.6%、「職員の準備体操等健康づくりに活用」が 16.7%となっています。

②地域住民への介護予防の普及啓発や社会貢献として、住民主体の自主グループに貴施設内の会議室等の場所を提供していますか。（1つに○）



「提供していない」が71.1%、「提供している」が3.4%となっています。

③今後、住民主体の自主グループに貴施設内の会議室等の場所を提供することは可能ですか。（1つに○）



「提供することは難しい」が54.4%で最も多く、次いで「月1回程度なら可能」が10.3%、「週1回程度なら提供可能」が4.9%となっています。

## 問8 施設の稼働率について

①運営しているサービスにつきまして、令和4年度（令和4年4月1日から令和4年12月31日まで）における平均的な月間の稼働状況をお答えください。

		利用者 (入所者) 数	定員数	稼働率
介護老人福祉施設 (n=8)	合計	775	830	93.4%
	平均	96.9	103.8	
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護 (n=3)	合計	78	87	89.7%
	平均	26.0	29.0	
介護老人保健施設 (n=4)	合計	473	518	91.3%
	平均	118.3	129.5	
認知症対応型共同生活介護 (n=10)	合計	138	148	93.2%
	平均	13.8	14.8	
通所介護 (n=15)	合計	705	1181	59.7%
	平均	47.0	78.7	
地域密着型通所介護 (n=9)	合計	77	122	63.1%
	平均	8.6	13.6	
認知症対応型通所介護 (n=4)	合計	22	42	52.4%
	平均	5.5	10.5	

介護老人福祉施設・介護老人保健施設などの施設・居住系サービスの稼働率は約9割となっています。

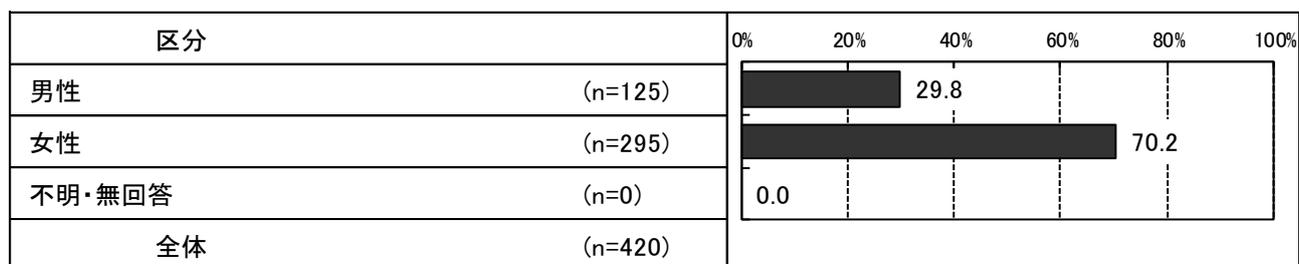
通所介護・地域密着型通所介護などの通所系サービスの稼働率は5～6割となっています。

## 第3章 介護保険サービス事業所従業員調査結果

### 問1 あなた御自身について

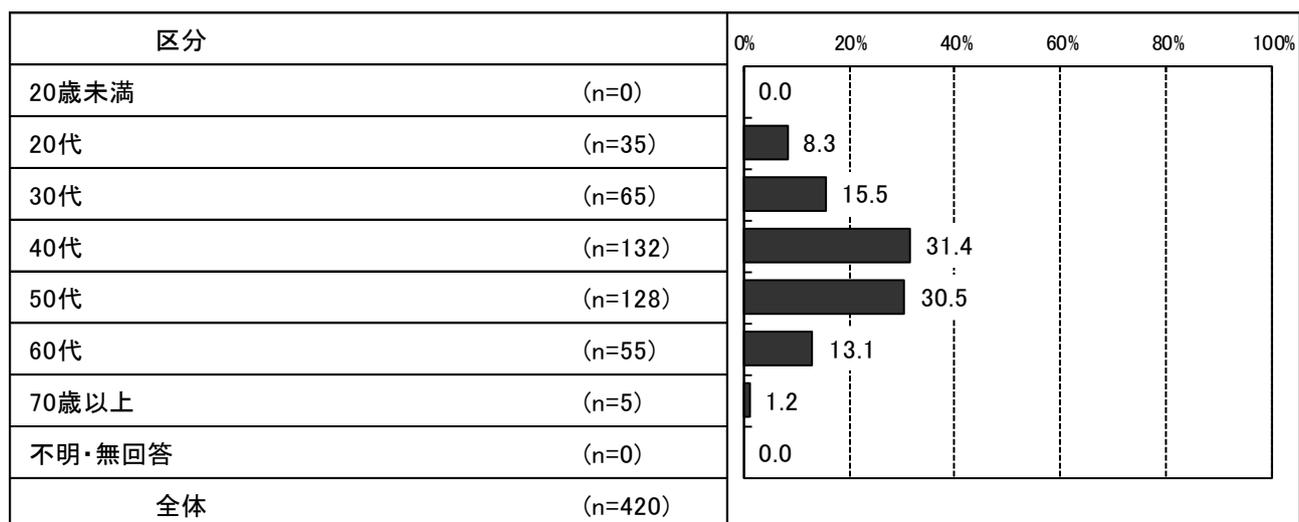
(1) あなた御自身について、御回答ください。

#### ①性別（1つだけ○）



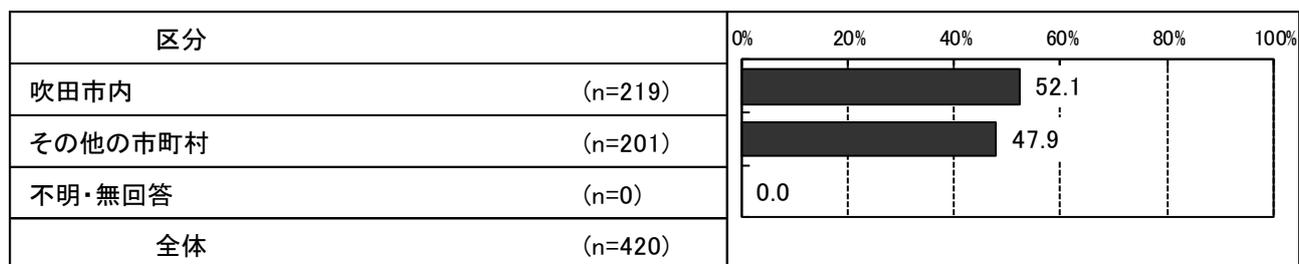
「女性」が70.2%、「男性」が29.8%となっています。

#### ②年齢（1つだけ○）



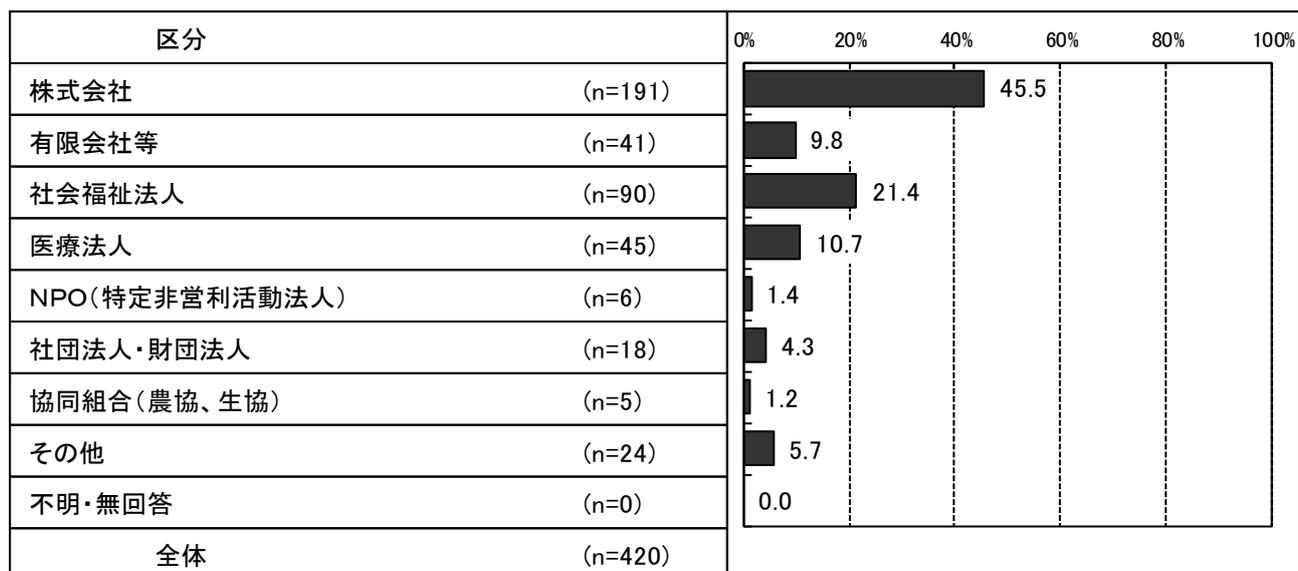
「40代」が31.4%で最も多く、次いで「50代」が30.5%、「30代」が15.5%となっています。

#### ③居住地（1つだけ○）



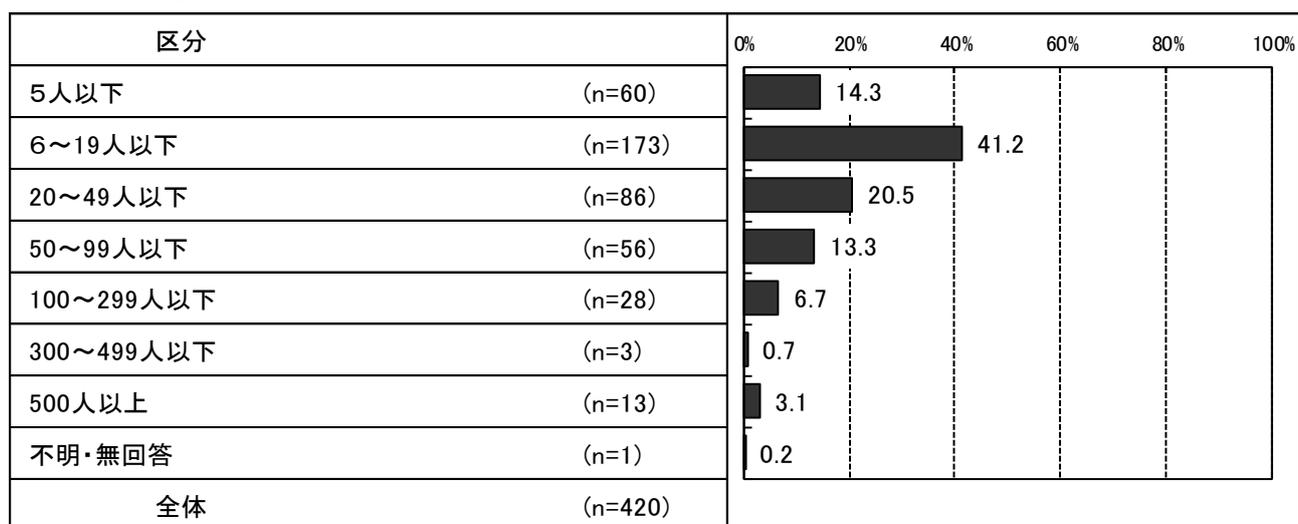
「吹田市内」が52.1%、「その他の市町村」が47.9%となっています。

#### ④事業所の法人種類（1つだけ○）



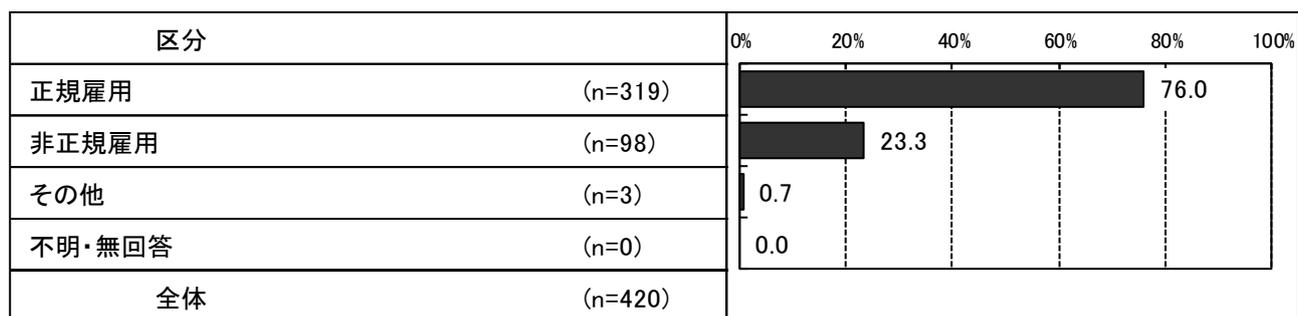
「株式会社」が45.5%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が21.4%、「医療法人」が10.7%となっています。

#### ⑤事業所の従業員規模（1つだけ○）



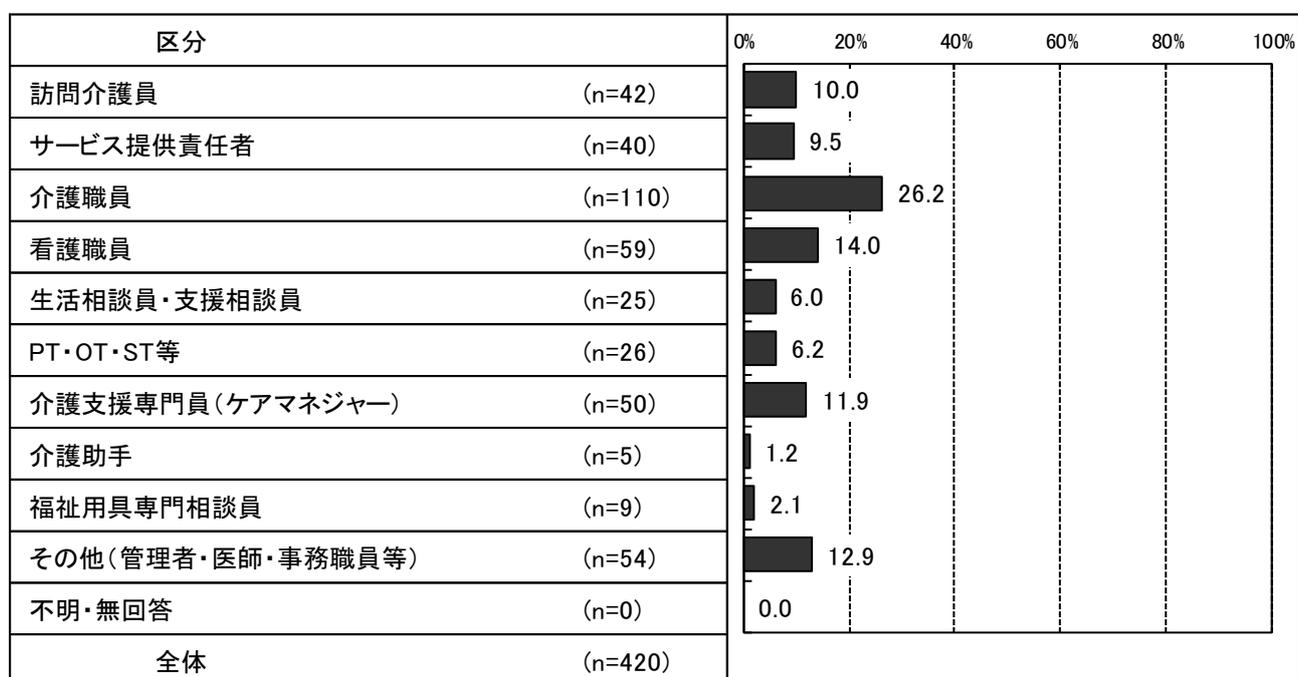
「6～19人以下」が41.2%で最も多く、次いで「20～49人以下」が20.5%、「5人以下」が14.3%となっています。

⑥雇用形態（1つだけ○）



「正規雇用」が76.0%で最も多く、次いで「非正規雇用」が23.3%、「その他」が0.7%となっています。

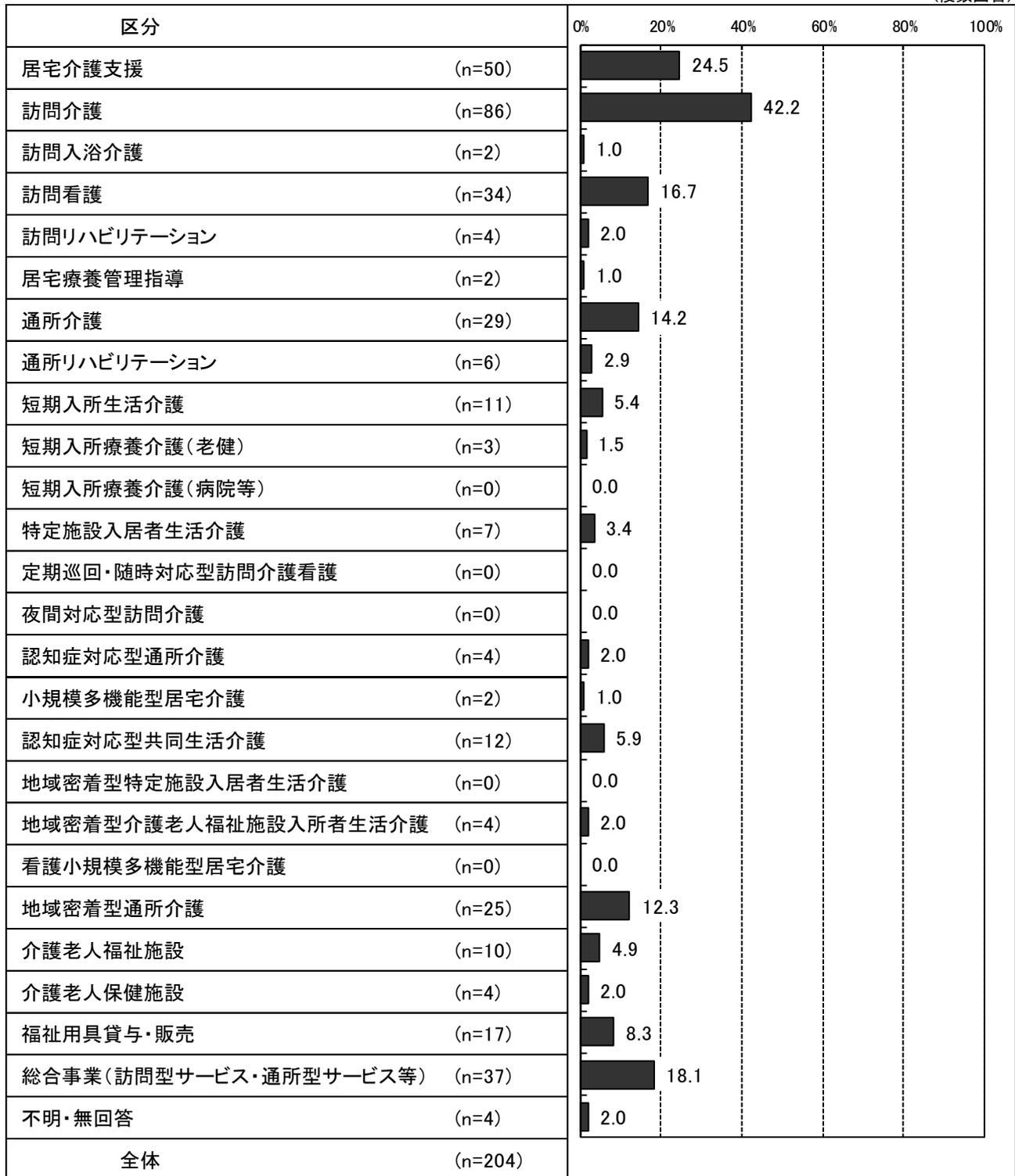
(2) あなたの主な仕事（職種）は次のうちどれにあてはまりますか。（1つだけ○）



「介護職員」が26.2%で最も多く、次いで「看護職員」が14.0%、「その他（管理者・医師・事務職員等）」が12.9%となっています。

(3) あなたが主として働いている介護保険サービスは何ですか。(主なものを1つに○)

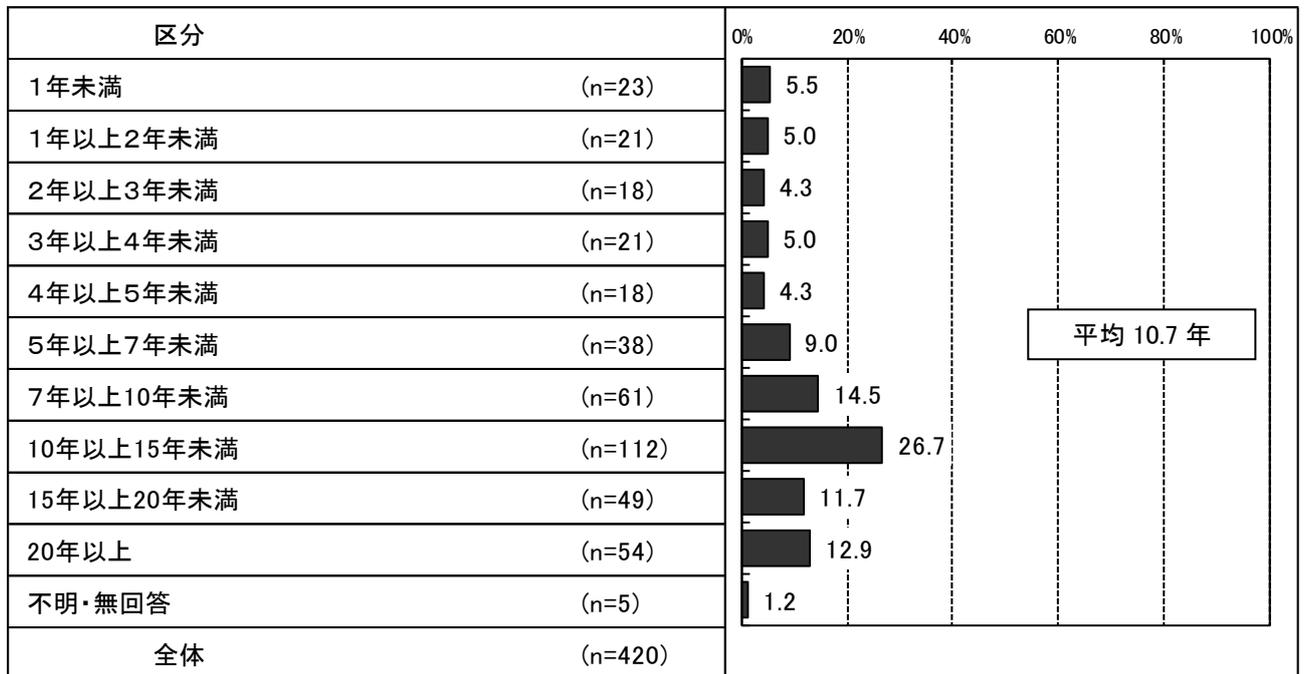
(複数回答)



「訪問介護」が23.8%で最も多く、次いで「訪問看護」が14.8%、「居宅介護支援」が13.3%となっています。

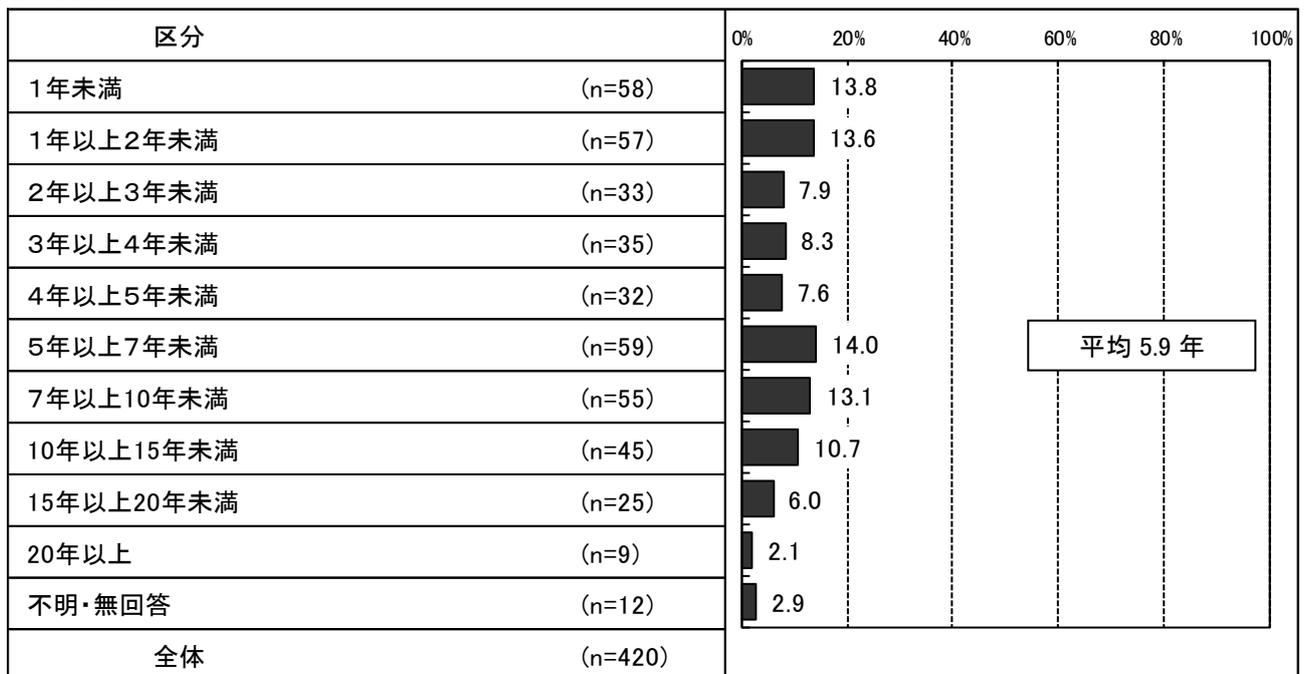
(4) 上記(2)で記入した主な仕事(職種)の経験年数を御記入ください。ほかの法人での経験年数も含めて御記入ください。また、今働いている事業所での勤続年数を御記入ください。

①経験年数



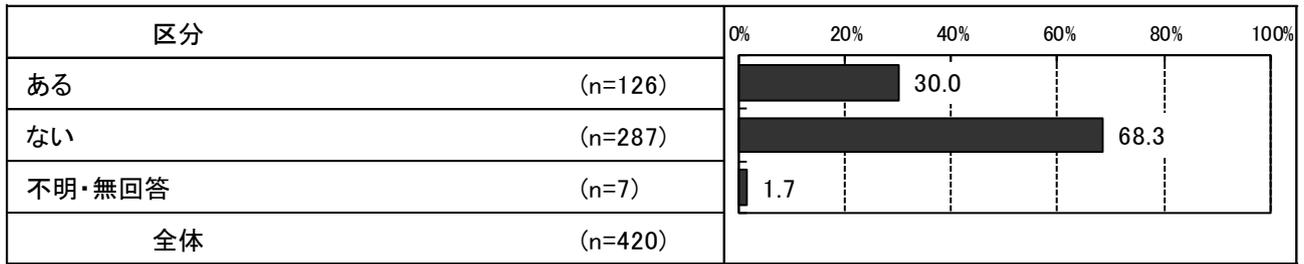
「10年以上15年未満」が26.7%で最も多く、次いで「7年以上10年未満」が14.5%、「20年以上」が12.9%となっています。平均10.7年となっています。

②勤続年数



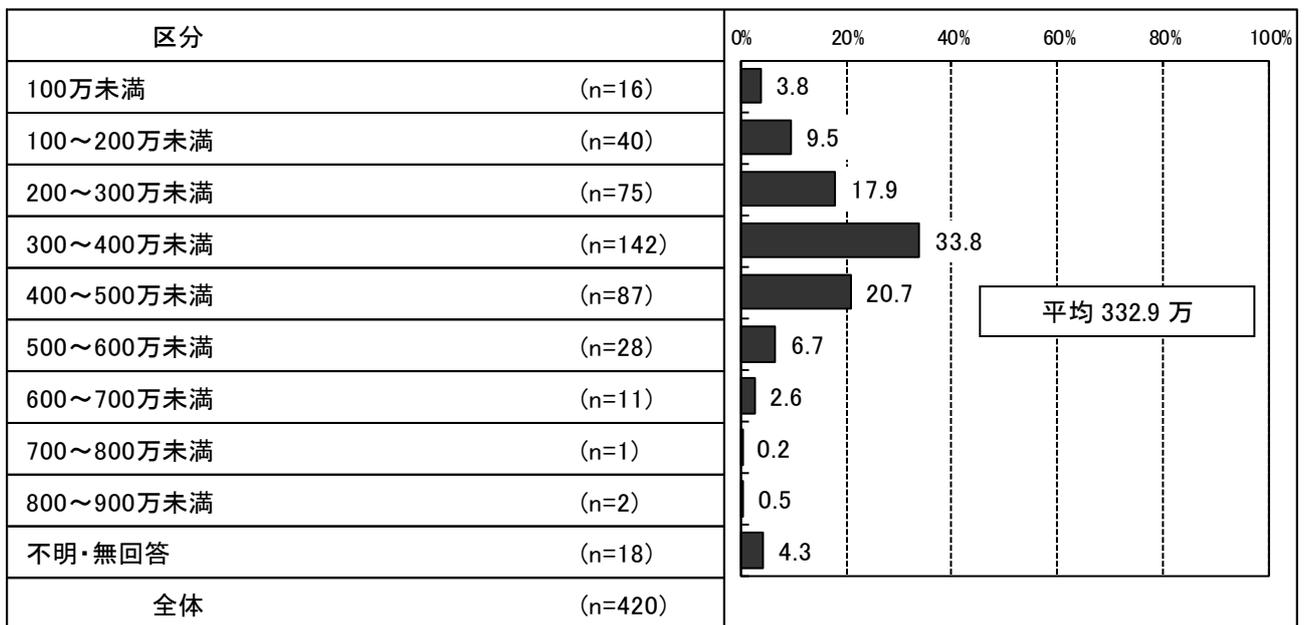
「5年以上7年未満」が14.0%で最も多く、次いで「1年未満」が13.8%、「1年以上2年未満」が13.6%となっています。平均5.9年となっています。

(5) あなたが今働いている事業所にて、深夜勤務（夜10時～朝5時）はありますか。  
 (1つだけ○)



「ない」が68.3%、「ある」が30.0%となっています。

(6) あなたの令和4年の年収（万円単位、千円以下切り捨て）を御記入ください。

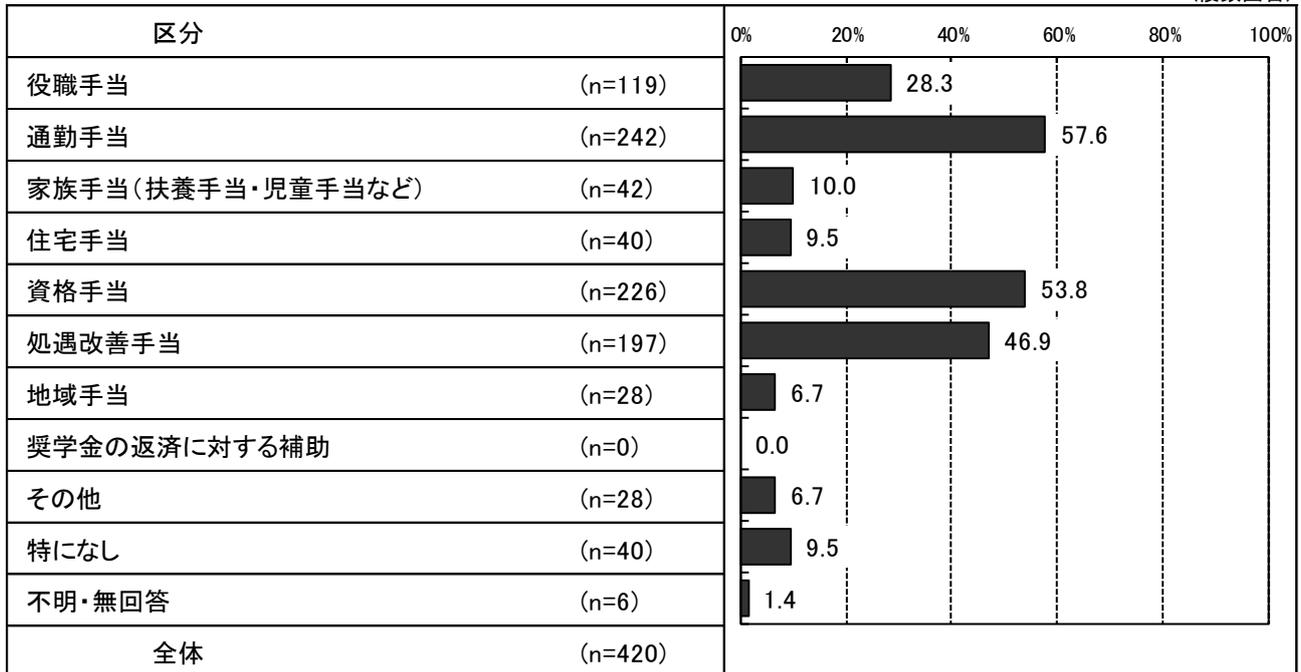


「300～400万未満」が33.8%で最も多く、次いで「400～500万未満」が20.7%、「200～300万未満」が17.9%となっています。平均332.9万円となっています。

(7) 以下の手当の中で、あなたが支給されているものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「通勤手当」が57.6%で最も多く、次いで「資格手当」が53.8%、「処遇改善手当」が46.9%となっています。

(8) 以下の資格の中で、あなたが持っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「介護福祉士」が 52.9%で最も多く、次いで「ホームヘルパー2級」が 24.8%、「介護支援専門員(ケアマネジャー)」が 16.0%となっています。

(9) 以下の資格の中で、あなたが今後取得したいと思うものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)

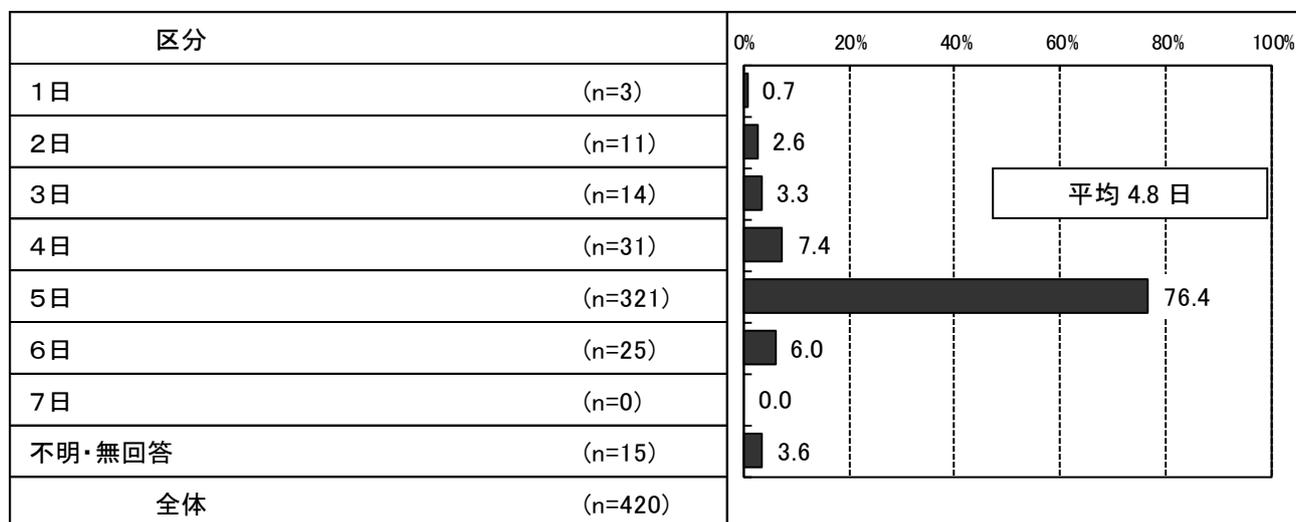


「特にない」が 49.0%で最も多く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が 17.6%、「介護福祉士」が 10.0%となっています。

## 問2 働き方やあなたのお考え等について

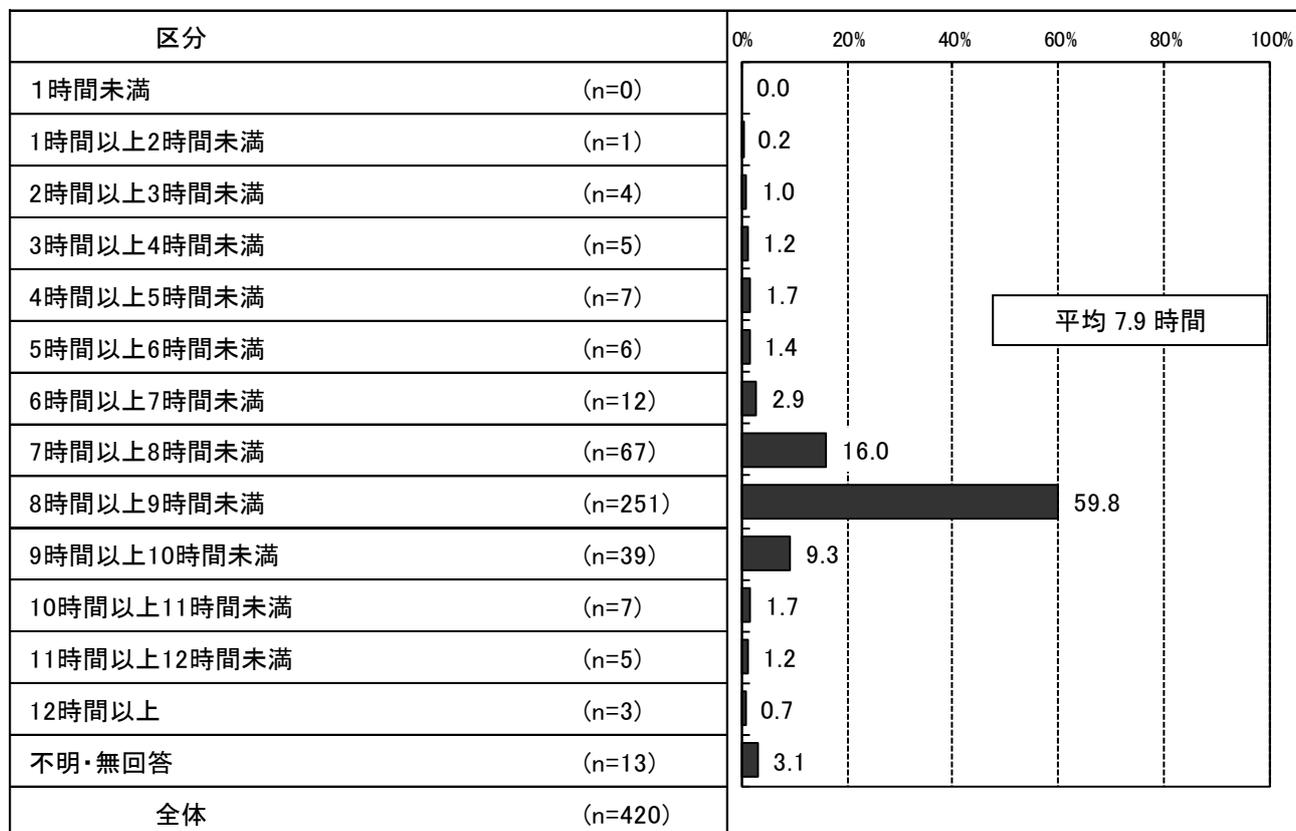
(1) あなたが働く職場での通常の1週間（月曜日～日曜日まで）に働く日数及び時間数をお答えください。

### ①週あたりの勤務日数（数値を記入）



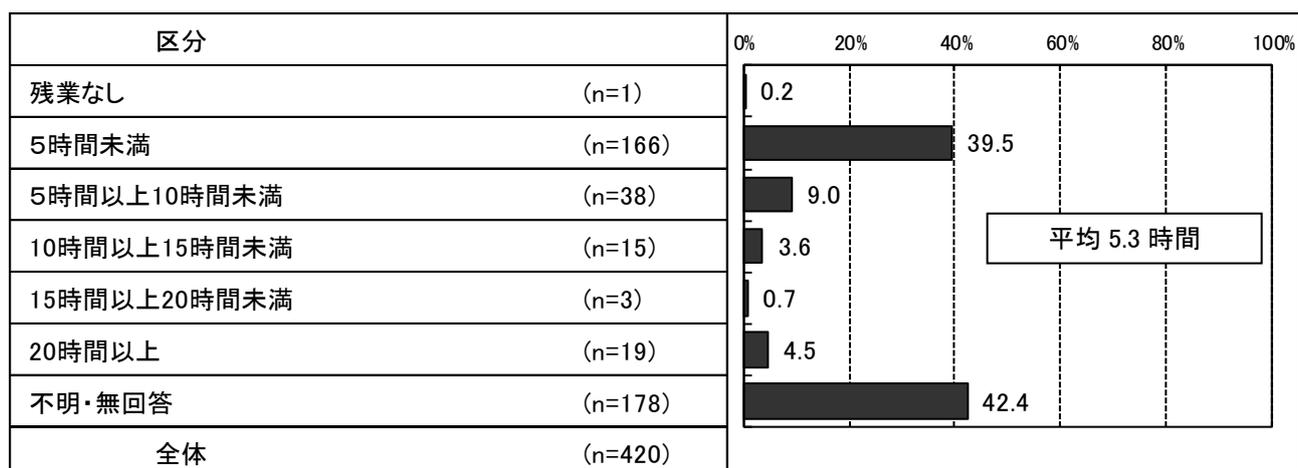
「5日」が76.4%で最も多く、次いで「4日」が7.4%、「6日」が6.0%となっています。平均4.8日となっています。

### ②1日あたりの勤務時間（数値を記入）



「8時間以上9時間未満」が59.8%で最も多く、次いで「7時間以上8時間未満」が16.0%、「9時間以上10時間未満」が9.3%となっています。平均7.9時間となっています。

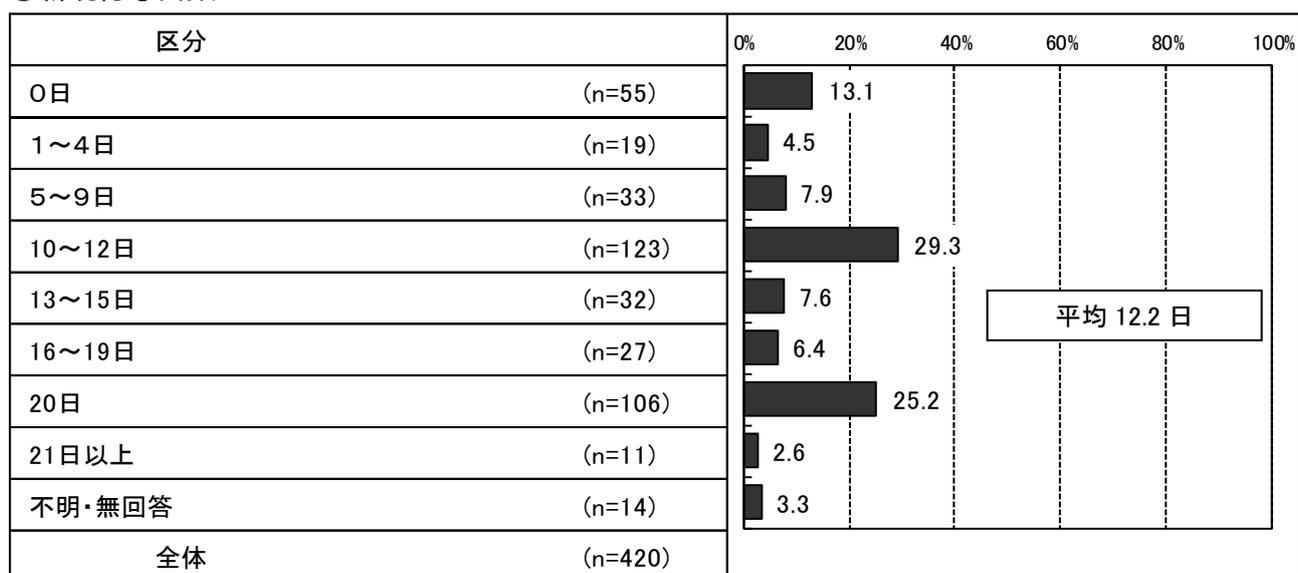
③うち1週間の残業時間（数値を記入）



「5時間未満」が39.5%で最も多く、次いで「5時間以上10時間未満」が9.0%、「20時間以上」が4.5%となっています。平均5.3時間となっています。

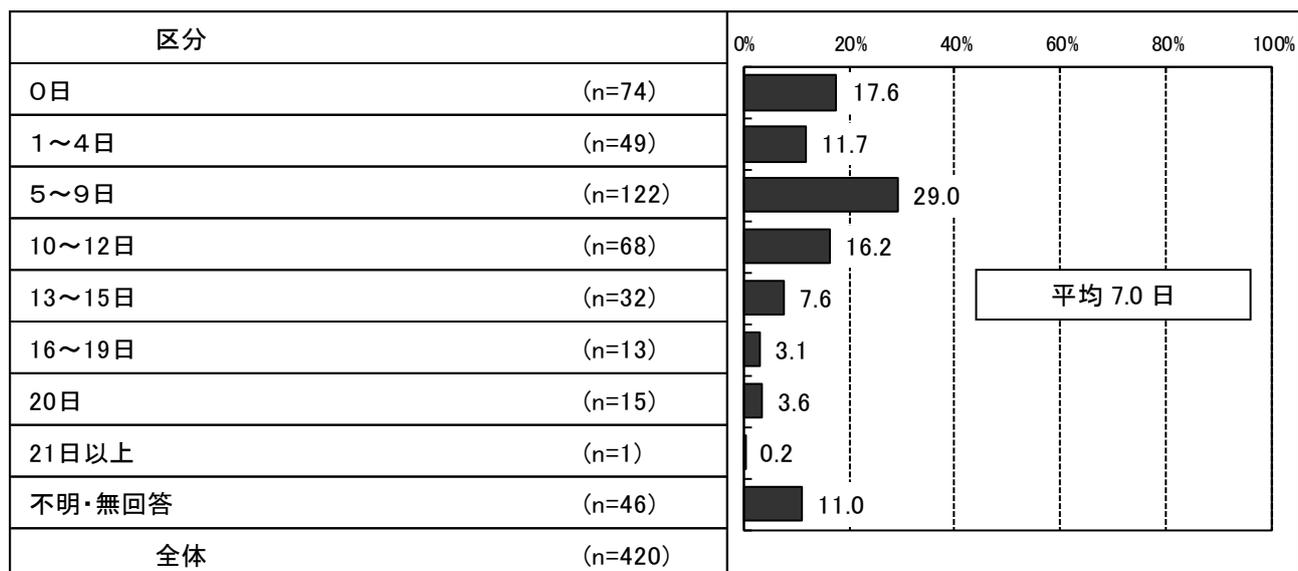
(2) 直近1年間に付与された年次有給休暇の日数（繰り越し日数を除く）及び取得日数（消化日数）を御記入ください。なお、各日数に該当がない場合は、「0日」と御記入ください。

①新規付与日数



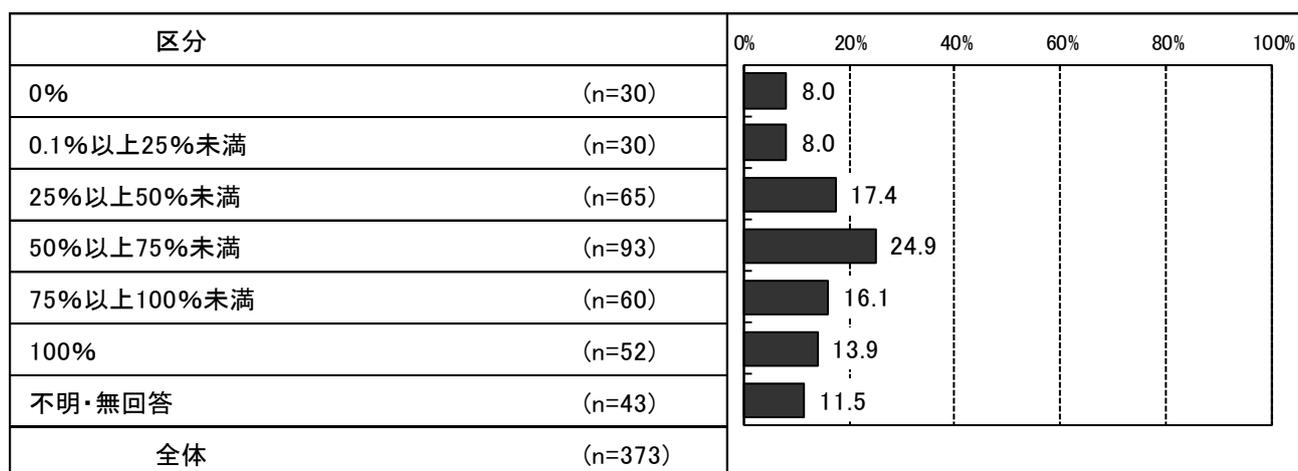
「10～12日」が29.3%で最も多く、次いで「20日」が25.2%、「0日」が13.1%となっています。平均12.2日となっています。

## ②取得日数



「5～9日」が29.0%で最も多く、次いで「0日」が17.6%、「10～12日」が16.2%となっています。平均7.0日となっています。

## 【参考】有給取得率



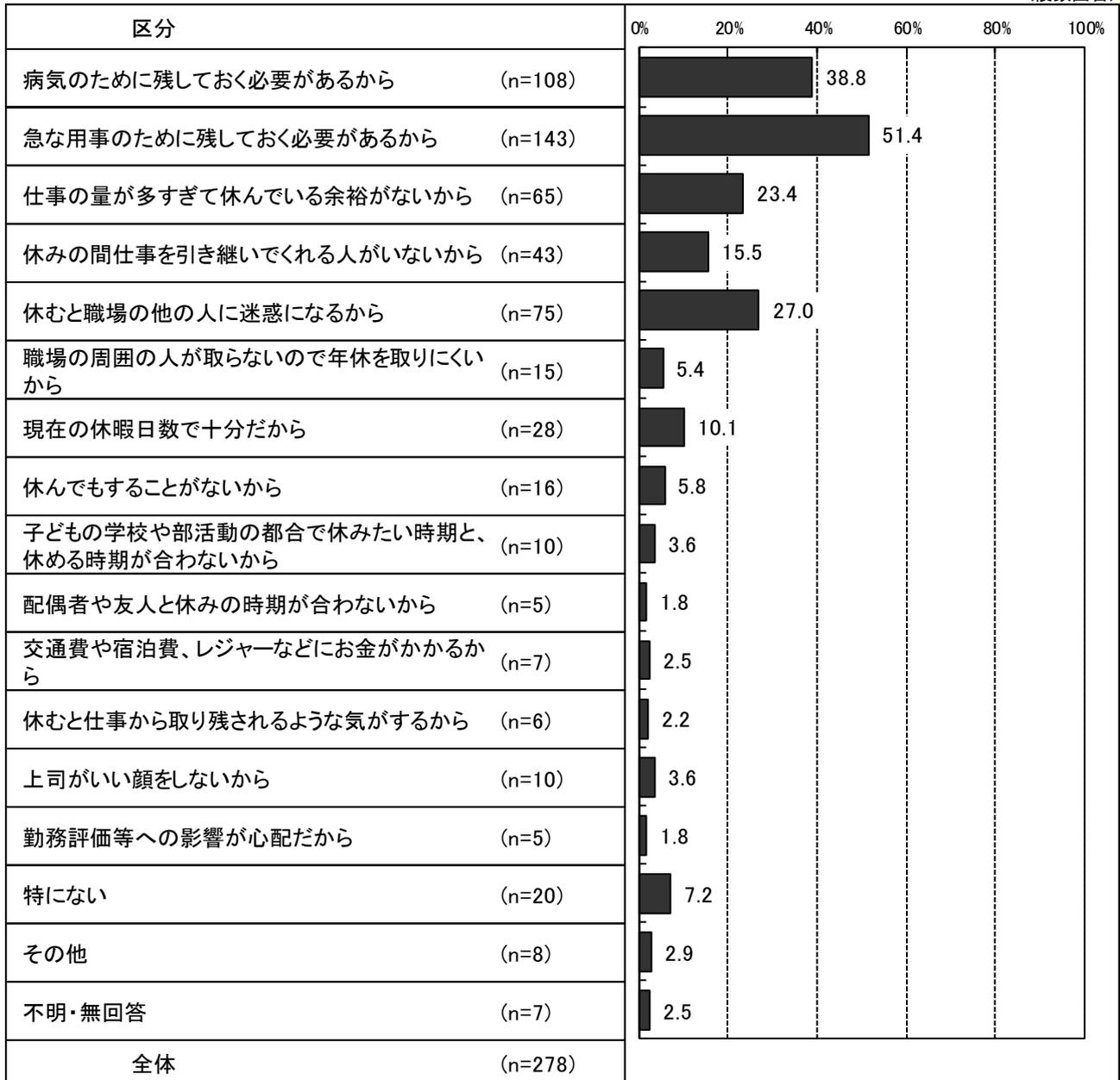
「50%以上75%未満」が24.9%で最も多く、次いで「25%以上50%未満」が17.4%、「75%以上100%未満」が16.1%となっています。

(2) で年次有給休暇の新規付与日数より取得日数が少ない人におうかがいします。

(3) あなたが年次有給休暇を取り残すのはどのような理由からですか。

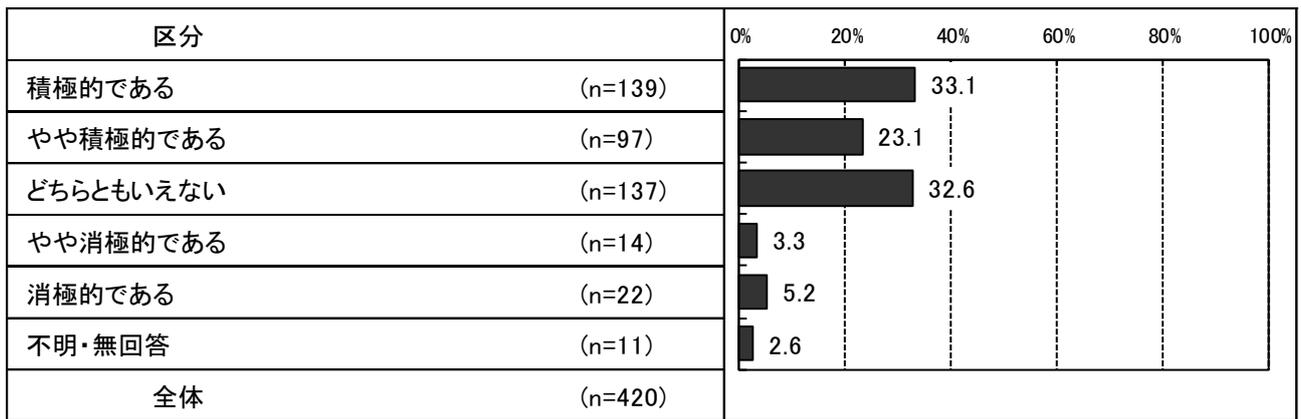
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「急な用事のために残しておく必要があるから」が 51.4%で最も多く、次いで「病気のために残しておく必要があるから」が 38.8%、「休むと職場の他の人に迷惑になるから」が 27.0%となっています。

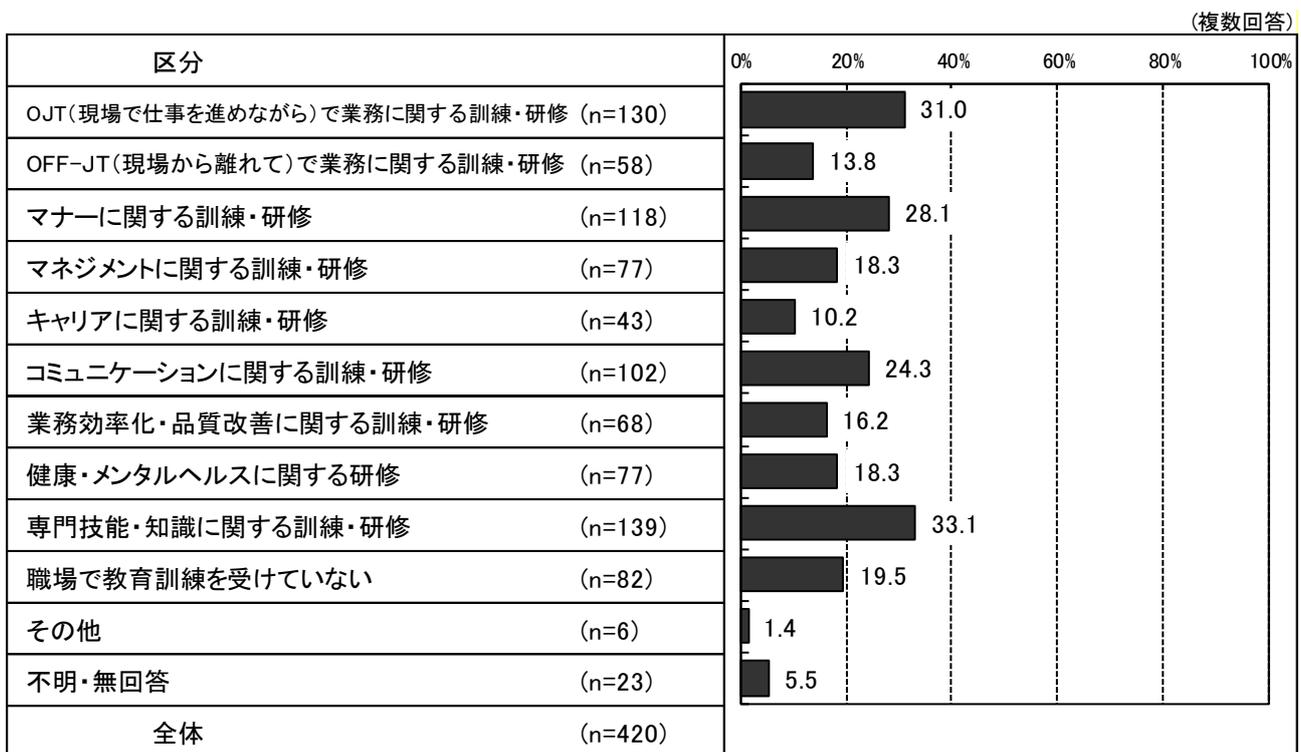
(4) あなたの勤務先は、年次有給休暇の取得促進に積極的ですか。(1つだけ○)



「積極的である」が 33.1%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 32.6%、「やや積極的である」が 23.1%となっています。

(5) 過去1年間に職場で以下のような教育訓練を受けたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)



「専門技能・知識に関する訓練・研修」が 33.1%で最も多く、次いで「OJT(現場で仕事を進めながら)で業務に関する訓練・研修」が 31.0%、「マナーに関する訓練・研修」が 28.1%となっています。

(6) 過去1年間に職場において、自分のキャリアに関して相談する機会がありましたか。  
(1つだけ○)

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
あった	(n=178)						
なかった	(n=238)						
不明・無回答	(n=4)						
全体	(n=420)						

「なかった」が56.7%、「あった」が42.4%となっています。

(7) あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

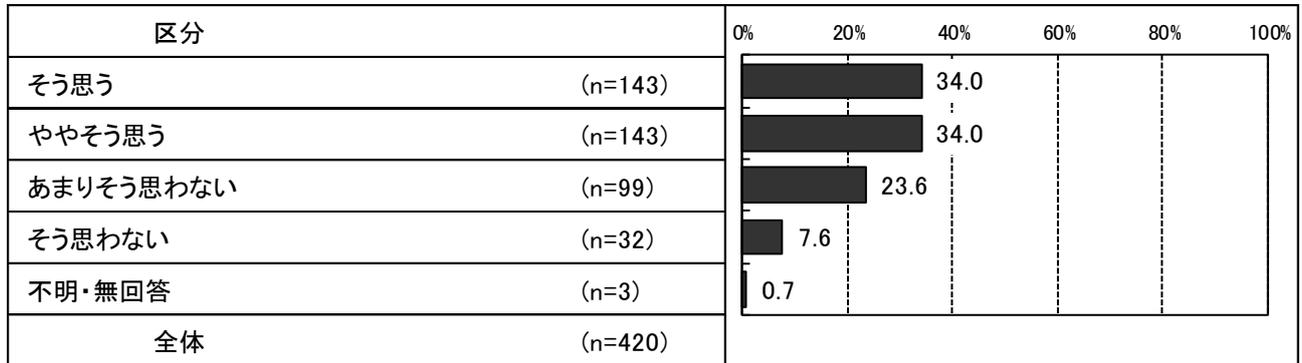
(複数回答)

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
仕事の内容に興味があったから	(n=160)						
自分の都合のよい時間で働きたいから	(n=94)						
好きな勤務地を選べるから	(n=21)						
専門的な知識・技術を活かせるから	(n=90)						
実務経験やキャリアを積めるから	(n=72)						
仕事の範囲や責任が明確だから	(n=22)						
将来性が期待できるから	(n=28)						
給料など収入が高いから	(n=27)						
休みがとりやすいから	(n=43)						
家事・育児・介護などの事情から	(n=40)						
入社しやすかったから	(n=50)						
精神的・肉体的な病気を抱えていたから	(n=2)						
特に理由はない	(n=69)						
その他	(n=48)						
不明・無回答	(n=2)						
全体	(n=420)						

「仕事の内容に興味があったから」が38.1%で最も多く、次いで「自分の都合のよい時間で働きたいから」が22.4%、「専門的な知識・技術を活かせるから」が21.4%となっています。

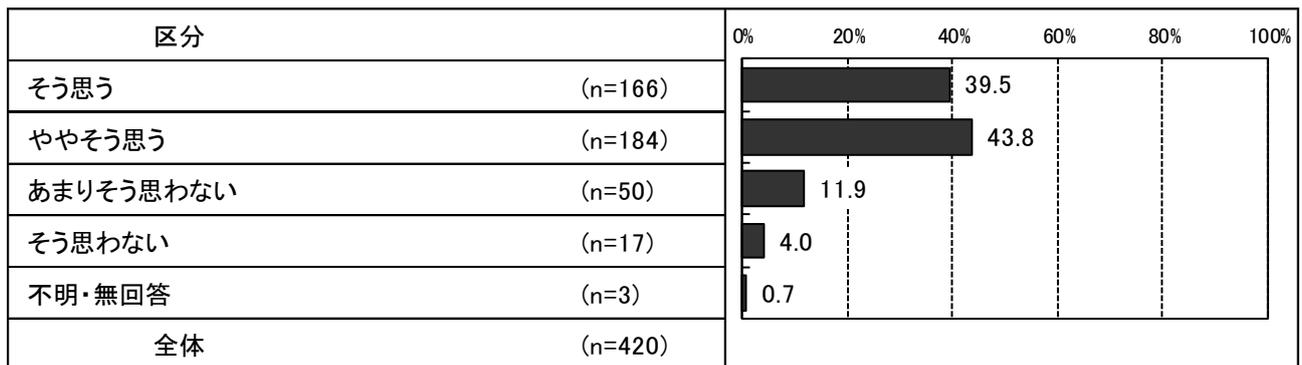
(8) あなたが働く事業所の環境や仕事（自分の職業）に対する評価・考えについて、お答えください。（それぞれ1つに○）

①賃金が低い



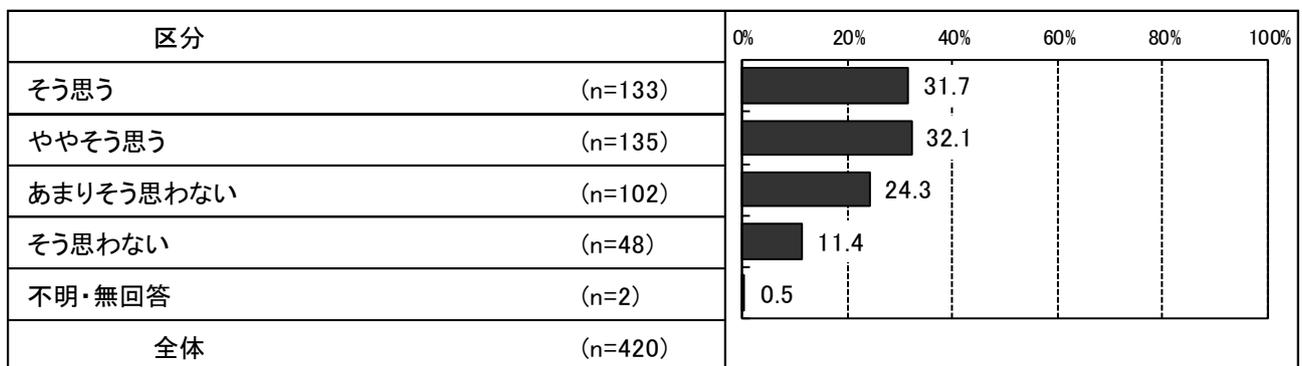
「そう思う」と「ややそう思う」が、ともに 34.0%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 23.6%、「そう思わない」が 7.6%となっています。

②仕事内容に興味がある



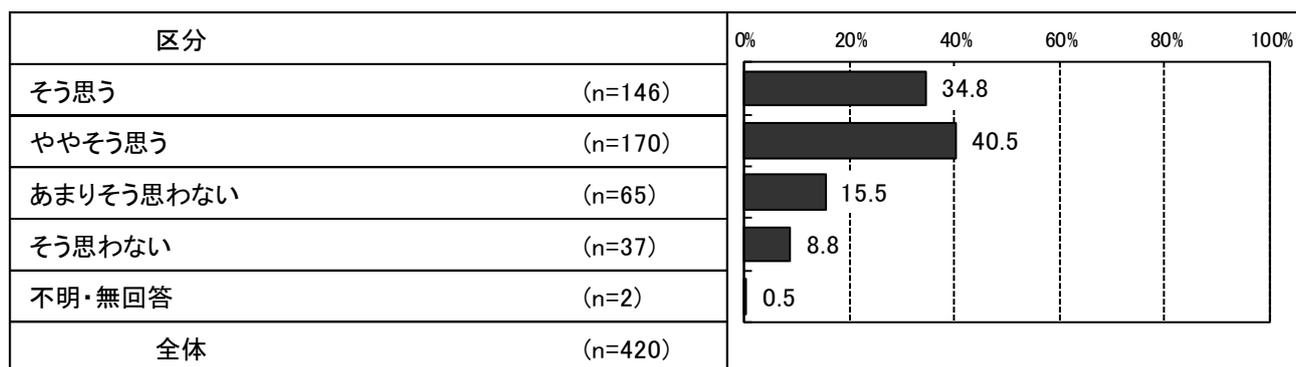
「ややそう思う」が 43.8%で最も多く、次いで「そう思う」が 39.5%、「あまりそう思わない」が 11.9%となっています。

③休みが取りやすい



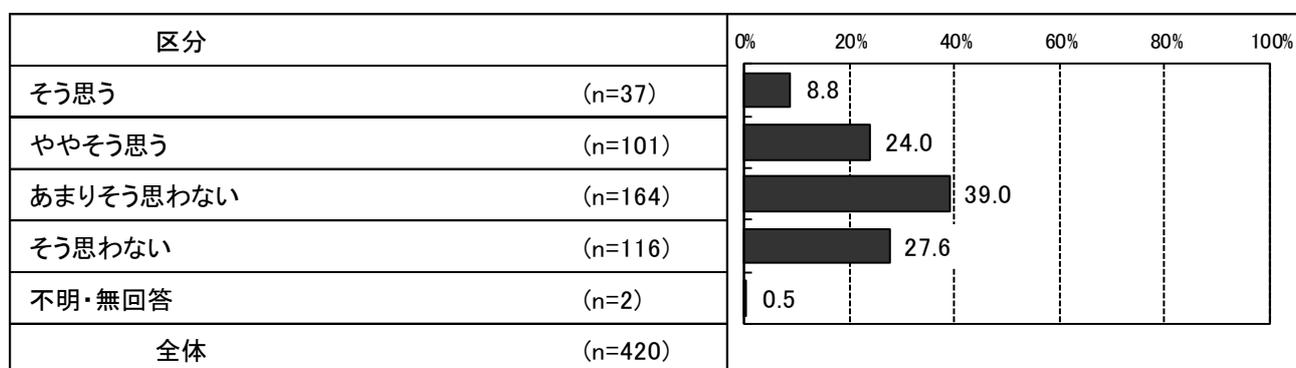
「ややそう思う」が 32.1%で最も多く、次いで「そう思う」が 31.7%、「あまりそう思わない」が 24.3%となっています。

#### ④自分に合った勤務時間・シフトで働ける



「ややそう思う」が40.5%で最も多く、次いで「そう思う」が34.8%、「あまりそう思わない」が15.5%となっています。

#### ⑤上司・同僚との関係構築が不安



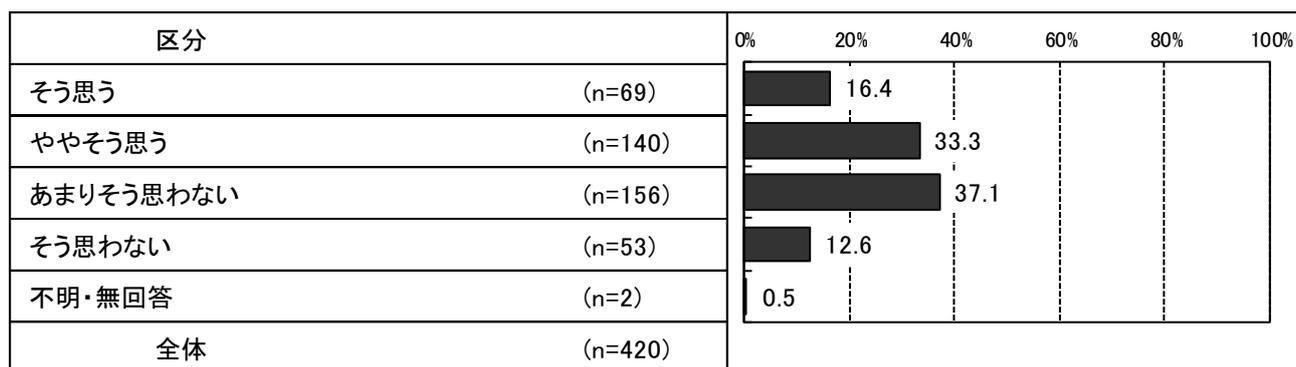
「あまりそう思わない」が39.0%で最も多く、次いで「そう思わない」が27.6%、「ややそう思う」が24.0%となっています。

#### ⑥お客様との関係構築が不安



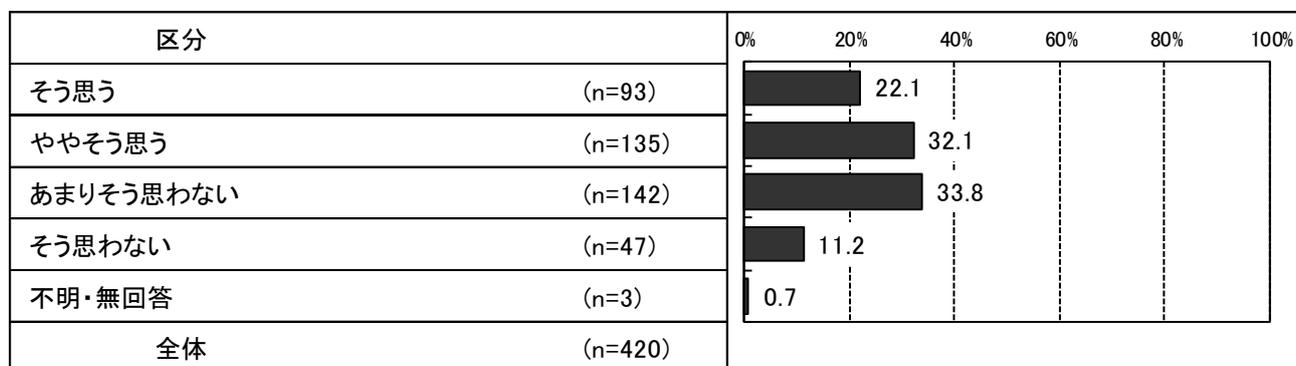
「あまりそう思わない」が48.6%で最も多く、次いで「ややそう思う」が24.3%、「そう思わない」が22.1%となっています。

⑦体力的にきつい



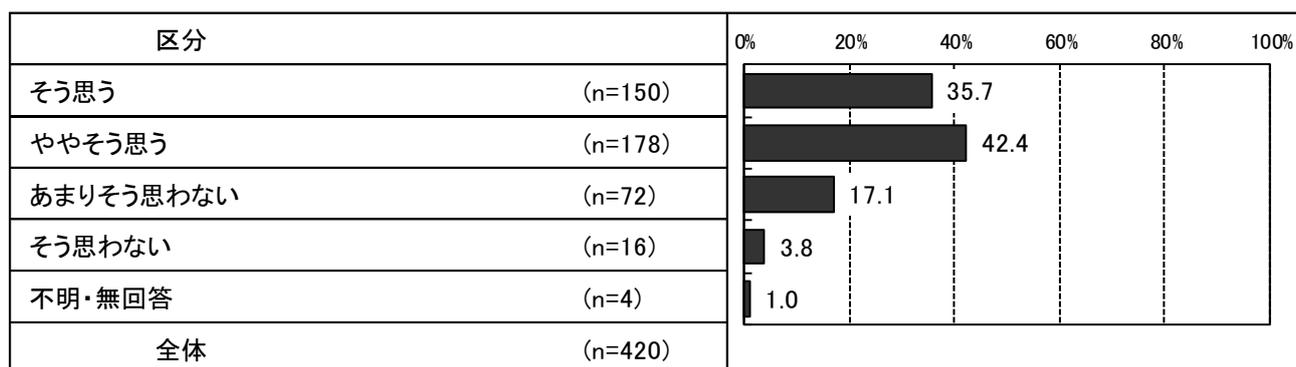
「あまりそう思わない」が 37.1%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 33.3%、「そう思う」が 16.4%となっています。

⑧精神的にきつい



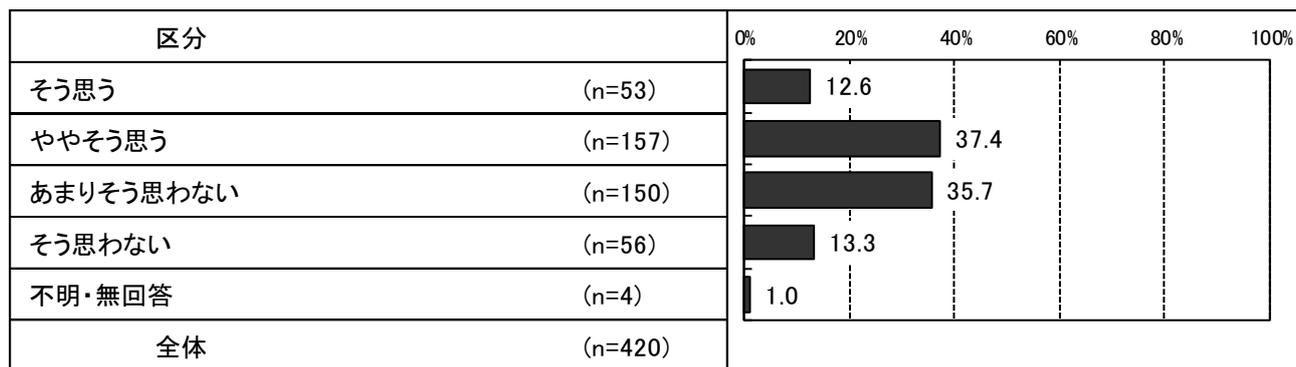
「あまりそう思わない」が 33.8%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 32.1%、「そう思う」が 22.1%となっています。

⑨社会貢献性が高い



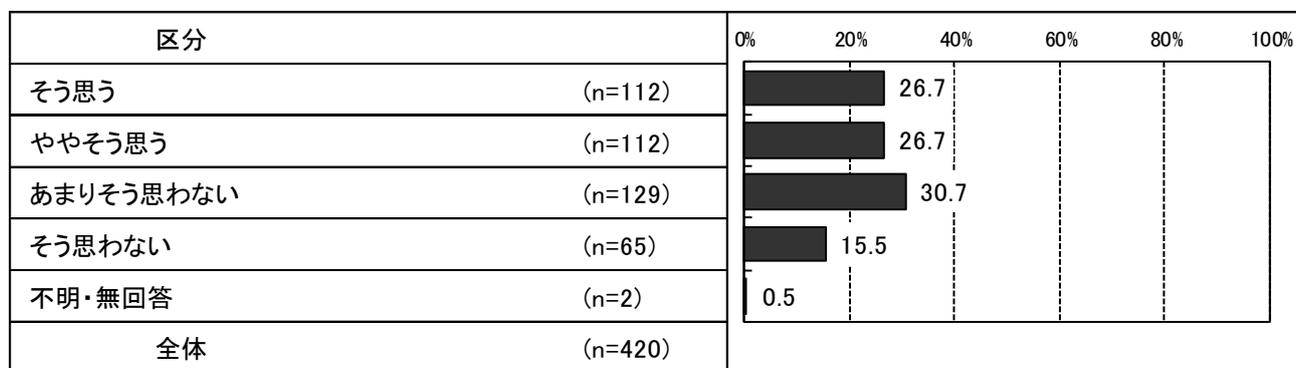
「ややそう思う」が 42.4%で最も多く、次いで「そう思う」が 35.7%、「あまりそう思わない」が 17.1%となっています。

⑩キャリアアップできる



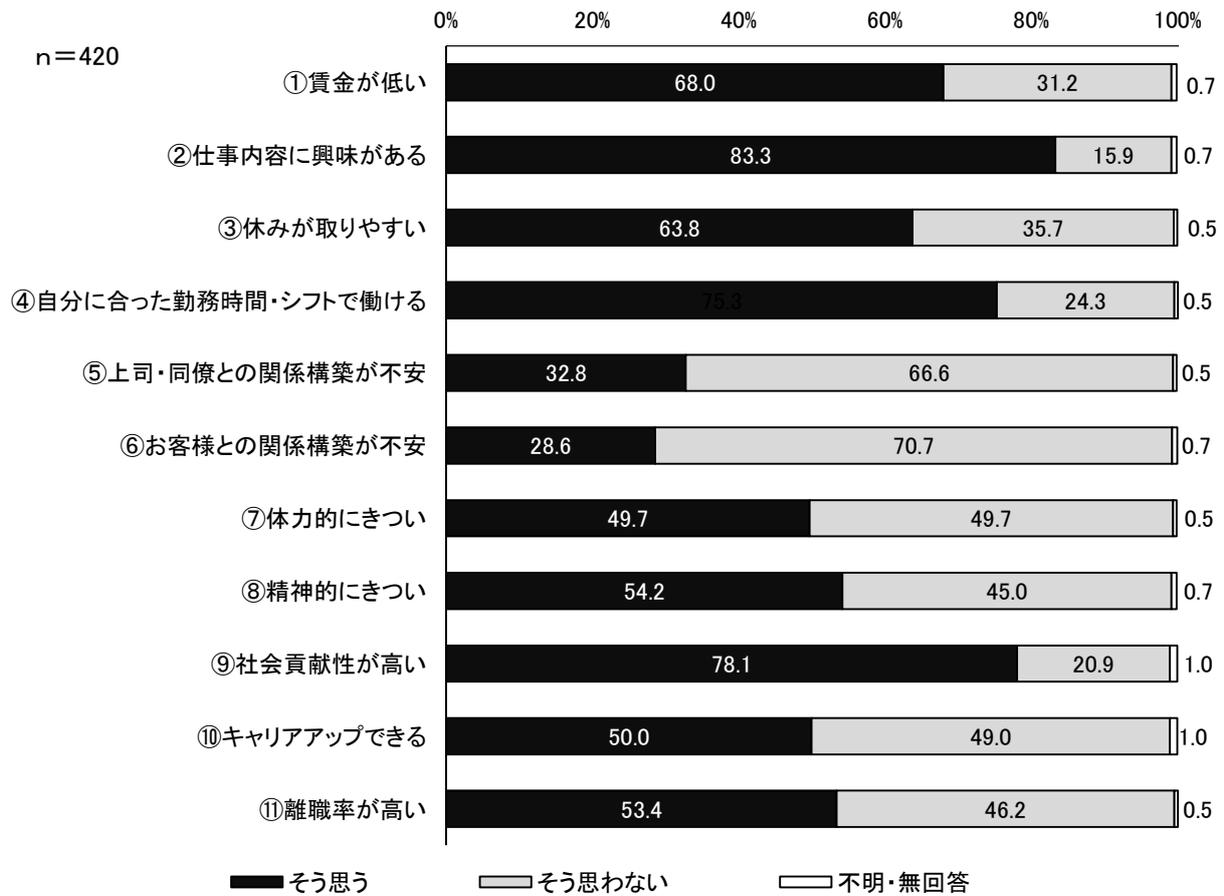
「ややそう思う」が 37.4%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 35.7%、「そう思わない」が 13.3%となっています。

⑪離職率が高い



「あまりそう思わない」が 30.7%で最も多く、次いで「そう思う」と「ややそう思う」が、ともに 26.7%、「そう思わない」が 15.5%となっています。

【参考】働く事業所の環境や仕事に対する評価・考え一覧

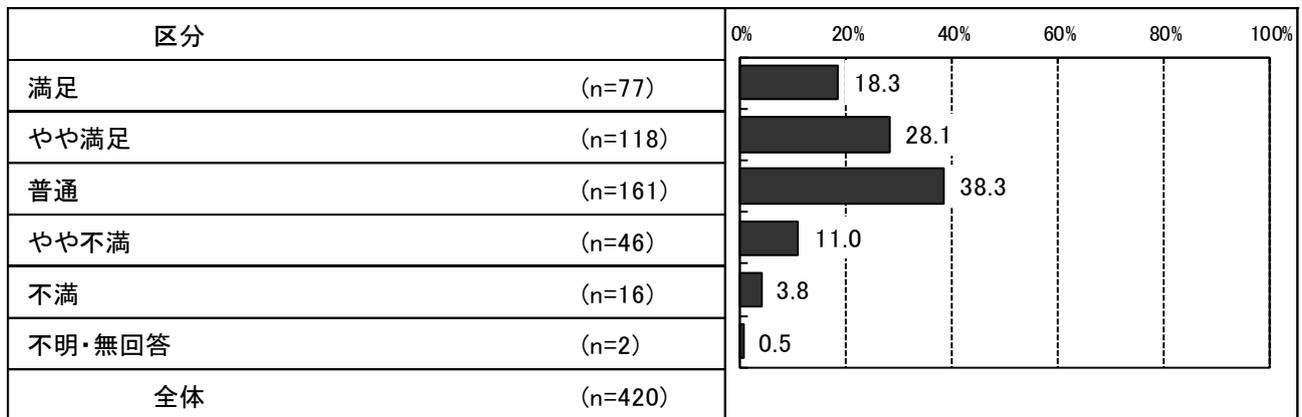


※上記「そう思う」は「そう思う」と「ややそう思う」の計、「そう思わない」は「あまりそう思わない」と「そう思わない」の計

(9) 現在の仕事の満足度について、以下の①～②について、お答えください。

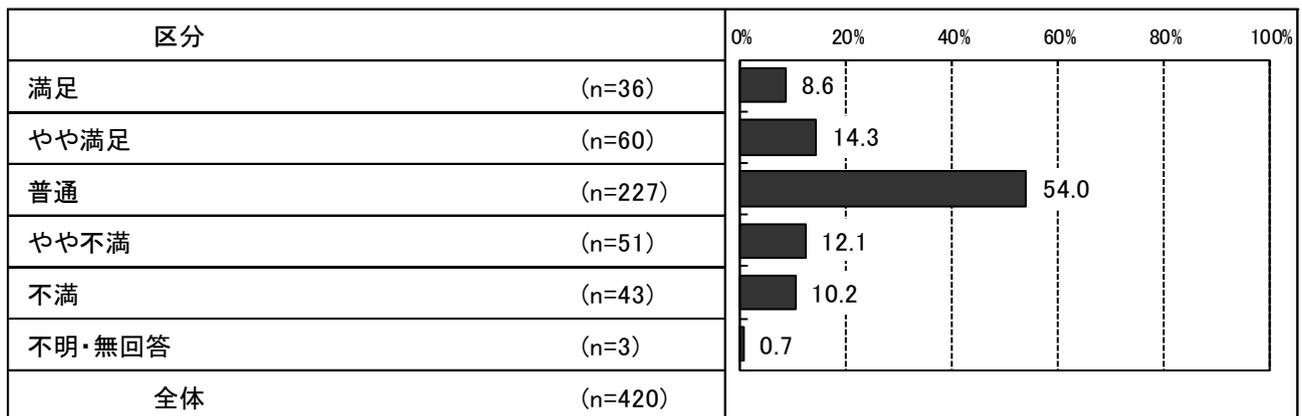
(それぞれ1つに○)

①仕事の内容・やりがい



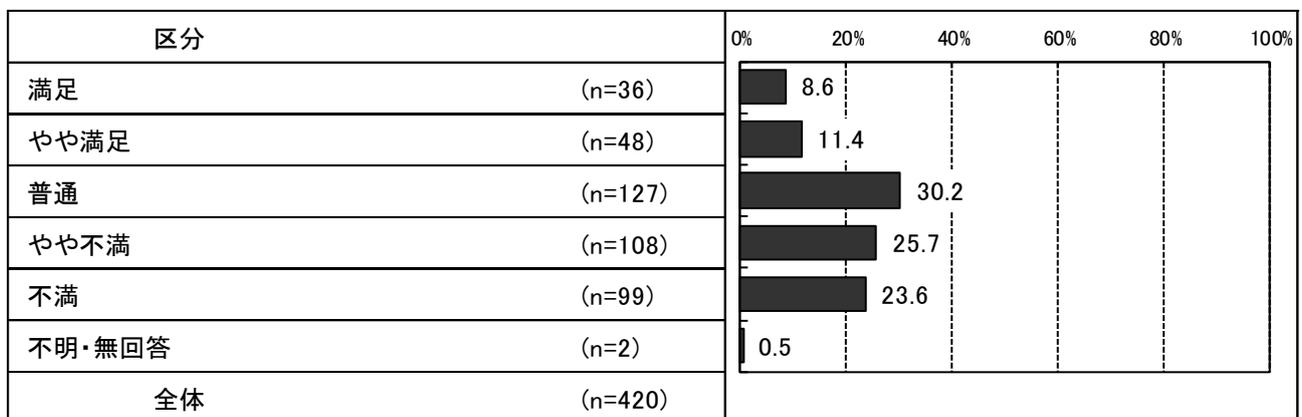
「普通」が38.3%で最も多く、次いで「やや満足」が28.1%、「満足」が18.3%となっています。

②キャリアアップの機会



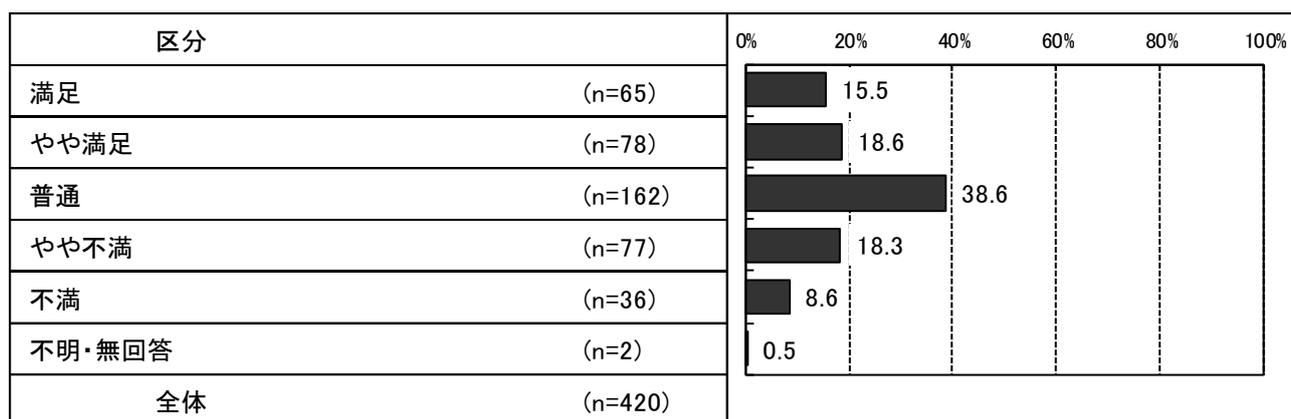
「普通」が54.0%で最も多く、次いで「やや満足」が14.3%、「やや不満」が12.1%となっています。

③賃金



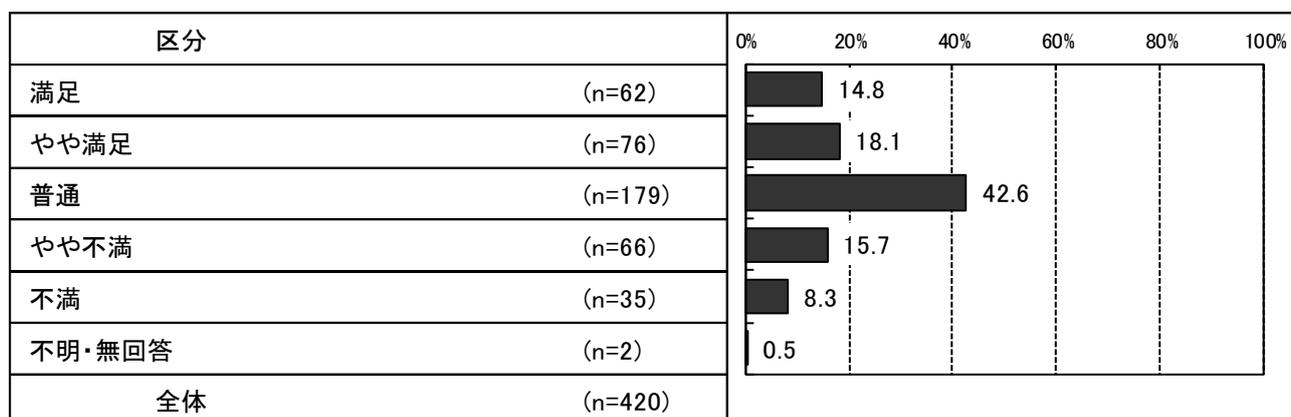
「普通」が30.2%で最も多く、次いで「やや不満」が25.7%、「不満」が23.6%となっています。

#### ④労働時間・休日等の労働条件



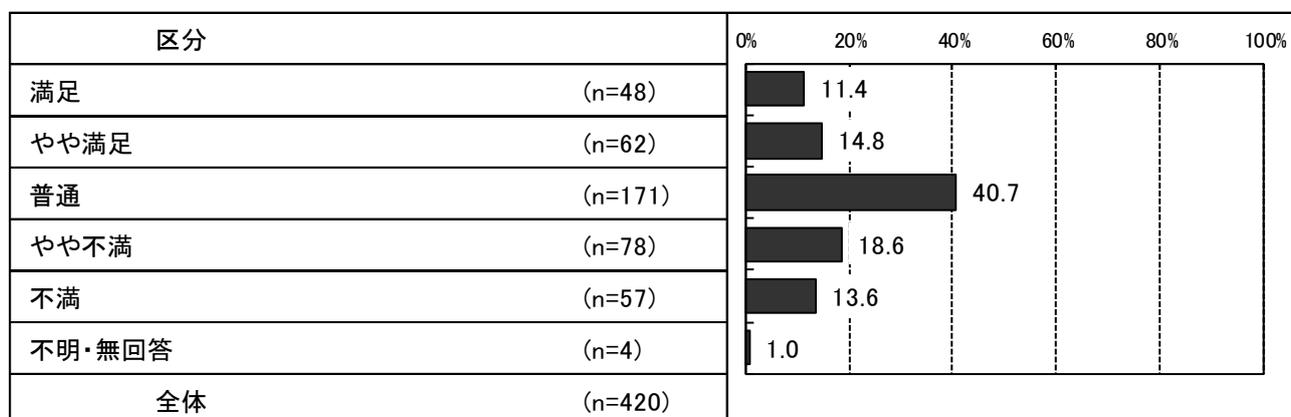
「普通」が38.6%で最も多く、次いで「やや満足」が18.6%、「やや不満」が18.3%となっています。

#### ⑤勤務体制



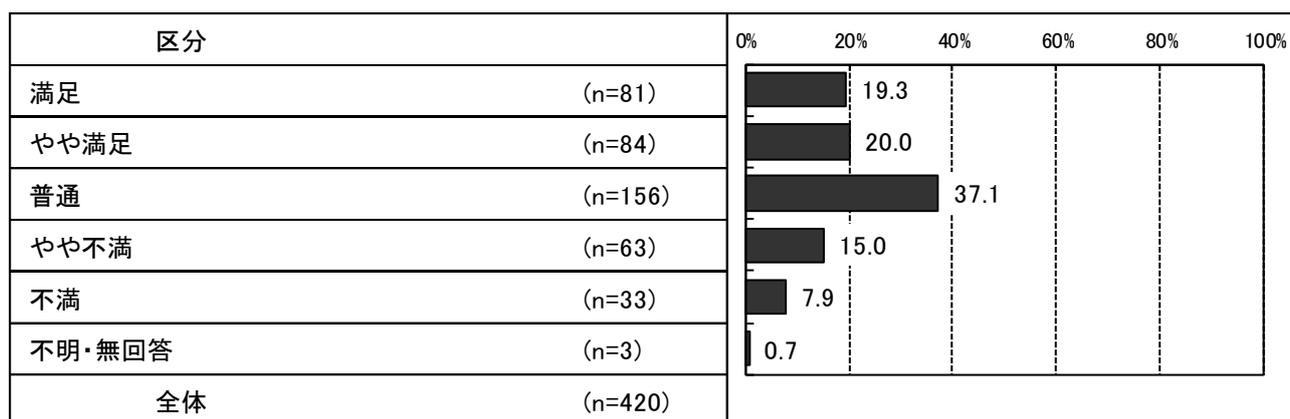
「普通」が42.6%で最も多く、次いで「やや満足」が18.1%、「やや不満」が15.7%となっています。

#### ⑥人事評価・処遇のあり方



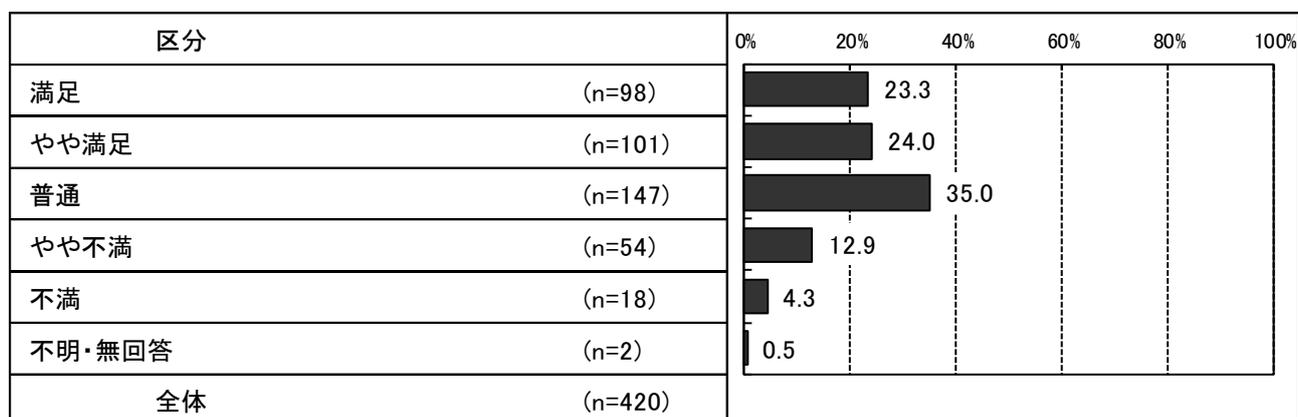
「普通」が40.7%で最も多く、次いで「やや不満」が18.6%、「やや満足」が14.8%となっています。

### ⑦職場の環境



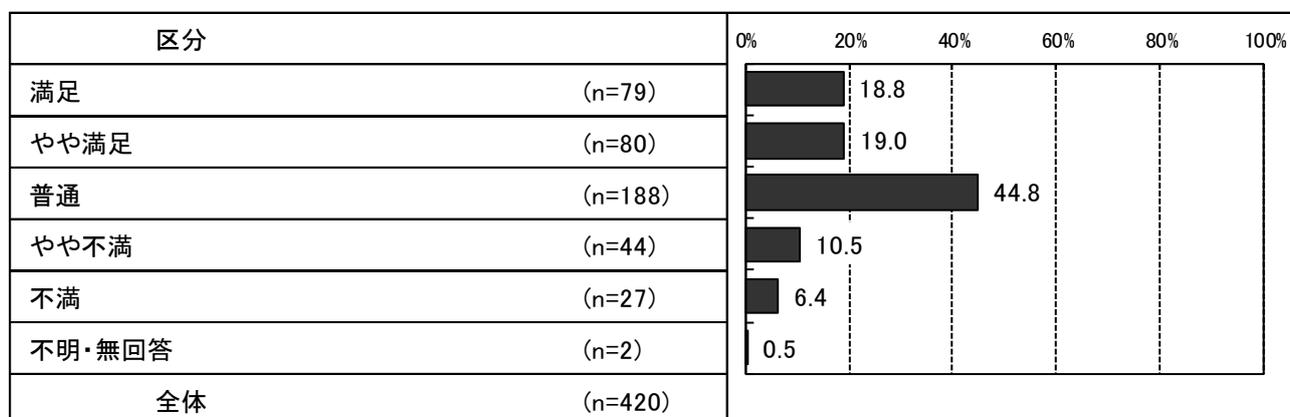
「普通」が37.1%で最も多く、次いで「やや満足」が20.0%、「満足」が19.3%となっています。

### ⑧職場の人間関係、コミュニケーション



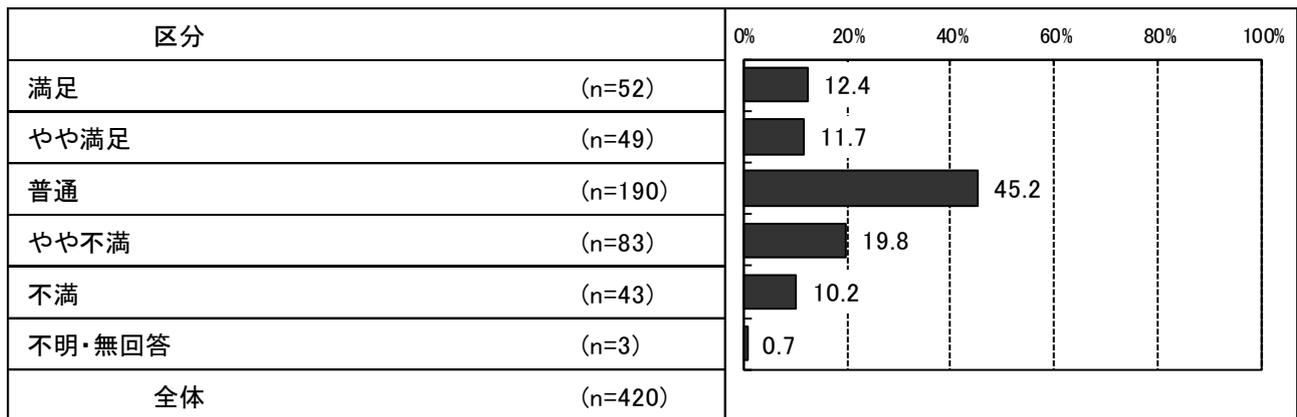
「普通」が35.0%で最も多く、次いで「やや満足」が24.0%、「満足」が23.3%となっています。

### ⑨雇用の安定性



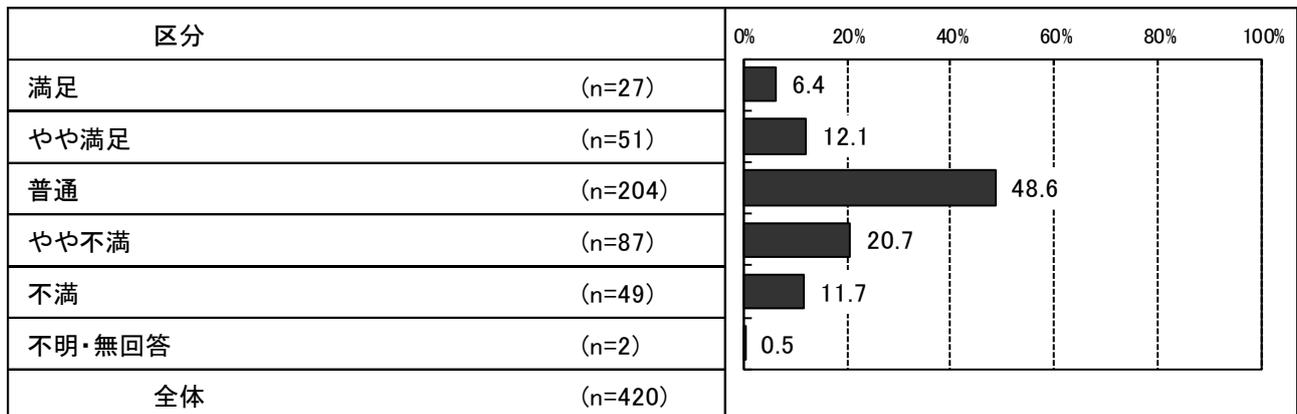
「普通」が44.8%で最も多く、次いで「やや満足」が19.0%、「満足」が18.8%となっています。

⑩福利厚生



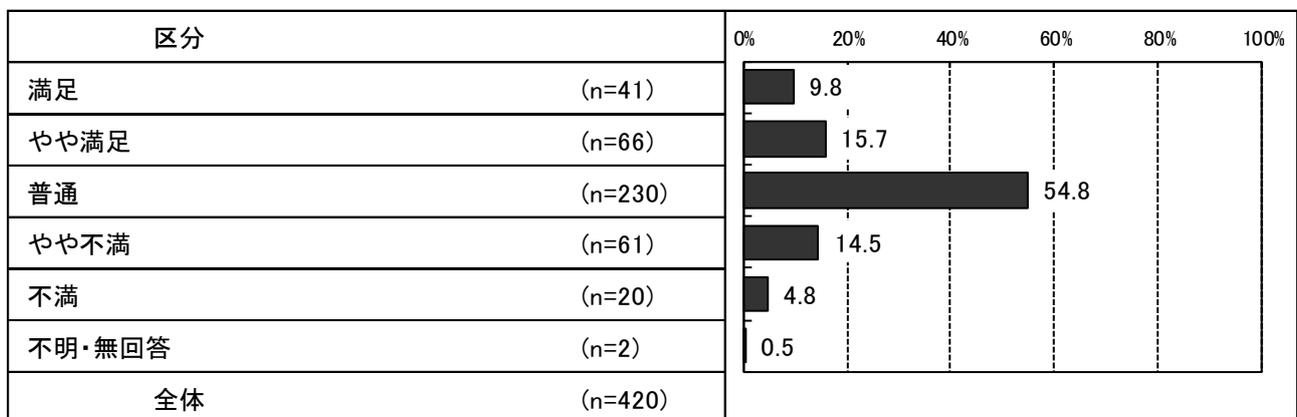
「普通」が45.2%で最も多く、次いで「やや不満」が19.8%、「満足」が12.4%となっています。

⑪教育訓練・能力開発のあり方



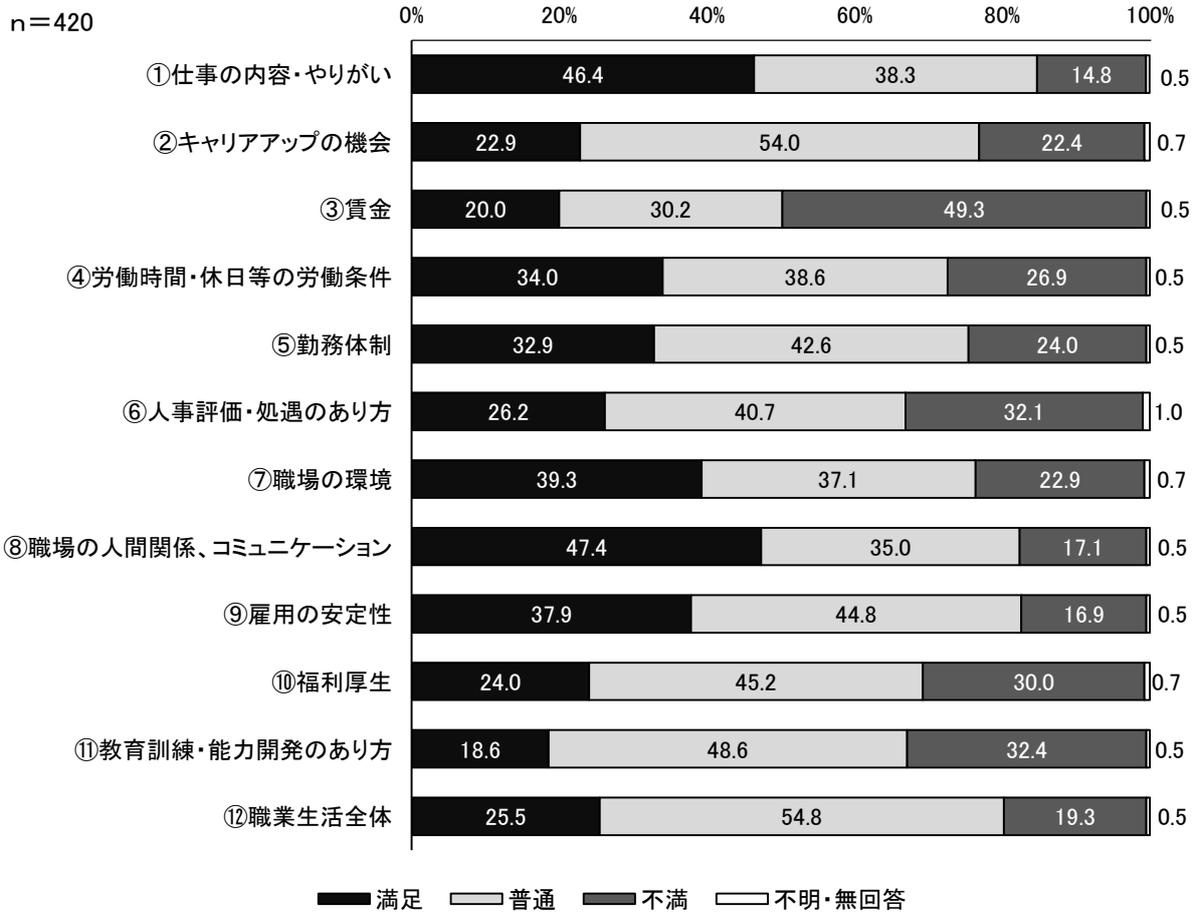
「普通」が48.6%で最も多く、次いで「やや不満」が20.7%、「やや満足」が12.1%となっています。

⑫職業生活全体



「普通」が54.8%で最も多く、次いで「やや満足」が15.7%、「やや不満」が14.5%となっています。

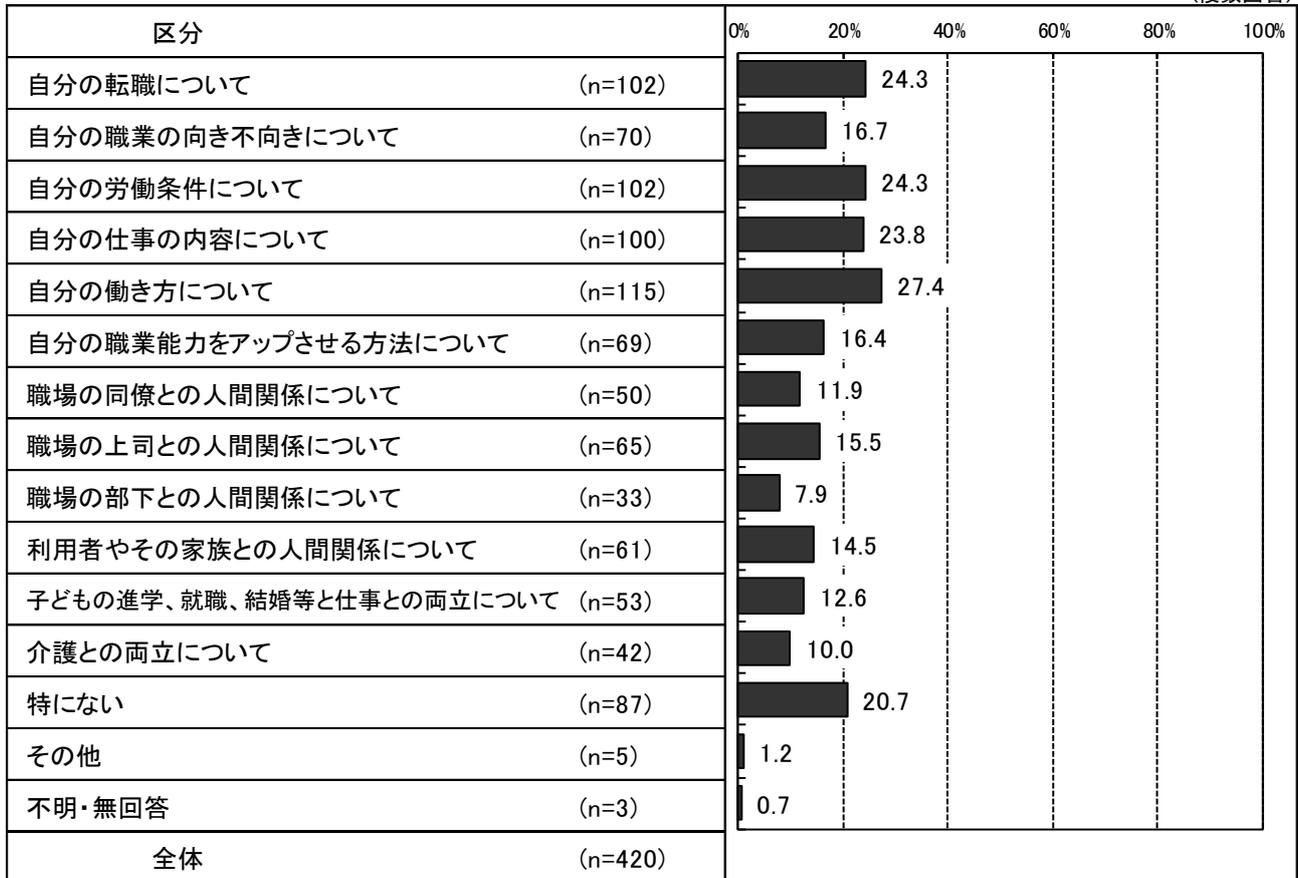
【参考】現在の仕事の満足度一覧



※上記の「満足」は「満足」と「やや満足」の計、「不満」は「やや不満」と「不満」の計

(10) 職業・キャリアについて、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

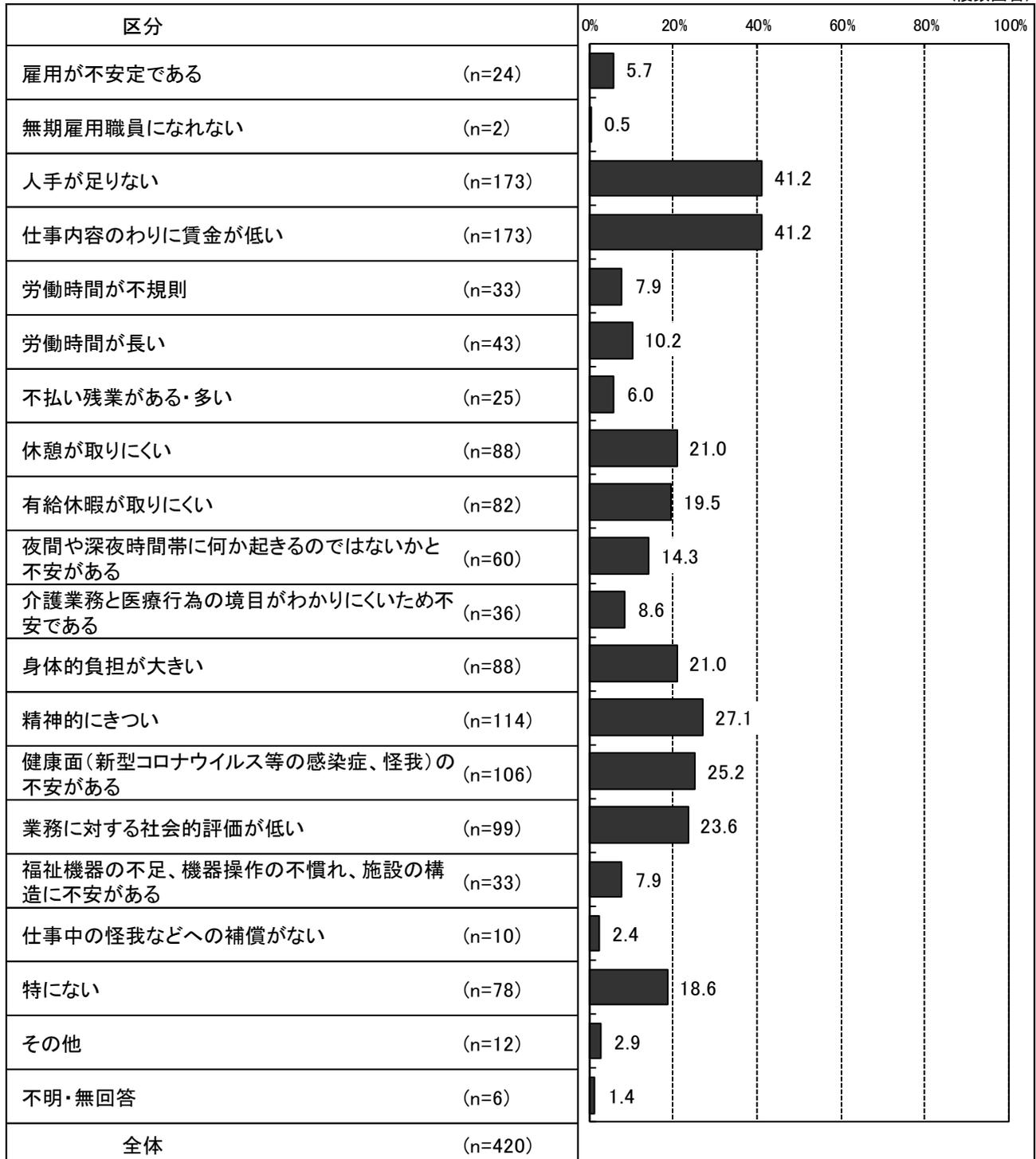
(複数回答)



「自分の働き方について」が 27.4%で最も多く、次いで「自分の転職について」と「自分の労働条件について」が、ともに 24.3%、「自分の仕事の内容について」が 23.8%となっています。

(11) 労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「人手が足りない」と「仕事内容のわりに賃金が低い」が、ともに 41.2%で最も多く、次いで「精神的にきつい」が 27.1%、「健康面(新型コロナウイルス等の感染症、怪我)の不安がある」が 25.2%となっています。

(12) この1か月間の悩みやストレスについて解消できていますか。(1つだけ○)

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
その都度解消できている	(n=48)						
解消できていることが多い	(n=119)	11.4					
解消できていないことが多い	(n=97)	28.3					
解消できていない	(n=65)	23.1					
わからない	(n=71)	15.5					
悩みやストレスはなかった	(n=16)	16.9					
不明・無回答	(n=4)	3.8					
全体	(n=420)	1.0					

「解消できていることが多い」が 28.3%で最も多く、次いで「解消できていないことが多い」が 23.1%、「わからない」が 16.9%となっています。

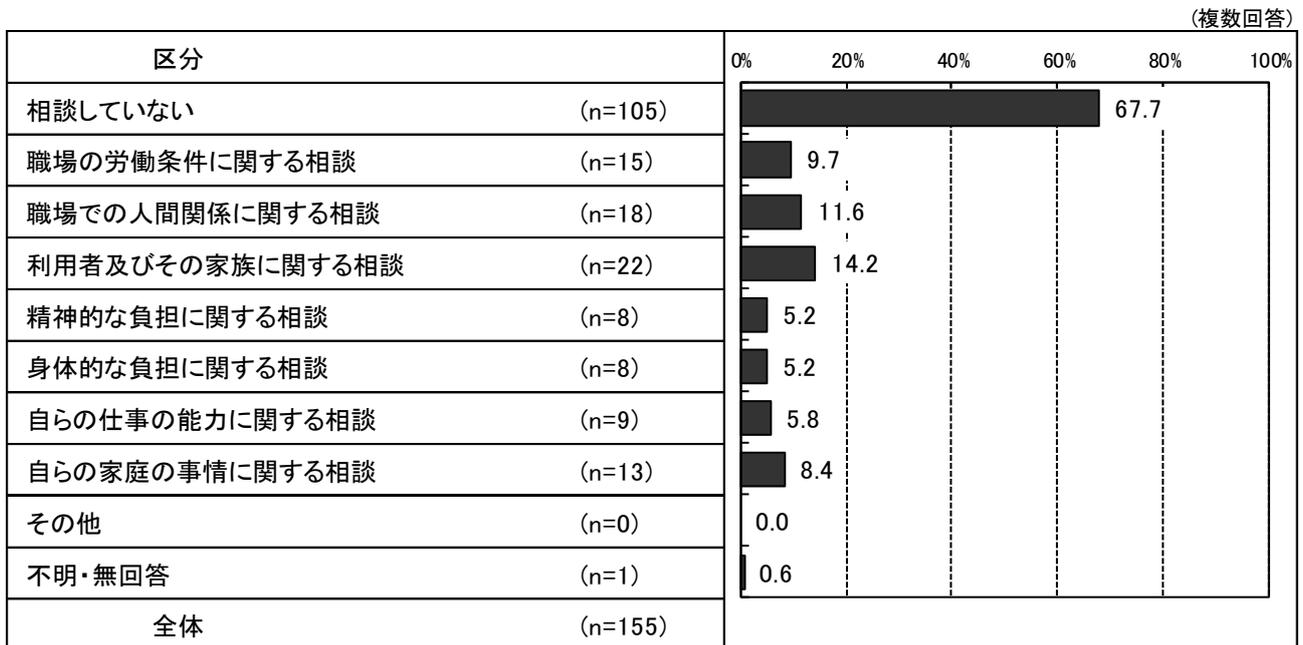
(13) 今働いている事業所には、上司以外に相談できる担当者や「相談窓口」がありますか。  
(1つだけ○)

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
ある	(n=155)						
ない	(n=164)	36.9					
わからない	(n=99)	39.0					
不明・無回答	(n=2)	23.6					
全体	(n=420)	0.5					

「ない」が 39.0%で最も多く、次いで「ある」が 36.9%、「わからない」が 23.6%となっています。

(13) で「1. ある」と答えた人におうかがいします。

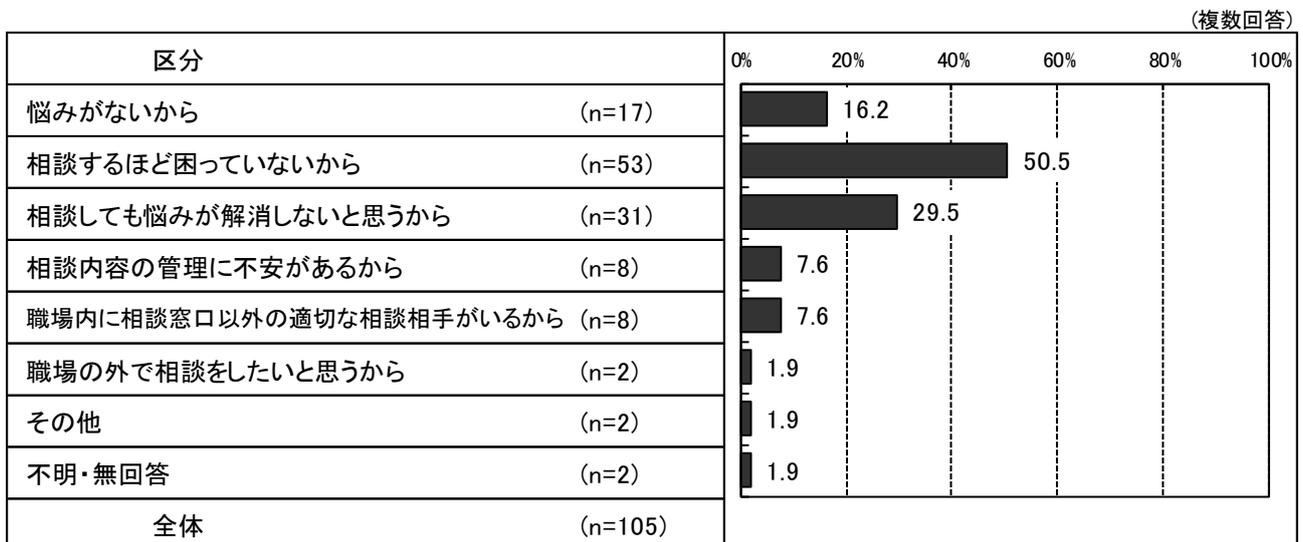
(14) 事業所の「相談窓口」などを利用して、過去1年間でどのような相談をしましたか。  
(あてはまるものすべてに○)



「相談していない」が 67.7%で最も多く、次いで「利用者及びその家族に関する相談」が 14.2%、「職場での人間関係に関する相談」が 11.6%となっています。

(14) で「1. 相談していない」と答えた人におうかがいします。

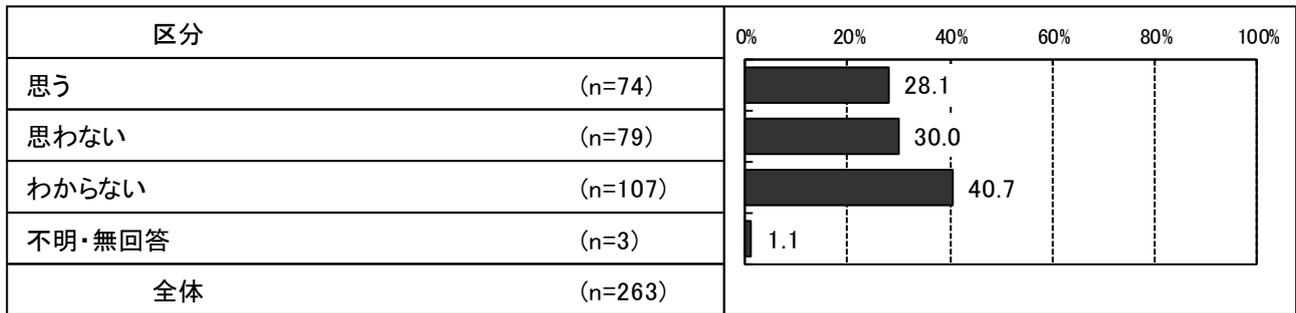
(15) 相談窓口を利用しない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)



「相談するほど困っていないから」が 50.5%で最も多く、次いで「相談しても悩みが解消しないと思うから」が 29.5%、「悩みがないから」が 16.2%となっています。

(13) で「2」もしくは「3」と答えた人におうかがいします。

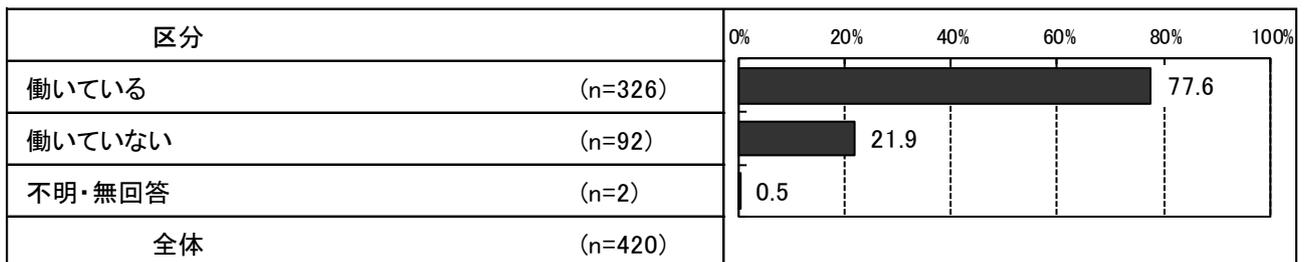
(16) 上記のような相談窓口を職場に設置してほしいと思いますか。(1つだけ○)



「わからない」が40.7%で最も多く、次いで「思わない」が30.0%、「思う」が28.1%となっています。

### 問3 新型コロナウイルス蔓延について

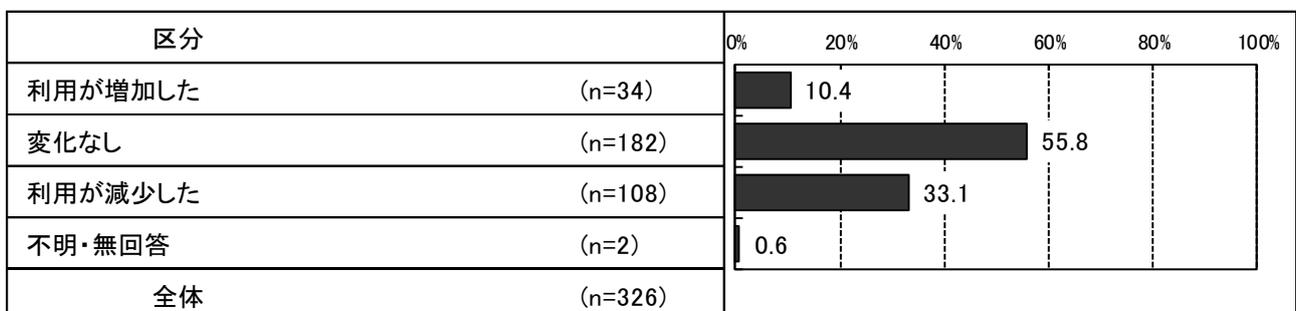
(1) あなたは、新型コロナウイルス蔓延（概ね令和2年2月ぐらい）以前から現在の職種で働いていますか。(1つだけ○)



「働いている」が77.6%、「働いていない」が21.9%となっています。

(1) で「1. 働いている」と答えた人におうかがいします。

(2) 新型コロナウイルス蔓延に伴い、高齢者のサービス利用に変化（概ね令和2年2月以前と比べた変化）はありましたか。

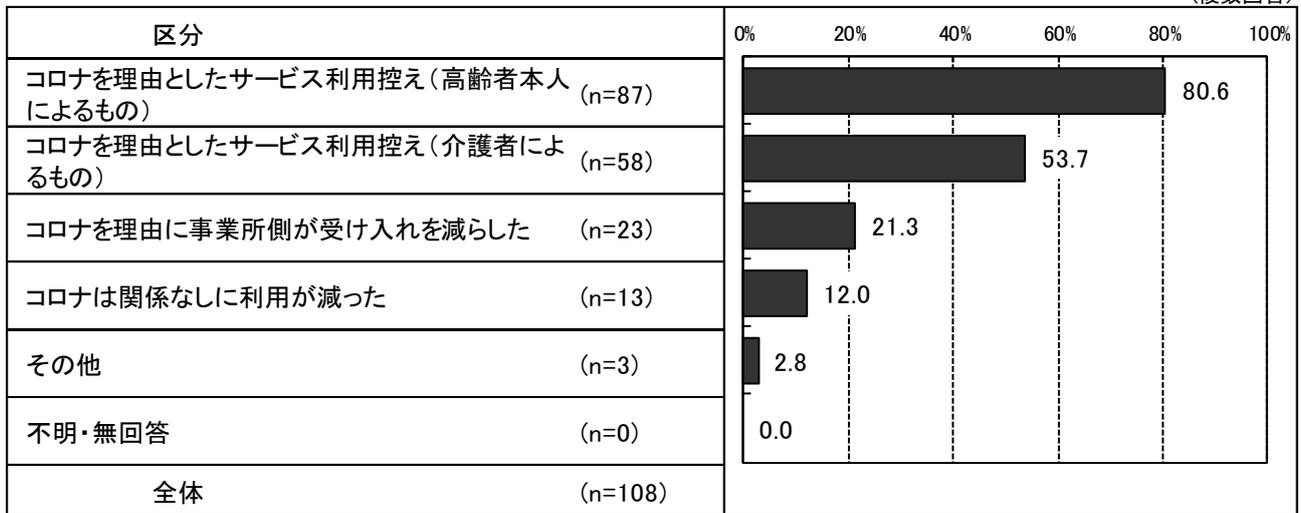


「変化なし」が55.8%で最も多く、次いで「利用が減少した」が33.1%、「利用が増加した」が10.4%となっています。

(2) で「利用が減少した」と答えた人におうかがいします。

(3) 利用が減少した理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

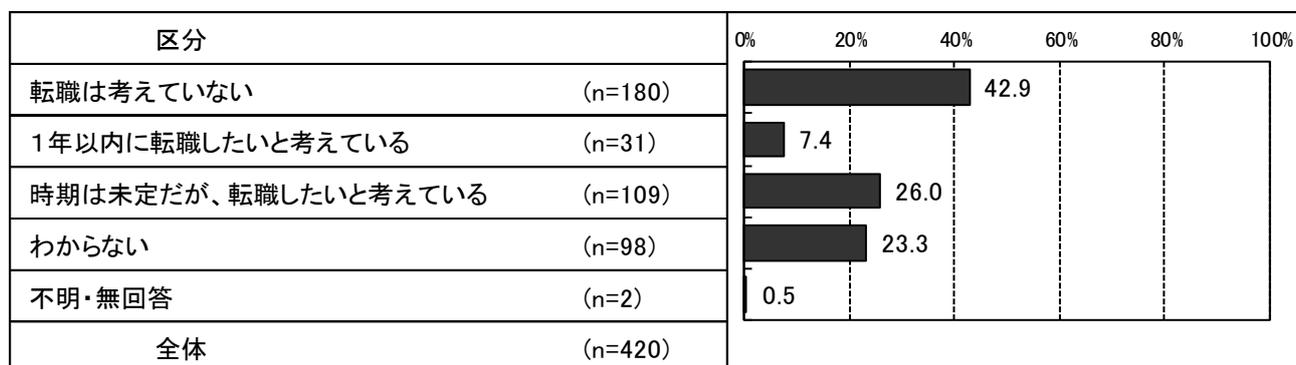
(複数回答)



「コロナを理由としたサービス利用控え(高齢者本人によるもの)」が 80.6%で最も多く、次いで「コロナを理由としたサービス利用控え(介護者によるもの)」が 53.7%、「コロナを理由に事業所側が受け入れを減らした」が 21.3%となっています。

## 問4 今後の働き方について

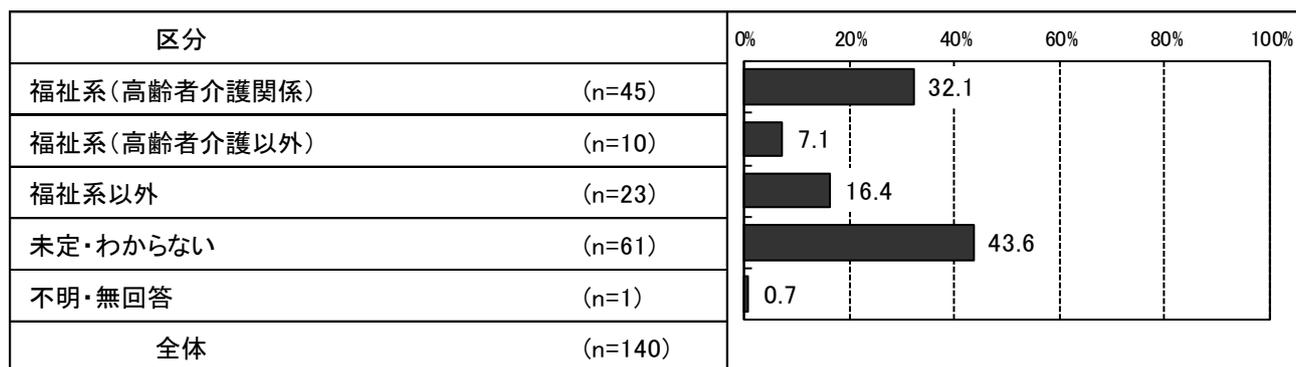
(1) あなたは、今後ほかの職場へ転職することを考えていますか。(1つだけ○)



「転職は考えていない」が42.9%で最も多く、次いで「時期は未定だが、転職したいと考えている」が26.0%、「わからない」が23.3%となっています。

(1) で「2」もしくは「3」と答えた人におうかがいします。

(2) 今後どのような分野への転職を考えていますか。(1つだけ○)

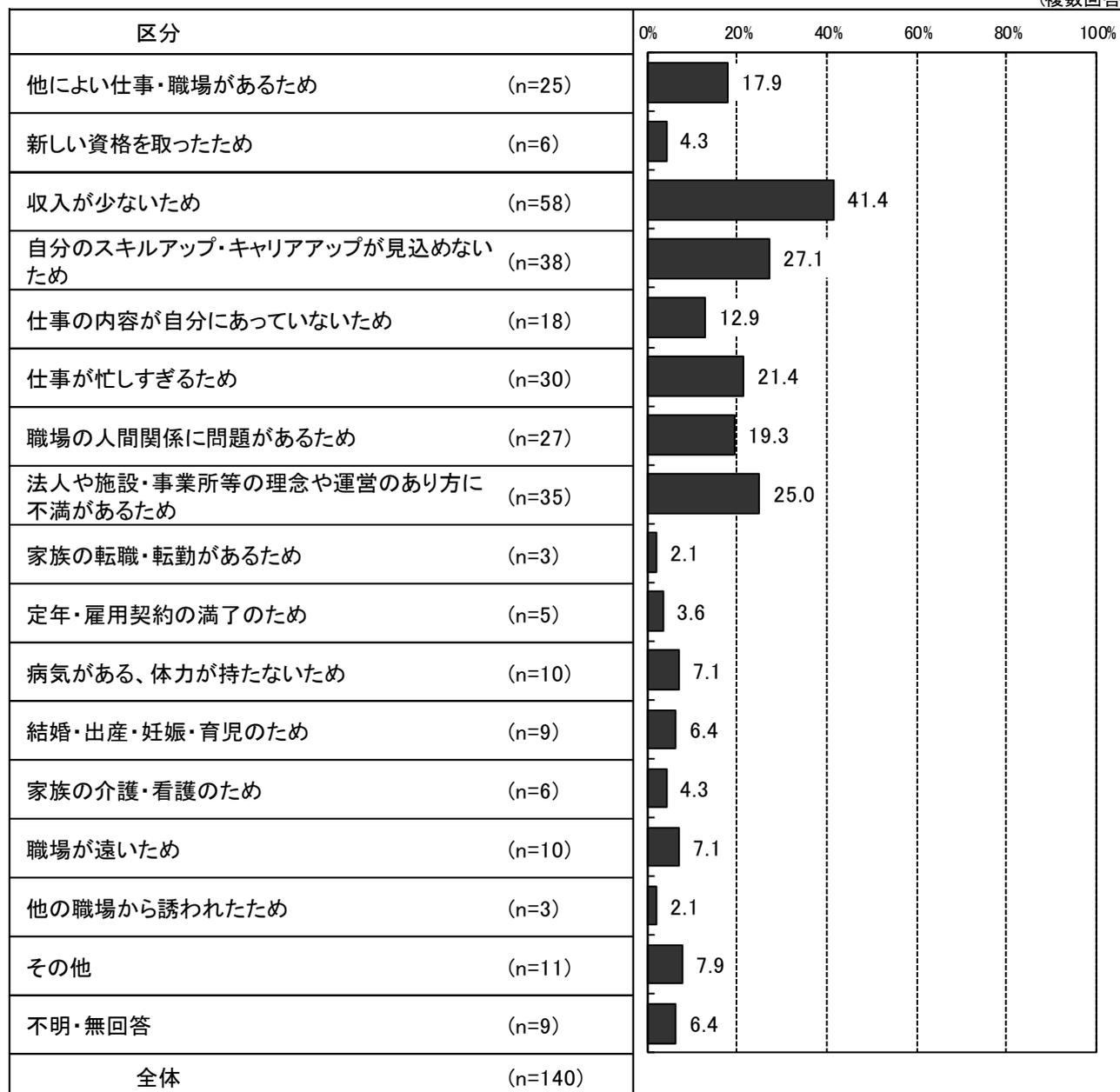


「未定・わからない」が43.6%で最も多く、次いで「福祉系(高齢者介護関係)」が32.1%、「福祉系以外」が16.4%となっています。

(1) で「2」もしくは「3」と答えた人におうかがいします。

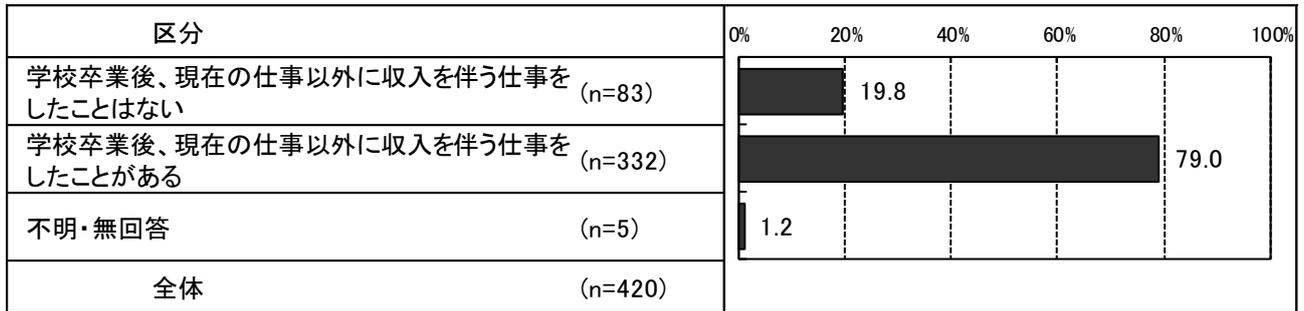
(3) 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「収入が少ないため」が 41.4%で最も多く、次いで「自分のスキルアップ・キャリアアップが見込めないため」が 27.1%、「法人や施設・事業所等の理念や運営のあり方に不満があるため」が 25.0%となっています。

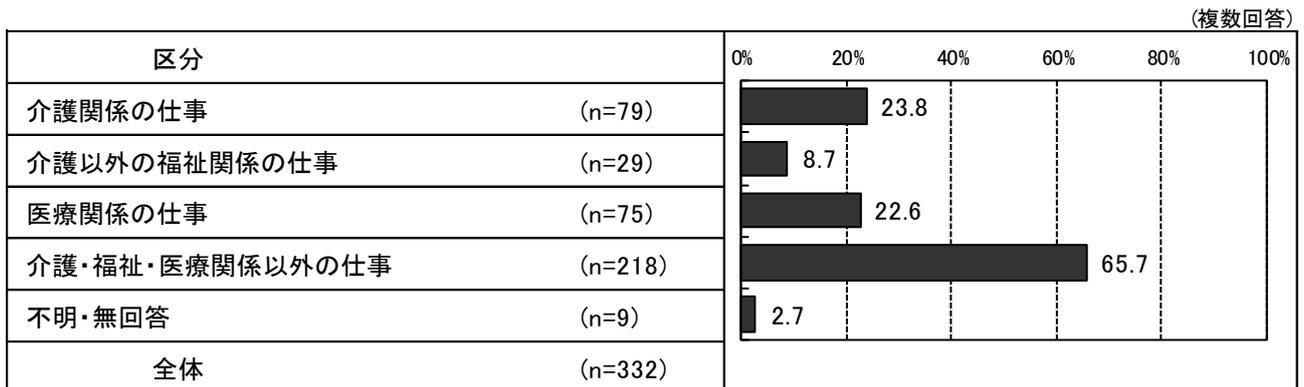
(4) 職歴について伺います。学校卒業後、現在の仕事以外に収入を伴う仕事をしたことがありますか。(1つだけ○)



「学校卒業後、現在の仕事以外に収入を伴う仕事をしたことがある」が 79.0%、「学校卒業後、現在の仕事以外に収入を伴う仕事をしたことはない」が 19.8%となっています。

(4) で「2」と答えた方におうかがいします。

(5) これまでの勤務先で経験した仕事内容は次のうちどれにあてはまりますか。(あてはまるものすべてに○)



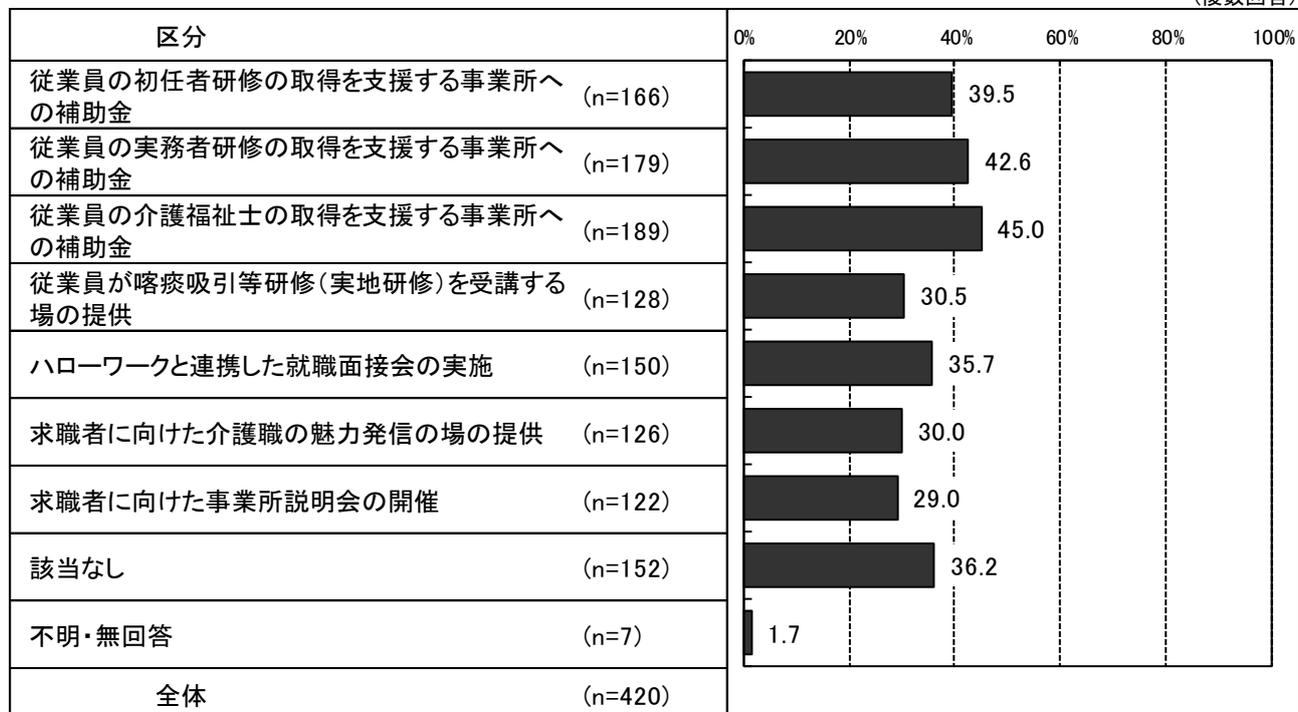
「介護・福祉・医療関係以外の仕事」が 65.7%で最も多く、次いで「介護関係の仕事」が 23.8%、「医療関係の仕事」が 22.6%となっています。

## 問5 行政からの支援について

(1) 市の既存の介護人材確保策のうち、職場に引き続き支援してほしいものは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

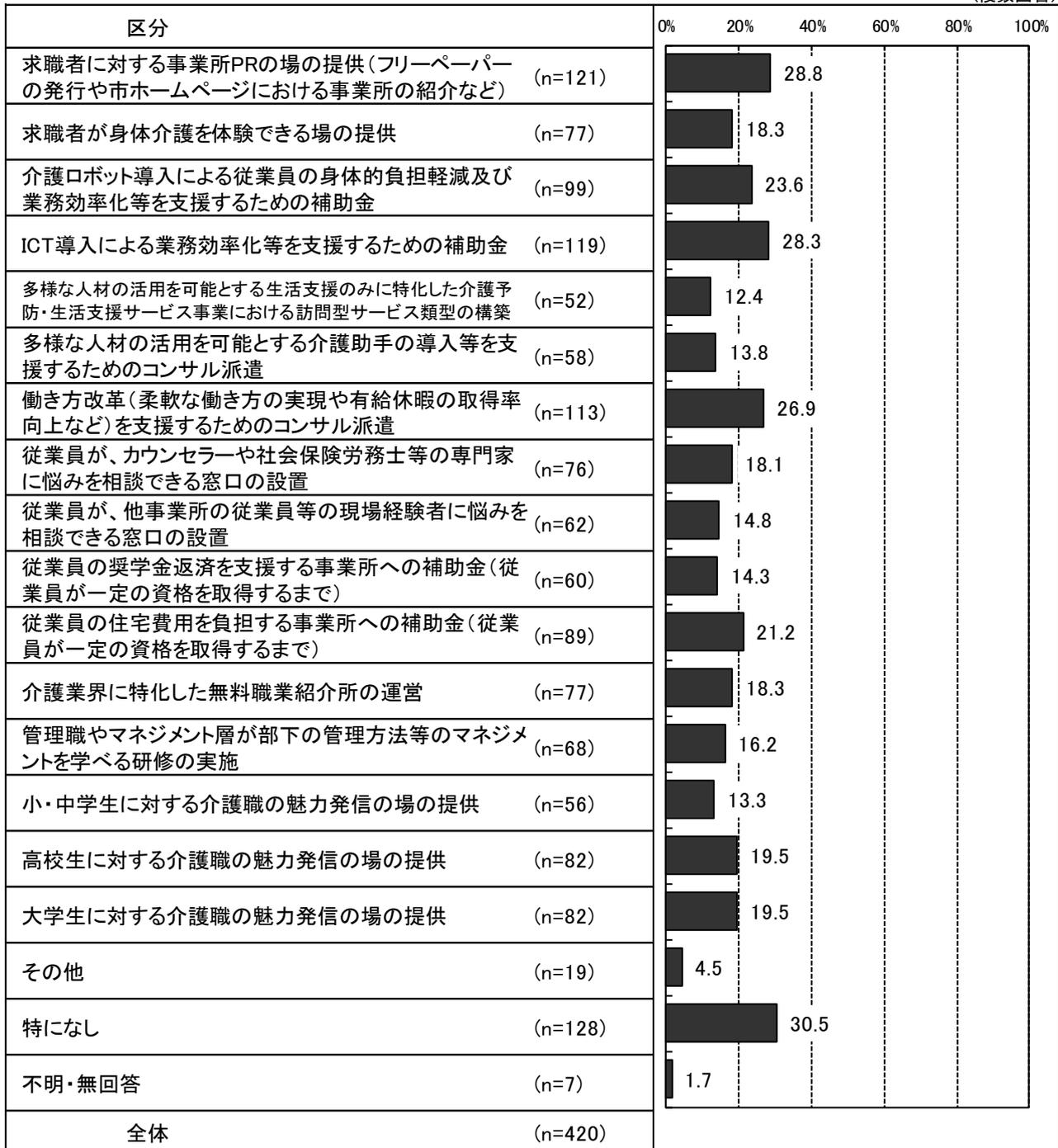
(複数回答)



「従業員の介護福祉士の取得を支援する事業所への補助金」が 45.0%で最も多く、次いで「従業員の実務者研修の取得を支援する事業所への補助金」が 42.6%、「従業員の初任者研修の取得を支援する事業所への補助金」が 39.5%となっています。

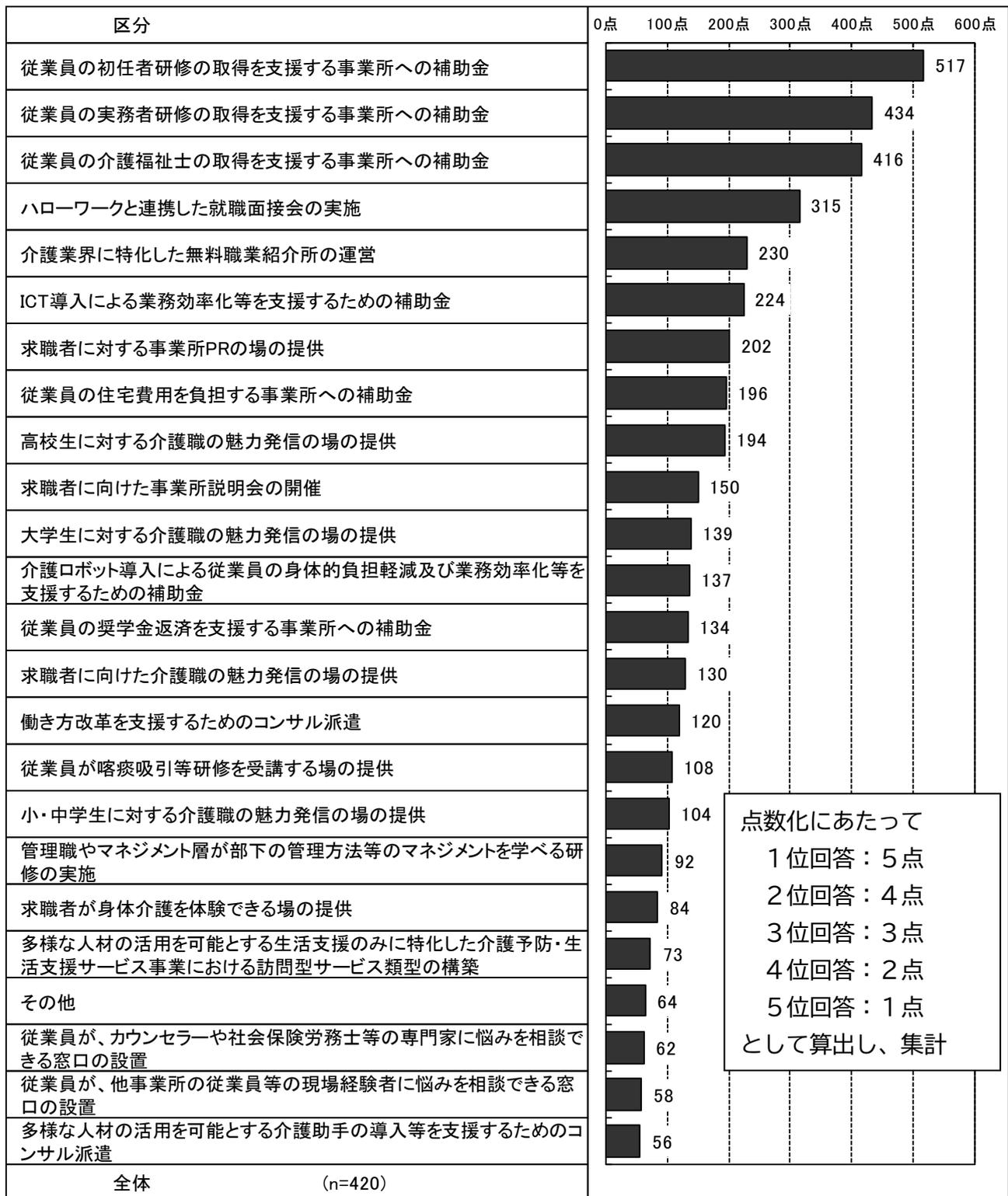
(2) 介護人材の確保に向けた行政支援として、現在の職場に支援してほしいものは何ですか  
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「特になし」が30.5%で最も多く、次いで「求職者に対する事業所PRの場の提供(フリーペーパーの発行や市ホームページにおける事業所の紹介など)」が28.8%、「ICT導入による業務効率化等を支援するための補助金」が28.3%となっています。

(3) (1)、(2) で記載した介護人材の確保のための施策のうち、最も効果的だと思うものを、効果が高いと思う順に5つまで選択してください。

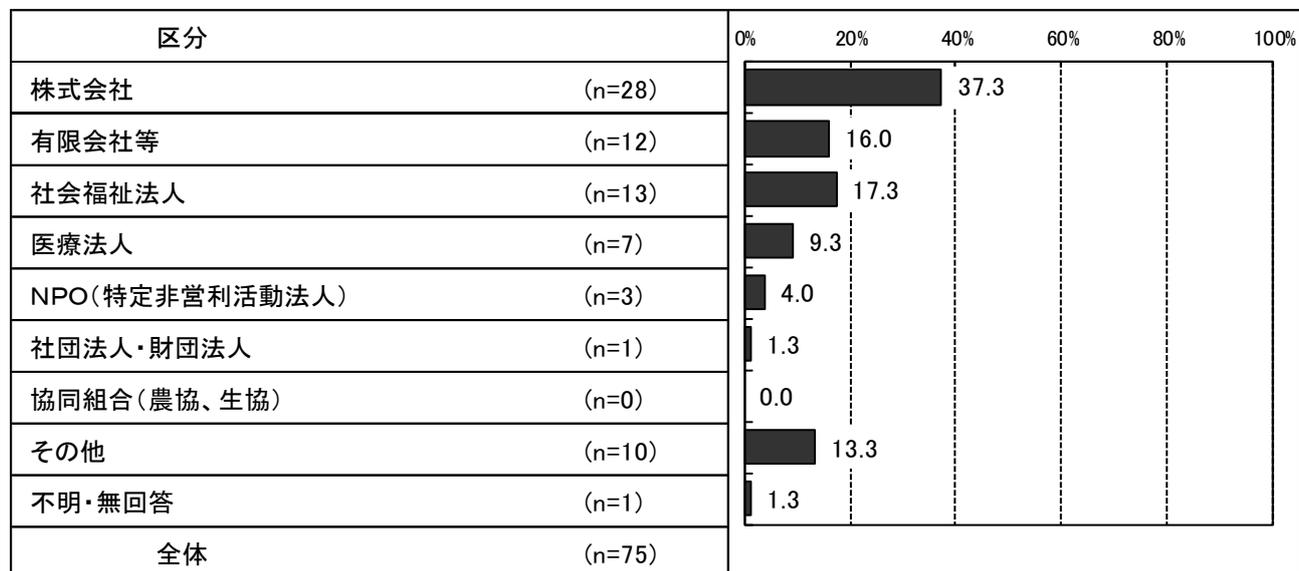


「従業員の初任者研修の取得を支援する事業所への補助金」が 517 点で最も高く、次いで「従業員の実務者研修の取得を支援する事業所への補助金」が 434 点、「従業員の介護福祉士の取得を支援する事業所への補助金」が 416 点となっています。

## 第4章 居宅介護支援事業所調査結果

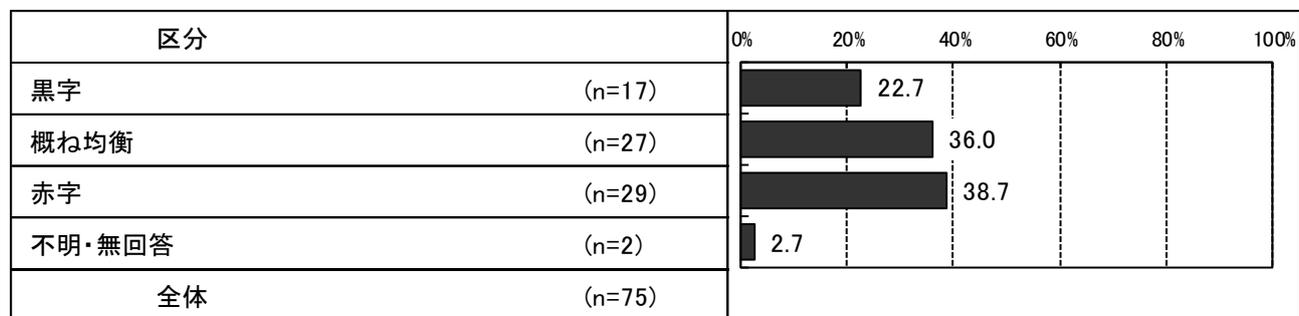
### 貴法人について

#### ①法人の種類



「株式会社」が 37.3%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が 17.3%、「有限会社等」が 16.0%となっています。

#### ②事業所（拠点単位）の収支状況



「赤字」が 38.7%で最も多く、次いで「概ね均衡」が 36.0%、「黒字」が 22.7%となっています。

## 問1 貴事業所の従業員について

①在籍者の実人数及び常勤換算人数を記入してください。（令和5年1月現在）

		実人数合計	内訳		
			常勤専従	常勤兼務	非常勤
ケアマネジャー	人	332	215	84	33
	%	100.0	64.8	25.3	9.9
うち主任ケアマネジャー	人	171	114	49	8
	%	100.0	66.7	28.7	4.7
上記以外の従業員	人	46	27	16	3
	%	100.0	58.7	34.8	6.5
全従業員	人	378	242	100	36
	%	100.0	64.0	26.5	9.5

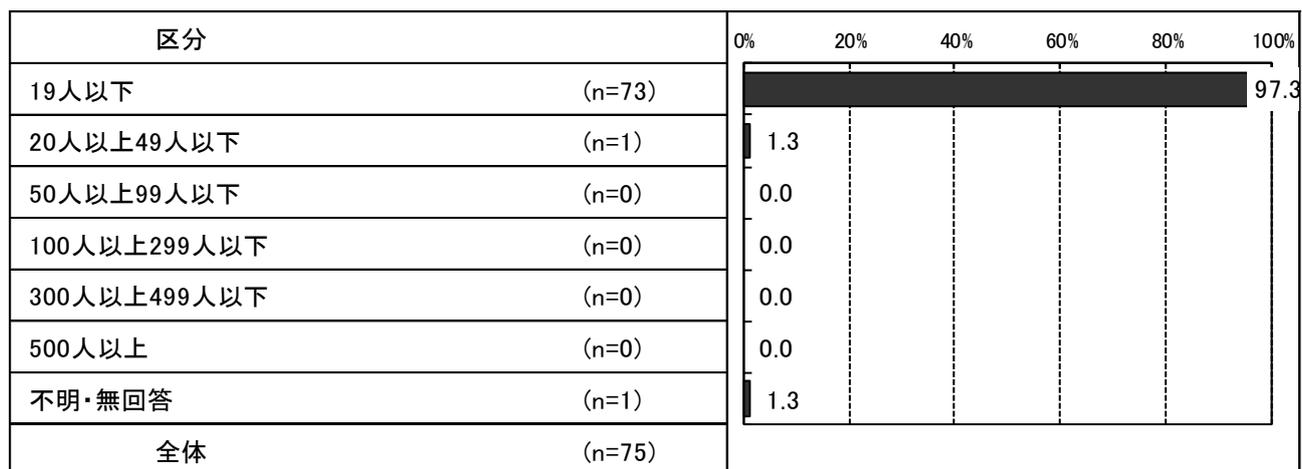
ケアマネジャーの実人数合計は322人で、うち「常勤専従」が215人（構成比64.8%）で最も多く、次いで「常勤兼務」が84人（構成比25.3%）、「非常勤」が33人（構成比9.9%）となっています。

うち主任ケアマネジャーの実人数合計は171人で、うち「常勤専従」が114人（構成比66.7%）で最も多く、次いで「常勤兼務」が49人（構成比28.7%）、「非常勤」が8人（構成比4.7%）となっています。

### 【参考】職種別平均人数

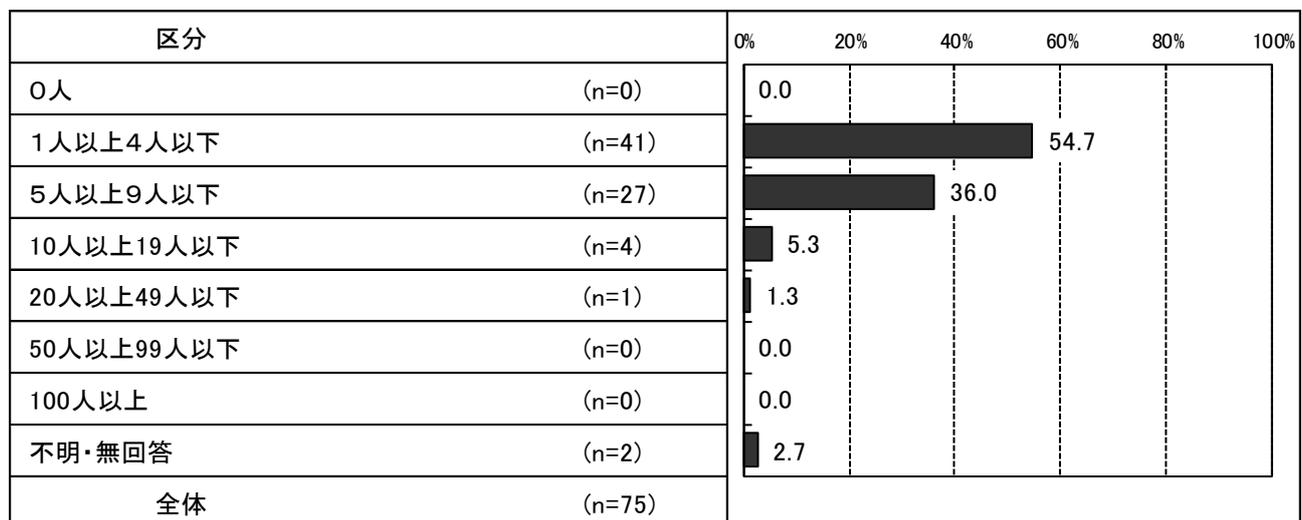
		実人数合計	内訳		
			常勤専従	常勤兼務	非常勤
ケアマネジャー	n	73	67	51	36
	実人数計	332	215	84	33
	平均人数	4.55	3.21	1.65	0.92
うち主任ケアマネジャー	n	71	62	46	29
	実人数計	171	114	49	8
	平均人数	2.41	1.84	1.07	0.28
上記以外の従業員	n	53	42	38	25
	実人数計	46	27	16	3
	平均人数	0.87	0.64	0.42	0.12
全従業員	n	74			
	実人数計	378	242	100	36
	平均人数	5.11	3.27	1.35	0.49

### 全従業員の人員構成



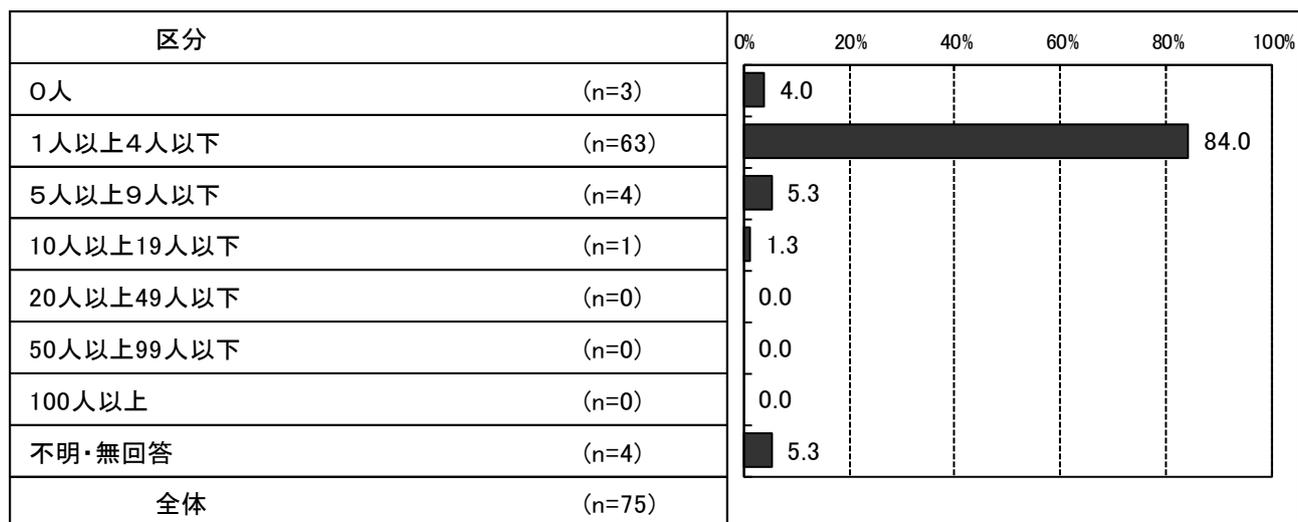
「19人以下」が97.3%で最も多く、次いで「20人以上49人以下」が1.3%となっています。

### ケアマネジャーの人員構成



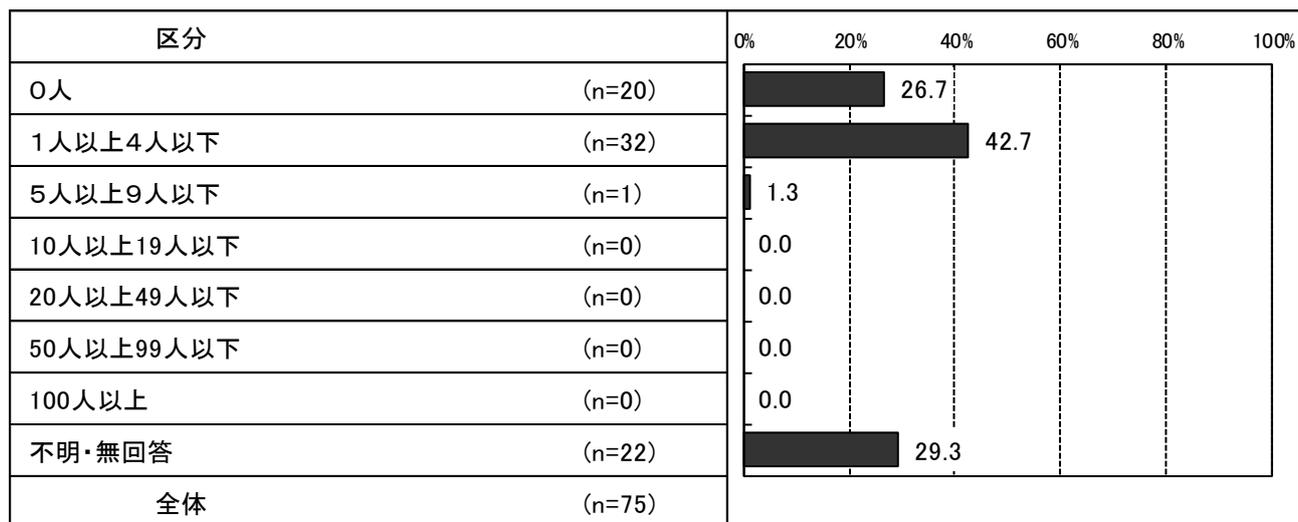
「1人以上4人以下」が54.7%で最も多く、次いで「5人以上9人以下」が36.0%、「10人以上19人以下」が5.3%となっています。

### 主任ケアマネジャーの人員構成



「1人以上4人以下」が84.0%で最も多く、次いで「5人以上9人以下」が5.3%、「0人」が4.0%となっています。

### その他従業員の人員構成



「1人以上4人以下」が42.7%で最も多く、次いで「0人」が26.7%、「5人以上9人以下」が1.3%となっています。

②この1年間におけるケアマネジャーの採用者数と離職者数について、実人数を御記入ください。  
 (令和4年1月1日～令和4年12月31日までの期間において) また、離職者のうち新型コロナウイルスの蔓延を理由(業務負担の増加や感染リスクへの懸念などが原因の人)に辞めた実人数と、介護離職をした方の実人数をお答えください。

	採用人数	離職者数	離職の状況			
			離職者のうち、			
			コロナを理由に辞めた人数		親族等の介護を理由に辞めた人数	
			人	%	人	%
ケアマネジャー	34	11	0	0.0	4	36.4
うち主任ケアマネジャー	16	9	0	0.0	2	22.2

ケアマネジャーの採用人数は34人、離職者は11人となっています。

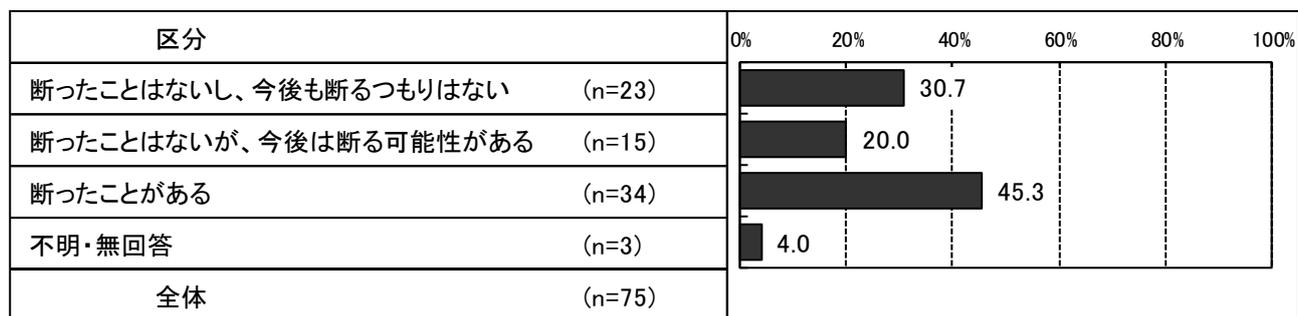
うち、主任ケアマネジャーの採用人数は16人、離職者は9人となっています。

	回答事業所数	a	b	c	d	e	f
		令和4年1月の在籍者数(人)	令和5年1月の在籍者数(人)	1年間の採用者(人)	1年間の離職者(人)	採用率(%)	離職率(%)
ケアマネジャー	73	309	332	34	11	11.0	3.6
うち主任ケアマネジャー	71	164	171	16	9	9.8	5.5

ケアマネジャーの採用率は11.0%、離職率は3.6%となっています。

主任ケアマネジャーの採用率は9.8%、離職率は5.5%となっています。

③ケアマネジャーが不足していることを理由に、この1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日までの期間）にサービス提供を断ったことはありますか。（1つに○）

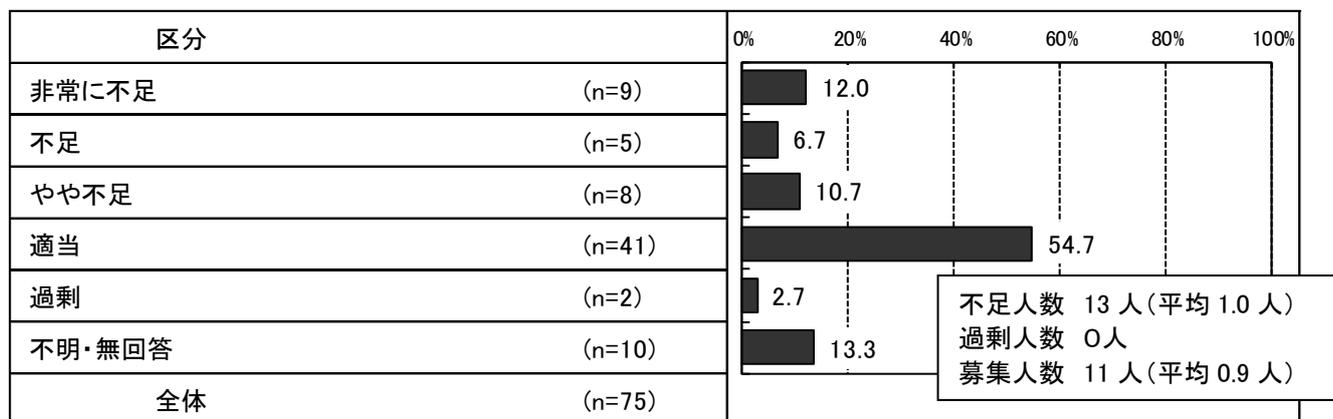


「断ったことがある」が45.3%で最も多く、次いで「断ったことはないし、今後も断るつもりはない」が30.7%、「断ったことはないが、今後は断る可能性がある」が20.0%となっています。

④貴事業所のケアマネジャーの過不足状況について、該当するものに○をつけてください。

また不足している人数もしくは過剰の人数を御記入ください。「不足」と答えられた方は、現在募集されている人数もお答えください（不足している人数と募集している人数は必ずしも一致しません）。

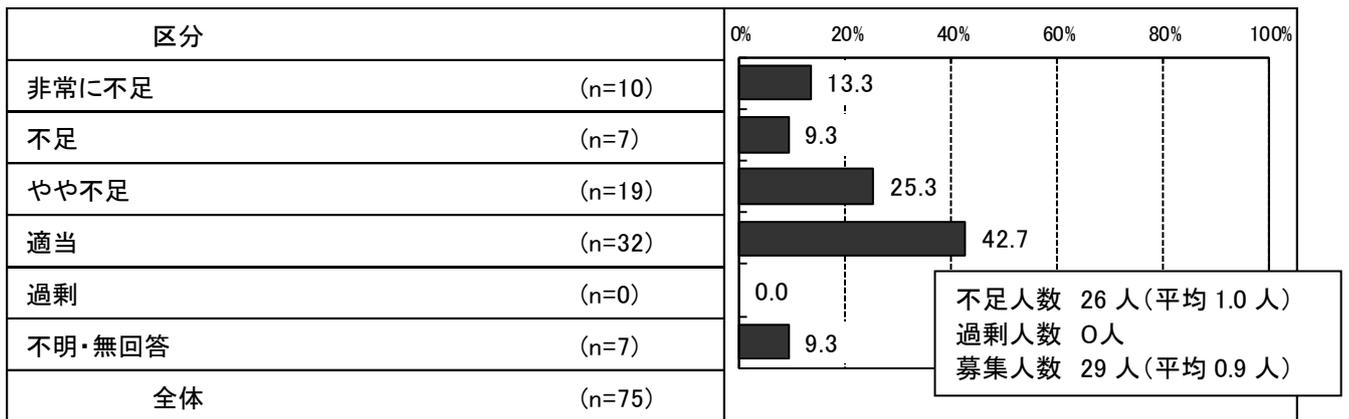
■主任ケアマネジャーの過不足状況、不足または過剰の人数、募集している人数



「適当」が54.7%で最も多く、次いで「非常に不足」が12.0%、「やや不足」が10.7%となっています。

不足している人数は合計13人、募集人数は11人となっています。

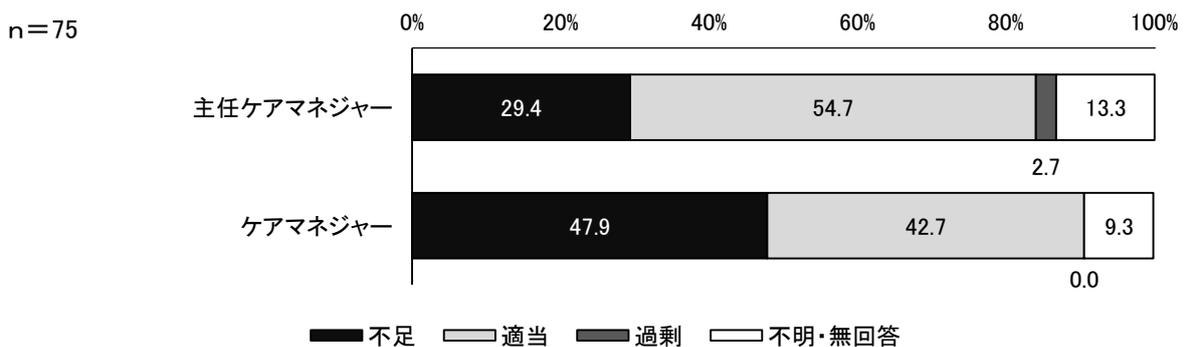
■ケアマネジャーの過不足状況、不足または過剰の人数、募集している人数



「適当」が42.7%で最も多く、次いで「やや不足」が25.3%、「非常に不足」が13.3%となっています。

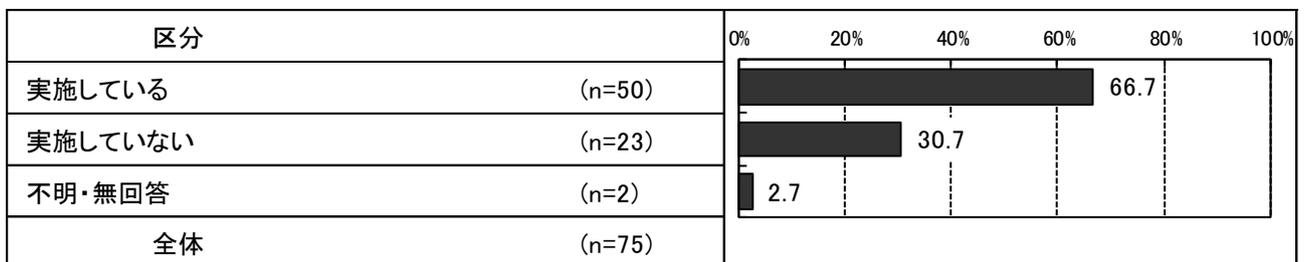
不足している人数は合計13人、募集人数は11人となっています。

【参考】ケアマネジャーの過不足状況一覧



※上記の「不足」は「非常に不足」と「不足」と「やや不足」の計

⑤貴事業所では、同一敷地内で、居宅介護支援を除く介護保険サービスを実施していますか。  
 (1つに○)



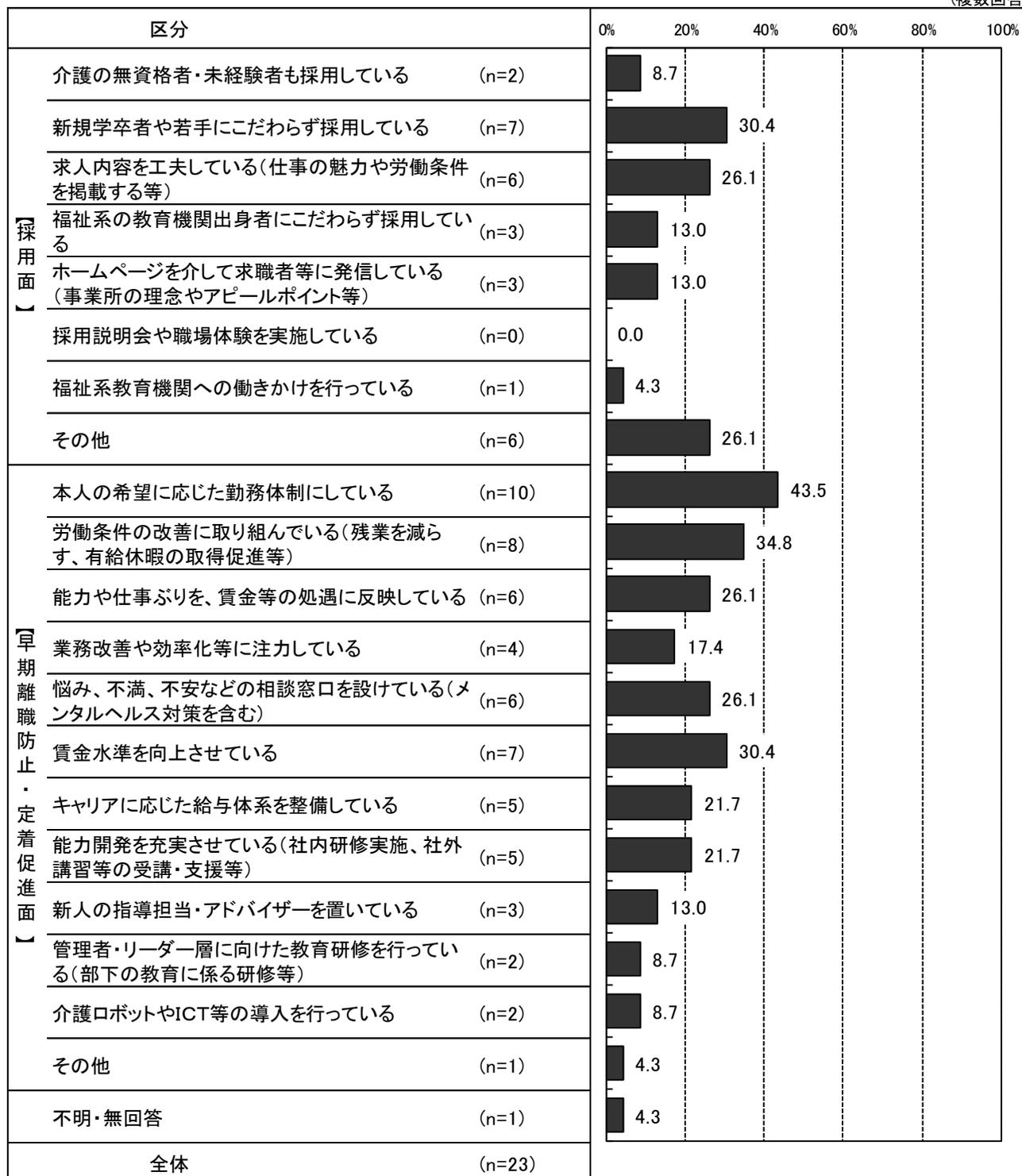
「実施している」が66.7%、「実施していない」が30.7%となっています。

以降の間は、⑤で「2. 実施していない」と答えた方へのみ

## 問2 貴事業所の従業員の確保策について

①貴事業所では従業員の確保にあたって、どのような工夫を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

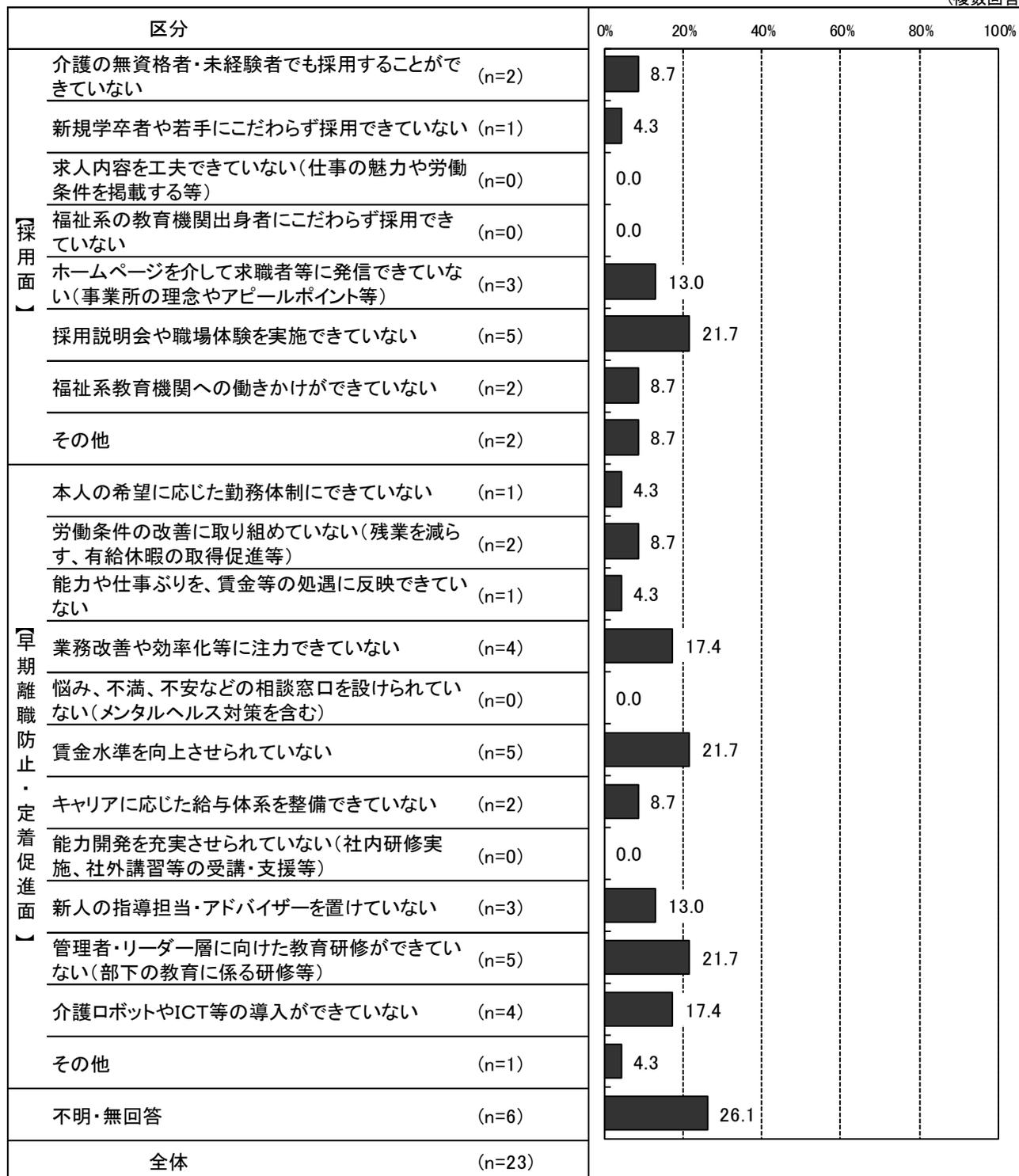
(複数回答)



「本人の希望に応じた勤務体制にしている」が 43.5%で最も多く、次いで「労働条件の改善に取り組んでいる(残業を減らす、有給休暇の取得促進等)」が 34.8%、「新規学卒者や若手にこだわらず採用している」と「賃金水準を向上させている」が、ともに 30.4%となっています。

②また、従業員の確保にあたって、実施したいができていないものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

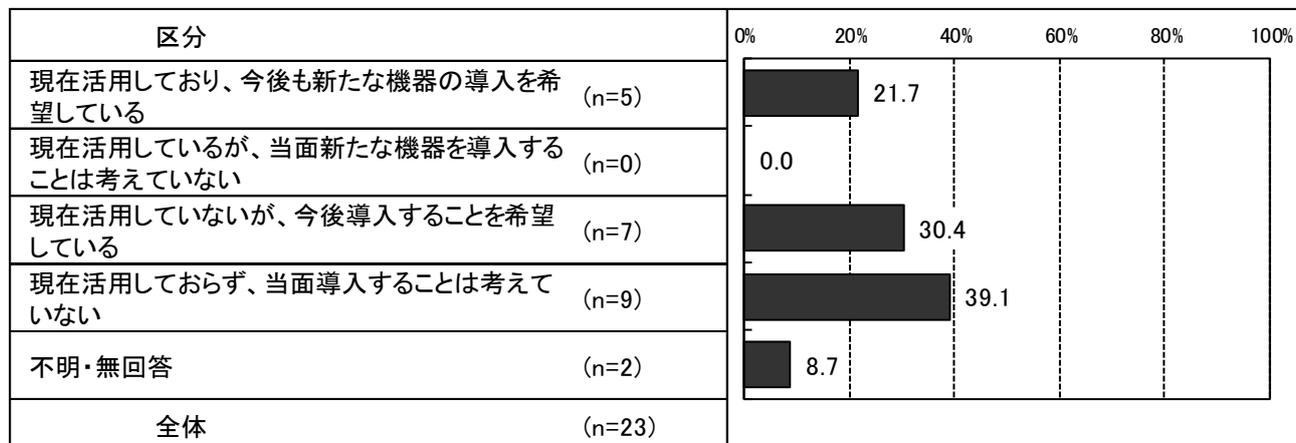
(複数回答)



「採用説明会や職場体験を実施できていない」と「賃金水準を向上させられていない」と「管理者・リーダー層に向けた教育研修ができていない（部下の教育に係る研修等）」がともに21.7%で最も多く、次いで「業務改善や効率化等に注力できていない」と「介護ロボットやICT等の導入ができていない」がともに17.4%となっています。

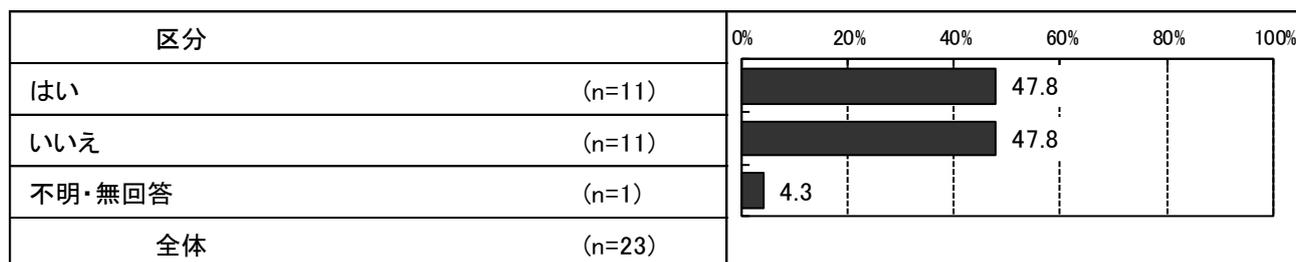
### 問3 貴事業所のICTの導入に係る考えについて

#### ① ICTの導入について、意向はありますか。(1つに○)



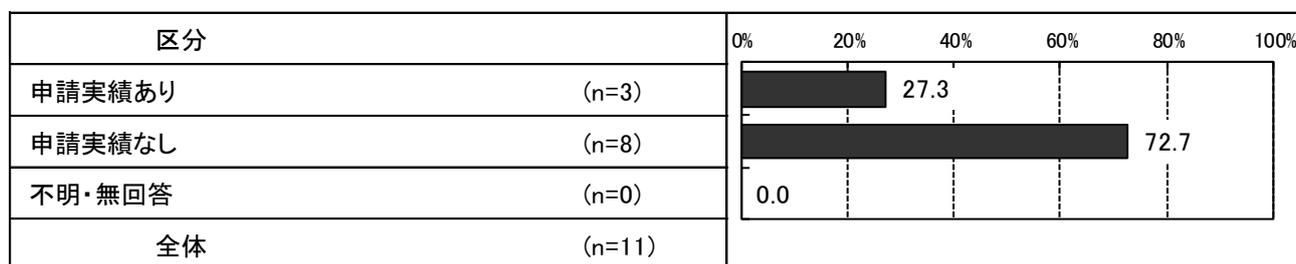
「現在活用しておらず、当面導入することは考えていない」が39.1%で最も多く、次いで「現在活用していないが、今後導入することを希望している」が30.4%、「現在活用しており、今後も新たな機器の導入を希望している」が21.7%となっています。

#### ② ICTの導入に際して、大阪府が補助金を出していることを知っていますか。(1つに○)



「はい」と「いいえ」が、ともに47.8%となっています。

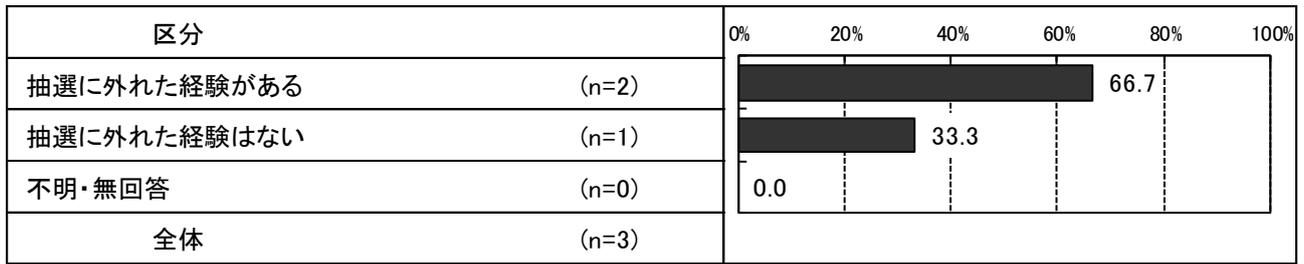
#### ②-1 大阪府の補助金について、令和4年度に申請した実績はありますか。(1つに○)



「申請実績なし」が72.7%、「申請実績あり」が27.3%となっています。

②-1で「1」と答えた方におうかがいします。

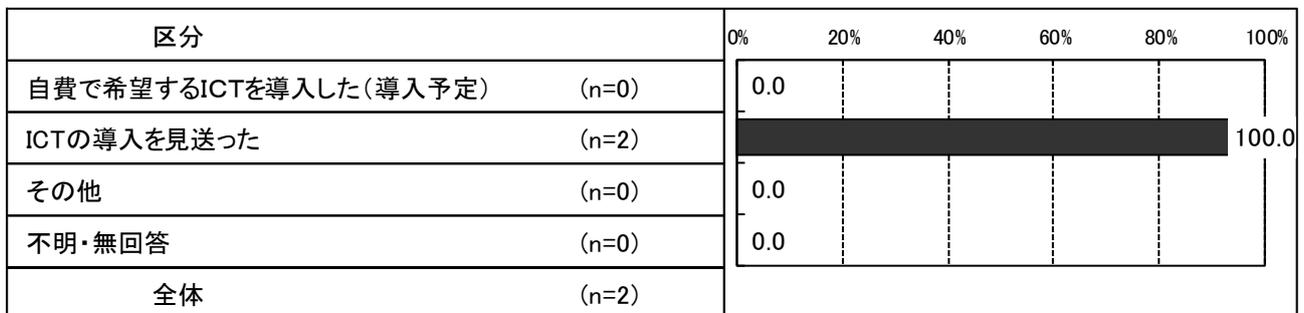
②-2 令和4年度に補助金を申請した際、抽選に外れた経験はありますか。(1つに○)



「抽選に外れた経験がある」が 66.7%、「抽選に外れた経験はない」が 33.3%となっています。

②-2で「1」と答えた方におうかがいします。

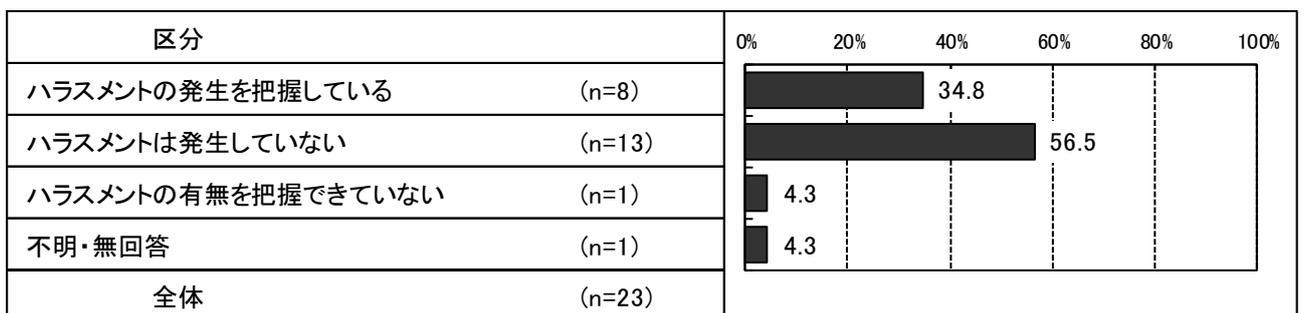
②-3 抽選に外れた後、どのような対応を取られましたか。(1つに○)



「ICTの導入を見送った」が 100.0%となっています。

#### 問4 貴事業所における利用者・家族等からのハラスメントの状況等について

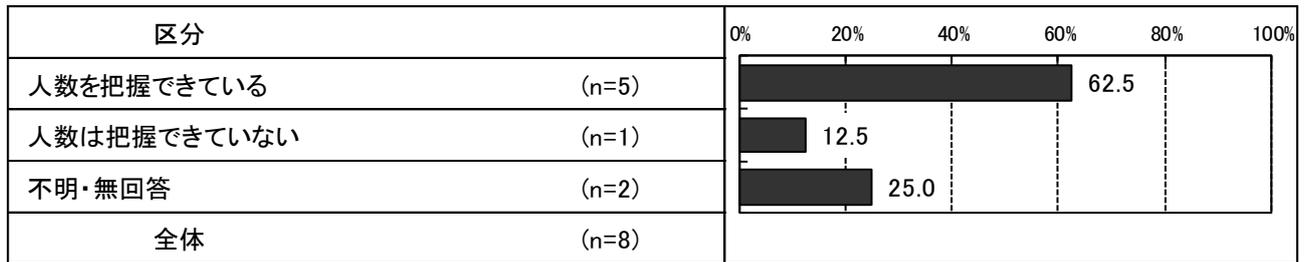
①この1年間(令和4年1月1日~令和4年12月31日までの期間)に貴事業所において利用者・家族等からのハラスメントの発生状況を把握していますか。(1つに○)



「ハラスメントは発生していない」が 56.5%で最も多く、次いで「ハラスメントの発生を把握している」が 34.8%、「ハラスメントの有無を把握できていない」が 4.3%となっています。

①で「1. ハラスメントの発生を把握している」と答えた人におうかがいします。

①-1 把握している利用者・家族等からのハラスメント人数をお答えください。(1つに○)



「人数を把握できている」が62.5%、「人数は把握できていない」が12.5%となっています。

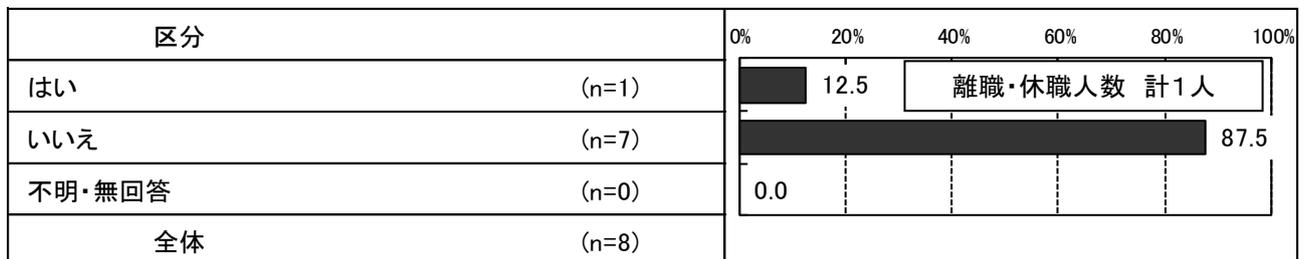
①-1-1 把握している人数を利用者・家族に分けてお答えください。

n = 5

	回答数 (n)	人数計	平均人数
利用者からのハラスメントの人数	2件	4人	2.0人
家族等からのハラスメントの人数	5件	8人	1.6人

利用者からのハラスメントの人数は4人(平均2.0人)、家族等からのハラスメントの人数は8人(平均1.6人)となっています。

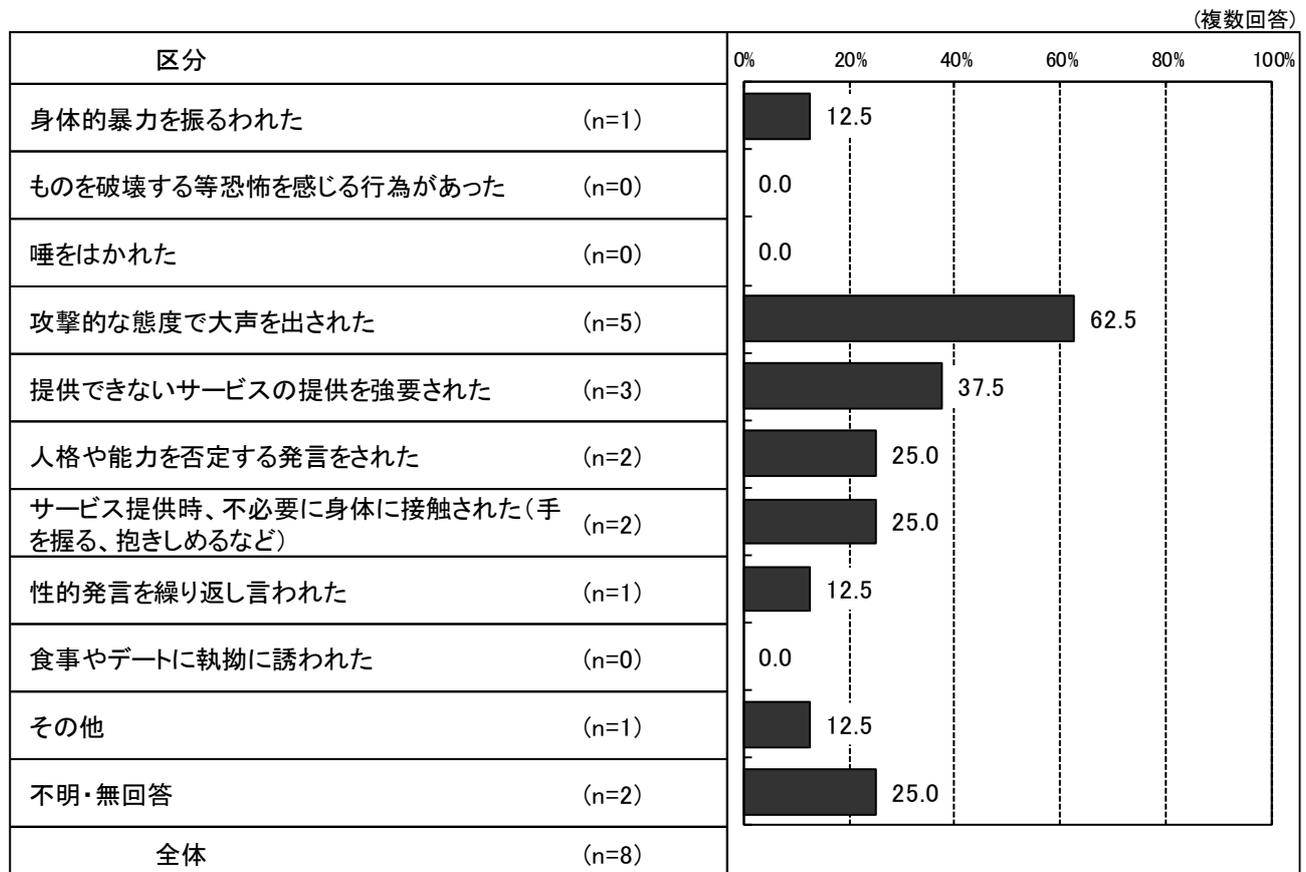
①-2 この1年間(令和4年1月1日~令和4年12月31日までの期間)にハラスメントが原因で離職・休職した人はいましたか。(1つに○)



「いいえ」が87.5%、「はい」が12.5%となっています。

また、ハラスメントが下人で離職・休職したひとは計1人となっています。

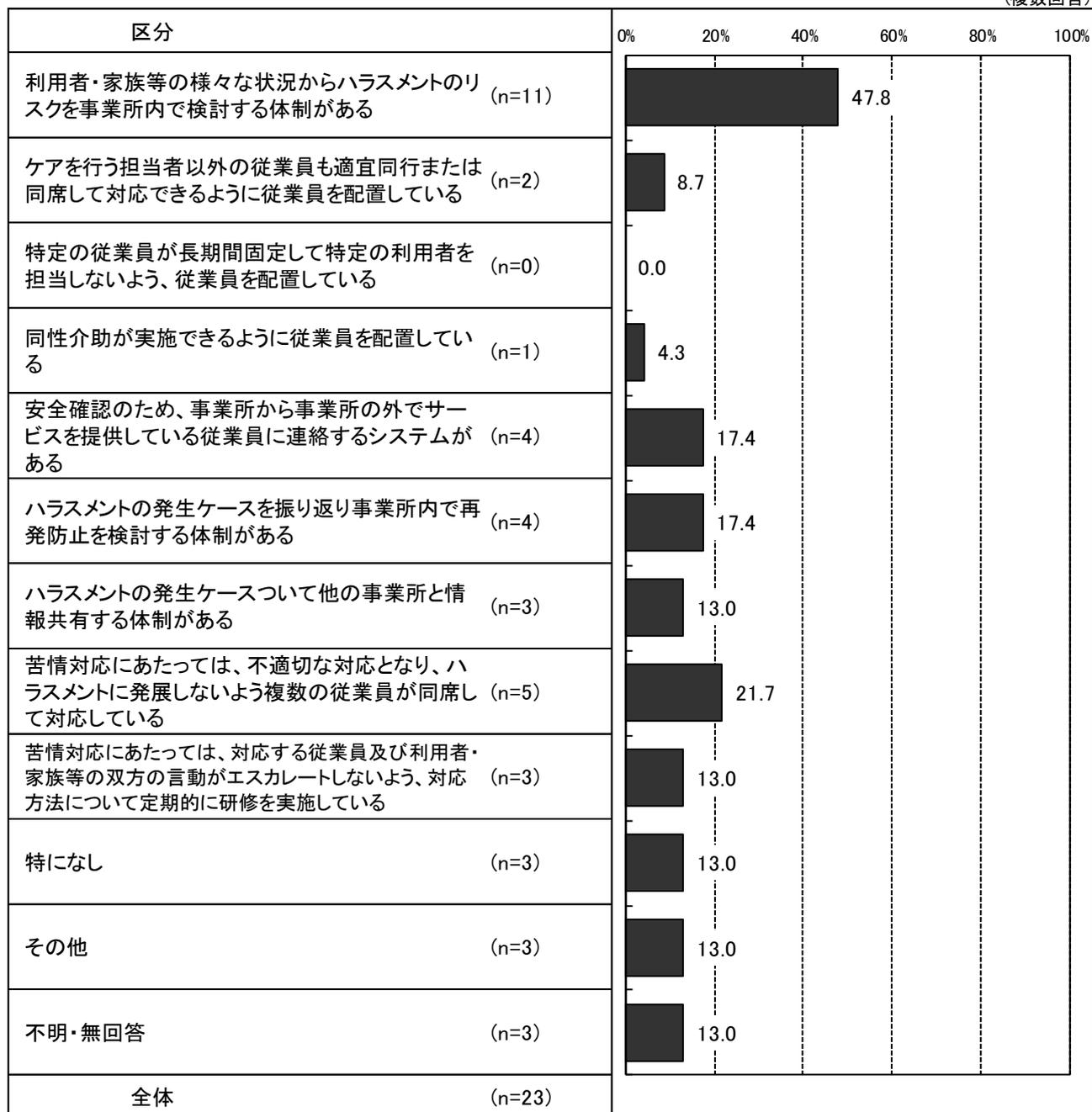
①-3 この1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日までの期間）に発生した利用者・家族等からのハラスメントの内容をお答えください。（あてはまるものすべてに○）



「攻撃的な態度で大声を出された」が 62.5%で最も多く、次いで「提供できないサービスの提供を強要された」が 37.5%、「人格や能力を否定する発言をされた」と「サービス提供時、不必要に身体に接触された（手を握る、抱きしめるなど）」が、ともに 25.0%となっています。

②利用者・家族等からのハラスメントに対する貴事業所の防止対策の整備状況をお答えください。  
 (あてはまるものすべてに○)

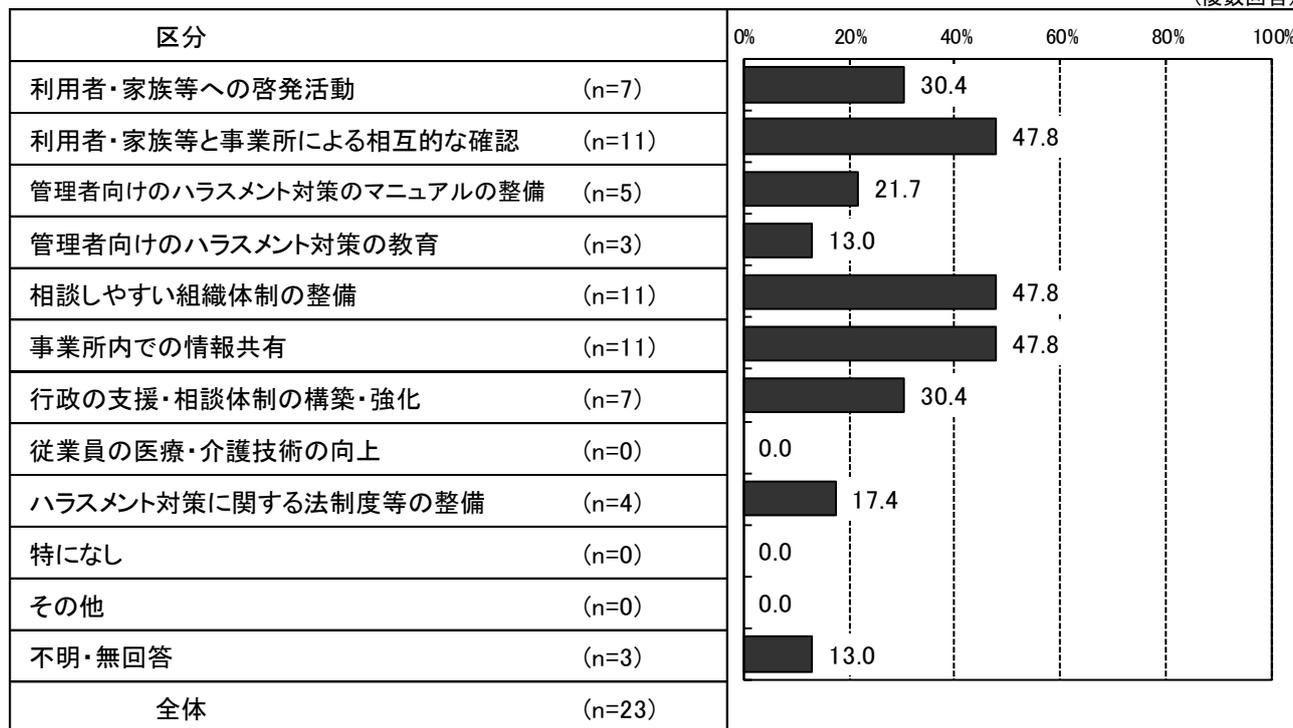
(複数回答)



「利用者・家族等の様々な状況からハラスメントのリスクを事業所内で検討する体制がある」が 47.8%で最も多く、次いで「苦情対応にあたっては、不適切な対応となり、ハラスメントに発展しないよう複数の従業員が同席して対応している」が 21.7%、「安全確認のため、事業所から事業所の外でサービスを提供している従業員に連絡するシステムがある」と「ハラスメントの発生ケースを振り返り事業所内で再発防止を検討する体制がある」が、ともに 17.4%となっています。

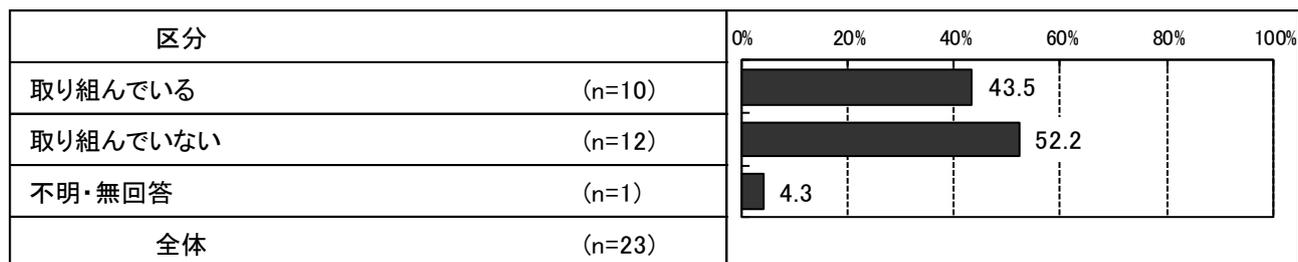
③利用者・家族等からのハラスメントの対応で、貴事業所として必要と考えるものは何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「利用者・家族等と事業所による相互的な確認」と「相談しやすい組織体制の整備」と「事業所内での情報共有」が、ともに 47.8%で最も多く、次いで「利用者・家族等への啓発活動」と「行政の支援・相談体制の構築・強化」が、ともに 30.4%、「管理者向けのハラスメント対策のマニュアルの整備」が 21.7%となっています。

④貴事業所では、心の健康対策（メンタルヘルスケア）に取り組んでいますか。（1つに○）

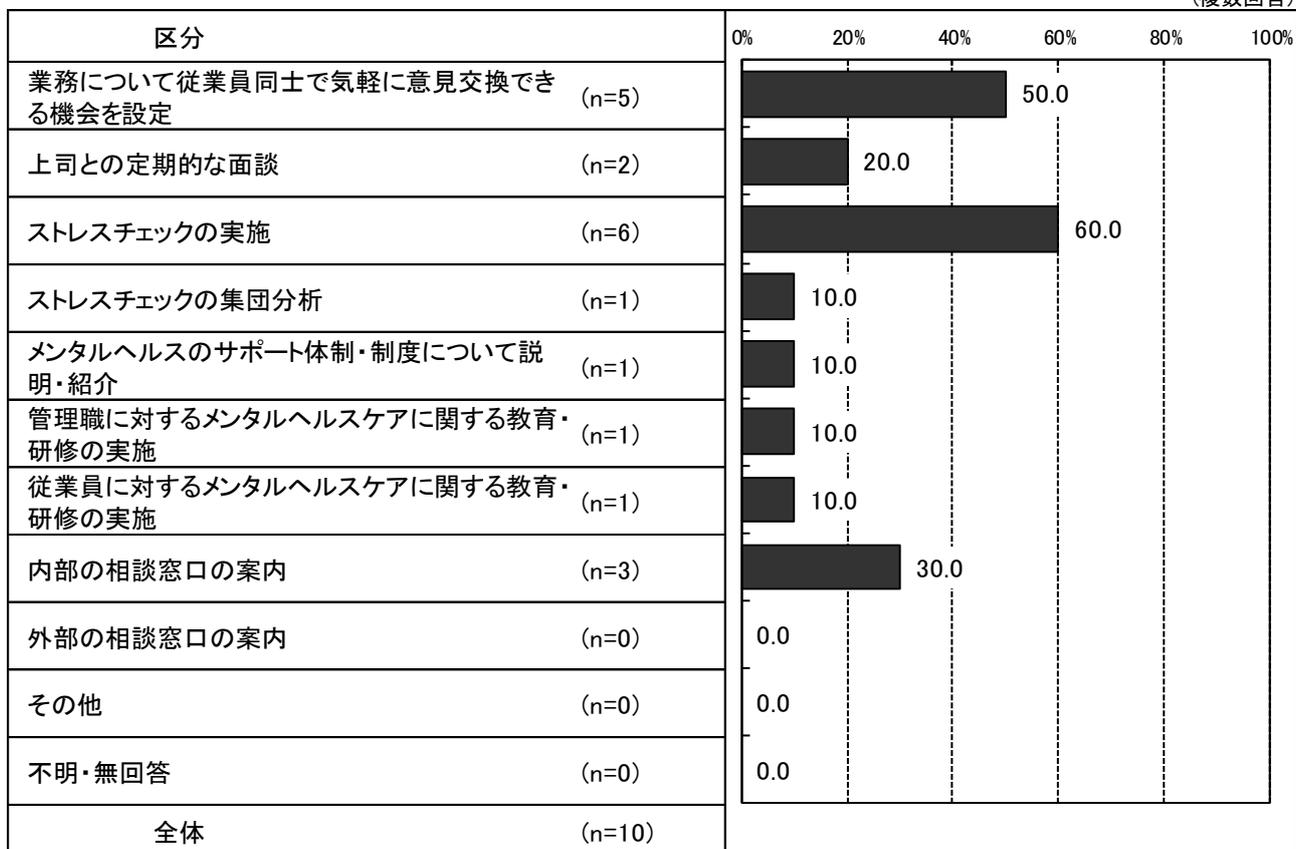


「取り組んでいない」が 52.2%、「取り組んでいる」が 43.5%となっています。

④で「1. 取り組んでいる」と答えた人におうかがいします。

⑤貴事業所で取り組んでいる心の健康対策（メンタルヘルスケア）は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

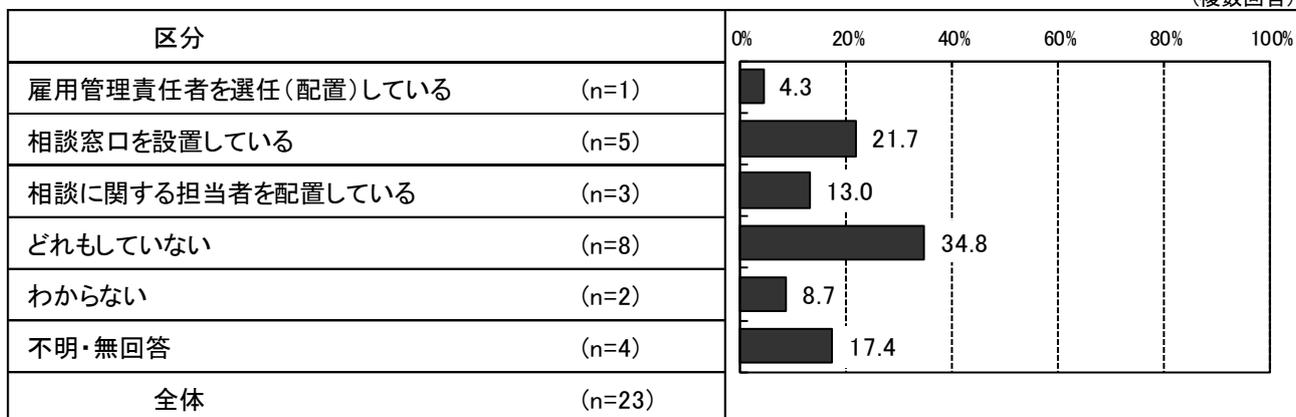
(複数回答)



「ストレスチェックの実施」が 60.0%で最も多く、次いで「業務について従業員同士で気軽に意見交換できる機会を設定」が 50.0%、「内部の相談窓口の案内」が 30.0%となっています。

⑥貴事業所では、従業員に何か悩みがある場合、雇用管理責任者またはそれ以外で相談できる窓口や担当者がいますか。（あてはまるものすべてに○）

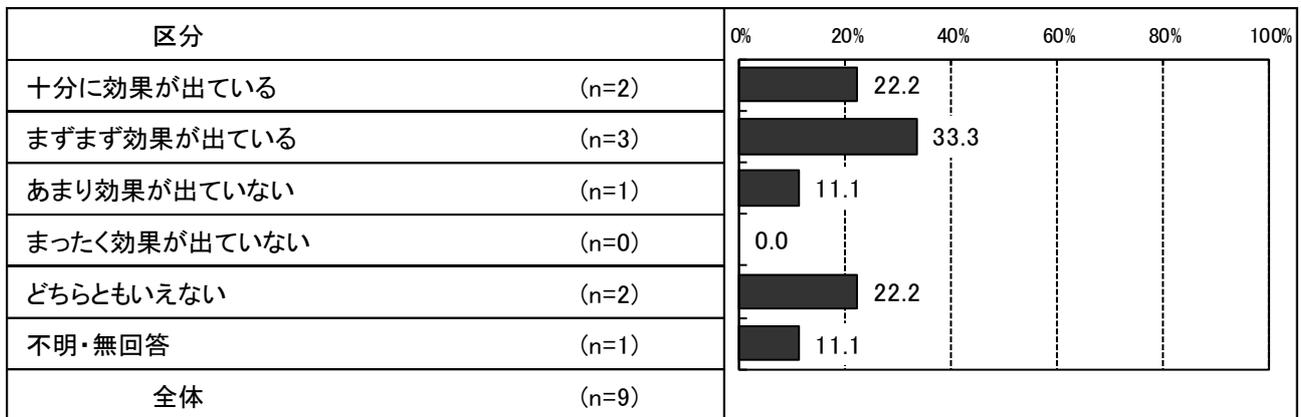
(複数回答)



「どれもしていない」が 34.8%で最も多く、次いで「相談窓口を設置している」が 21.7%、「相談に関する担当者を配置している」が 13.0%となっています。

**⑥で「1」～「3」を答えた方**

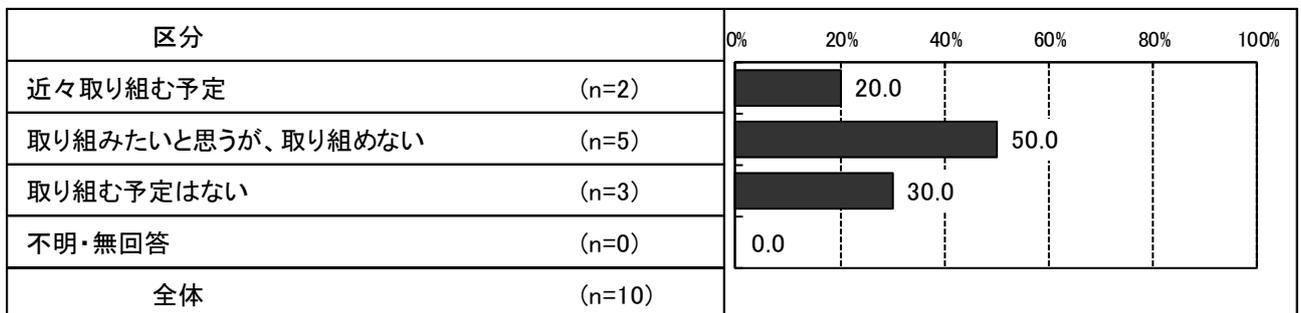
⑥-1 相談体制を整えたことで、従業員の確保（採用・離職防止・定着促進面）で効果は出ていますか。（1つに○）



「まずまず効果が出ている」が 33.3%で最も多く、次いで「十分に効果が出ている」と「どちらともいえない」が、ともに 22.2%、「あまり効果が出ていない」が 11.1%となっています。

**⑥で「4. どれもしていない」もしくは「5. わからない」と答えた方**

⑥-2 今後、雇用管理責任者の専任や相談できる窓口・担当者を配置するなどに取り組みたいと思いますか。（1つに○）



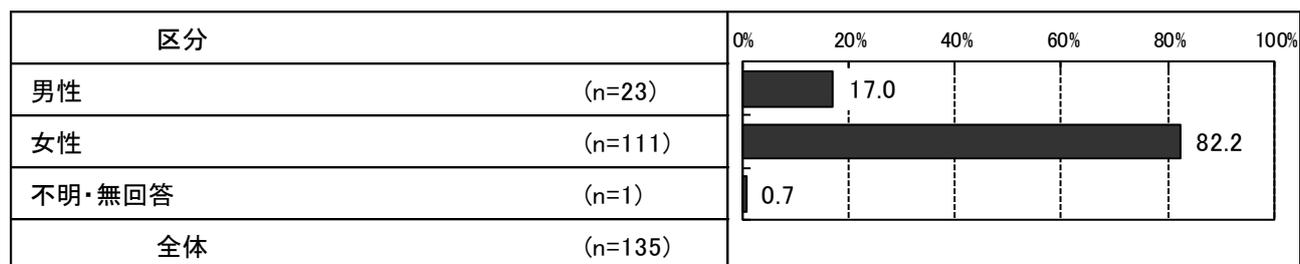
「取り組みたいと思うが、取り組めない」が 50.0%で最も多く、次いで「取り組む予定はない」が 30.0%、「近々取り組む予定」が 20.0%となっています。

## 第5章 ケアマネジャー実態調査結果

### 問1 あなた御自身について

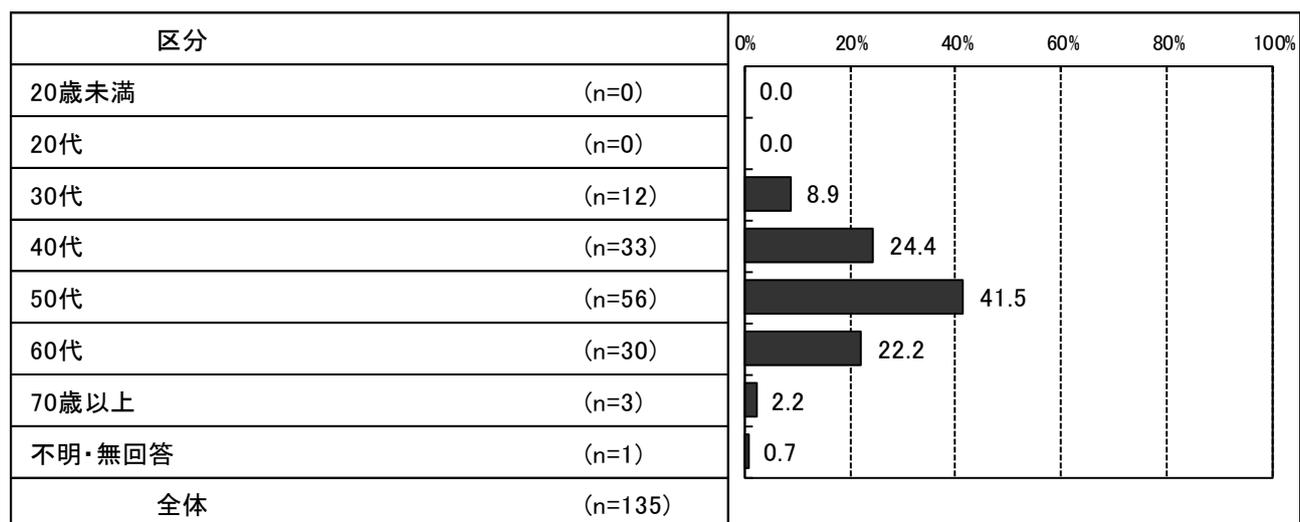
(1) あなた御自身について、御回答ください。

#### ①性別（1つだけ○）



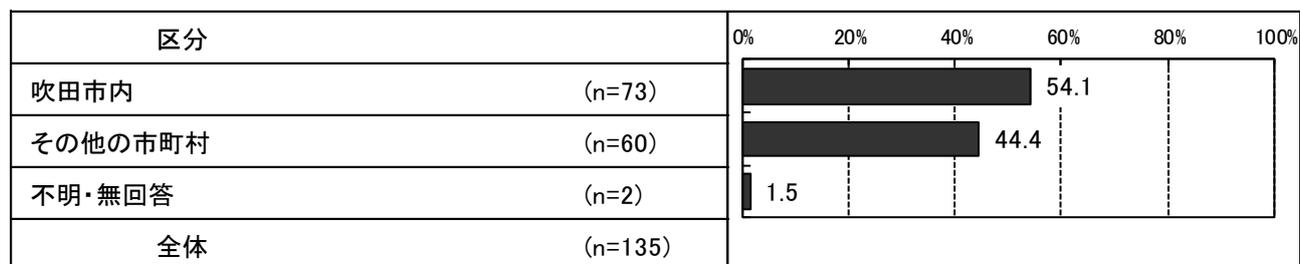
「女性」が82.2%、「男性」が17.0%となっています。

#### ②年齢（1つだけ○）



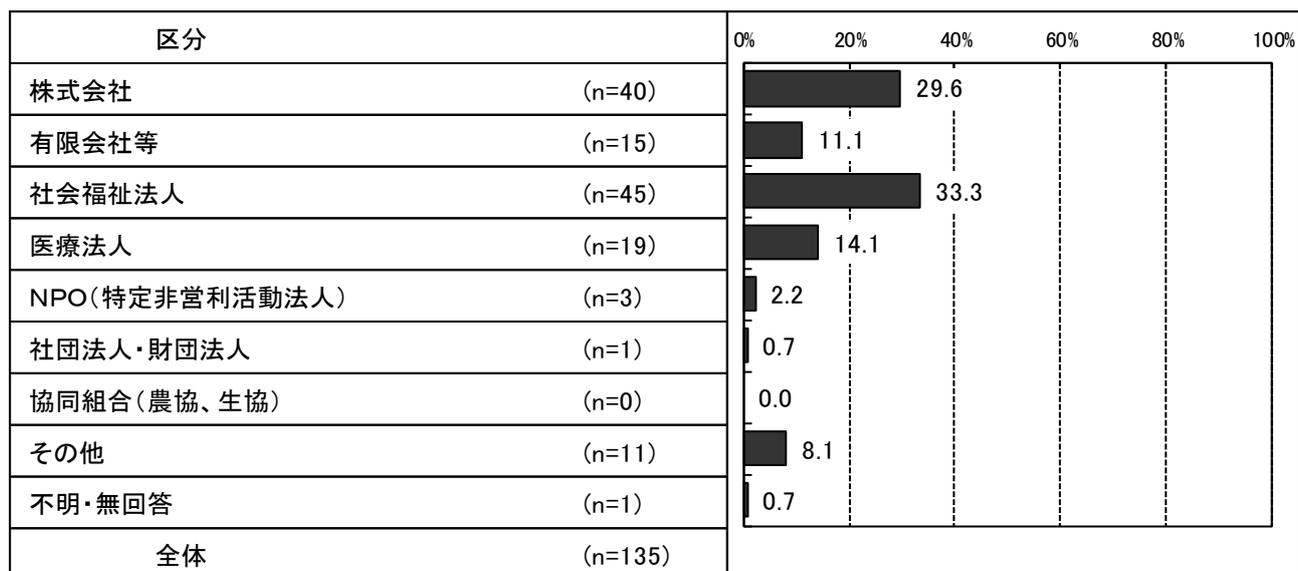
「50代」が41.5%で最も多く、次いで「40代」が24.4%、「60代」が22.2%となっています。

#### ③居住地（1つだけ○）



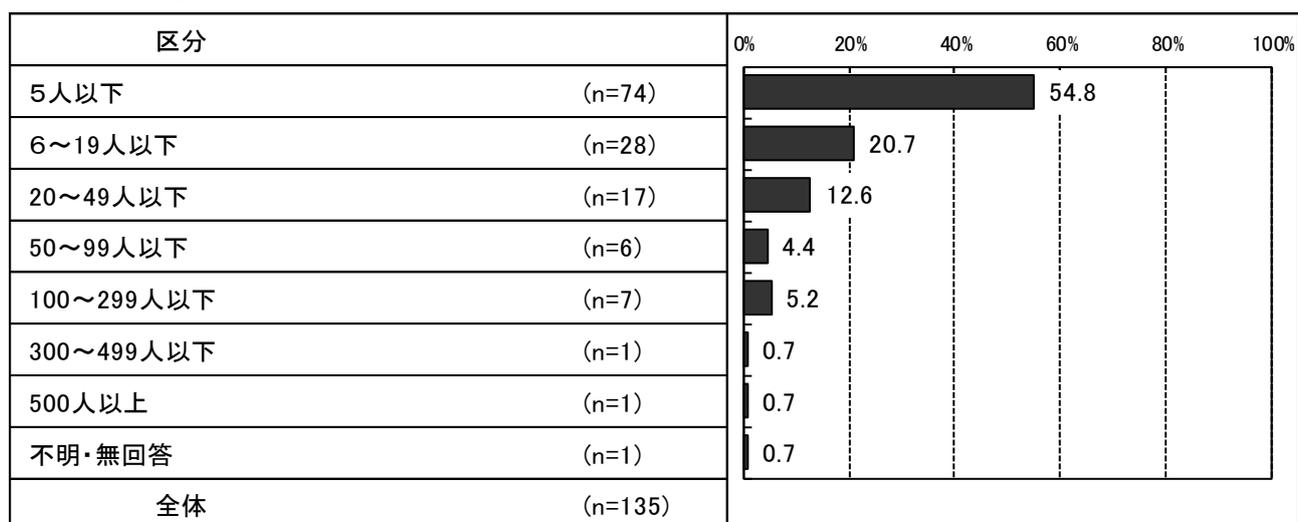
「吹田市内」が54.1%、「その他の市町村」が44.4%となっています。

#### ④事業所の法人種類（1つだけ○）



「社会福祉法人」が33.3%で最も多く、次いで「株式会社」が29.6%、「医療法人」が14.1%となっています。

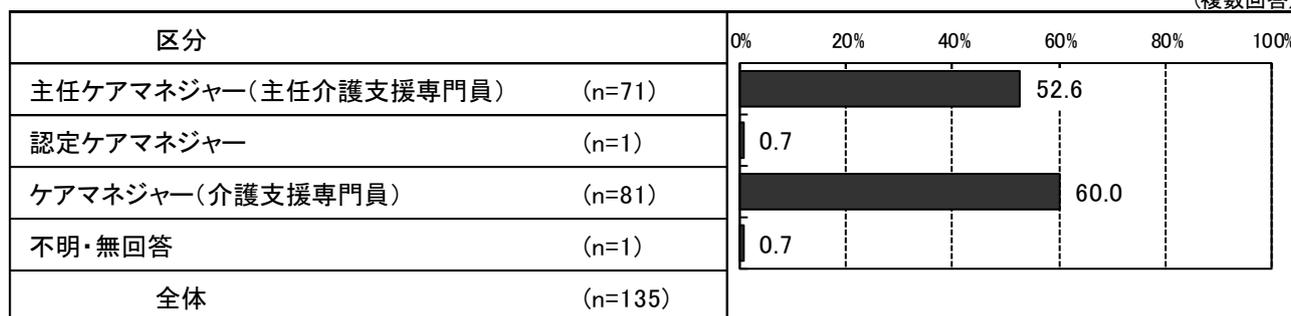
#### ⑤事業所の従業員規模（1つだけ○）



「5人以下」が54.8%で最も多く、次いで「6～19人以下」が20.7%、「20～49人以下」が12.6%となっています。

⑥ケアマネジャーとしての資格の種類（あてはまるものすべてに○）

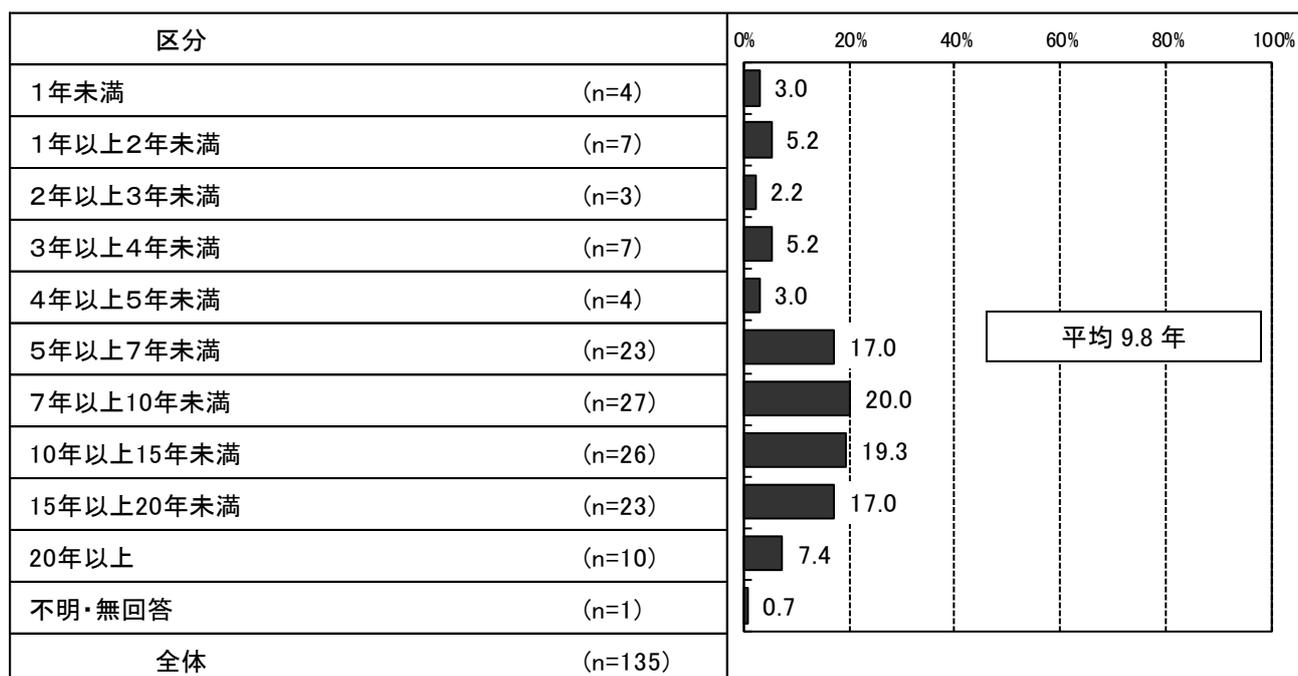
（複数回答）



「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が 60.0%で最も多く、次いで「主任ケアマネジャー（主任介護支援専門員）」が 52.6%、「認定ケアマネジャー」が 0.7%となっています。

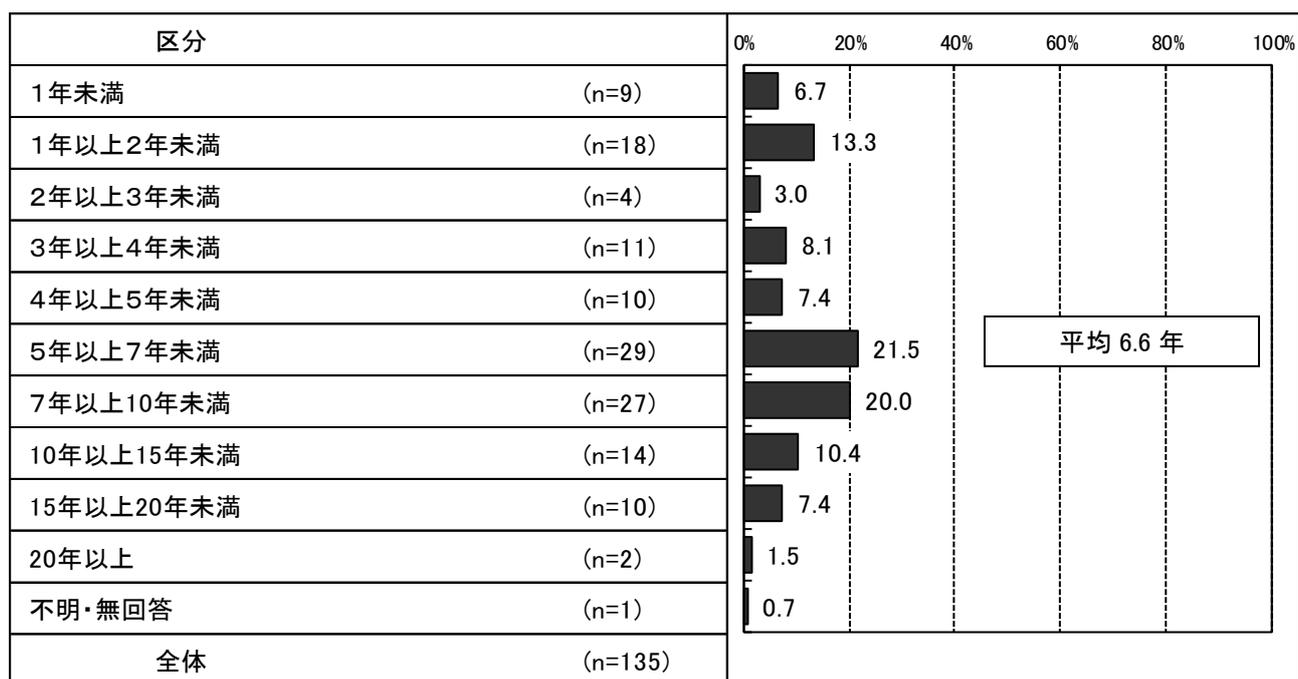
（2）ケアマネジャー（介護支援専門員）としての経験年数（ほかの法人での経験年数も含めて）を御記入ください。また、今働いている事業所での勤続年数を御記入ください。

①経験年数



「7年以上 10年未満」が 20.0%で最も多く、次いで「10年以上 15年未満」が 19.3%、「5年以上 7年未満」と「15年以上 20年未満」が、ともに 17.0%となっています。平均 9.8年となっています。

## ②勤続年数



「5年以上7年未満」が21.5%で最も多く、次いで「7年以上10年未満」が20.0%、「1年以上2年未満」が13.3%となっています。平均6.6年となっています。

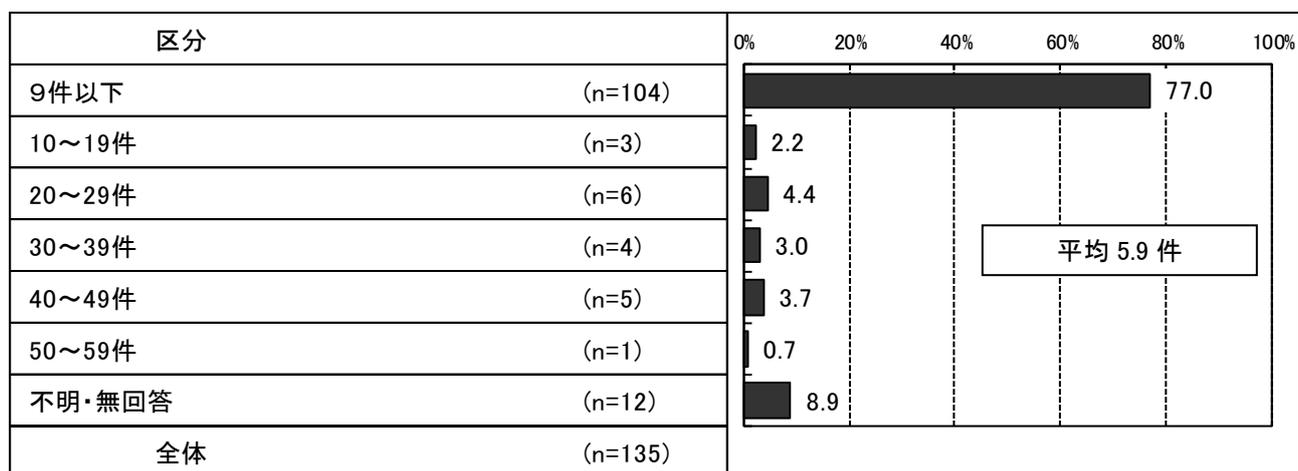
## 問2 ケアプランの作成状況について

(1) あなたが吹田市内で担当している利用者数を、区分ごと（事業対象者～要介護5）に御記入ください。また、担当している世帯数（合計のみ）も御記入ください。（12月実績分又は2月請求分）

	事業 対象者	要支援		要介護					合計
		1	2	1	2	3	4	5	
n	123	119	121	120	124	126	124	118	132
合計	724	432	497	1,135	871	556	393	297	4,905
平均	5.9	3.6	4.1	9.5	7.0	4.4	3.2	2.5	37.2

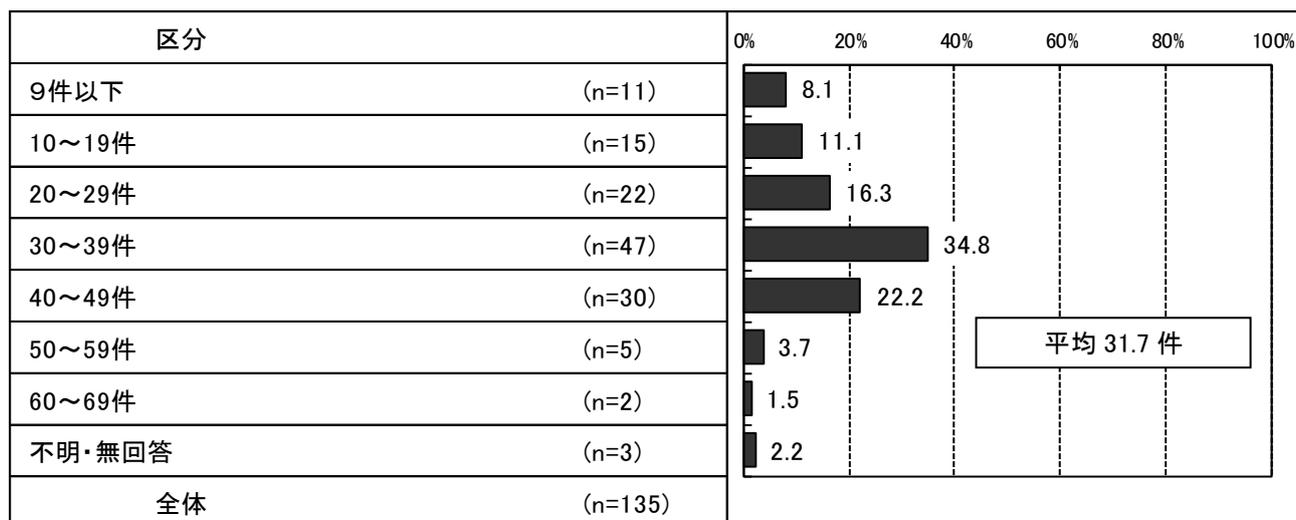
ケアプラン作成（利用者）は「要介護1」が1,135件（平均9.5件）で最も多く、次いで「要介護2」が871件（平均7.0件）、「事業対象者」が724件（平均5.9件）となっています。

### ①事業対象者ケアプラン作成の構成



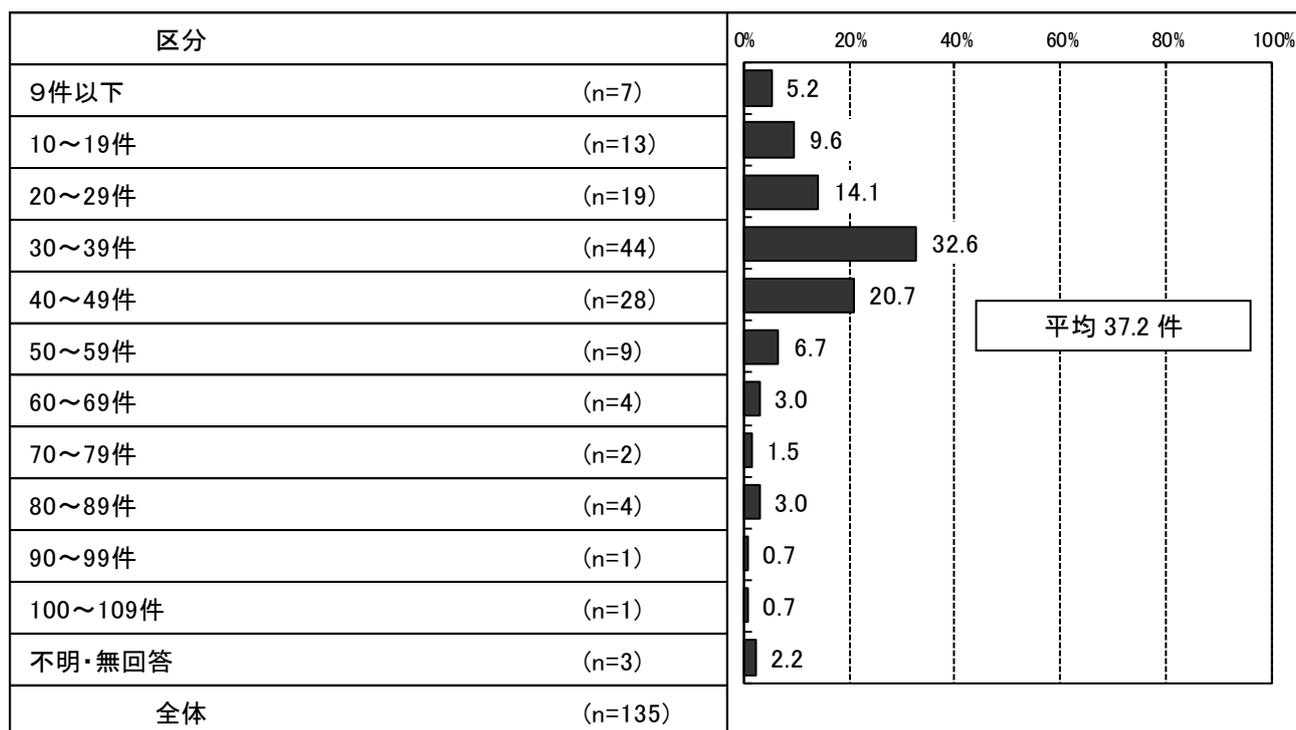
「9件以下」が77.0%で最も多く、次いで「20～29件」が4.4%、「40～49件」が3.7%となっています。

## ②要支援・要介護認定者ケアプラン作成の構成



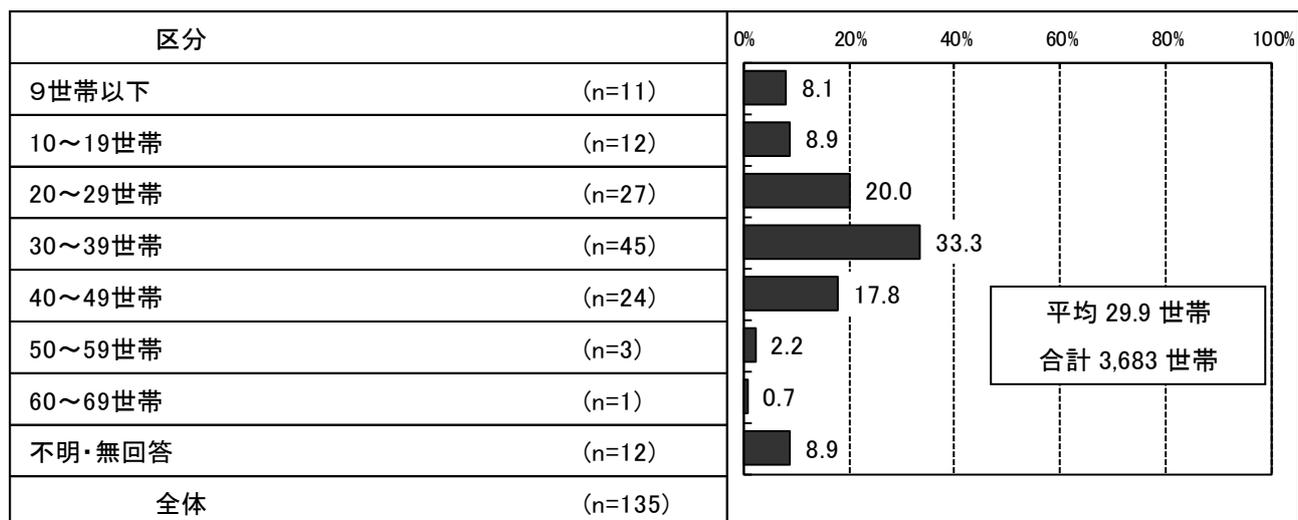
「30～39件」が34.8%で最も多く、次いで「40～49件」が22.2%、「20～29件」が16.3%となっています。平均31.7件となっています。

## ③ケアプラン作成（合計）の構成



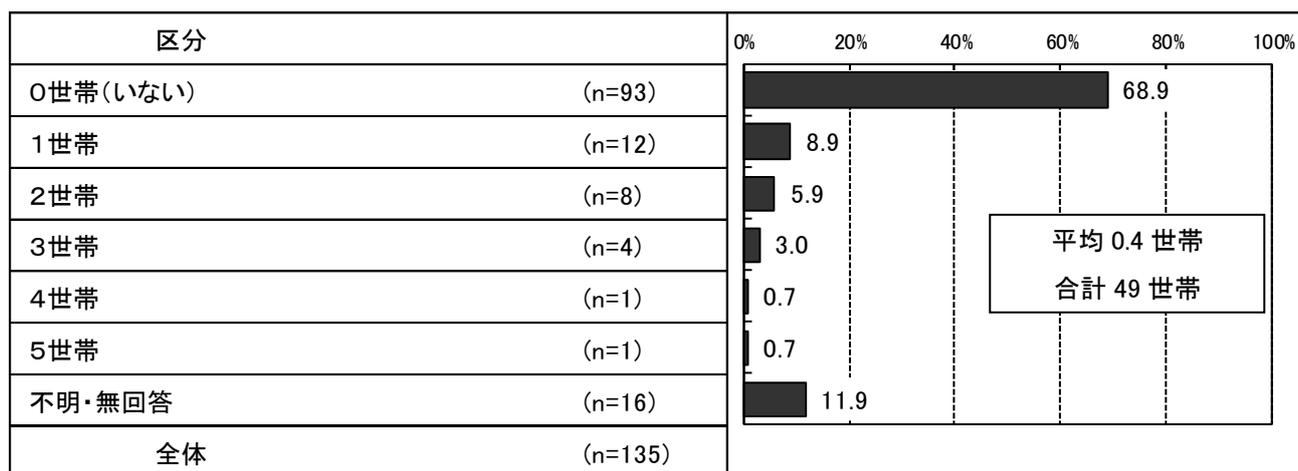
「30～39件」が32.6%で最も多く、次いで「40～49件」が20.7%、「20～29件」が14.1%となっています。平均37.2件となっています。

#### ④担当世帯数



「30～39 世帯」が 33.3%で最も多く、次いで「20～29 世帯」が 20.0%、「40～49 世帯」が 17.8%となっています。平均 29.9 世帯となっています。

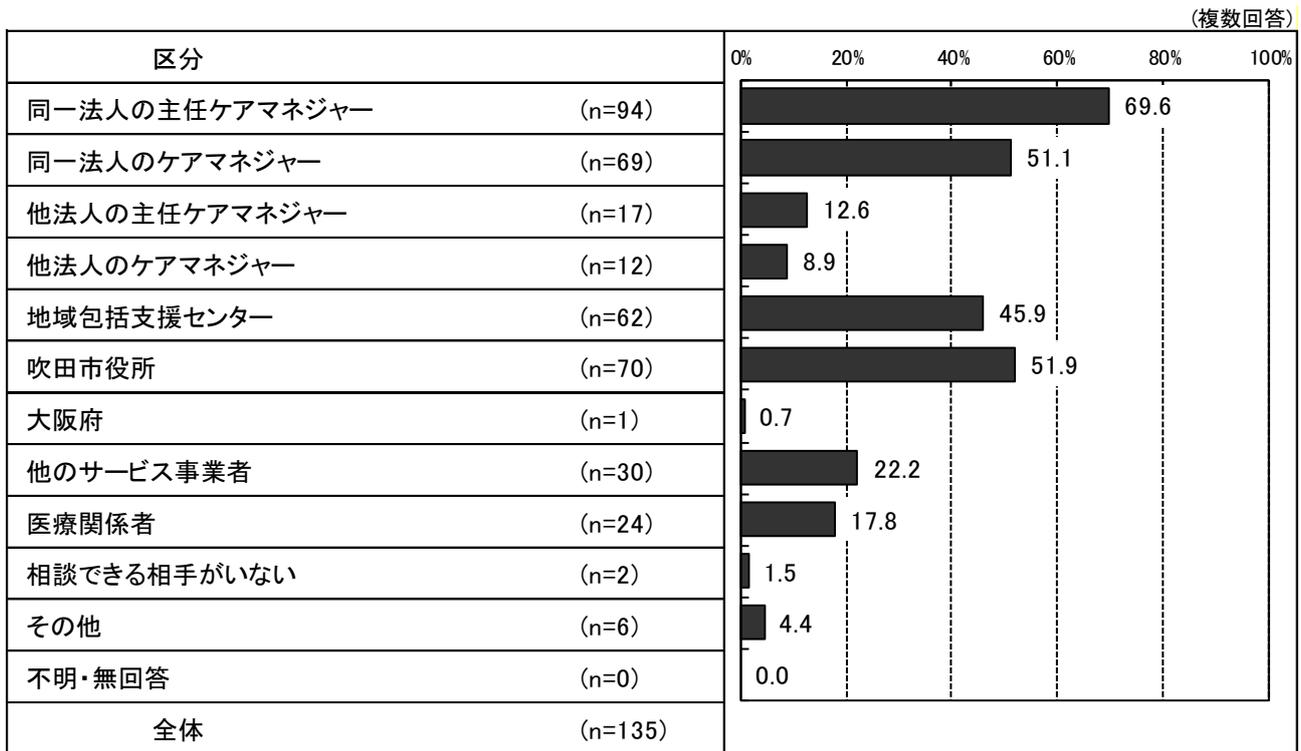
(2) 上記の世帯のうち、介護離職をした方がいると思う世帯はどのぐらいありますか。



「0世帯 (いない)」が 68.9%で最も多く、次いで「1世帯」が 8.9%、「2世帯」が 5.9%となっています。平均 0.4 世帯となっています。

担当している 3,683 世帯のうち、介護離職をした人がいる世帯は 49 世帯 (1.3%) となっています。

(3) ケアプランを作成する上で、わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

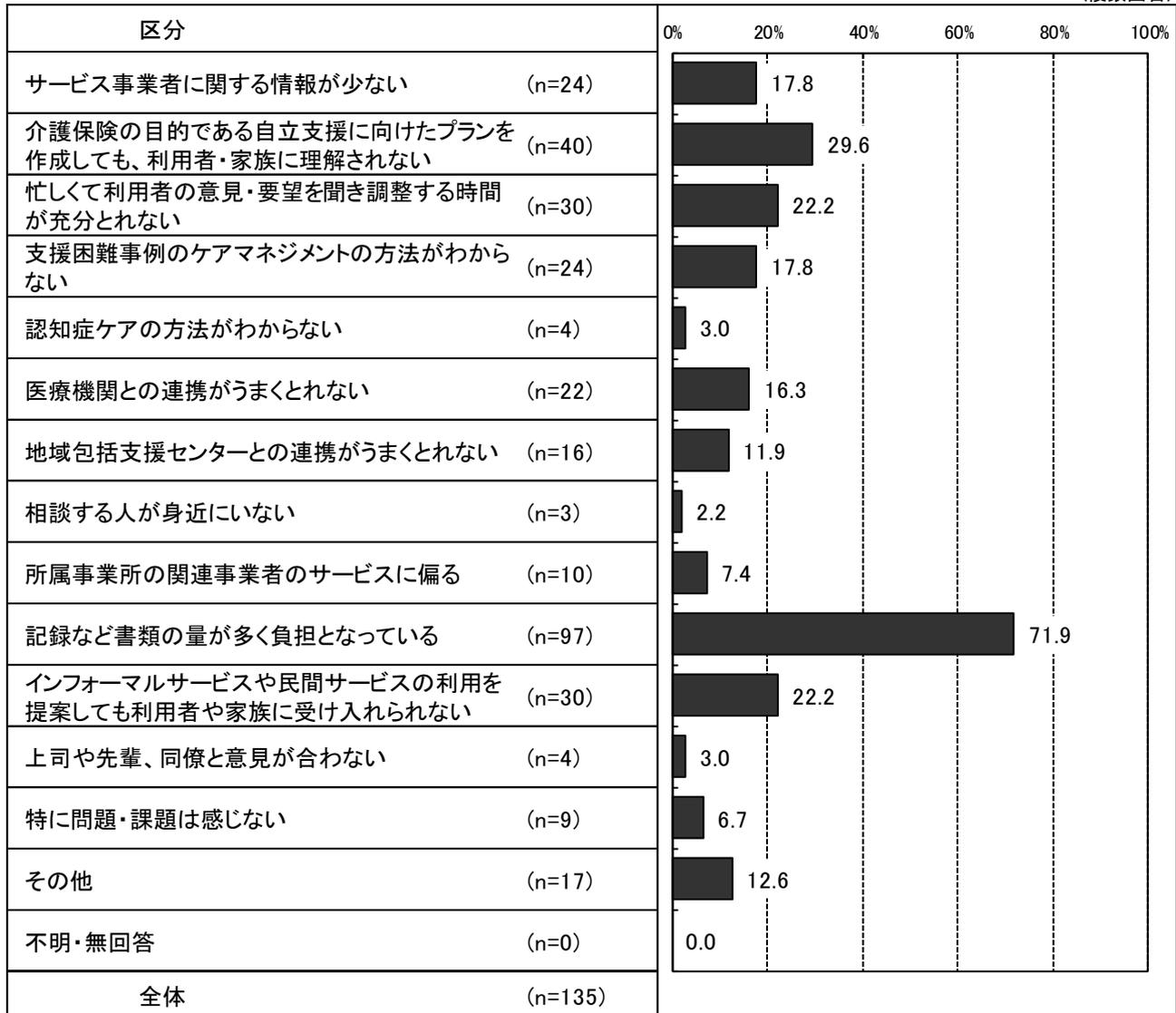


「同一法人の主任ケアマネジャー」が 69.6%で最も多く、次いで「吹田市役所」が 51.9%、「同一法人のケアマネジャー」が 51.1%となっています。

(4) ケアマネジャー業務を行う上で、問題・課題を感じていることはありますか。

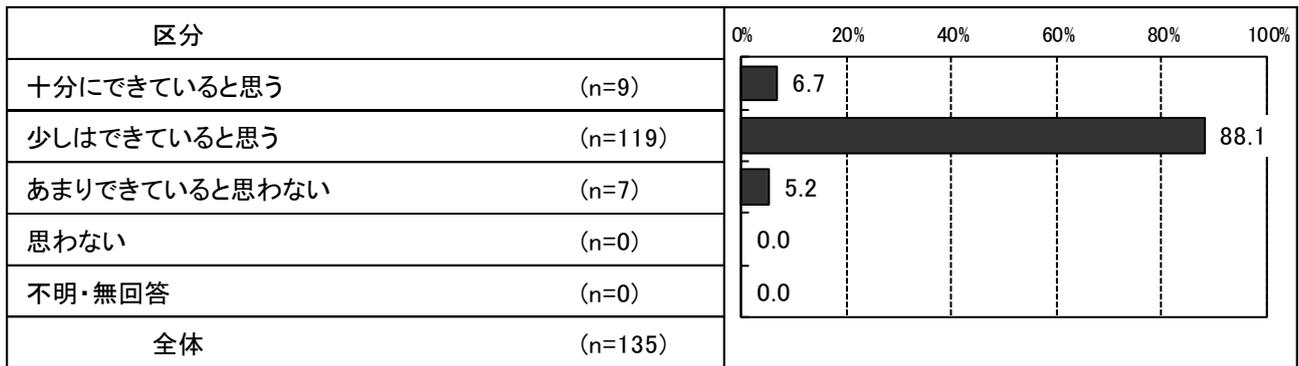
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



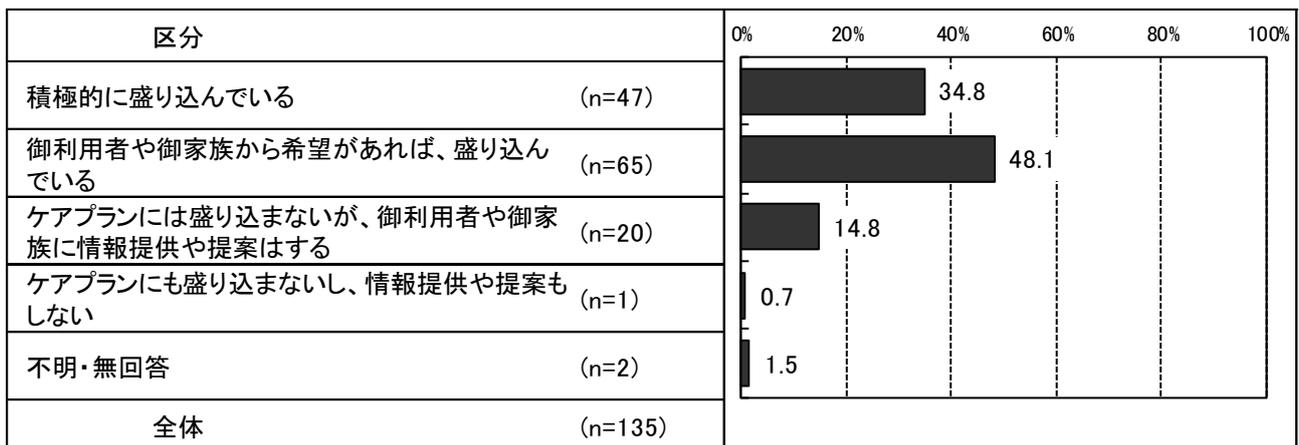
「記録など書類の量が多く負担となっている」が 71.9%で最も多く、次いで「介護保険の目的である自立支援に向けたプランを作成しても、利用者・家族に理解されない」が 29.6%、「忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が充分とれない」と「インフォーマルサービスや民間サービスの利用を提案しても利用者や家族に受け入れられない」が、ともに 22.2%となっています。

(5) 担当している方の望む生活や自立支援に向けたケアプランが十分に作成できていると思いますか。(1つだけ○)



「少しはできていると思う」が88.1%で最も多く、次いで「十分にできていると思う」が6.7%、「あまりできていると思わない」が5.2%となっています。

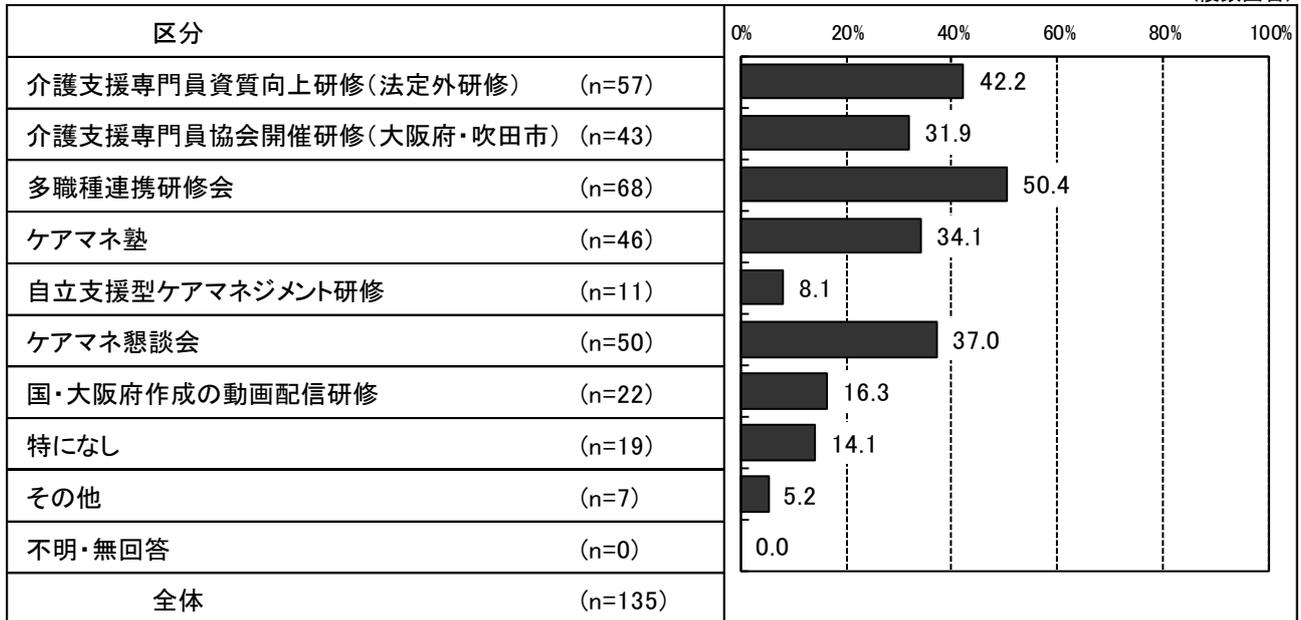
(6) インフォーマルサービスについて、あなたはどの程度ケアプランに盛り込んでいますか。(1つだけ○)



「御利用者や御家族から希望があれば、盛り込んでいる」が48.1%で最も多く、次いで「積極的に盛り込んでいる」が34.8%、「ケアプランには盛り込まないが、御利用者や御家族に情報提供や提案はする」が14.8%となっています。

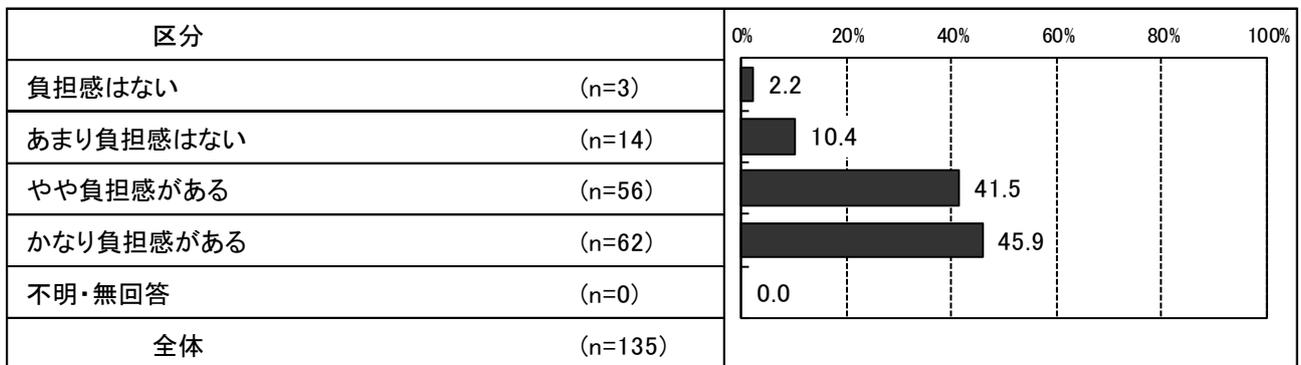
(7) ケアマネジャーの質の向上・確保に繋がると思う研修等を選択してください。  
 (あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「多職種連携研修会」が 50.4%で最も多く、次いで「介護支援専門員資質向上研修（法定外研修）」が 42.2%、「ケアマネ懇談会」が 37.0%となっています。

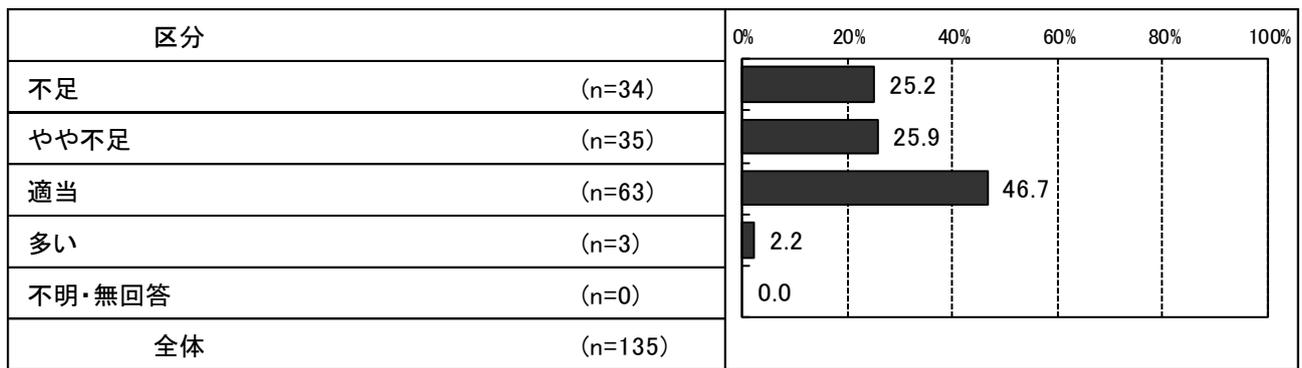
(8) 業務全般に関する負担感はどうですか。(1つだけ○)



「かなり負担感がある」が 45.9%で最も多く、次いで「やや負担感がある」が 41.5%、「あまり負担感はない」が 10.4%となっています。

(9) あなたが働く事業所において、ケアマネジャーは不足していると感じますか。

(1つだけ○)



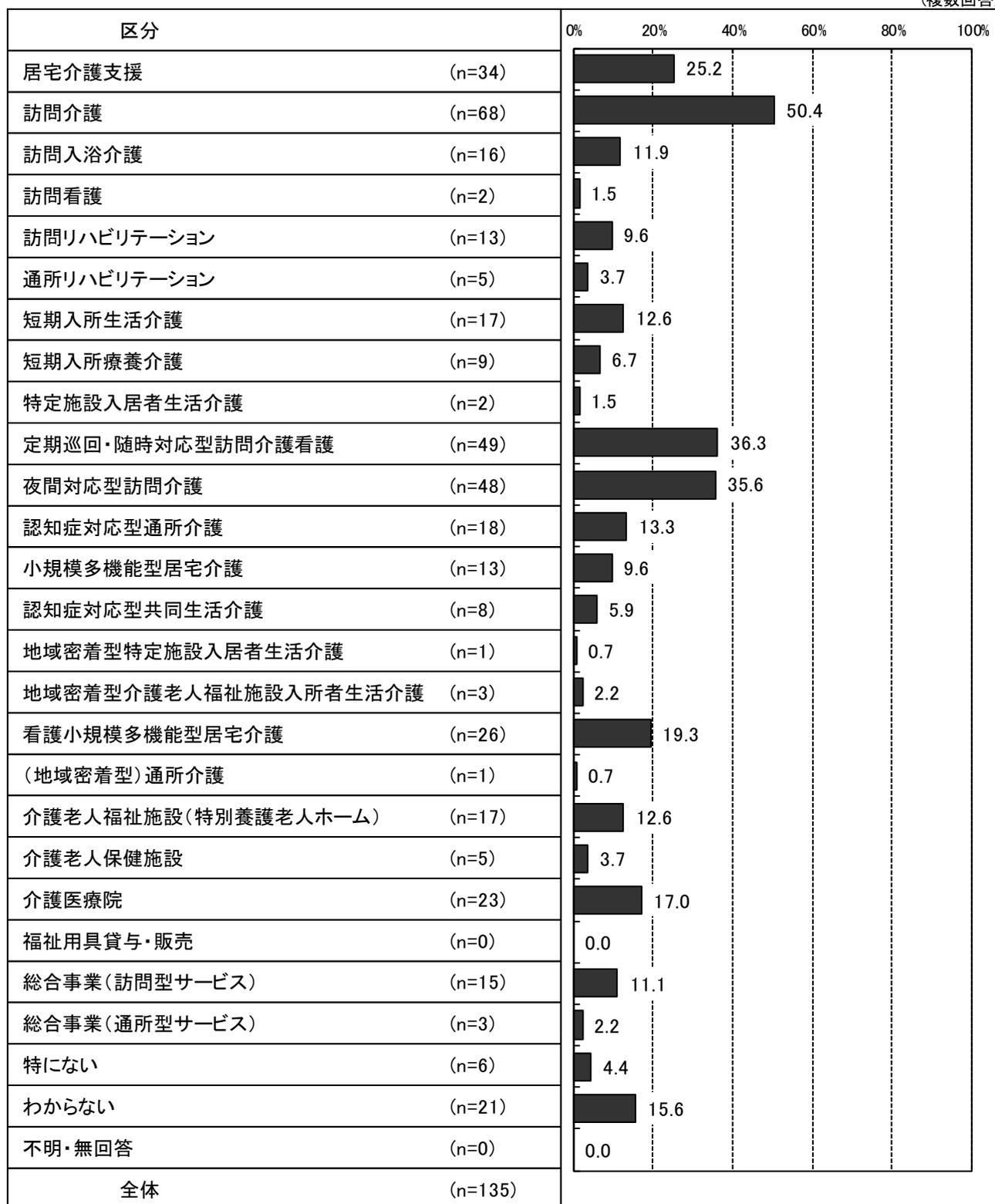
「適当」が46.7%で最も多く、次いで「やや不足」が25.9%、「不足」が25.2%となっています。

### 問3 市内の高齢者サービスについて

(1) あなたからみて、吹田市で不足していると感じる介護保険サービス等がありますか。

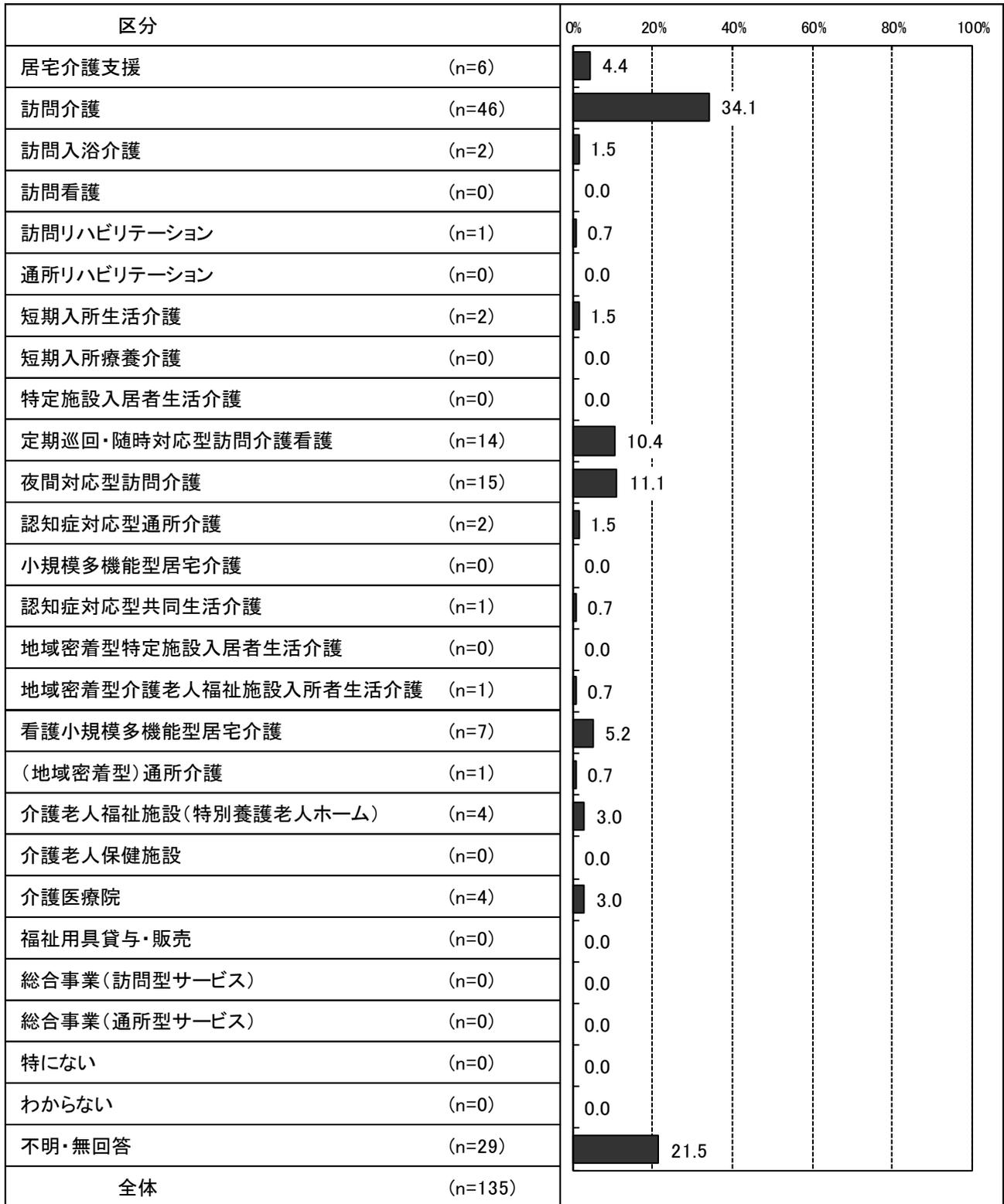
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



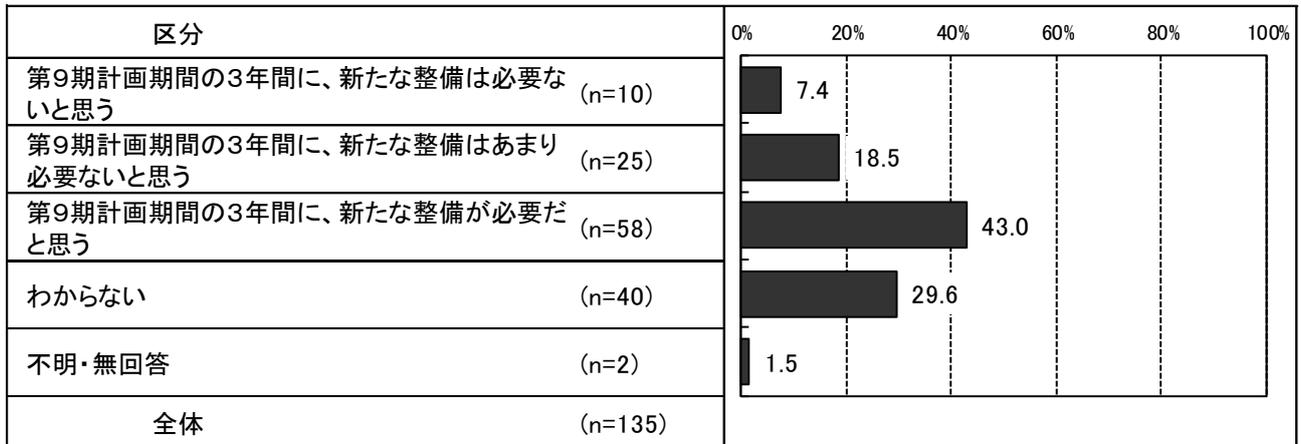
「訪問介護」が 50.4%で最も多く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 36.3%、「夜間対応型訪問介護」が 35.6%となっています。

(1) - 1 (1) で記入した介護保険サービスのうち、最も不足していると感じるものを御記入ください。



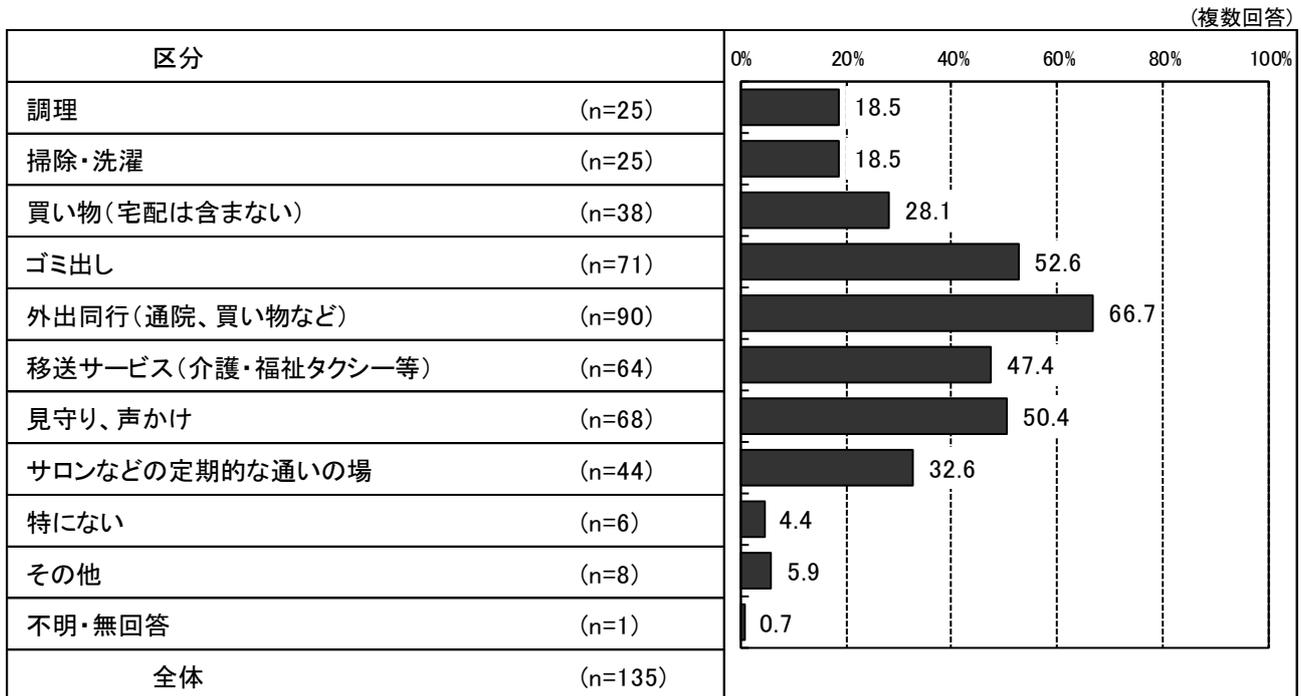
「訪問介護」が 34.1%で最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が 11.1%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 10.4%となっています。

(2) 特別養護老人ホーム（地域密着型を含む）を新たに整備する必要性があると思いますか。  
（1つだけ○）



「第9期計画期間の3年間に、新たな整備が必要だと思う」が43.0%で最も多く、次いで「わからない」が29.6%、「第9期計画期間の3年間に、新たな整備はあまり必要ないと思う」が18.5%となっています。

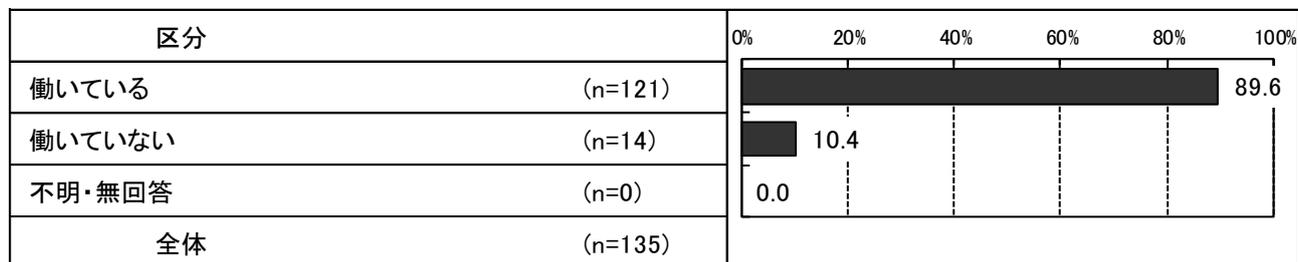
(3) 以下の介護保険外のサービス（総合事業によるサービスを含む）で、今後充実したほうがよいと思うサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）



「外出同行（通院、買い物など）」が66.7%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が52.6%、「見守り、声かけ」が50.4%となっています。

## 問4 新型コロナウイルス蔓延について

(1) あなたは、新型コロナウイルス蔓延（概ね令和2年2月頃）以前からケアマネジャーとして働いていますか。（○は1つ）

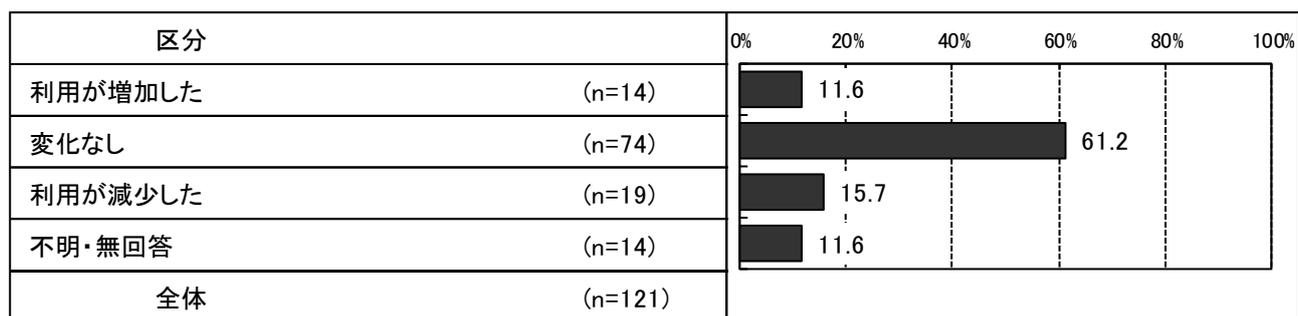


「働いている」が89.6%、「働いていない」が10.4%となっています。

(1) で「1. 働いている」と答えた人におうかがいします。

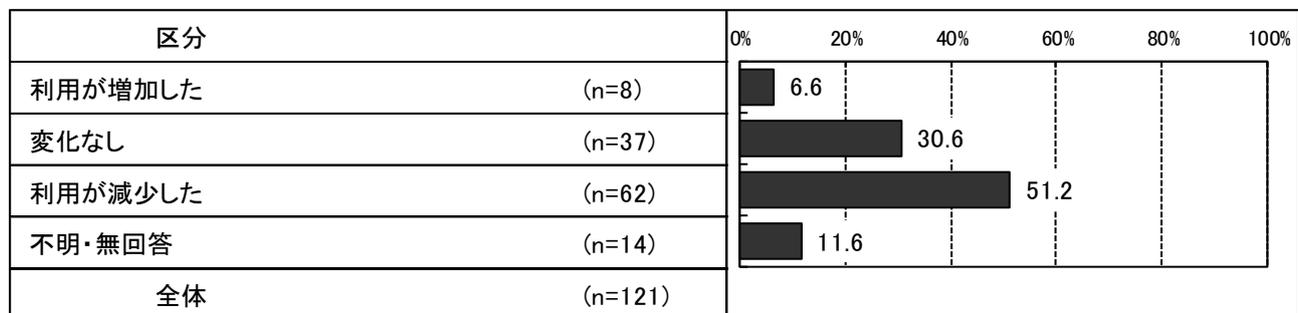
(2) 新型コロナウイルス蔓延に伴い、高齢者の各サービス利用に変化（概ね令和2年2月以前と比べて）はありましたか。以下のサービス区分で全体的な傾向をそれぞれお答えください。（○は1つ）

### ①訪問系サービス



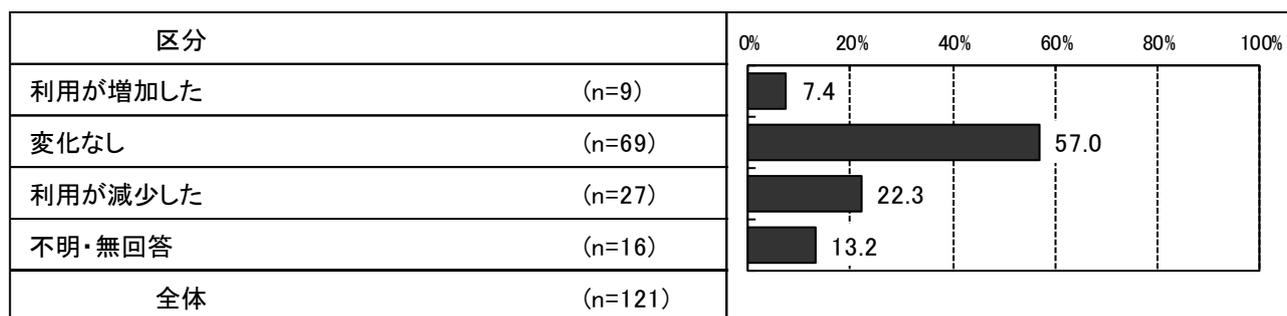
「変化なし」が61.2%で最も多く、次いで「利用が減少した」が15.7%、「利用が増加した」が11.6%となっています。

### ②通所系サービス



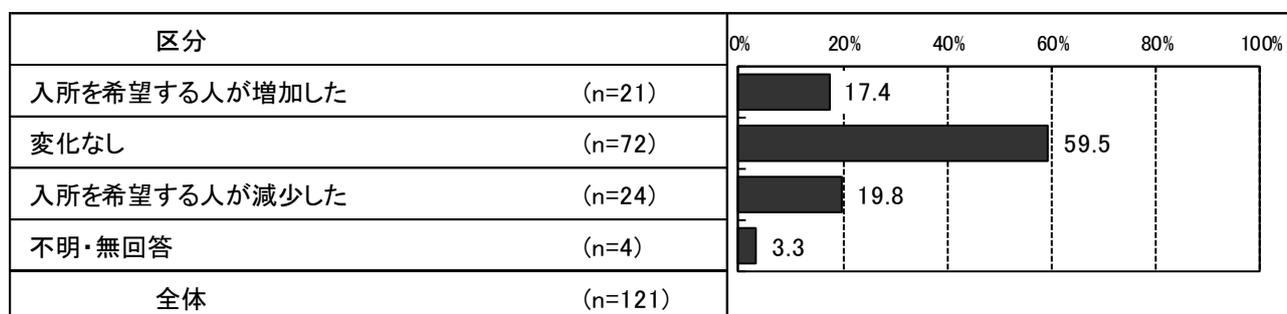
「利用が減少した」が51.2%で最も多く、次いで「変化なし」が30.6%、「利用が増加した」が6.6%となっています。

### ③短期入所系サービス



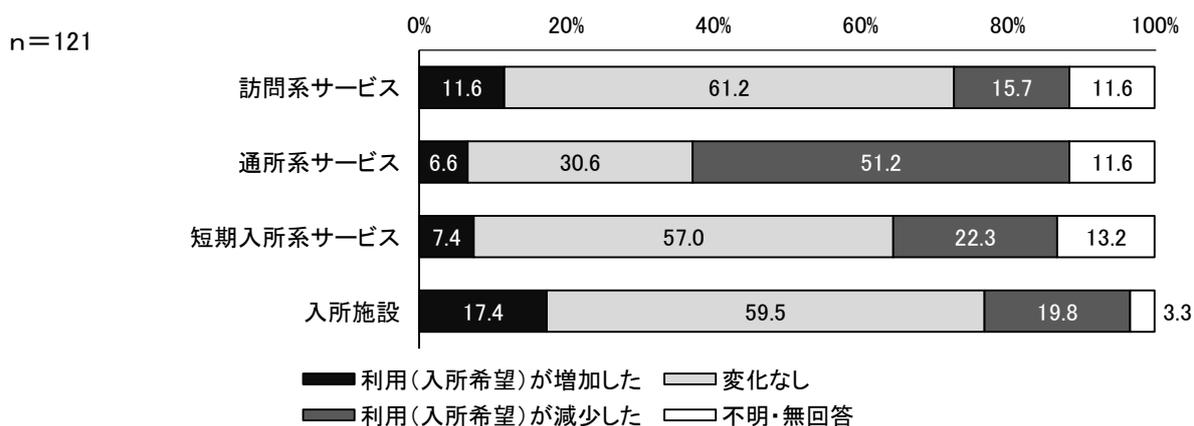
「変化なし」が 57.0%で最も多く、次いで「利用が減少した」が 22.3%、「利用が増加した」が 7.4%となっています。

### ④入所施設



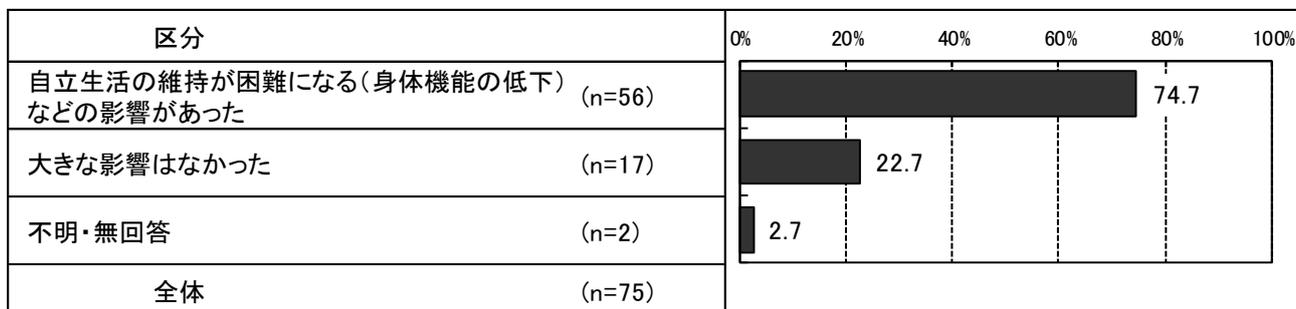
「変化なし」が 59.5%で最も多く、次いで「入所を希望する人が減少した」が 19.8%、「入所を希望する人が増加した」が 17.4%となっています。

### 【参考】新型コロナウイルス蔓延に伴うサービス利用の変化一覧



(2) のいずれかのサービス区分で「3. 利用（入所を希望する人）が減少した」と答えた人におうかがいします。

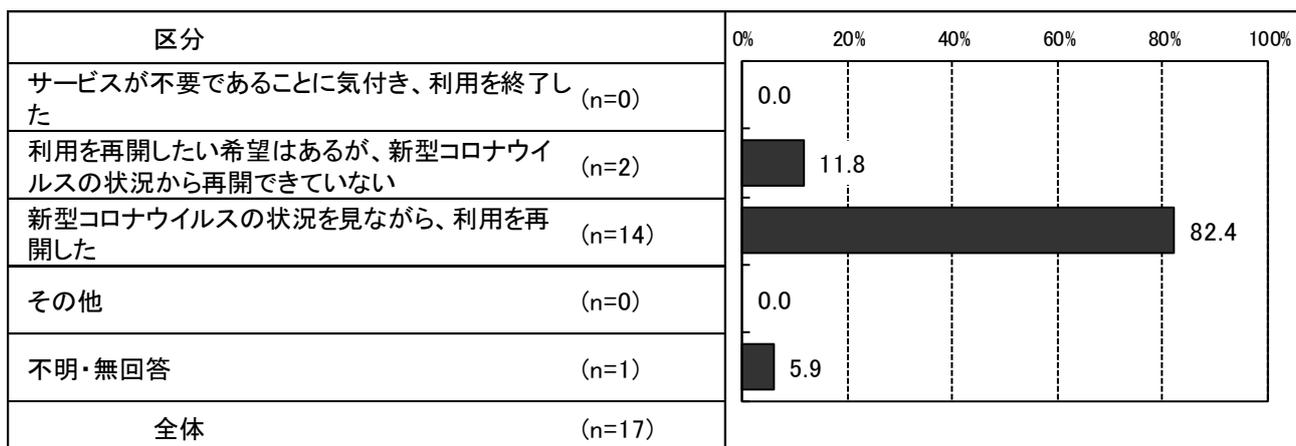
(3) サービスの利用控えにより、身体機能の低下や自立した生活が困難になるなどの影響はありましたか。利用控えをした方の全体的な傾向をお答えください。（1つだけ○）



「自立生活の維持が困難になる（身体機能の低下）などの影響があった」が 74.7%、「大きな影響はなかった」が 22.7%となっています。

(3) で「2. 大きな影響はなかった」と答えた人におうかがいします。

(4) 利用控えをした後、そのサービスの利用は再開されましたか。全体的な傾向をお答えください。（1つだけ○）

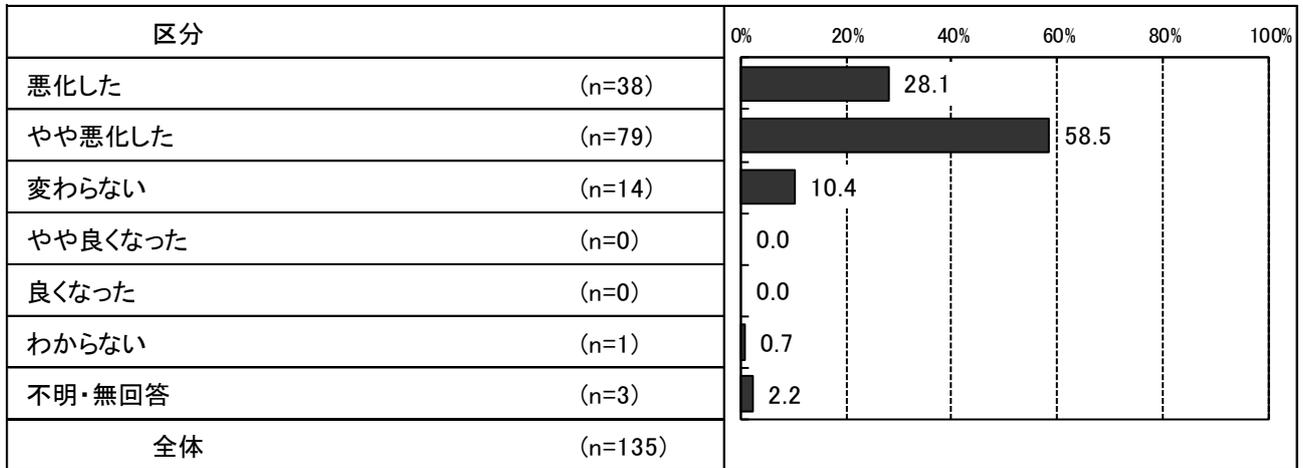


「新型コロナウイルスの状況を見ながら、利用を再開した」が 82.4%で最も多く、次いで「利用を再開したい希望はあるが、新型コロナウイルスの状況から再開できていない」が 11.8%となっています。

**すべての方がお答えください**

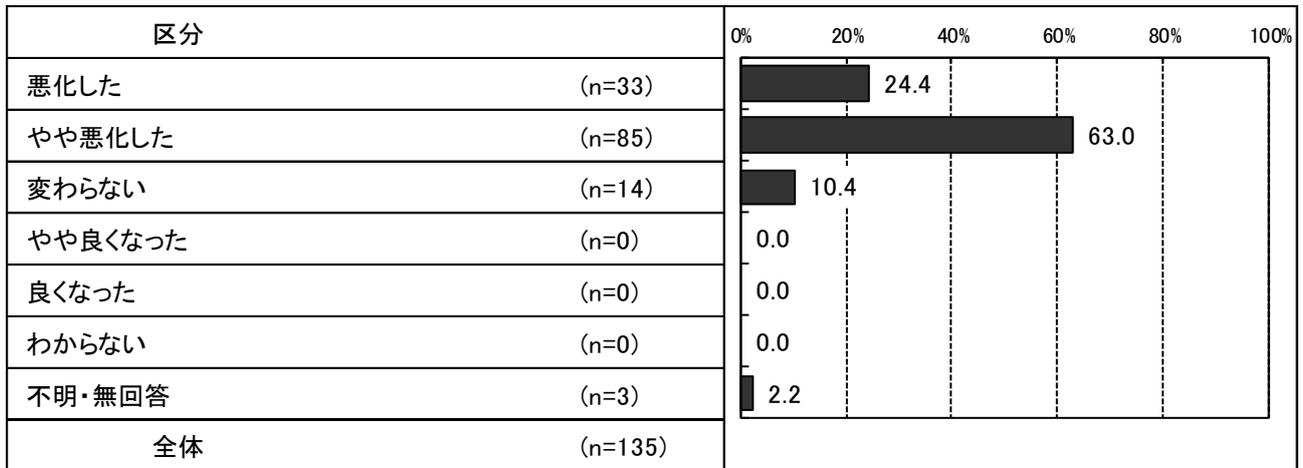
(5) あなたからみて、新型コロナウイルス蔓延は高齢者の生活状況にどのような影響を与えていると感じていますか。(〇はそれぞれ1つ)

①生活の質 (QOL)



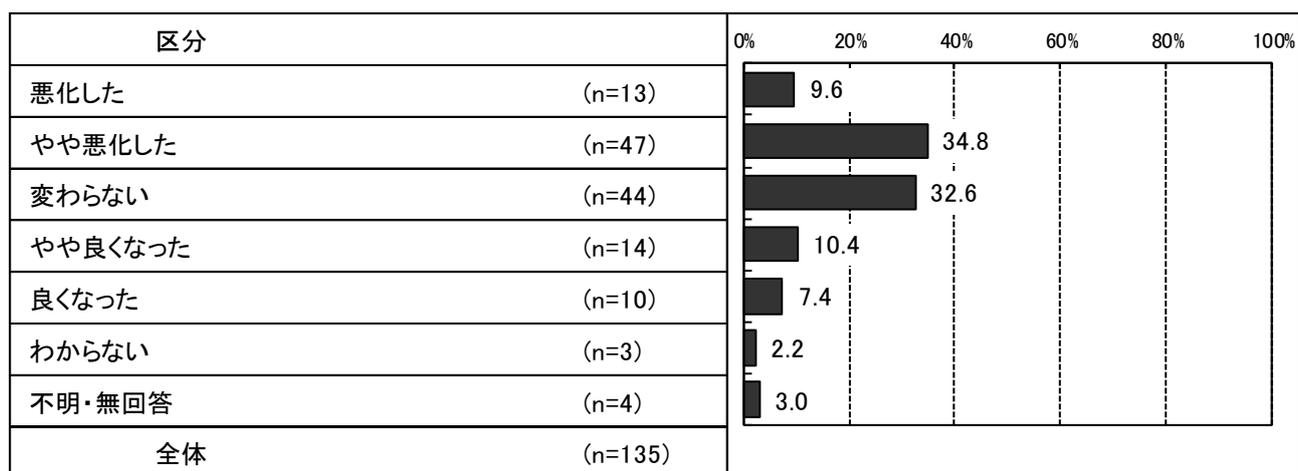
「やや悪化した」が 58.5%で最も多く、次いで「悪化した」が 28.1%、「変わらない」が 10.4%となっています。

②身体状況・健康状態



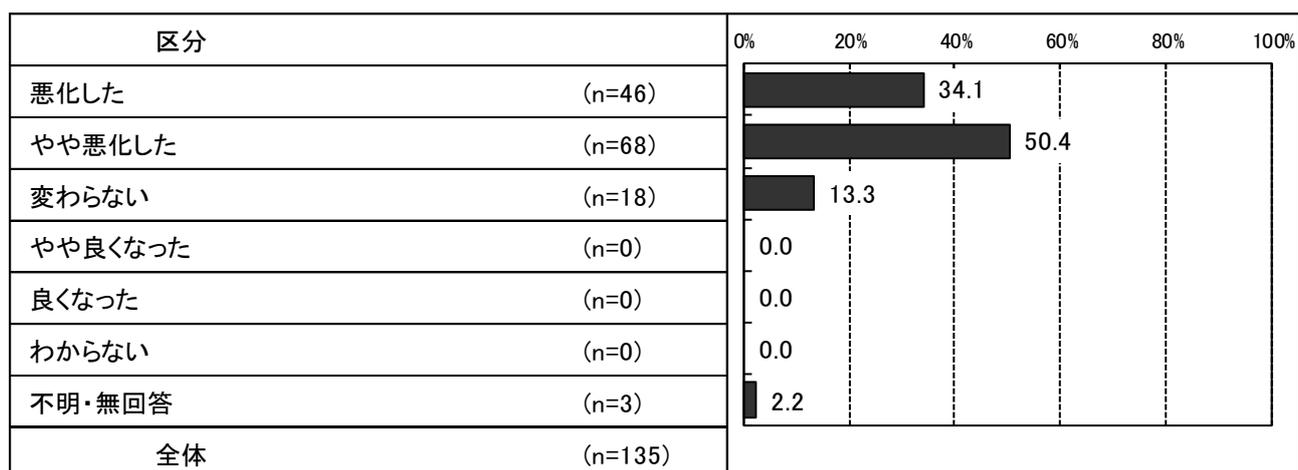
「やや悪化した」が 63.0%で最も多く、次いで「悪化した」が 24.4%、「変わらない」が 10.4%となっています。

### ③健康・介護予防に対する意識



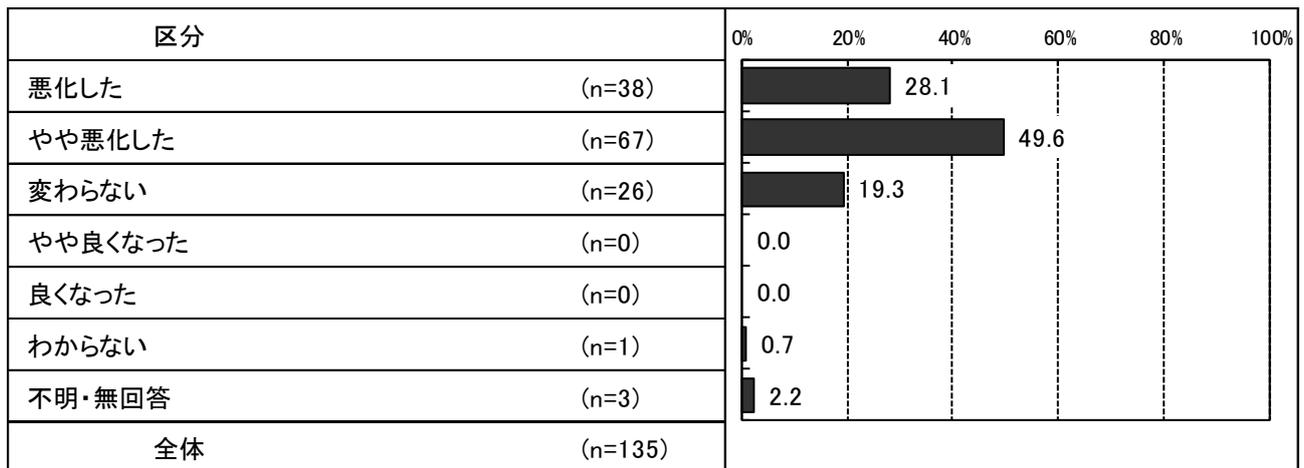
「やや悪化した」が 34.8%で最も多く、次いで「変わらない」が 32.6%、「やや良くなった」が 10.4%となっています。

### ④介護者の負担感（※「増えた」が悪化）



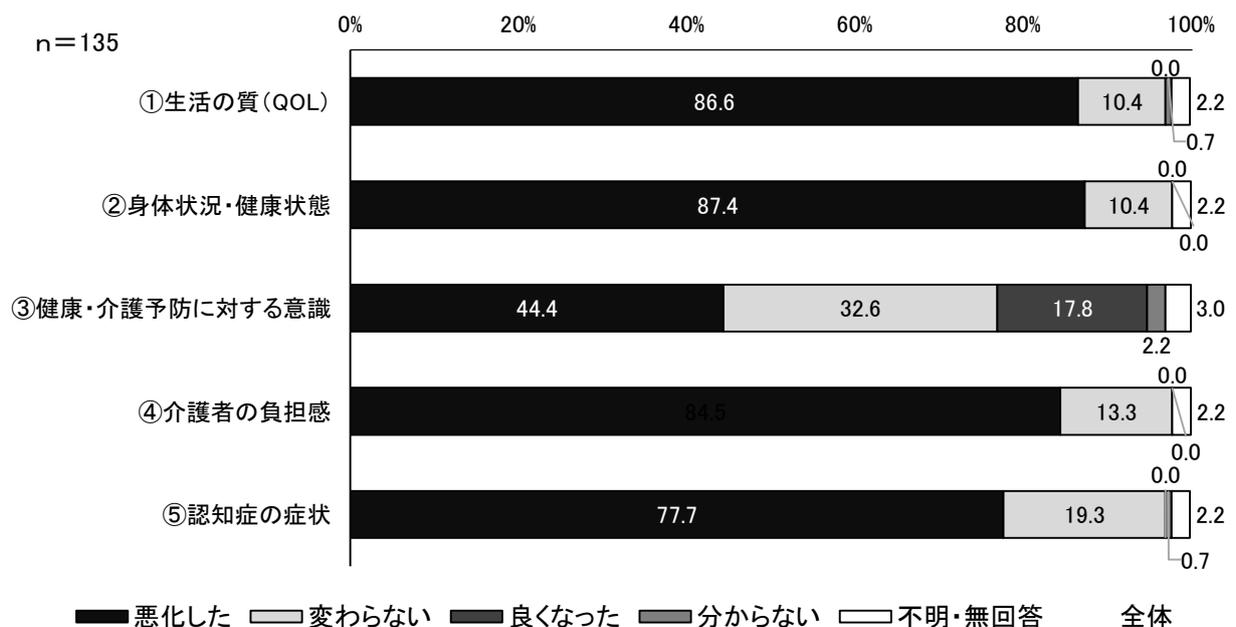
「やや悪化した」が 50.4%で最も多く、次いで「悪化した」が 34.1%、「変わらない」が 13.3%となっています。

### ⑤認知症の症状



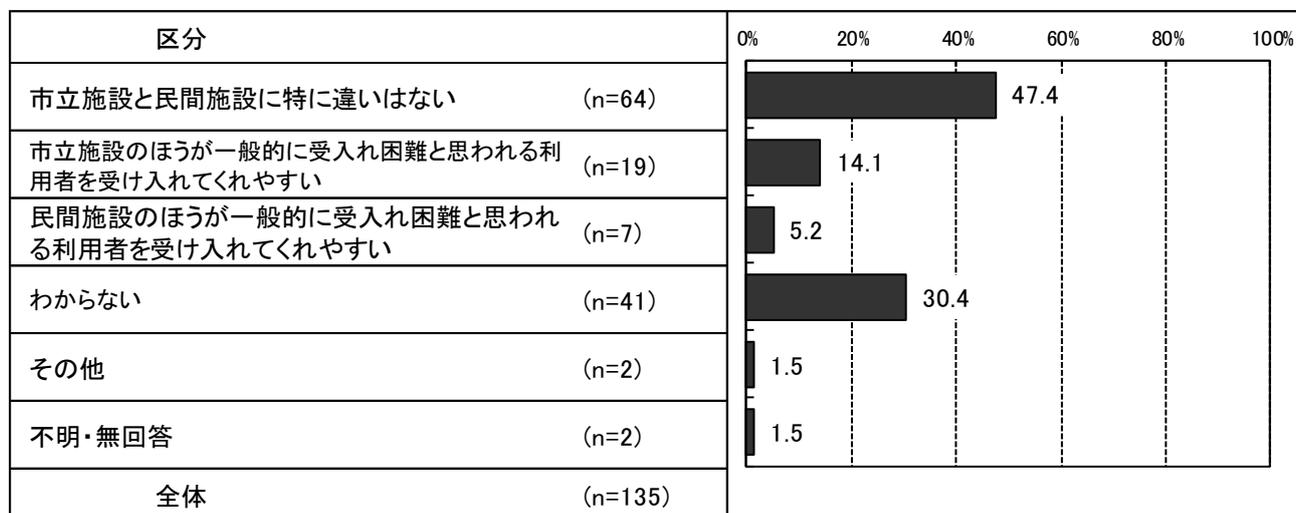
「やや悪化した」が 49.6%で最も多く、次いで「悪化した」が 28.1%、「変わらない」が 19.3%となっています。

### 【参考】新型コロナウイルスが高齢者の生活状況に与えた影響一覧



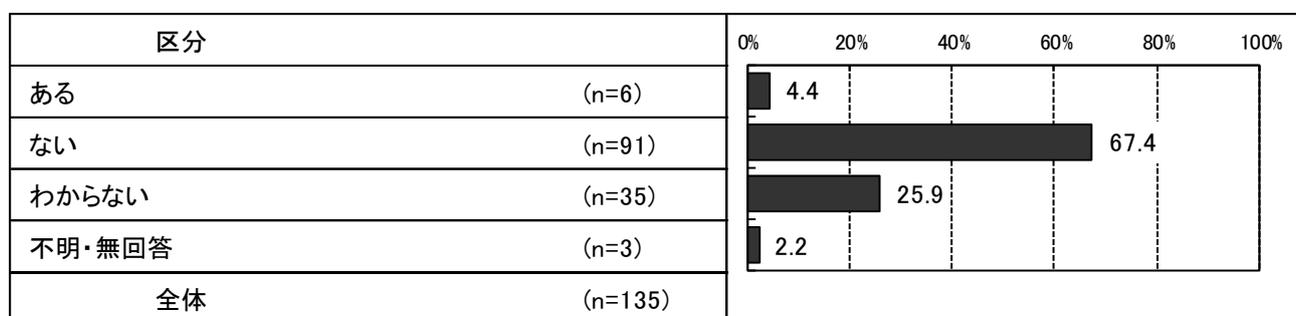
## 問5 市立施設と民間施設の違いについて

(1) 通所介護について、市立施設と民間施設とで、サービス利用の調整時における違いがあると思いますか。(1つだけ○)



「市立施設と民間施設に特に違いはない」が47.4%で最も多く、次いで「わからない」が30.4%、「市立施設のほうが一般的に受入れ困難と思われる利用者を受け入れてくれやすい」が14.1%となっています。

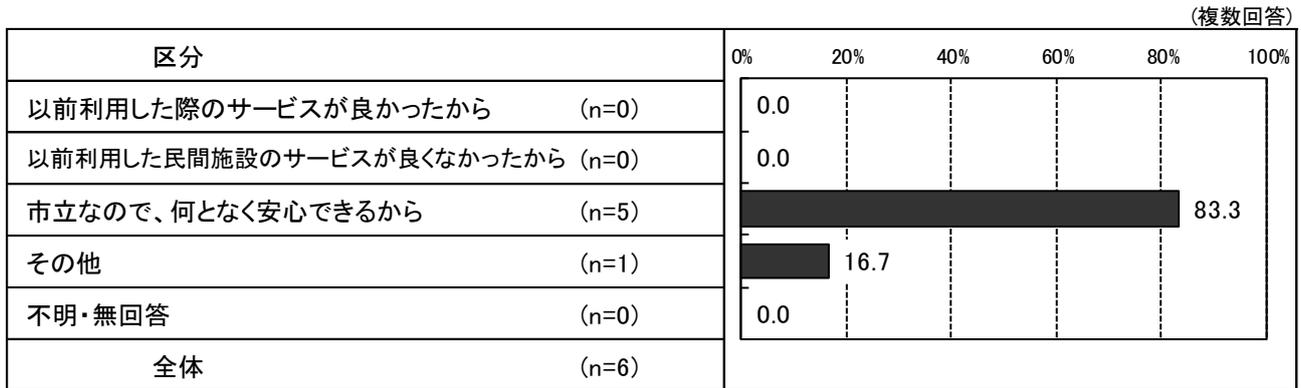
(2) 通所介護について、利用者や家族が民間よりも市立の利用を希望することはありますか。(1つだけ○)



「ない」が67.4%で最も多く、次いで「わからない」が25.9%、「ある」が4.4%となっています。

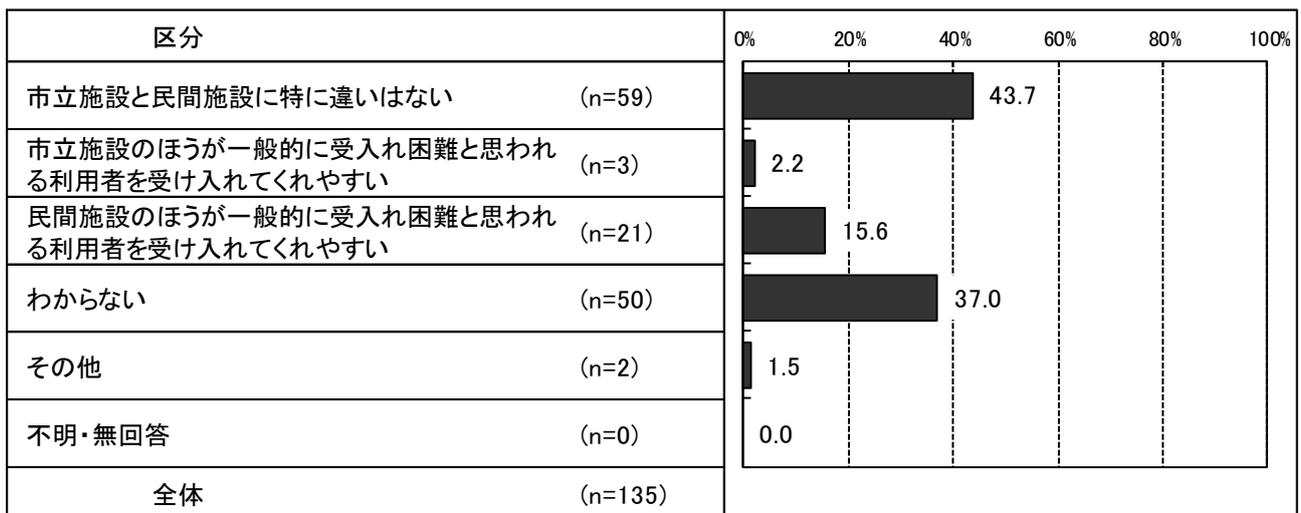
(2) で「1」と答えた方におうかがいします。

(3) 市立の通所介護を希望する理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)



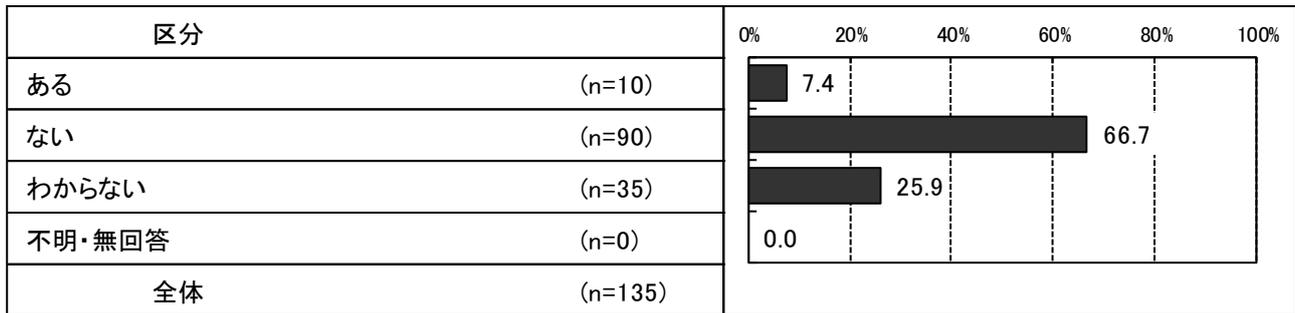
「市立なので、何となく安心できるから」が 83.3%で最も多く、次いで「その他」が 16.7%となっています。

(4) 介護老人保健施設について、市立（吹田市立介護老人保健施設）と民間とでサービス利用の調整時に違いがあると思えますか。(1つだけ○)



「市立施設と民間施設に特に違いはない」が 43.7%で最も多く、次いで「わからない」が 37.0%、「民間施設のほうが一般的に受入れ困難と思われる利用者を受け入れてくれやすい」が 15.6%となっています。

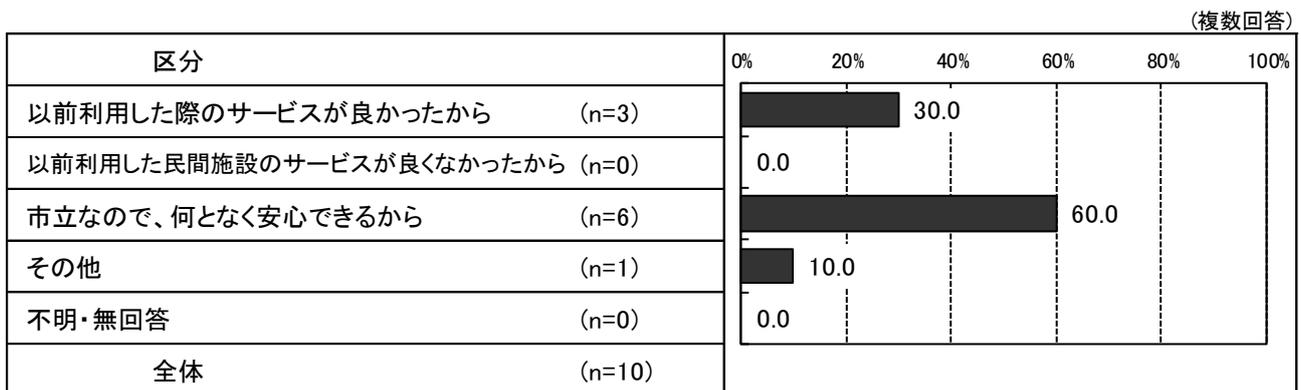
(5) 介護老人保健施設について、利用者や家族が民間よりも市立の利用を希望することはありますか。(1つだけ○)



「ない」が66.7%で最も多く、次いで「わからない」が25.9%、「ある」が7.4%となっています。

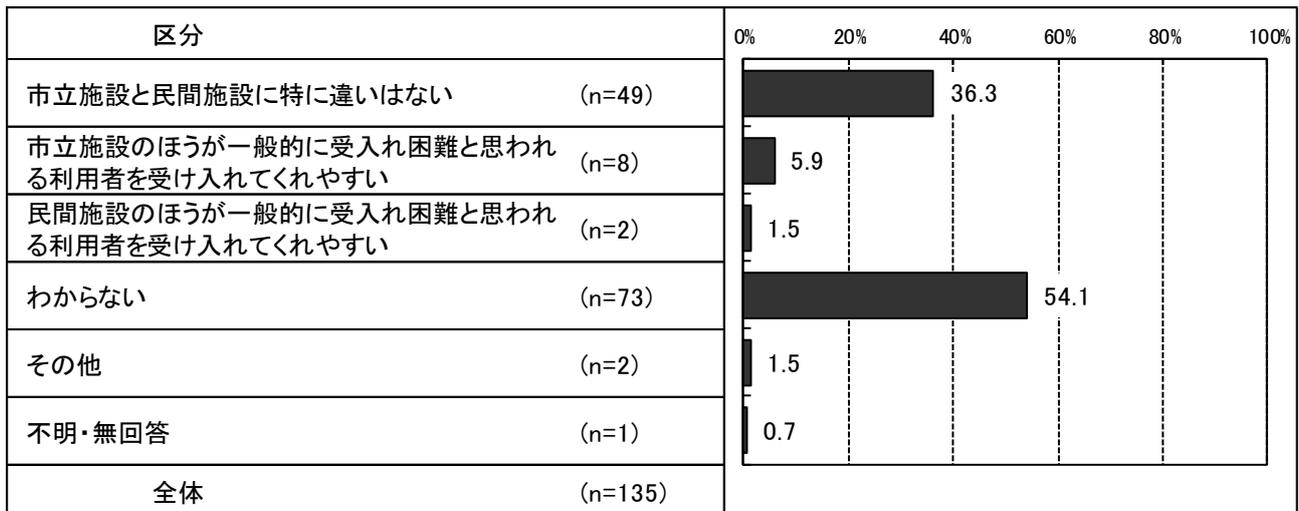
(5) で「1」と答えた方におうかがいします。

(6) 市立の介護老人保健施設を希望する理由は何だと思えますか。  
(あてはまるものすべてに○)



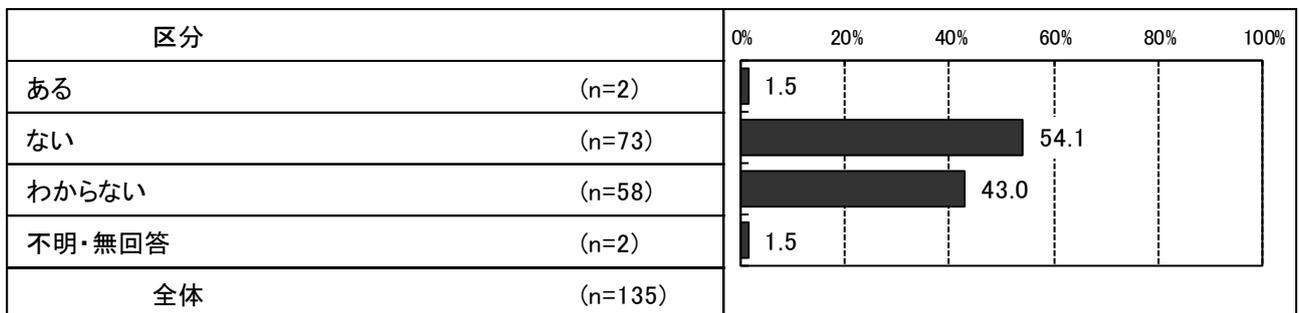
「市立なので、何となく安心できるから」が60.0%で最も多く、次いで「以前利用した際のサービスが良かったから」が30.0%、「その他」が10.0%となっています。

(7) 認知症対応型共同生活介護につき、市立（吹田市立岸部中グループホーム）と民間とで、サービス利用の調整時に違いがあると思いますか。（1つだけ○）



「わからない」が 54.1%で最も多く、次いで「市立施設と民間施設に特に違いはない」が 36.3%、「市立施設のほうが一般的に受入れ困難と思われる利用者を受け入れてくれやすい」が 5.9%となっています。

(8) 認知症対応型共同生活介護につき、利用者や家族が民間よりも市立の利用を希望することはありますか。（1つだけ○）



「ない」が 54.1%で最も多く、次いで「わからない」が 43.0%、「ある」が 1.5%となっています。

(8) で「1」と答えた方におうかがいします。

(9) 市立の認知症対応型共同生活介護を希望する理由は何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「市立なので、何となく安心できるから」が100.0%となっています。